

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域

合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する18歳以上の男女 3,000人

(3) 調査対象者の抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

37.4% (回収数 1,121 通、内無効票 0 通)

(5) 調査方法

郵送による配布、回収

(6) 調査期間

令和4年4月24日～令和4年5月9日

3. 本報告書の見方

(1) 図表中の「n」とは、回答総数を表している。

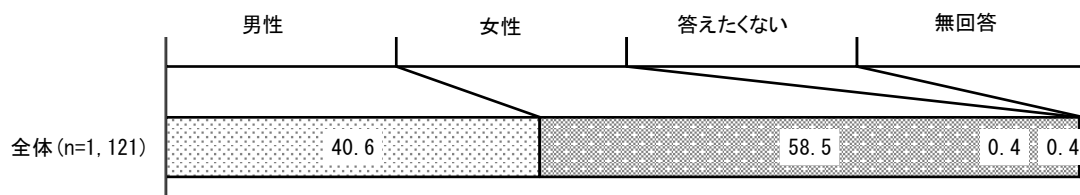
(2) 単一回答については、全て百分率(%)で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計値が100%を超える場合がある。

3. 回答者の基本属性

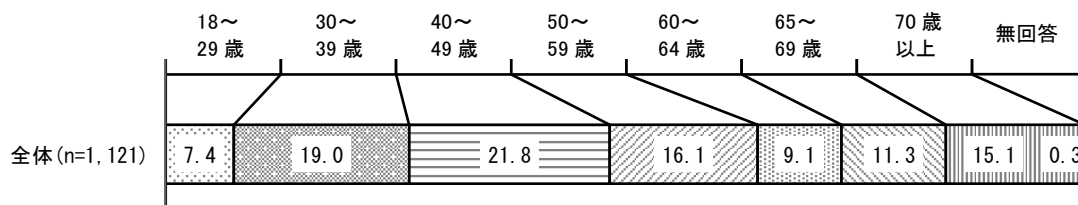
(1) 性別

- 「女性」が半数以上となっており、「男性」は約4割と女性が上回っている。



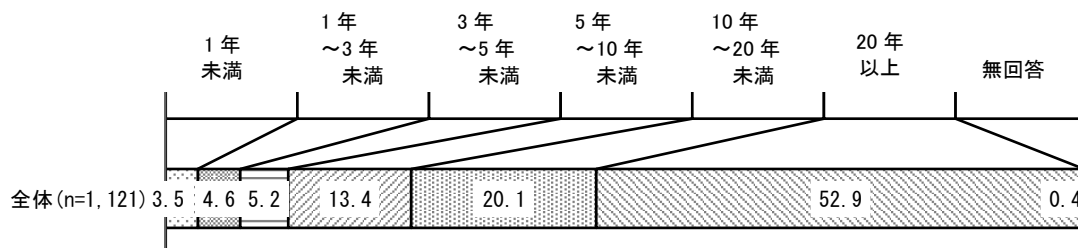
(2) 年齢

- 「40～49歳」が21.8%と最も多く、「30～39歳」が19.0%で続く。令和2年度の国勢調査結果と比較すると40代、50代の割合が高く、20代以下と70歳以上の割合が少ない。



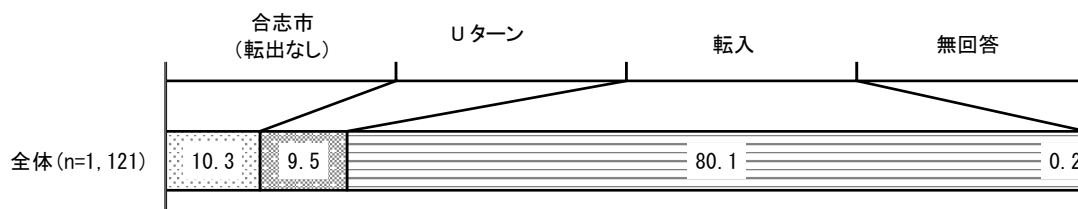
(3) 居住年数

- 「20年以上」が52.9%と半数を占めている。



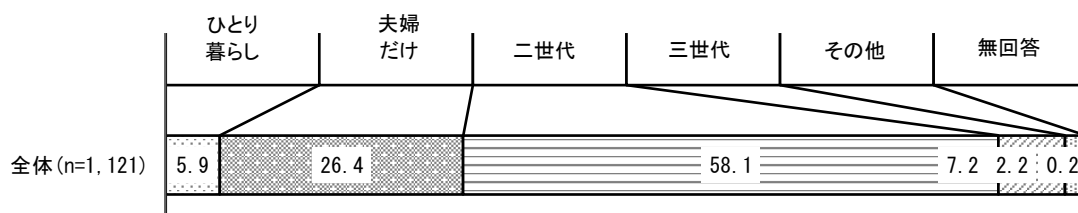
(4) 居住パターン

- 「転入」が約8割となっており、「合志市（転出なし）」、「Uターン」がそれぞれ1割となっている。



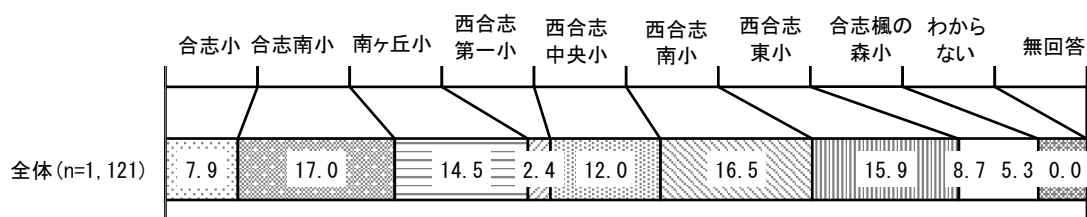
(5) 家族構成

- 「二世世代世帯（親と子）」が58.1%と半数以上となっており、次いで夫婦だけの世帯が26.4%となっている。「ひとり世帯」「三世世代世帯（親と子と孫）」は1割未満となっている。



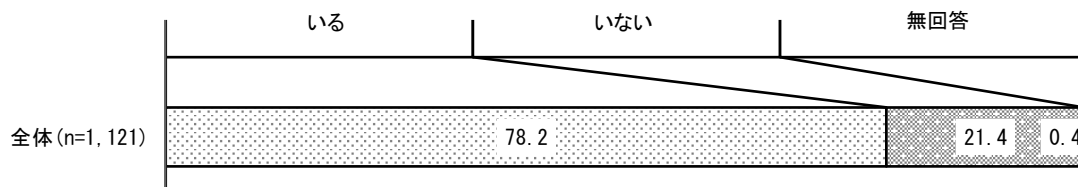
(6) 校区

- 「合志南小」が17.0%と最も多く、「西合志南小」が16.5%、「西合志東小」が15.9%と続く。「南ヶ丘小」は14.5%、「西合志中央小」は12.0%、「合志颯の森小」は8.7%、「合志小」は7.9%となっている。なお「西合志第一小」は2.4%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



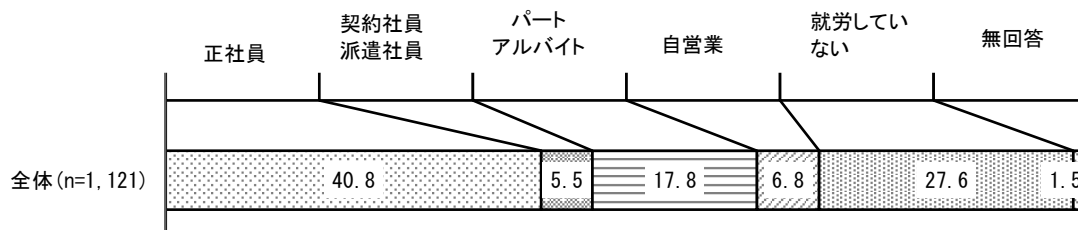
(7) 配偶者有無

●「配偶者がいる」が78.2%と約8割を占めている。



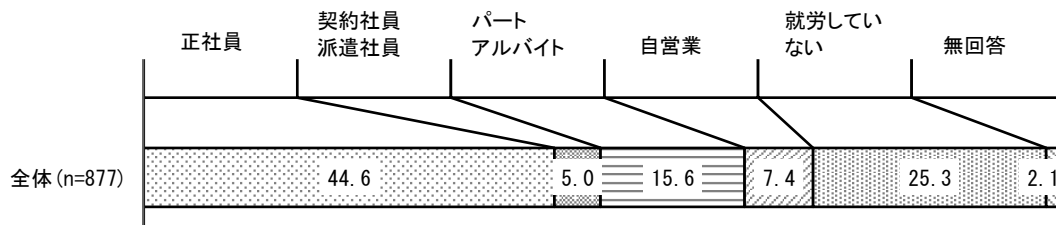
(8) 自身の職業

●約7割が就労しており、「正社員」が40.8%、次いで「就労していない」が27.6%となっている。



(9) 配偶者の職業

●配偶者がいる877人のうち、約7割が就労しており、配偶者の職業では「正社員」が44.6%と最も多く、「パート、アルバイト」が15.6%で続く。「就労していない」は25.3%となっている。



<基本属性の比較>

		令和4年度調査 n=1,121	令和3年度調査 n=1,363	令和2年度調査 n=1,329	平成31年度調査 n=1,116
性別	男	40.6	40.8	43.2	43.1
	女	58.5	58.6	56.1	56.0
	答えたくない	0.4	0.3	0.6	0.5
	無回答	0.4	0.3	0.1	0.4
年齢	18～29歳	7.4	9.7	10.1	8.6
	30～39歳	19.0	16.7	16.2	15.9
	40～49歳	21.8	20.8	21.3	20.9
	50～59歳	16.1	15.6	15.5	14.2
	60～64歳	9.1	9.6	10.1	12.9
	65～69歳	11.3	12.5	11.4	13.7
	70歳以上	15.1	14.7	15.5	13.5
	無回答	0.3	0.3	0.0	0.3
自分の職業	正社員	40.8	36.5	39.7	36.3
	契約・派遣社員	5.5	7.0	5.0	5.4
	パート・アルバイト	17.8	20.0	17.8	16.8
	自営業	6.8	7.0	6.0	6.6
	就労していない	27.6	28.0	30.1	33.9
	無回答	1.5	1.4	1.4	1.1
居住パターン	合志市（転出なし）	10.3	10.1	23.4	22.7
	Uターン	9.5	10.3	76.4	76.9
	転入	80.1	79.3		
	無回答	0.2	0.3	0.2	0.4
居住年数	1年未満	3.5	2.9	3.2	3.4
	1～3年未満	4.6	5.8	5.7	4.0
	3～5年未満	5.2	4.8	6.4	4.7
	5～10年未満	13.4	13.1	11.7	9.9
	10～20年未満	20.1	22.2	21.0	22.9
	20年以上	52.9	50.8	51.3	54.6
無回答	0.4	0.3	0.7	0.4	
校区	合志小	7.9	7.6	9.2	8.8
	合志南小	17.0	16.4	22.0	20.5
	南ヶ丘小	14.5	12.8	13.8	14.4
	西合志第一小	2.4	2.9	3.0	2.2
	西合志中央小	12.0	11.3	10.5	11.7
	西合志南小	16.5	17.2	16.9	14.2
	西合志東小	15.9	16.0	16.9	20.1
	合志楓の森小	8.7	7.3		
わからない	5.3	8.5	7.8	8.1	
家族構成	ひとり世帯	5.9	7.6	5.8	5.9
	夫婦だけ	26.4	25.6	25.6	28.1
	二世帯世帯	58.1	55.6	56.5	55.1
	三世帯世帯	7.2	7.7	8.2	7.6
	その他	2.2	3.1	3.1	3.0
無回答	0.2	0.4	0.8	0.2	
配偶者	いる	78.2	79.0	78.4	76.0
	いない	21.4	20.7	21.4	23.5
	無回答	0.4	0.3	0.2	0.5
配偶者の職業	正社員	44.6	42.7	40.3	37.7
	契約・派遣社員	5.0	5.3	4.7	5.3
	パート・アルバイト	15.6	12.9	16.6	15.2
	自営業	7.4	7.5	7.9	7.9
	就労していない	25.3	26.2	27.7	30.7
	無回答	2.1	5.4	2.8	3.2

※平成30年度は国勢調査結果と比較して、65歳以上の高齢者の割合が4.9%と極端に低く、若い年齢層の回答者が多かったことから、結果を比較する際には注意が必要である。

II 調查結果

◆日常生活について

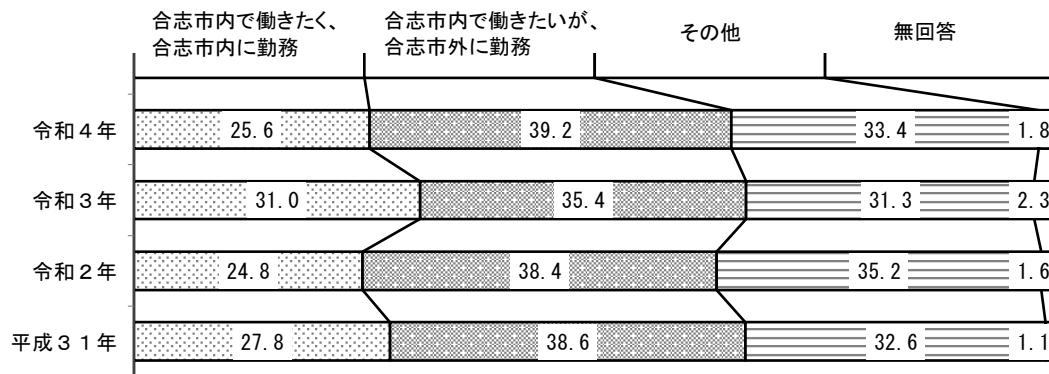
1. 職場について

(1) 働く場所（問9）

あなたは、合志市内で働きたいと思いますか。また合志市内で勤務していますか。

自営業以外で働いている719人について、合志市内での就労意向と実際の勤務状況を尋ねたところ、合志市内で働きたいと思っている人（「合志市内で働きたい」と思っており、合志市内に勤務している」＋「合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している」）は64.8%となっている。しかしながら実際に市内に勤務している人の割合は全体の25.6%であり、市内で働きたいと思っている人の半数以下である。

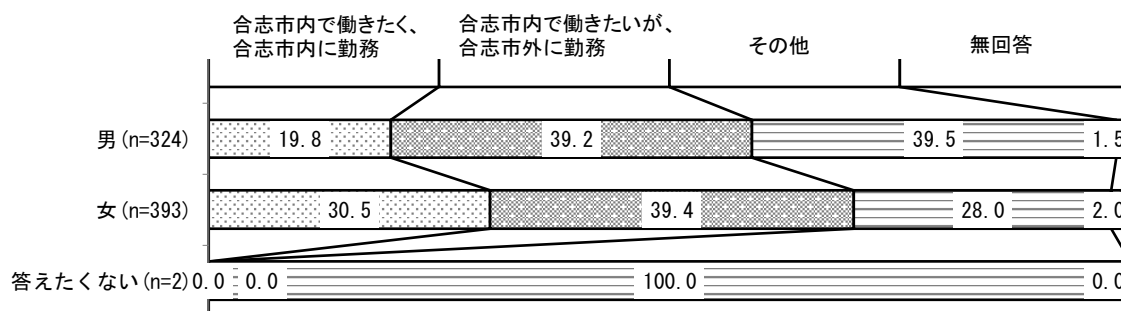
昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、合志市内で働きたいと思っているが合志市外に勤務する人の割合はやや増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している	184	25.6	269	31.0	206	24.8	181	27.8
2 合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している	282	39.2	307	35.4	319	38.4	251	38.5
3 その他	240	33.4	271	31.3	292	35.2	213	32.7
4 無回答	13	1.8	20	2.3	13	1.6	7	1.1
合計	719	100.0	867	100.0	830	100.0	652	100.0

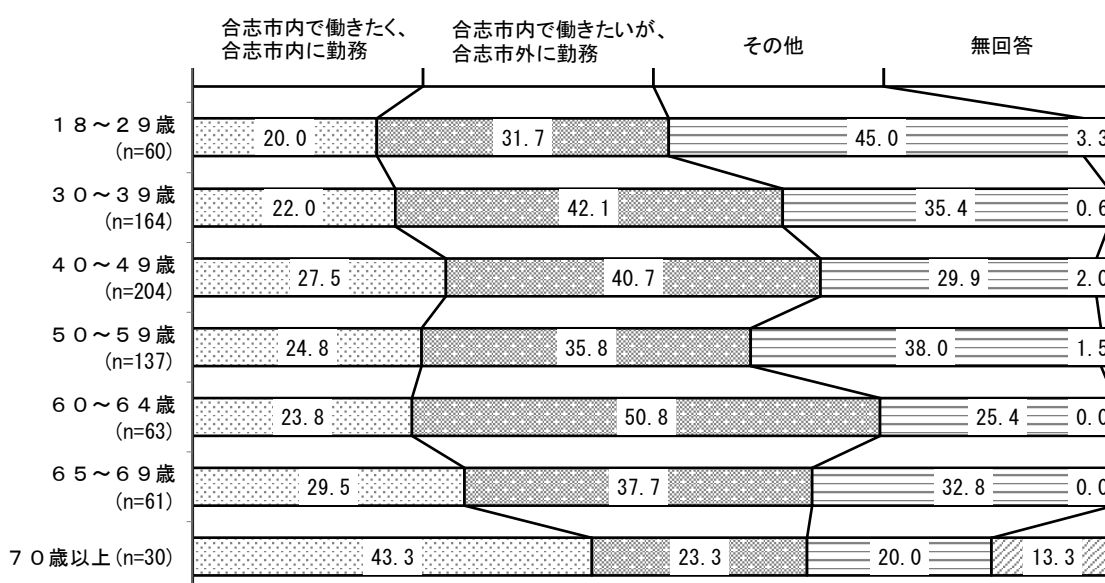
【性別】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、男性 59.0%に対し、女性 69.9%と女性の方が高くなっている。
- また実際に合志市内で勤務している人の割合も男性 19.8%、女性 30.5%と女性の方が高くなっている。
- 男女ともに合志市内で勤務している人の割合が昨年度と比較して低くなっている。



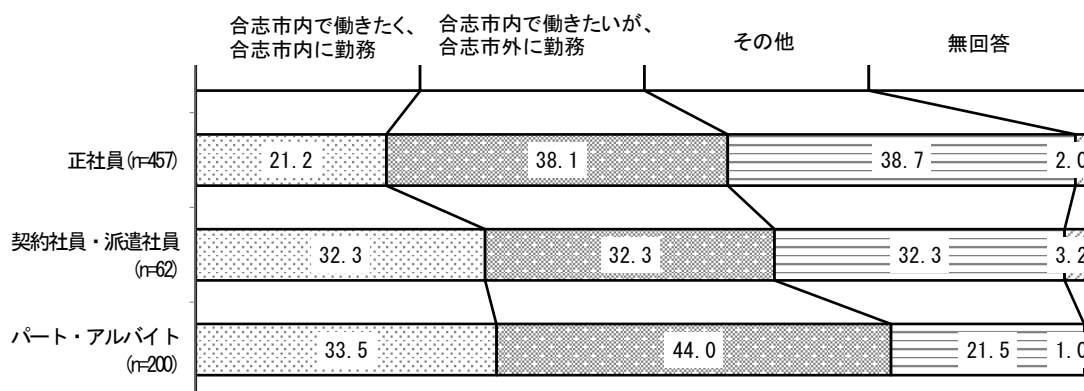
【年齢】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、60～64歳が74.6%と最も高くなっている。20代以下では51.7%だが、30代から50代では6割を超えている。
- 30～60代で、実際に合志市内で勤務している人と合志市外で勤務している人の割合はいずれも約2～3割となっている。70歳以上では43.3%と高くなっているが、他の年代ではいずれも合志市外で勤務している人が市内で勤務している人を上回っている。



【職業】

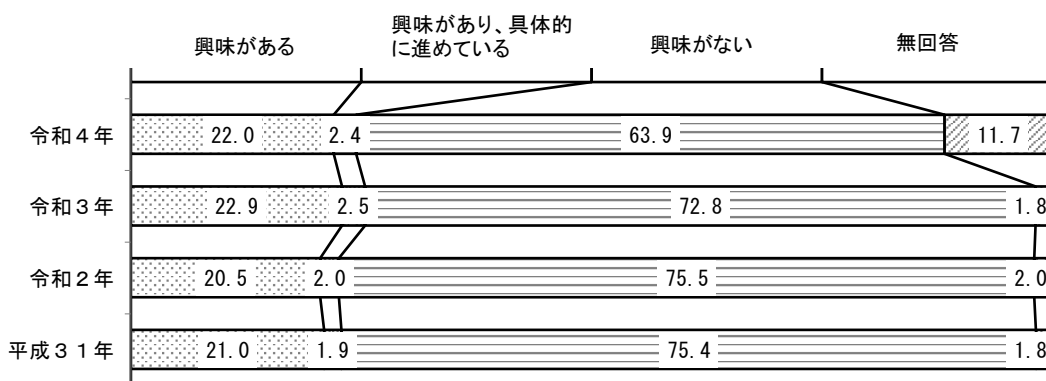
- 合志市内で働きたいと思っている割合は、正社員 59.3%、契約社員・派遣社員 64.6%、パート・アルバイト 77.5%となっており、非正規雇用で働いている人の方が合志市内で働きたいという意向を持つ人の割合が高くなっている。
- 実際に合志市内に勤務している割合は、パート・アルバイトが 33.5%と最も高く、契約社員・派遣社員 32.3%、正社員 21.2%となっている。



(2) 起業について (問10)

あなたは、起業に興味がありますか。

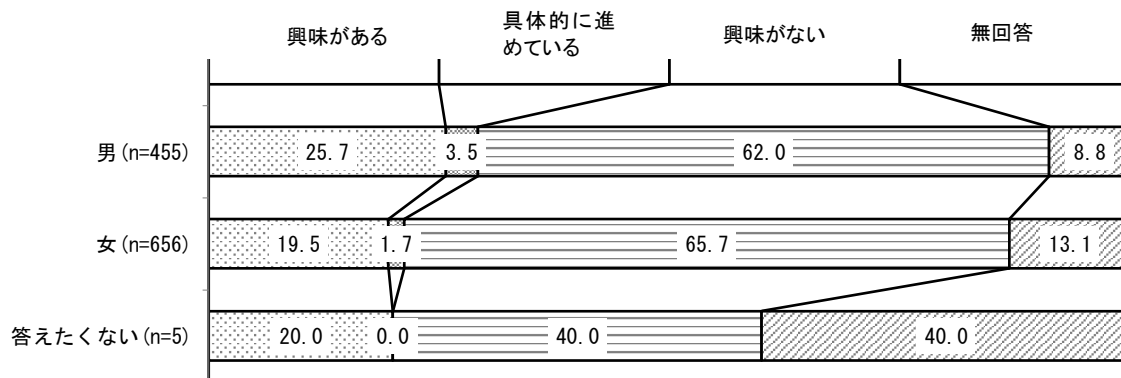
起業に興味がある人（「興味がある」+「興味があり、具体的に進めている」）の割合は24.4%、興味がない人の割合は約6割となっている。昨年度と比較して、興味がある人の割合に大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 興味がある	247	22.0	312	22.9	273	20.5	234	21.0
2 興味があり、具体的に進めている	27	2.4	34	2.5	27	2.0	21	1.9
3 興味がない	716	63.9	992	72.8	1003	75.5	841	75.4
4 無回答	131	11.7	25	1.8	26	2.0	20	1.8
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

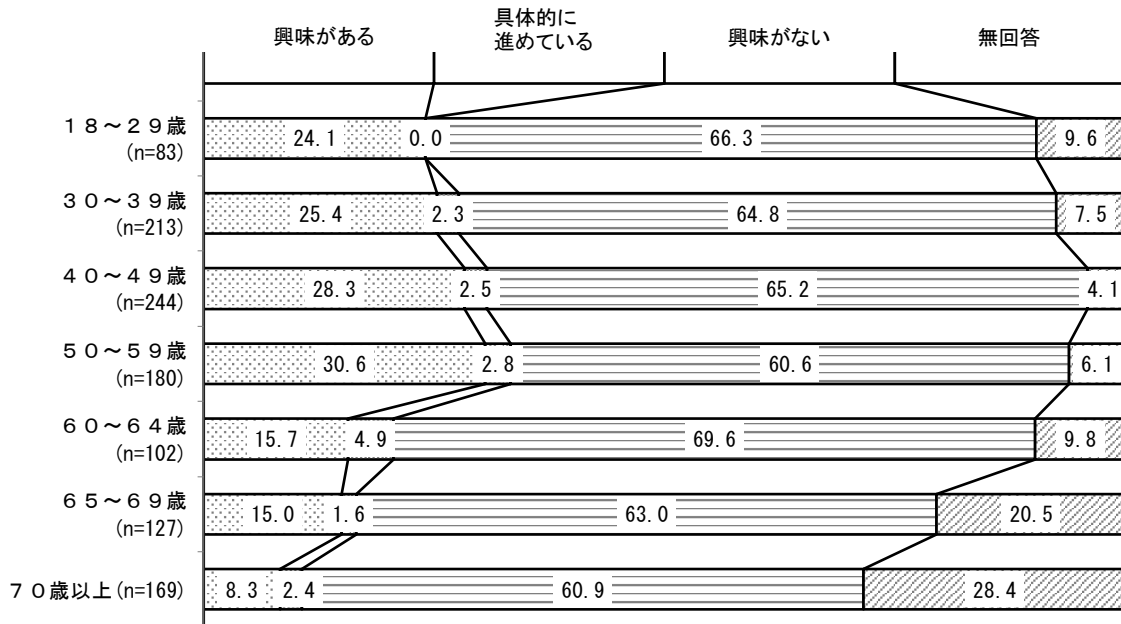
【性別】

● 起業に興味がある人の割合は、男性は29.2%、女性は21.2%と男性が女性を上回っている。



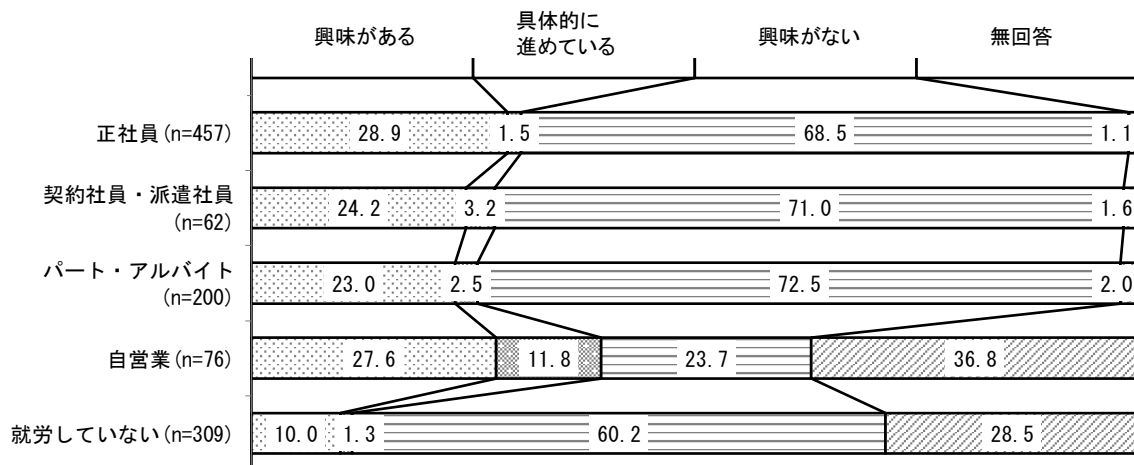
【年齢別】

- 起業に興味がある人の割合は50代で33.4%と最も高く、40代以下では約2～3割となっている。



【職業別】

- 起業に興味がある人の割合は就労している人の方が高く、自営業では39.4%、正社員では30.4%が関心を持っている。特に自営業では具体的に進めている人の割合は11.8%と多くなっている。



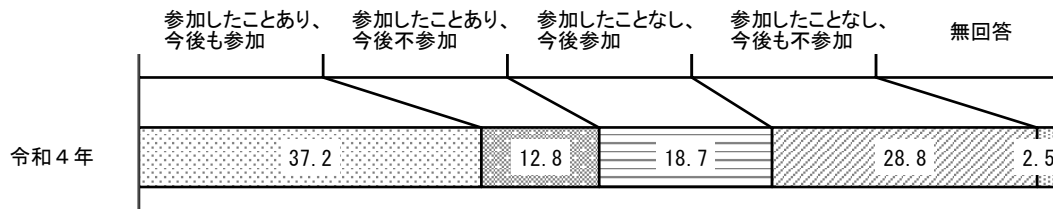
2. 地域活動等への参加について

(1) 地域活動への参加（問14）

あなたは、過去1年間で地域の活動（自治会の活動）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、地域の活動（自治会の活動）に参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は50.0%となっており、参加していない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）が47.5%と約半数となっている。

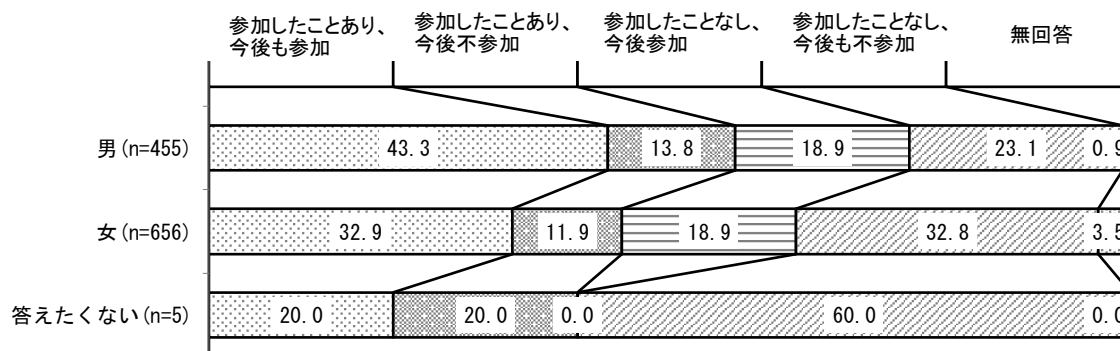
しかしながら、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は55.9%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の41.6%を上回っている。



	令和4年度	
	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	417	37.2
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	143	12.8
3 参加したことはないが、今後は参加したい	210	18.7
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	323	28.8
5 無回答	28	2.5
合計	1121	100.0

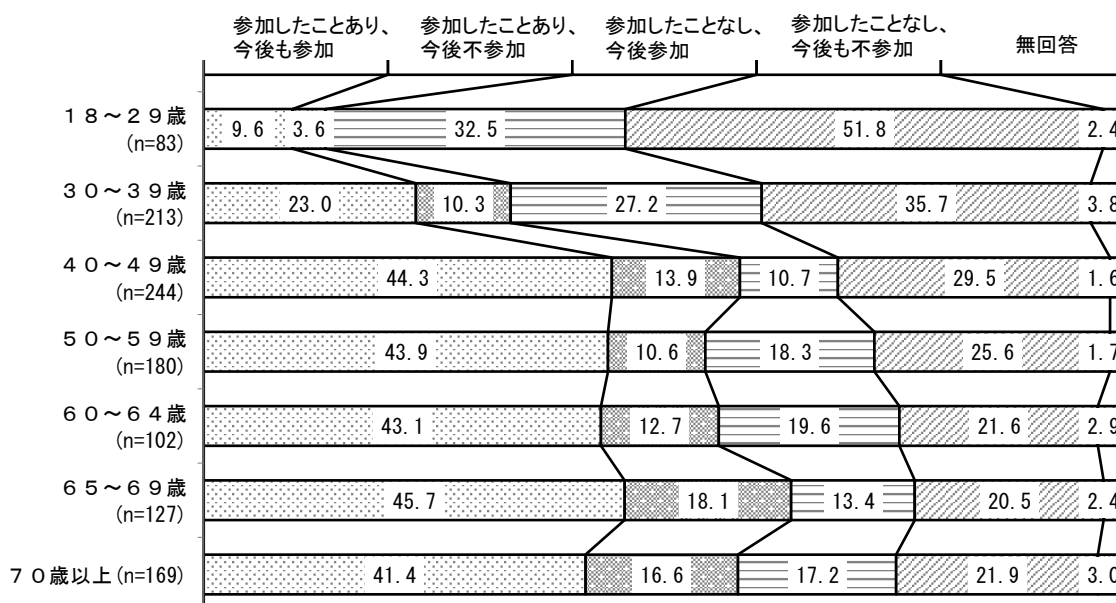
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 57.1%、女性 44.8%と男性の方が多い。
- 今後の参加意向がある人の割合は男性 62.2%、女性 51.8%であり、男女で差はあるものの半数以上の人参加意向にある。



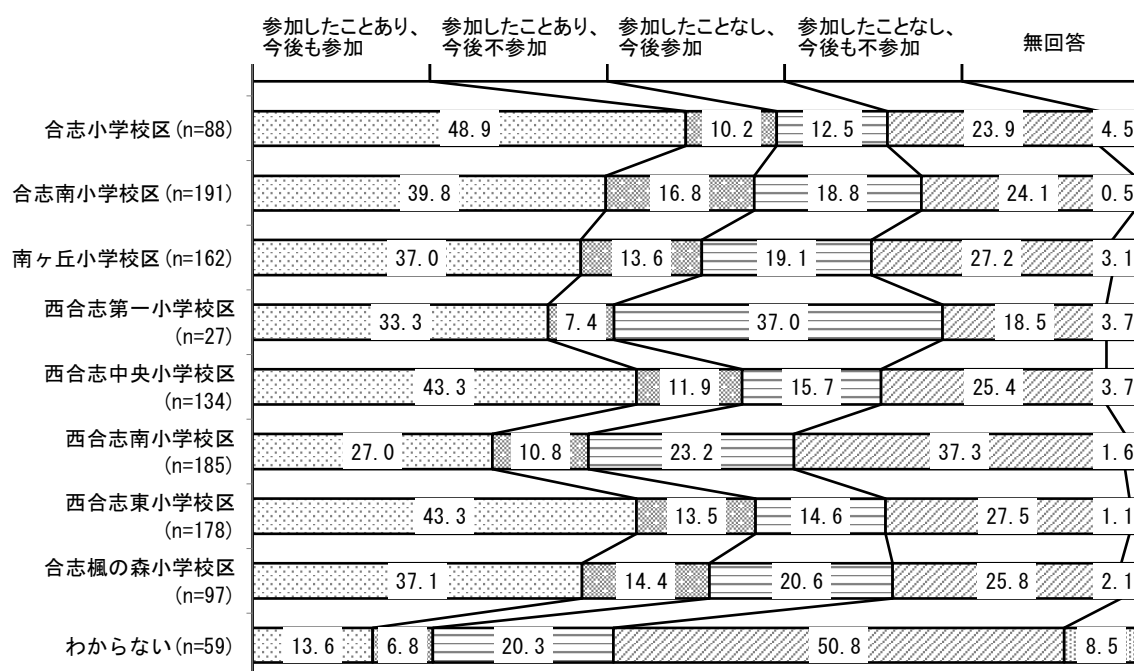
【年齢別】

- 参加した人の割合は、20代以下では約1割となっているが、40代以上のどの年代も、半数を超え、65~69歳では6割を超えている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、参加した人の割合が低かった20代以下において昨年度より約20ポイント減少している。また40代以上のどの年代も、半数以上の人参加意向を示している。



【校區別】

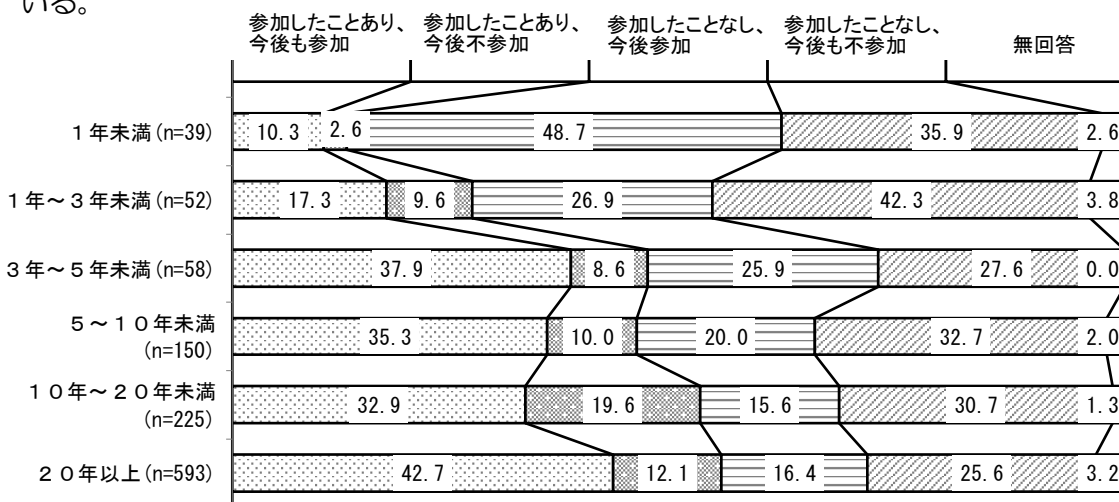
- 参加した人の割合は、合志小 59.1%、合志南小 56.6%と高く、西合志第一小、西合志南小を除いた他の校区も半数以上となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合はすべての校区で半数以上となっており、西合志第一小は7割となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

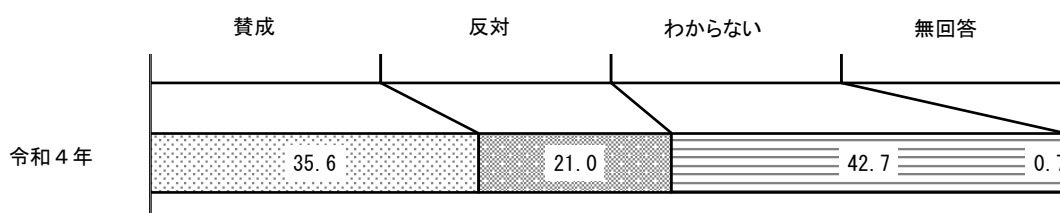
- 居住年数が高いほど参加経験者は増える傾向にあり、居住年数 20 年以上では 54.8% となっている。
- 今後の参加意向については、1 年～3 年未満を除き、半数以上の人参加意向を示している。



(2) 自治会加入の条例 (問 15)

自治会加入を努力義務とする条例をつくることに賛成ですか。

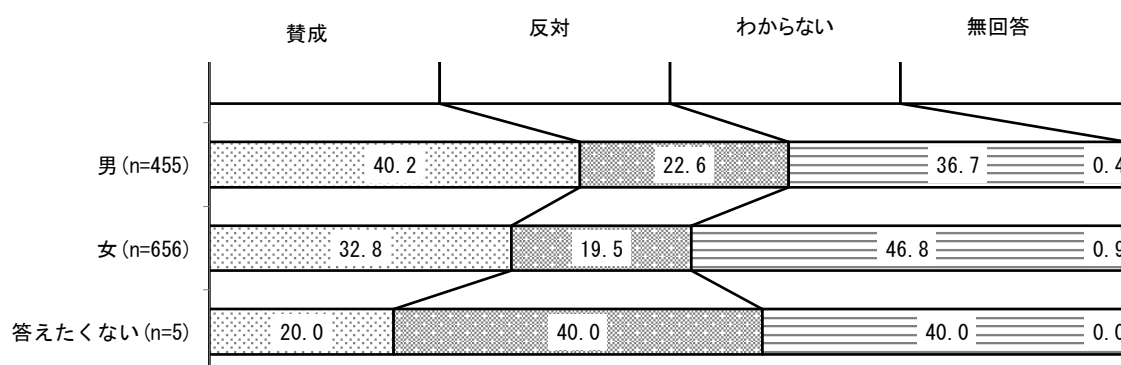
賛成の割合は 35.6%となっており、反対の割合は 21.0%、わからないが 42.7%となっている。



	令和4年度	
	人	%
1 賛成	399	35.6
2 反対	235	21.0
3 わからない	479	42.7
4 無回答	8	0.7
合計	1121	100.0

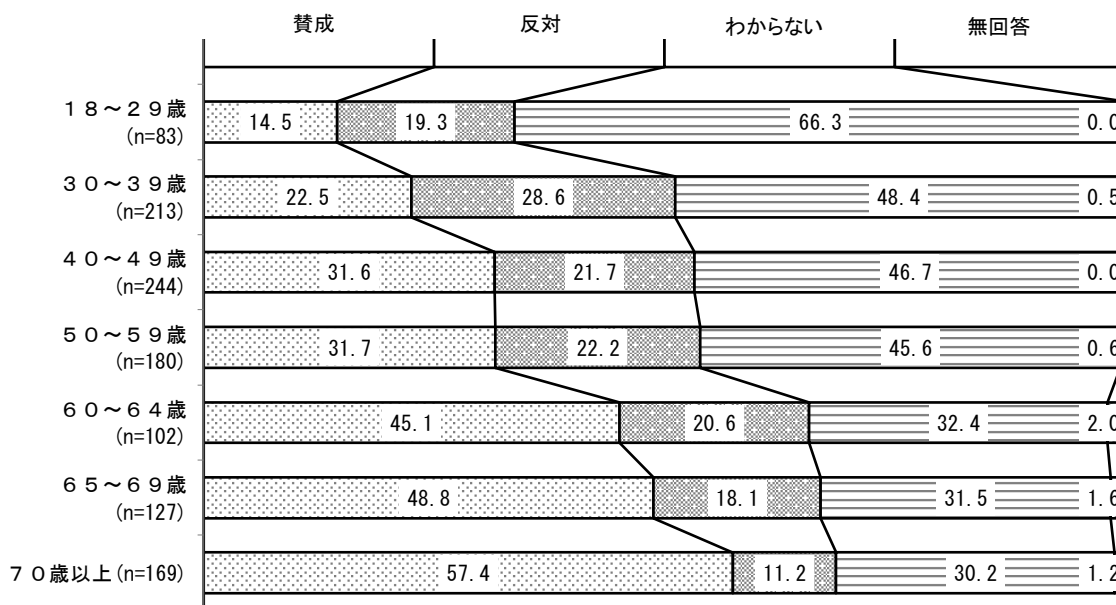
【性別】

- 賛成する人の割合は、男性 40.2%、女性 32.8%と男性の方が多くなっている。また、女性においてわからないが約半数となっている。



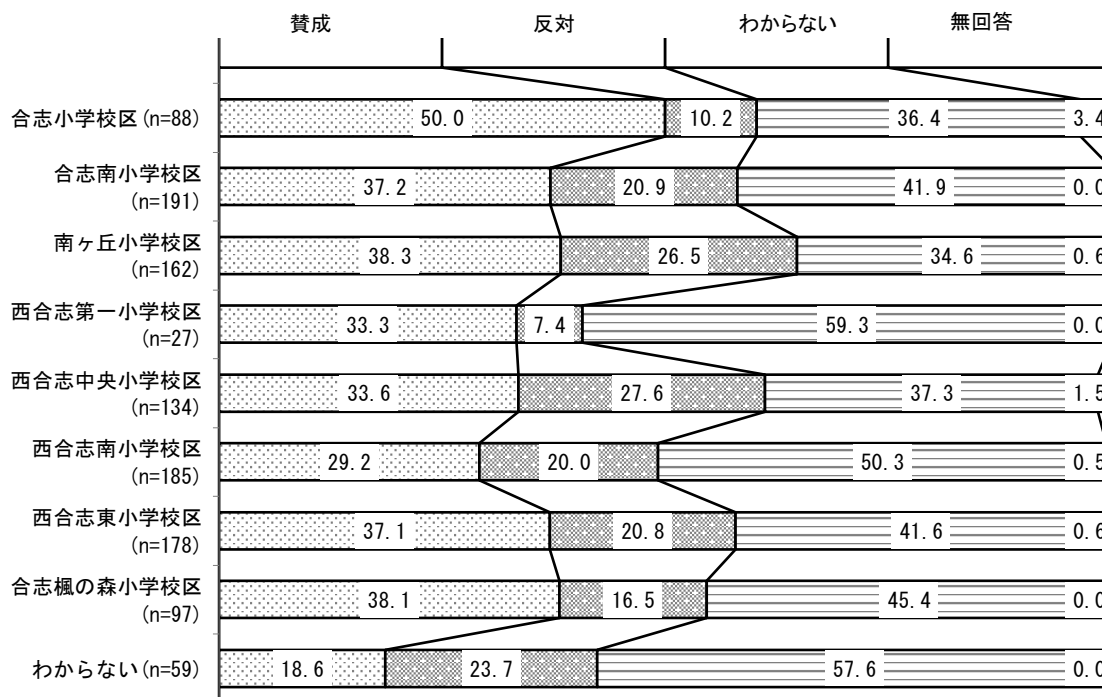
【年齢別】

- 賛成する人の割合は年齢とともに増えており、70歳以上では約6割となっている。一方で、わからないの割合は年齢が下がるにつれて多くなっている。



【校区别】

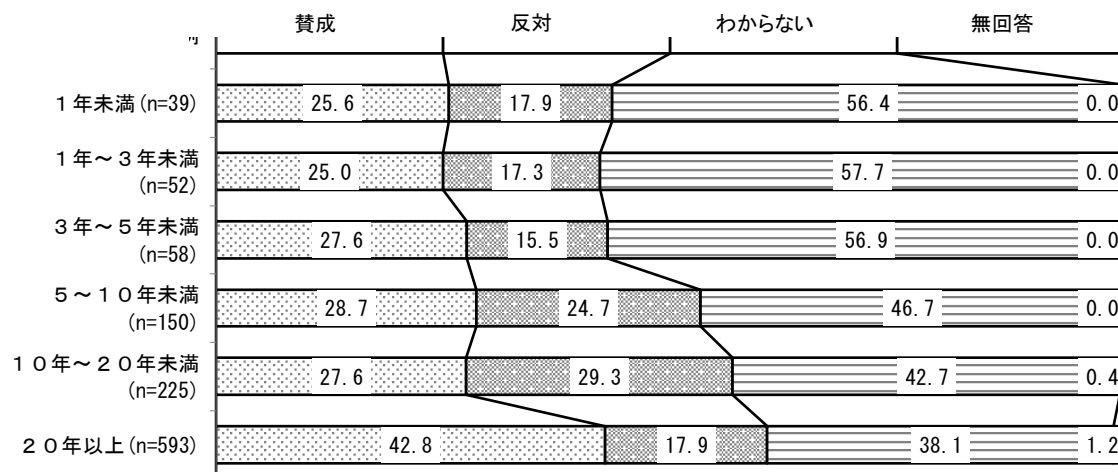
- 賛成する人の割合は、合志小 50.0%と最も高く、他の校区も約3～4割となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

●賛成する人の割合は、居住年数 20 年以上では 42.8%となっている。



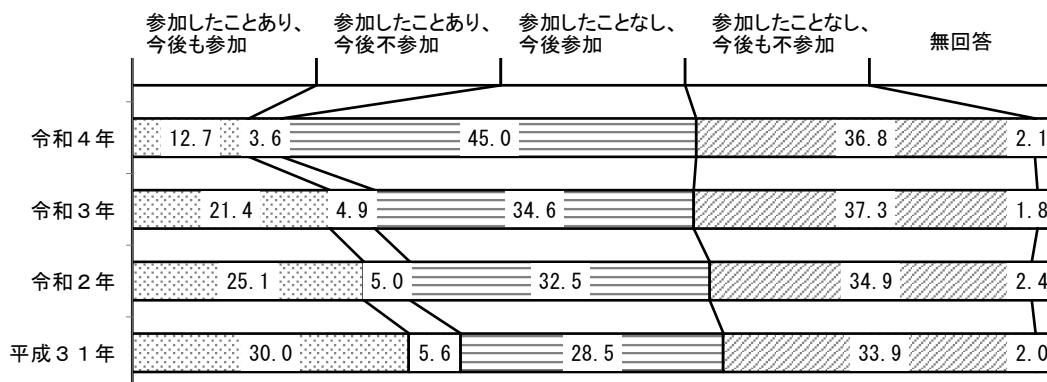
(3) 地域活動への参加（問16）

あなたは、過去1年間でボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、ボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は16.3%となっており、参加していない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が81.8%と8割を超えている。

しかしながら、今後の参加意向がある人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は57.7%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の40.3%を上回っている。

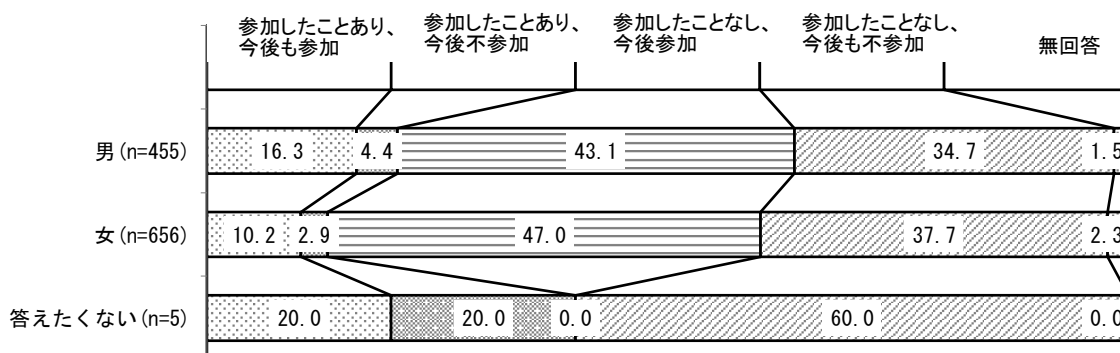
令和3年度以降、参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあります、今後も参加したい	142	12.7	292	21.4	334	25.1	335	30.0
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	40	3.6	67	4.9	67	5.0	63	5.6
3 参加したことはないが、今後は参加したい	504	45.0	471	34.6	432	32.5	318	28.5
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	412	36.8	509	37.3	464	34.9	378	33.9
5 無回答	23	2.1	24	1.8	32	2.4	22	2.0
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

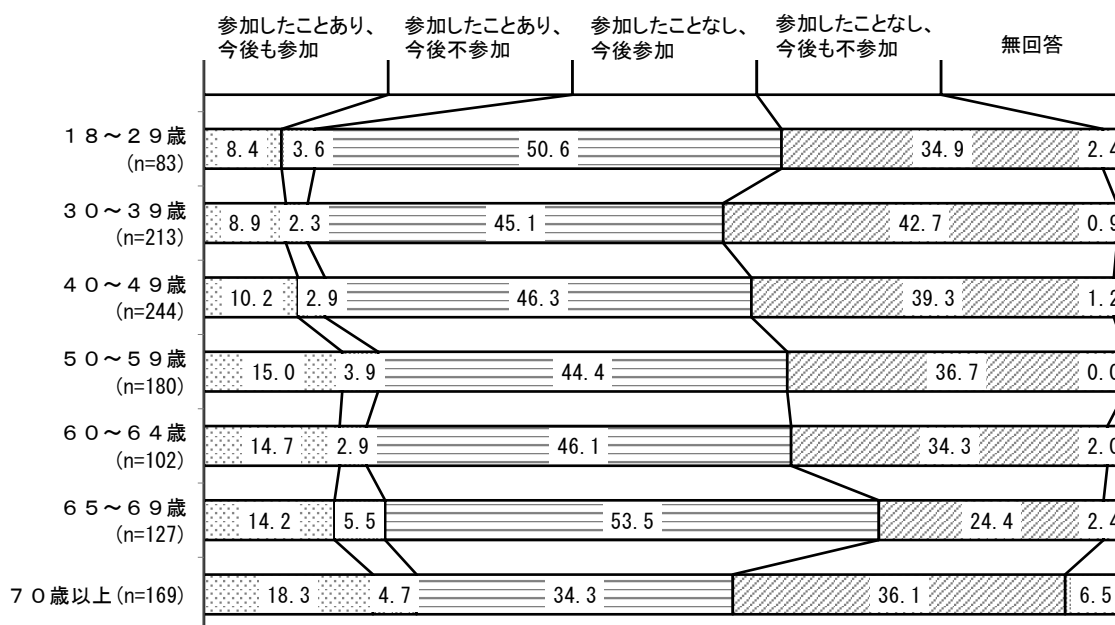
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 20.7%、女性 13.1%と男性の方が多い。
- 昨年度と比較して、参加した人の割合は減少しているが、今後の参加意向については大きな違いはみられていない。



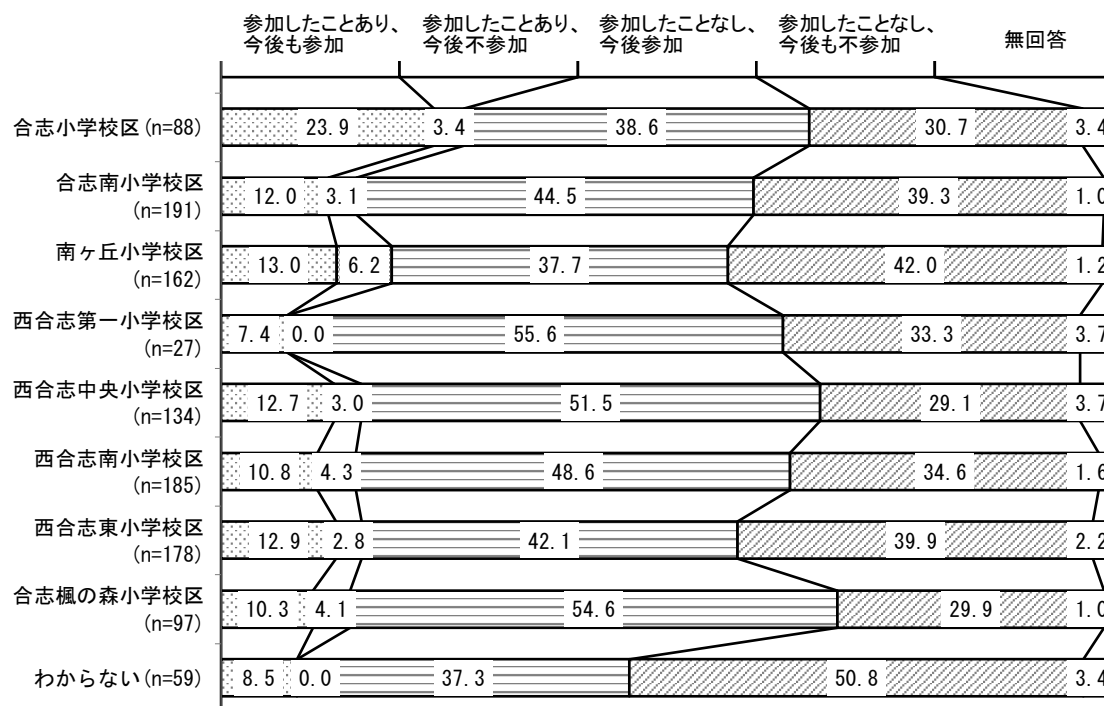
【年齢別】

- 参加した人の割合は年齢とともに増えており、70歳以上では約2割となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は全ての年代において半数以上を占め、65~69歳では約7割と最も高くなっている。



【校區別】

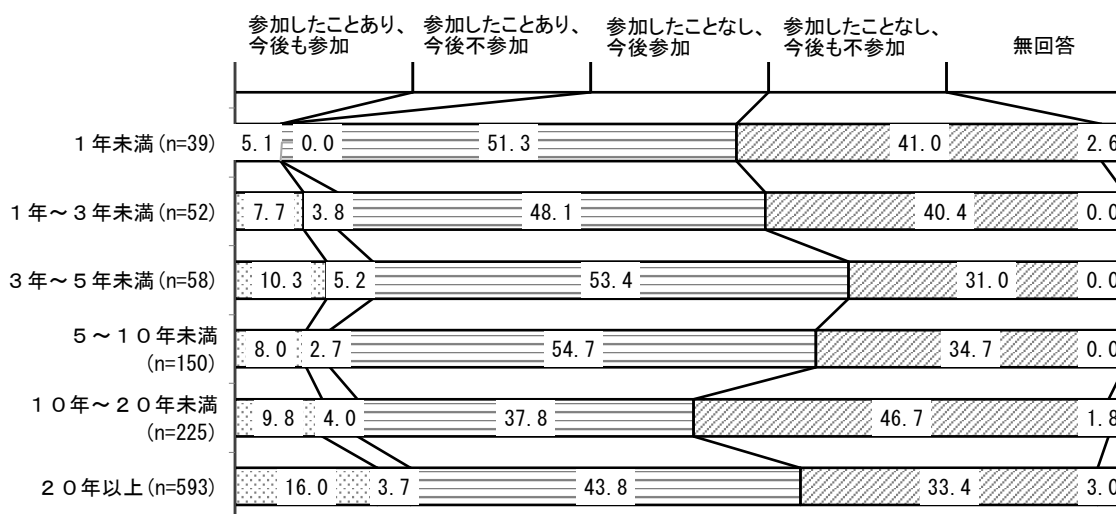
- 参加した人の割合は、合志小が27.3%と最も高く、その他の校区は2割以下となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合はすべての校区で約半数となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 参加した人の割合は、20年以上が19.7%、3年～5年が15.5%と高く、その他の居住年数では約1割となっている。
- 今後の参加意向については、10年～20年未満を除き、半数以上の人参加意向を示している。



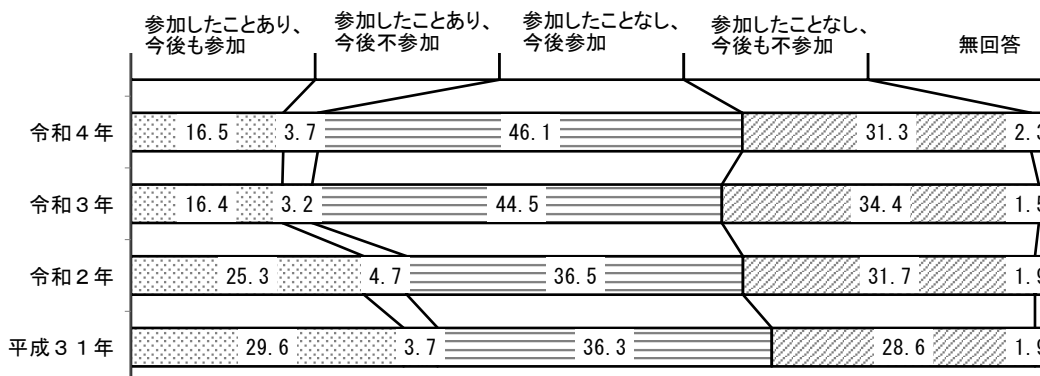
(4) 市のイベント等への参加 (問17)

あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は20.2%となっており、参加したことがない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が77.4%と約8割を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は62.6%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の35.0%を上回っている。

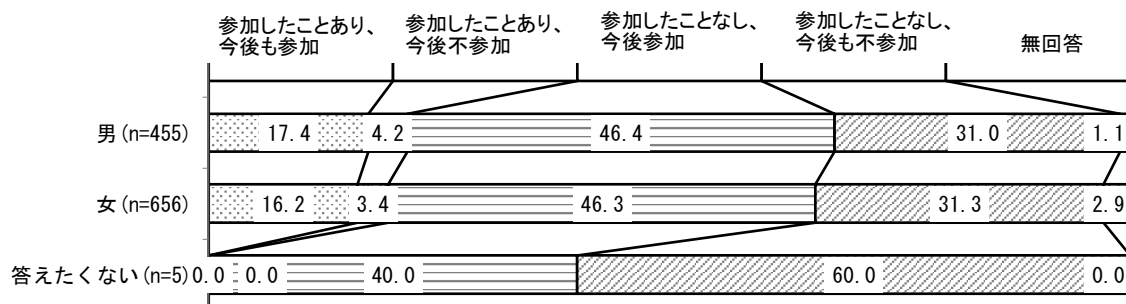
令和3年度以降、参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあります、今後も参加したい	185	16.5	224	16.4	336	25.3	330	29.6
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	42	3.7	44	3.2	62	4.7	41	3.7
3 参加したことはないが、今後は参加したい	517	46.1	606	44.5	485	36.5	405	36.3
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	351	31.3	469	34.4	421	31.7	319	28.6
5 無回答	26	2.3	20	1.5	25	1.9	21	1.9
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

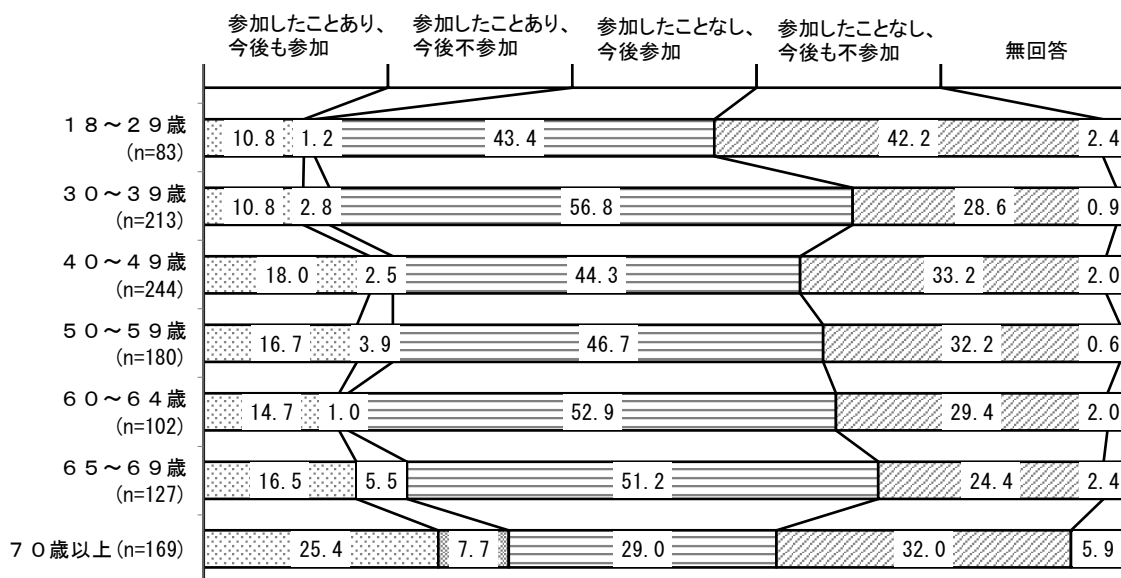
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 21.6%、女性 19.6%とほぼ同数となっている。



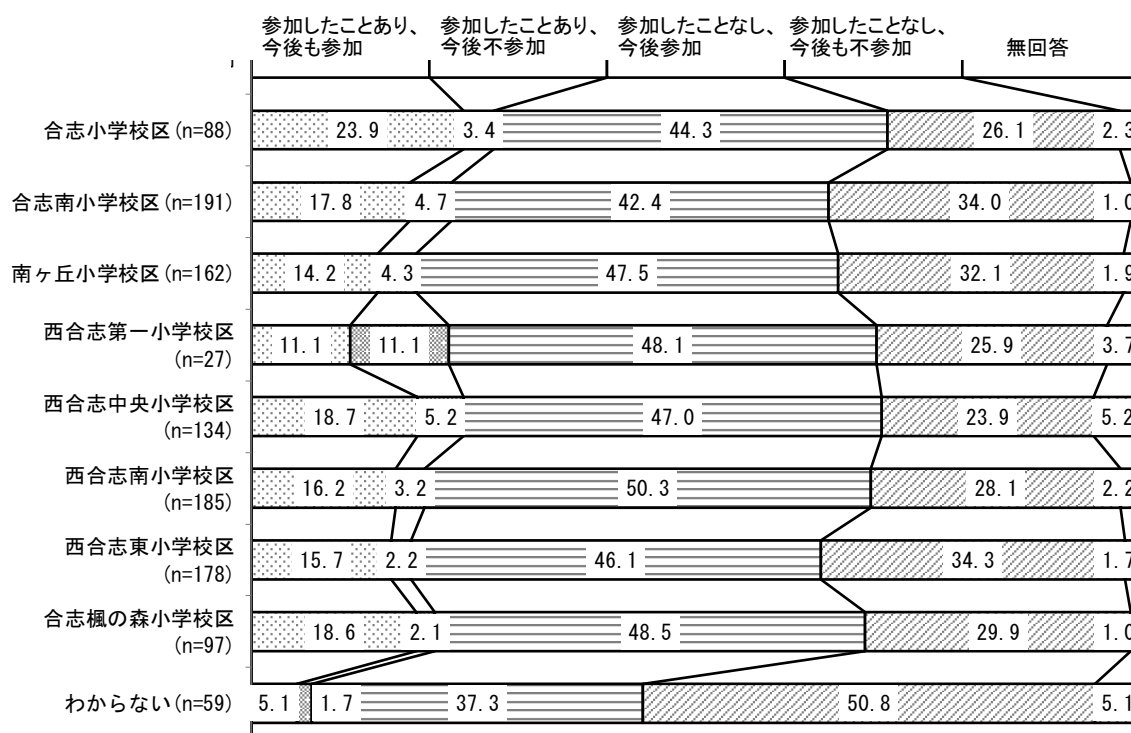
【年齢別】

- 参加した人の割合は 20 代以下と 30 代では約 1 割と低く、その他の年代では約 2～3 割となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの年代でも半数以上となっている。



【校區別】

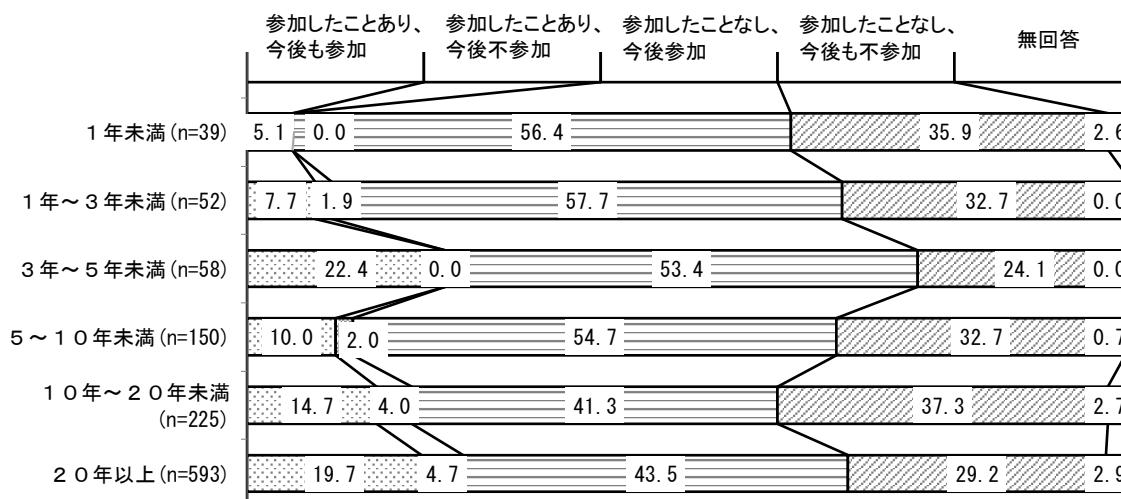
- 参加した人の割合は、合志小で約3割と最も多くなっており、その外の校区においては2割程度となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの校区でも半数以上となっており、特に合志小では7割近くとなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 参加した人の割合は居住年数が長くなるにしたがって増えている。また居住年数3年～5年未満の参加者数の割合は、昨年度と比較して13.2ポイント以上増加している。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく、半数以上を占めている。



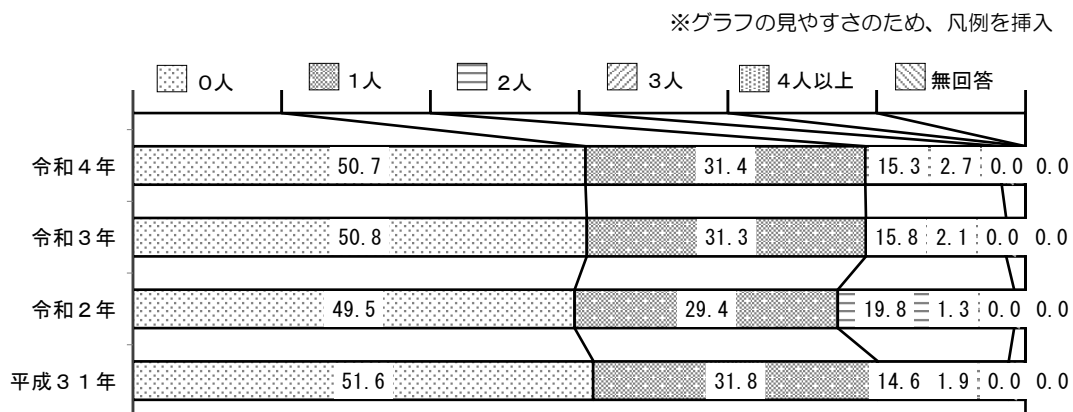
3. 子育てについて

(1) 子どもの数 (問11)

中学生以下のお子様は何人いますか？

中学生以下の子どもがいる373人のうち、就学前の子どもがいる人の割合は49.4%、小学生の子どもがいる人の割合は54.4%、中学生の子どもがいる人の割合は30.6%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

<就学前の子ども>

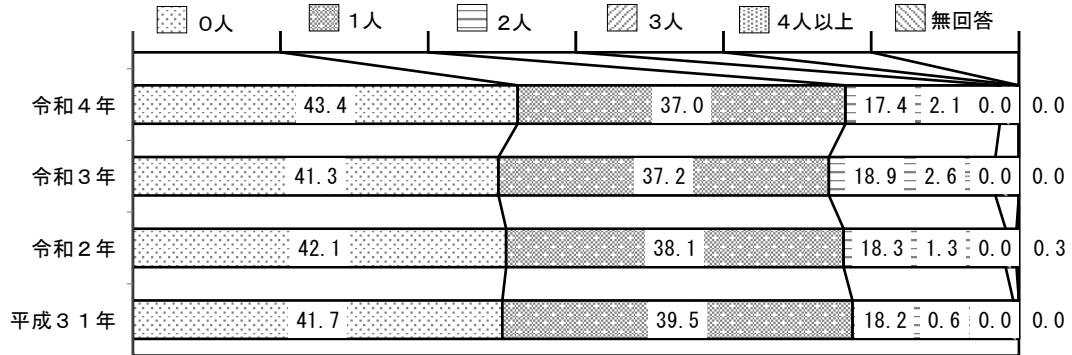


【就学前】

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	189	50.7	213	50.8	195	49.5	162	51.6
2 1人	117	31.4	131	31.3	116	29.4	100	31.8
3 2人	57	15.3	66	15.8	78	19.8	46	14.6
4 3人	10	2.7	9	2.1	5	1.3	6	1.9
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

<小学生の子ども>

※グラフの見やすさのため、凡例を挿入

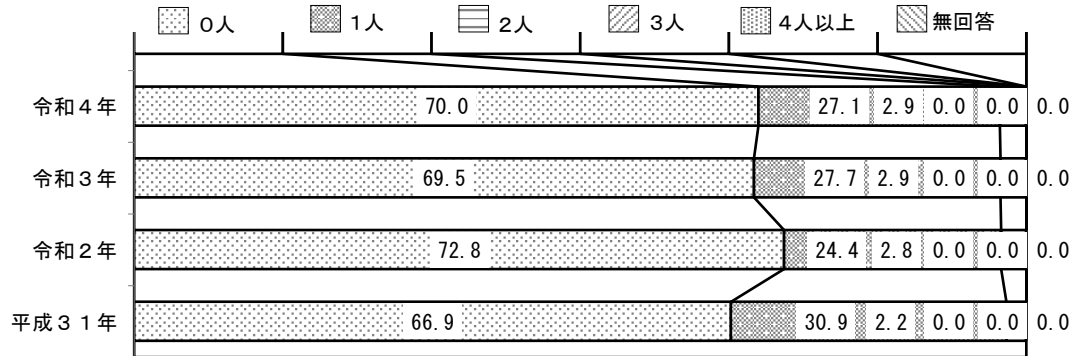


【小学生】

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	162	43.4	173	41.3	166	42.1	131	41.7
2 1人	138	37.0	156	37.2	150	38.1	124	39.5
3 2人	65	17.4	79	18.9	72	18.3	57	18.2
4 3人	8	2.1	11	2.6	5	1.3	2	0.6
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

<中学生の子ども>

※グラフの見やすさのため、凡例を挿入



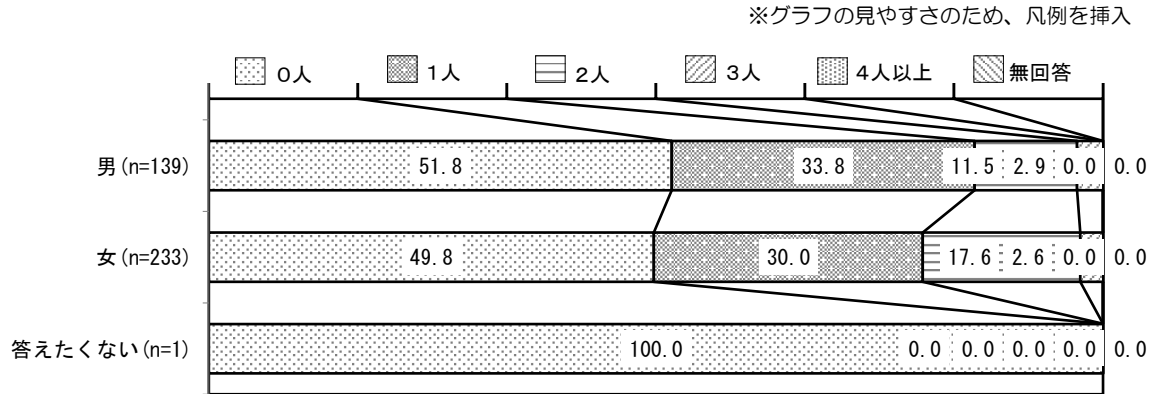
【中学生】

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	261	70.0	291	69.5	287	72.8	210	66.9
2 1人	101	27.1	116	27.7	96	24.4	97	30.9
3 2人	11	2.9	12	2.9	11	2.8	7	2.2
4 3人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

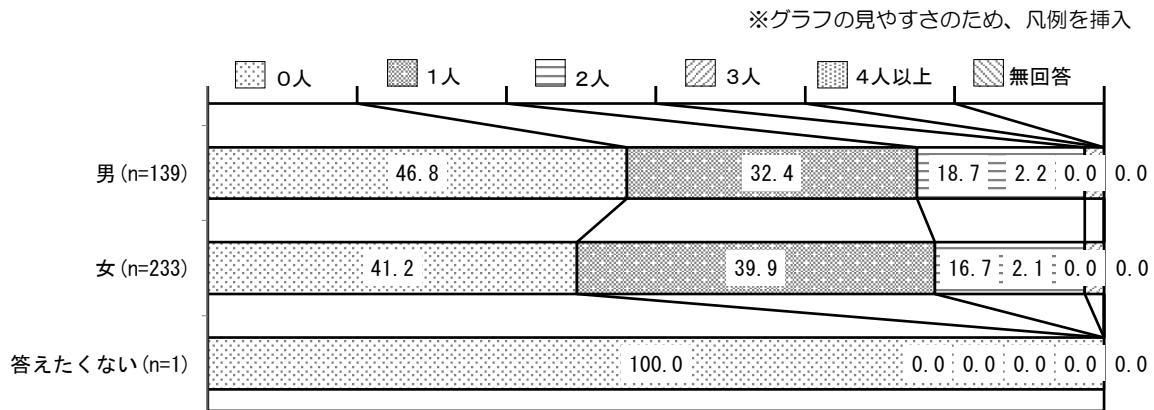
【性別】

●就学前、小学生、中学生の子どもがいる人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。

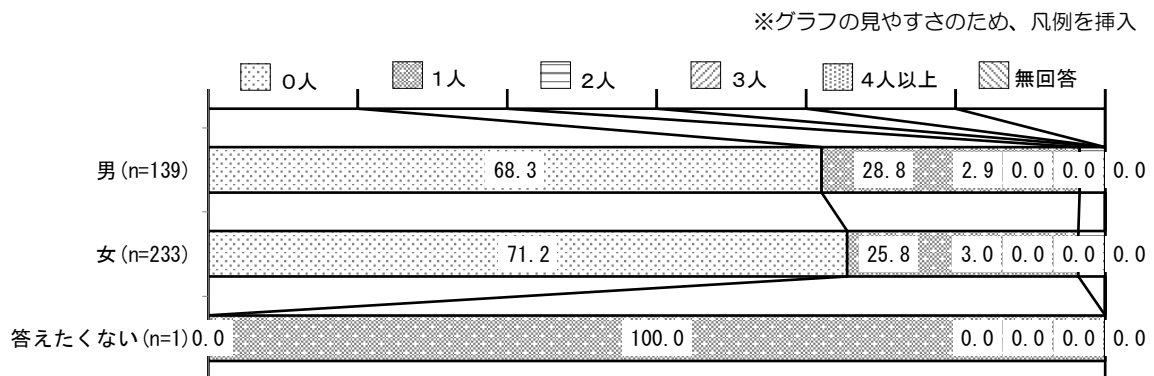
<就学前の子ども>



<小学生の子ども>



<中学生の子ども>

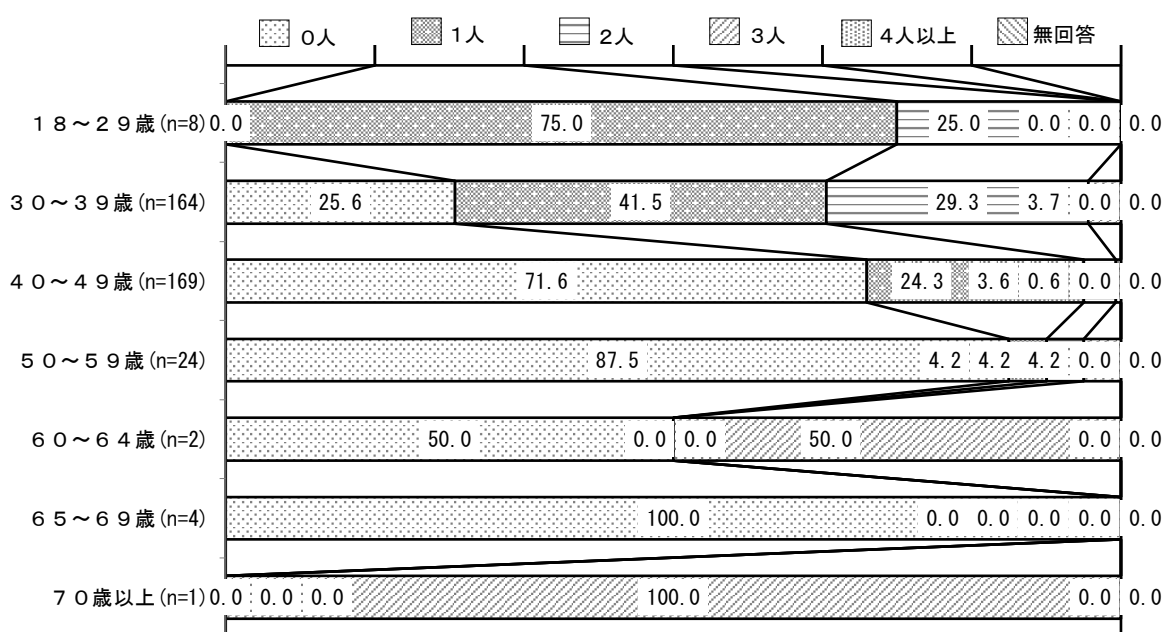


【年齢別】

- 就学前の子どもがいる人の割合は20代以下と30代で多く、20代以下100.0%、30代74.5%となっている。
- 小学生の子どもがいる人の割合は40代が65.1%と最も高く、30代54.9%、50代33.3%と続く。
- 中学生の子どもがいる人の割合は50代が75.0%と最も高く、40代も40.2%と高くなっている。

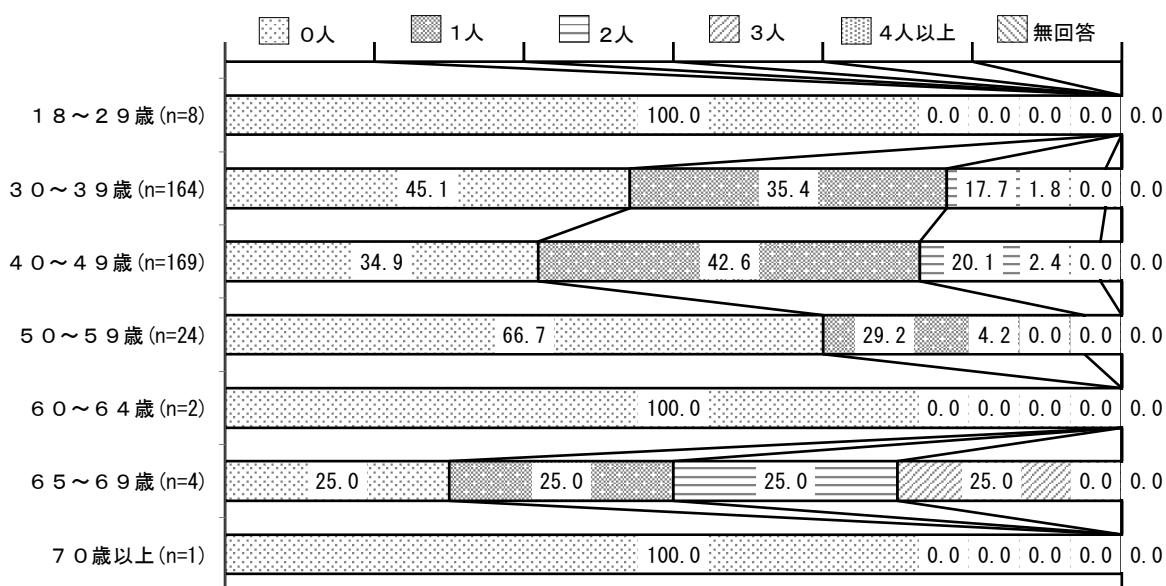
＜就学前の子ども＞

※グラフの見やすさのため、凡例を挿入



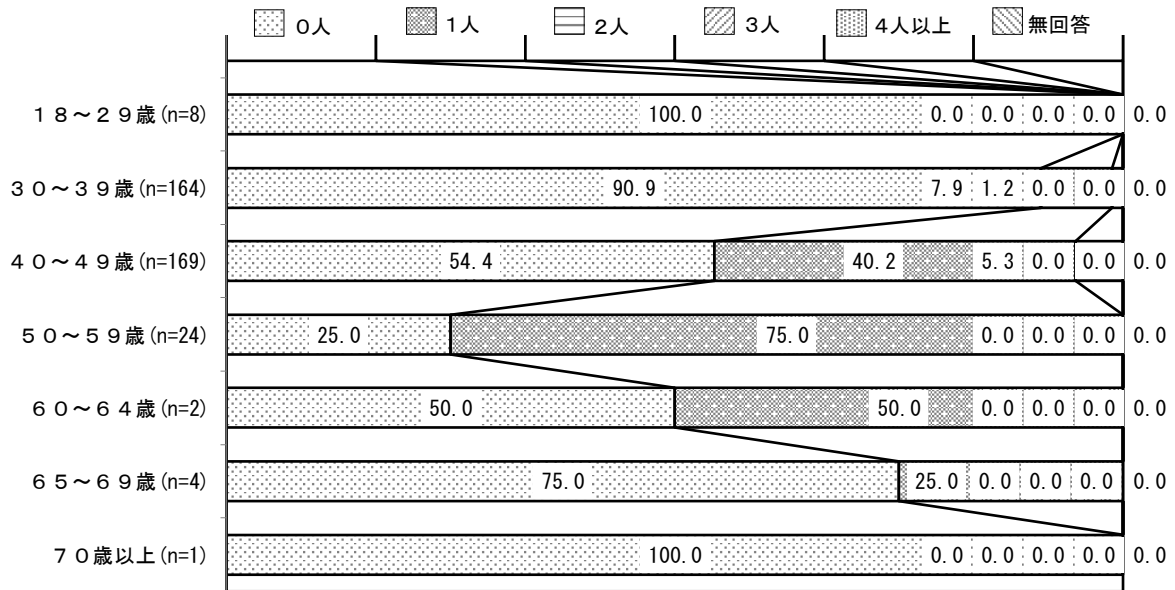
＜小学生の子ども＞

※グラフの見やすさのため、凡例を挿入



<中学生の子ども>

※グラフの見やすさのため、凡例を挿入

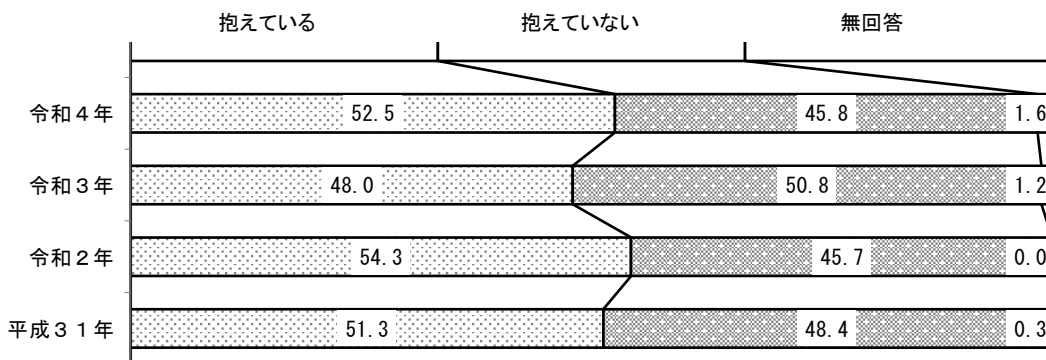


(2) 子育ての悩み (問12)

①悩みの有無

あなたは、子育てに関する悩みを抱えていますか。

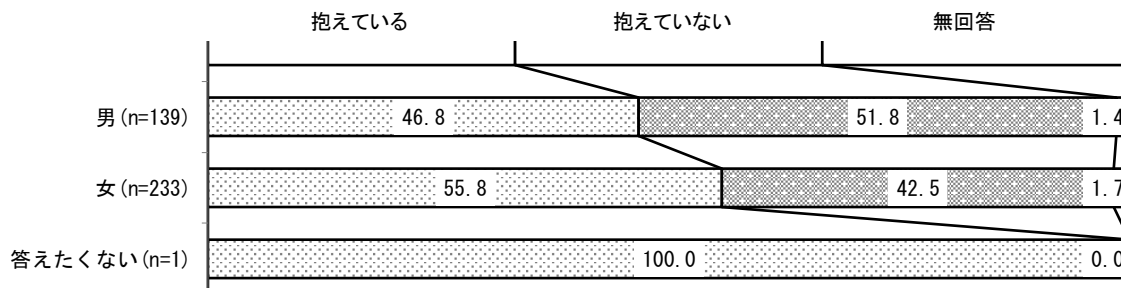
中学生以下の子どもがいる人で、子育ての悩みを「抱えている」人の割合は52.5%、「抱えていない」人の割合は45.8%となっている。
 昨年度と比較して、悩みを「抱えている」人の割合は4.5ポイント増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 抱えている	196	52.5	201	48.0	214	54.3	161	51.3
2 抱えていない	171	45.8	213	50.8	180	45.7	152	48.4
3 無回答	6	1.6	5	1.2	0	0.0	1	0.3
合計	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

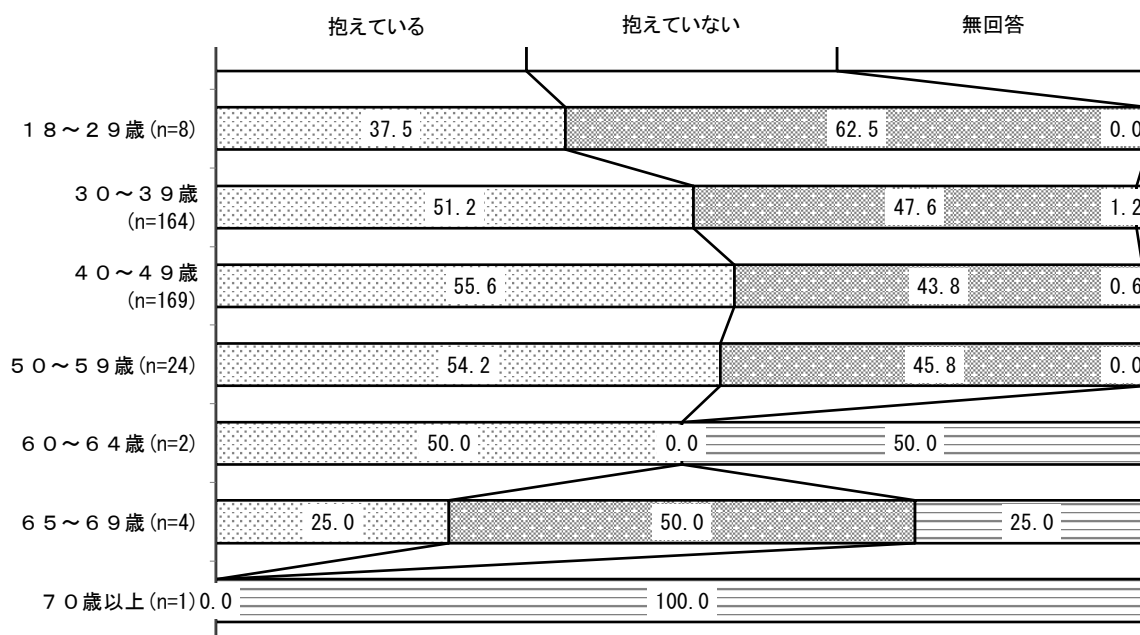
【性別】

●悩みを抱えている人の割合は男性46.8%、女性55.8%と女性が上回っている。



【年齢別】

- 中学生以下の子どもがいる割合の高い30代～50代では、悩みを抱えている人の割合が半数以上となっている。また、就学前の子どもがいる割合の高い20代以下では悩みを抱えている人の割合は30代～50代と比較すると低くなっている。
- 昨年度と比較して50代で悩みを抱えている割合が17.5ポイント増加している。

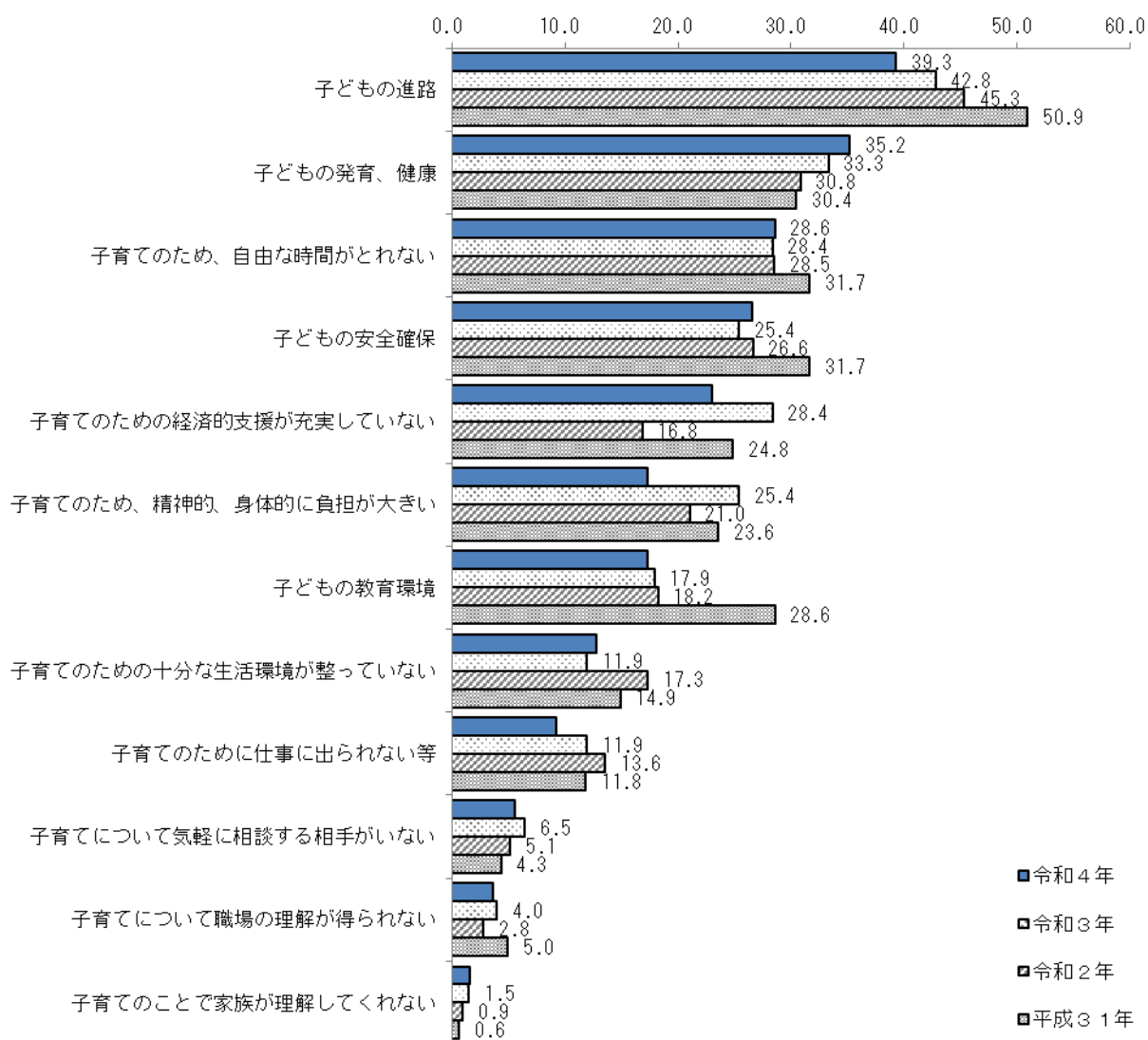


②具体的な悩み(問13)

問12で「1.抱えている」と答えた方にお尋ねします。

あなたが子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいることは何ですか。

子育ての悩みを抱えている196人の具体的な悩みとしては、「子どもの進路」が39.3%と最も多く、次いで「子どもの発育、健康」35.2%、「子育てのため、自由な時間がとれない」28.6%となっている。



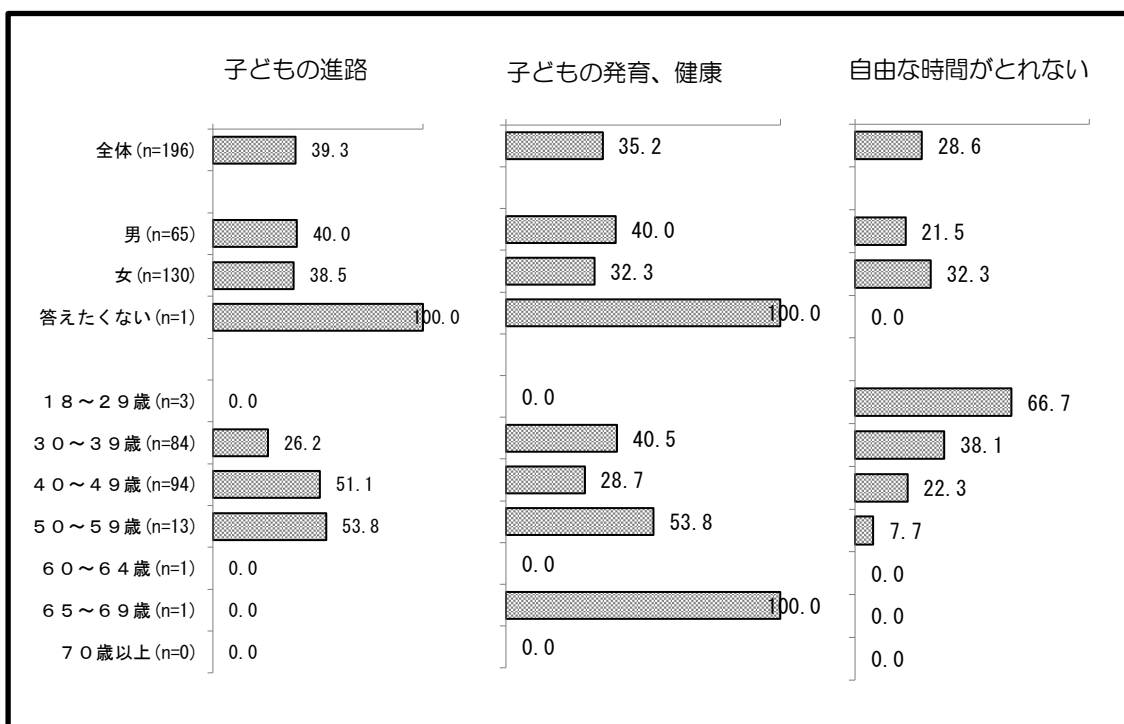
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=196		n=201		n=214		n=161	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 子育てのための経済的支援が充実していない	45	23.0	57	28.4	36	16.8	40	24.8
2 子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	34	17.3	51	25.4	45	21.0	38	23.6
3 子育てのため、自由な時間がとれない(趣味や学習活動、外出、遊興など)	56	28.6	57	28.4	61	28.5	51	31.7
4 子育てのため仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない	18	9.2	24	11.9	29	13.6	19	11.8
5 子育てのことで家族が理解してくれない	3	1.5	3	1.5	2	0.9	1	0.6
6 子育てのための十分な生活環境が整っていない(住居、遊び場、交通など)	25	12.8	24	11.9	37	17.3	24	14.9
7 子育てについて職場の理解が得られない	7	3.6	8	4.0	6	2.8	8	5.0
8 子育てについて気軽に相談する相手がない	11	5.6	13	6.5	11	5.1	7	4.3
9 子どもの進路(進学、就職など)	77	39.3	86	42.8	97	45.3	82	50.9
10 子どもの発育、健康	69	35.2	67	33.3	66	30.8	49	30.4
11 子どもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	52	26.5	51	25.4	57	26.6	51	31.7
12 子どもの教育環境(いじめ、非行など)	34	17.3	36	17.9	39	18.2	46	28.6

【性別】

- 男女ともに「子どもの進路」「子どもの発育、健康」が上位にあげられている。その他には、女性は「子育てのため自由な時間がとれない」「経済的支援が充実していない」、男性は「子どもの安全確保」への不安を感じている。
- 昨年度は男性よりも女性の、「子どもの発育、健康」に不安を抱いている割合が高かった。しかし今年度においては男性の割合の方が高くなっている。
- 女性の場合は、「精神的、身体的負担」「仕事に出られない等」といった子育てに伴う自身の負担をあげる割合が男性よりも高くなっている。

【年齢別】

- 年齢が低いほど、「経済的支援が充実していない」をあげる人の割合が高くなっている。
- 30代では、「子どもの発育、健康」「子育てのため自由な時間がとれない」「子どもの安全確保」が上位にあげられている他、「精神的・身体的不安」「経済的支援」もあげる人が多く、不安は多岐にわたっている。
- 40代では半数以上が「子どもの進路」をあげており、「子育てのための十分な生活環境が整っていない」「仕事に出られない等」も他の年代よりもあげる人の割合は高くなっている。
- 50代で悩みを抱えている人の割合は少ないものの、半数以上が「子どもの進路」「子どもの発育、健康」をあげている。



【子どもの年齢別】

- 就学前の子どもがいる人では、「子育てのため、自由な時間がとれない(趣味や学習活動、外出、遊興など)」が4割と最も多くなっているほか、「子どもの発育、健康」「子どもの安全確保」も3割を超えている。
- 小学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が4割を超えており、「子どもの発育、健康」も3割を超え、多くなっている。
- 中学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が7割を超えている。

就学前 (n=97)		小学生 (n=111)		中学生 (n=60)	
自由な時間がとれない	40.2	子どもの進路	40.5	子どもの進路	75.0
子どもの発育、健康	35.1	子どもの発育、健康	37.8	経済的支援が充実していない	30.0
子どもの安全確保	32.0	経済的支援が充実していない	25.2	子どもの発育、健康	26.7
精神的、身体的負担	22.7	自由な時間がとれない	23.4	自由な時間がとれない	18.3
経済的支援が充実していない	21.6	子どもの安全確保	22.5	子どもの安全確保	16.7
子どもの進路	19.6	子どもの教育環境	17.1	子どもの教育環境	16.7
子どもの教育環境	18.6	精神的、身体的負担	14.4	精神的、身体的負担	15.0
十分な生活環境が整っていない	11.3	十分な生活環境が整っていない	11.7	十分な生活環境が整っていない	11.7
仕事にでられない等	10.3	仕事にでられない等	10.8	仕事にでられない等	6.7
気軽に相談する相手がいらない	6.2	気軽に相談する相手がいらない	6.3	職場の理解	5.0
職場の理解	5.2	職場の理解	2.7	家族が理解してくれない	1.7
家族が理解してくれない	1.0	家族が理解してくれない	1.8	気軽に相談する相手がいらない	1.7

◆健康づくりについて

1. 自身の健康状態（問18）

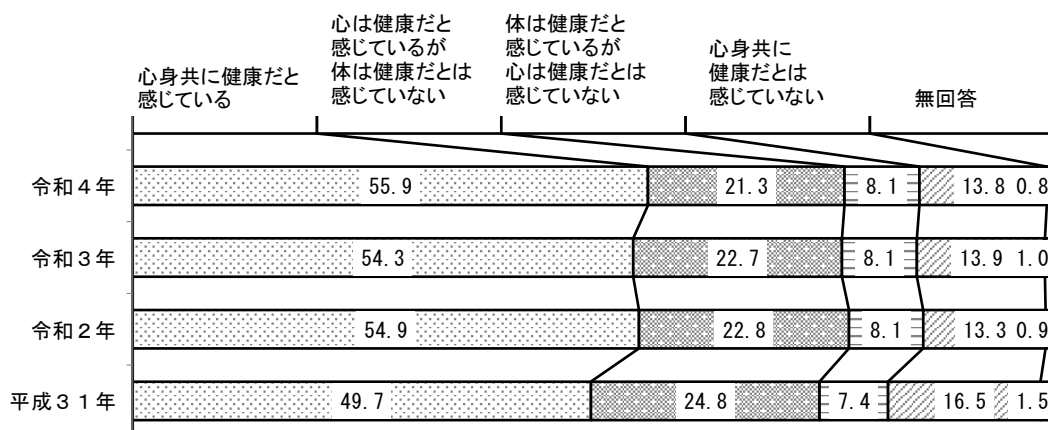
あなたは、心身共に健康だと感じていますか。

「心身共に健康だと感じている」人の割合は55.9%と半数を超え、「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は21.3%となっている。

体が健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」）の割合は全体の64.0%、心は健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「心は健康だと感じているが体は健康だとは感じていない」）の割合は全体の77.2%となっている。

「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は13.8%となっている。

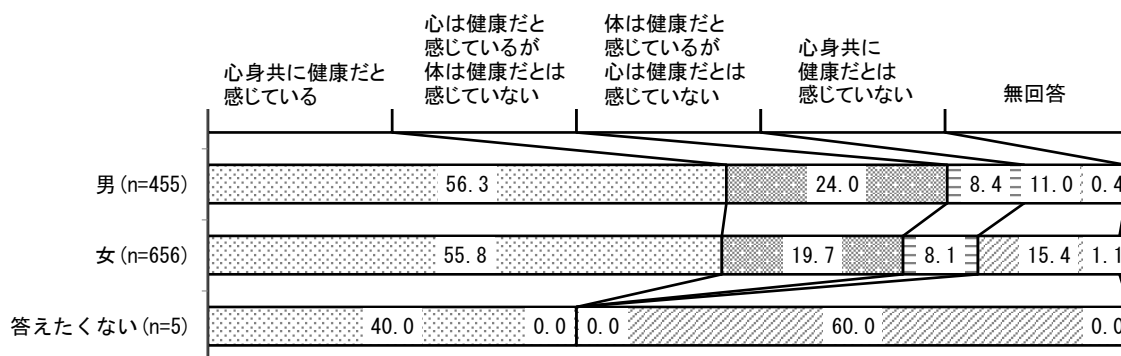
昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、心身共に健康だと感じている人の割合は、平成31年度以降微増している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 心身共に健康だと感じている	627	55.9	740	54.3	730	54.9	555	49.7
2 心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない	239	21.3	309	22.7	303	22.8	277	24.8
3 体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない	91	8.1	111	8.1	107	8.1	83	7.4
4 心身共に健康だとは感じていない	155	13.8	189	13.9	177	13.3	184	16.5
5 無回答	9	0.8	14	1.0	12	0.9	17	1.5
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

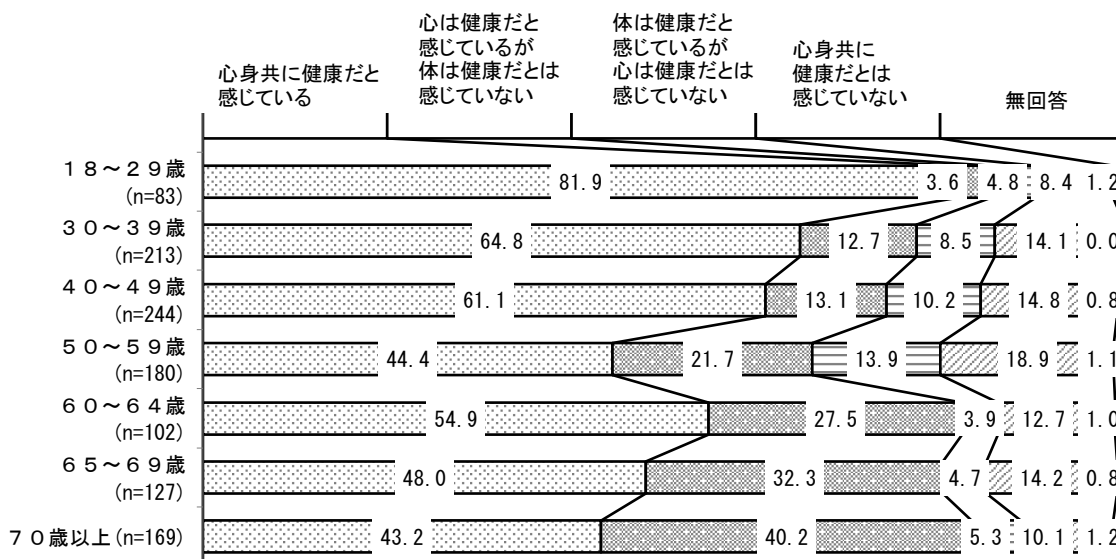
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていないが、「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は、男性が女性を上回っている。



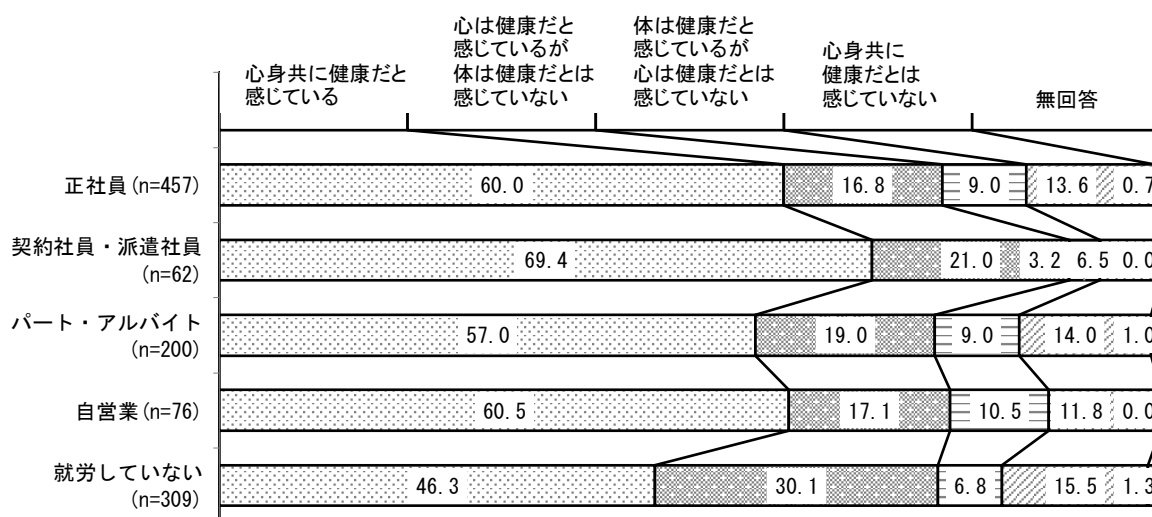
【年齢別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は年齢が若いほど高く、20代以下では約8割となっている。「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は年齢が上がるにつれて高くなっている。



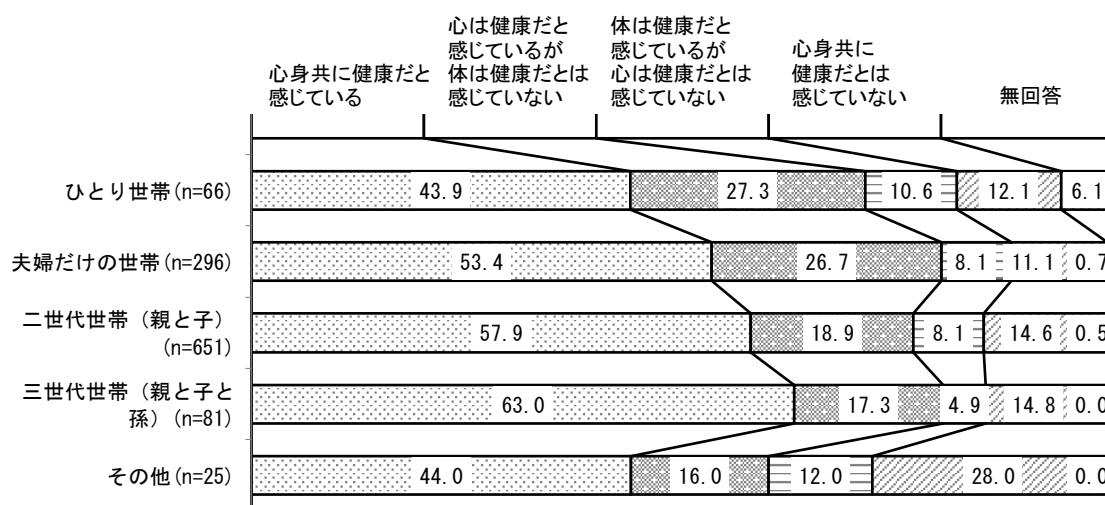
【職業別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は契約社員・派遣社員で 69.4%と最も高く、就労していない人では 46.3%と最も低くなっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、就労していない人で 15.5%と最も高くなっている。



【家族構成別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、二世帯、三世帯世帯において約6割となっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、ひとり世帯では 12.1%と、昨年と比較すると 11.2 ポイント低くなっている。



2. 健康づくりの取組みについて

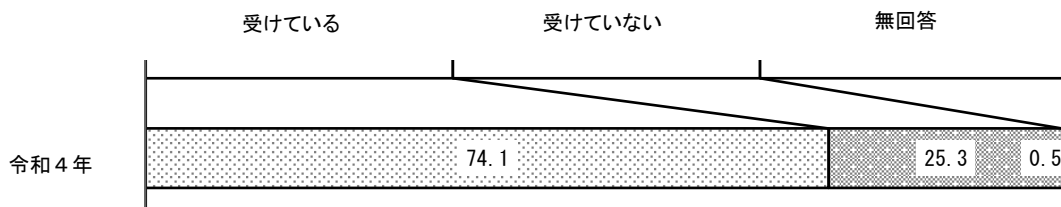
(1) 健康づくりへの取組み状況

①健診の受診(問19)

生活習慣病予防のための健診(生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック)を受けていますか。受けていない方は、その理由は何ですか。

生活習慣病予防のための健診(生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック)を受けている人の割合は全体の74.1%と7割を超え、受けていない人の割合は25.3%となっている。

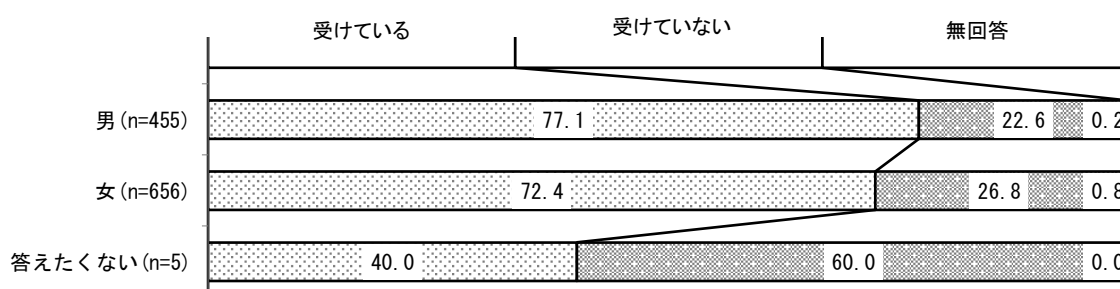
受けていない理由については、「医療機関を定期受診中」32.0%と最も高く、「時間が合わない」23.2%、「費用がかかる」13.4%となっている。



	令和4年度	
	人	%
1 受けている	831	74.1
2 受けていない	284	25.3
3 無回答	6	0.5
合計	1121	100.0

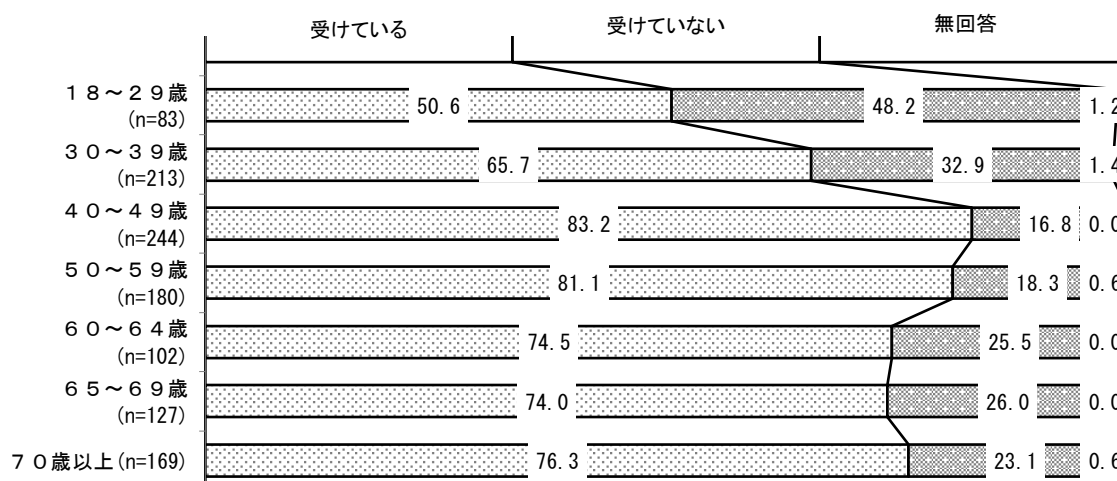
【性別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けている人の割合は、男性 77.1%、女性 72.4%となっており、男女ともに7割を超えている。

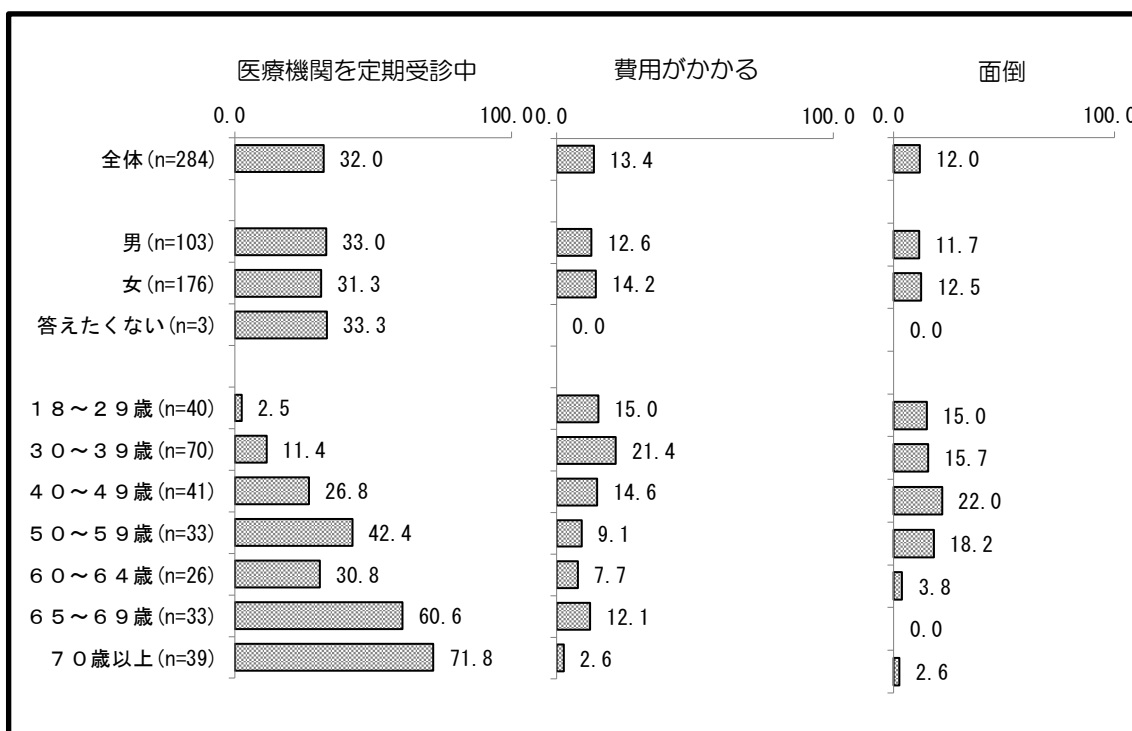
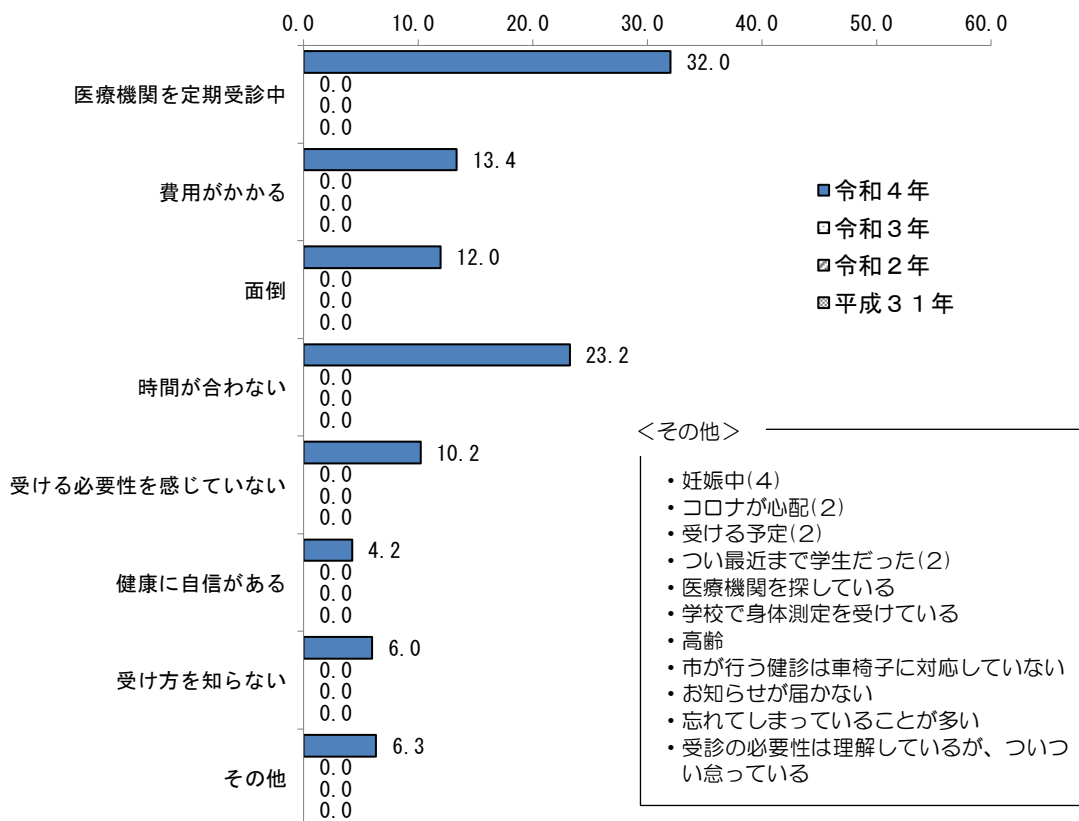


【年齢別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けている人の割合は、40代、50代では8割以上となっている。しかしながら、20代以下では約5割となっている。



【受けない理由】



	令和4年度	
	n=284	
	人	%
①医療機関を定期受診中	91	32.0
②費用がかかる	38	13.4
③面倒	34	12.0
④時間が合わない	66	23.2
⑤受ける必要性を感じていない	29	10.2
⑥健康に自信がある	12	4.2
⑦受け方を知らない	17	6.0
⑧その他	18	6.3

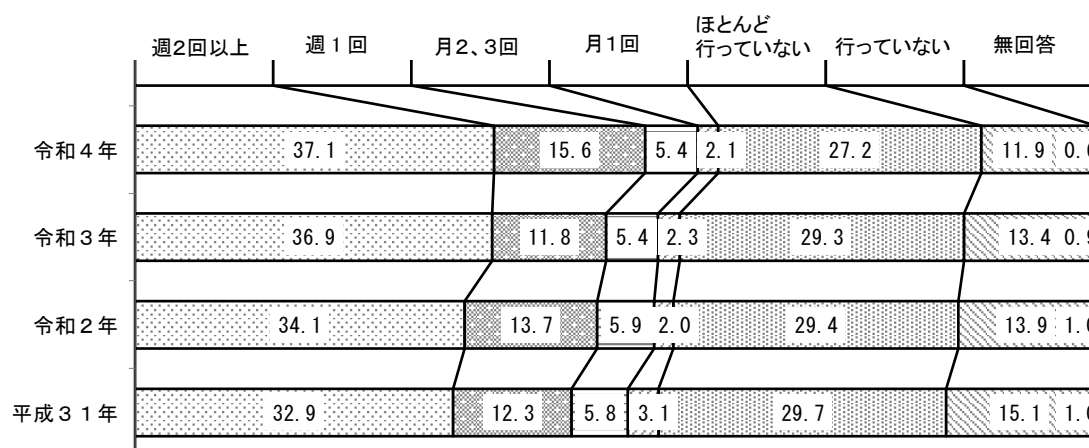
②健康づくりの取組み頻度(問20)

あなたは、日頃から、体を動かすことに取り組んでいますか。

日頃から体を動かすことに取り組んでいる人(月1回以上)の割合は全体の60.2%と6割を超え、取り組んでいない(「ほとんど行っていない」+「行っていない」)人の割合は39.1%となっている。

取り組んでいる場合の頻度では、「週2回以上」37.1%が最も多く、次いで「週1回」が15.6%となっている。

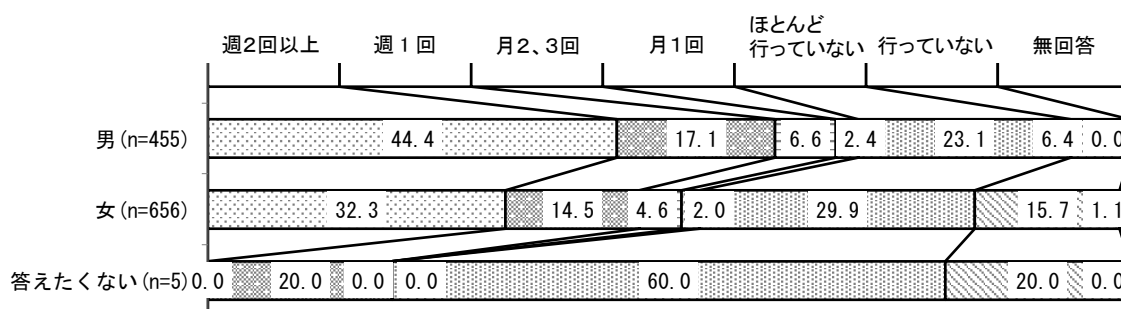
昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、平成31年以降増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	416	37.1	503	36.9	453	34.1	367	32.9
2 週に1回行っている	175	15.6	161	11.8	182	13.7	137	12.3
3 月に2、3回行っている	61	5.4	73	5.4	78	5.9	65	5.8
4 月に1回行っている	24	2.1	31	2.3	27	2.0	35	3.1
5 ほとんど行っていない	305	27.2	400	29.3	391	29.4	332	29.7
6 行っていない	133	11.9	183	13.4	185	13.9	169	15.1
7 無回答	7	0.6	12	0.9	13	1.0	11	1.0
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

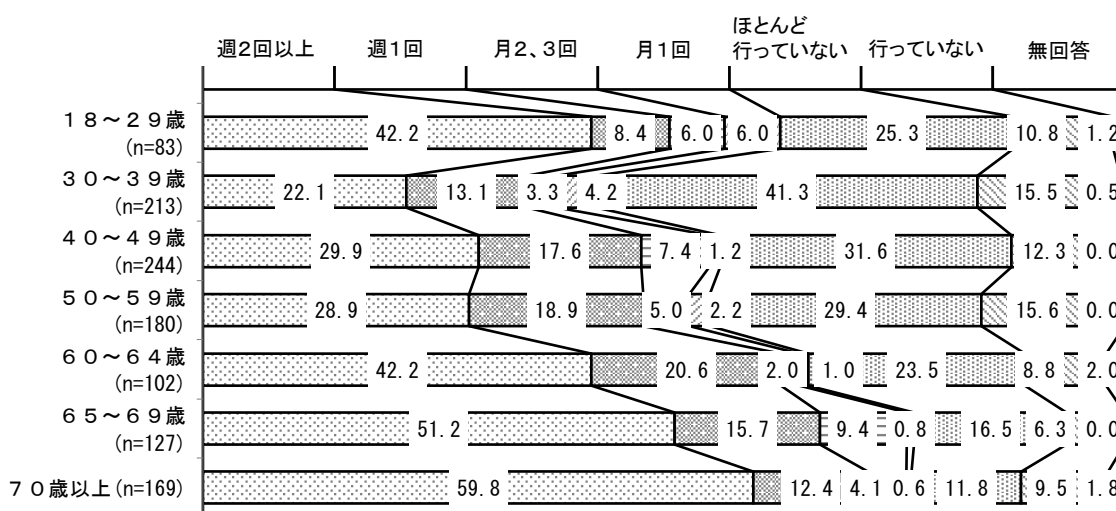
【性別】

- 日ごろから体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、男性 70.5%、女性 53.4%となっており、男性が女性を上回っている。特に男性は「週2回以上」が44.4%となっており、「週1回」17.1%と合わせると6割以上が高頻度で行っている。
- 一方、女性の場合はほぼ半数の45.6%が取り組んでいない。



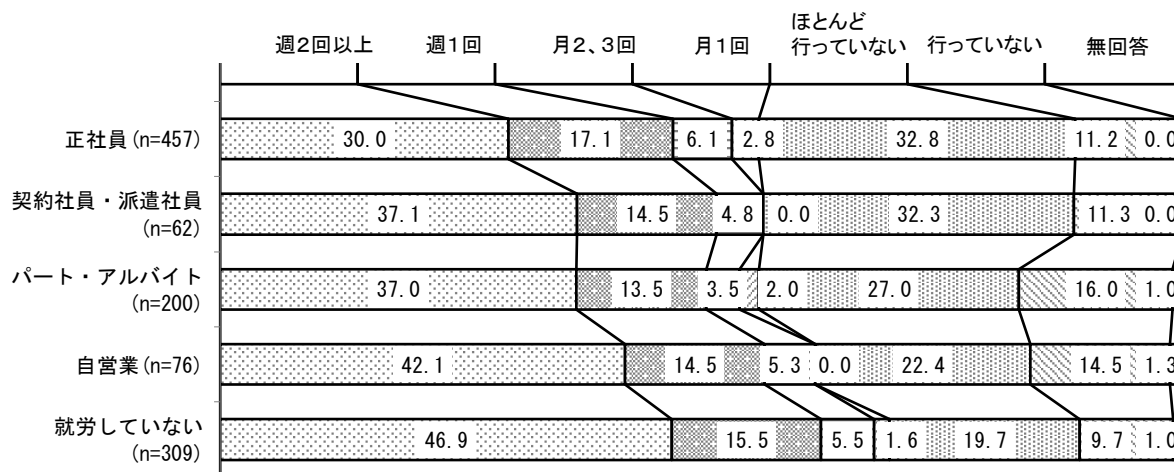
【年齢別】

- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、20代以下では約6割となっている。30代では42.7%、40代では56.1%となっており、その後は年齢とともに取り組む人の割合は増え、65歳以上では7割を超えている。特に65歳以上では半数以上が週2回以上となっている。



【職業別】

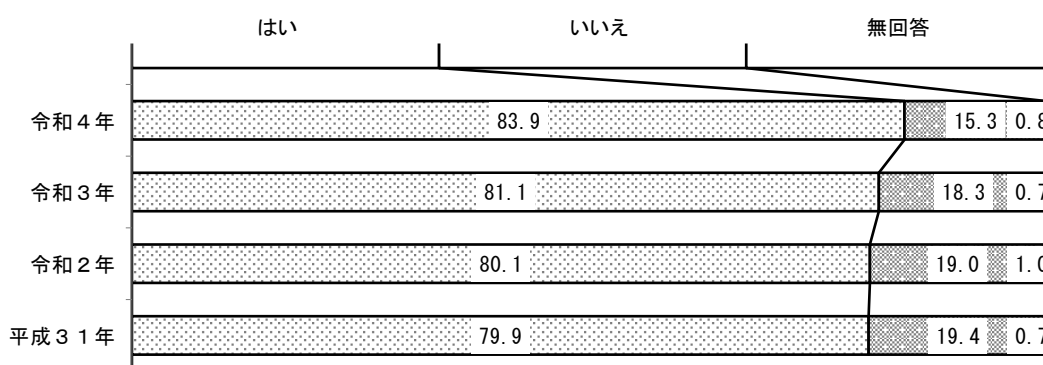
- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、正社員では56.0%、就労していない人では69.6%となっており、自営業61.8%、パート・アルバイト56.0%においても半数を超えている。
- 就労していない人においては半数近くの人が週2回以上行っている。



(2) ストレス解消法 (問 2 1)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

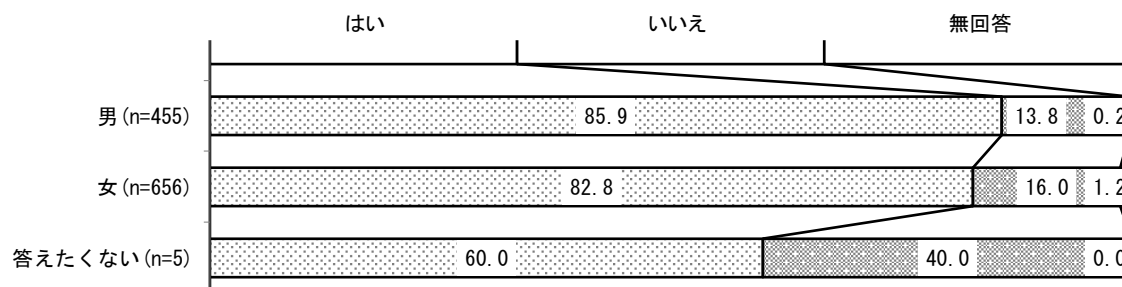
ストレス解消法を持っている人の割合は、83.9%となっている。
昨年度と比較するとやや増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	940	83.9	1105	81.1	1064	80.1	892	79.9
2 いいえ	172	15.3	249	18.3	252	19.0	216	19.4
3 無回答	9	0.8	9	0.7	13	1.0	8	0.7
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

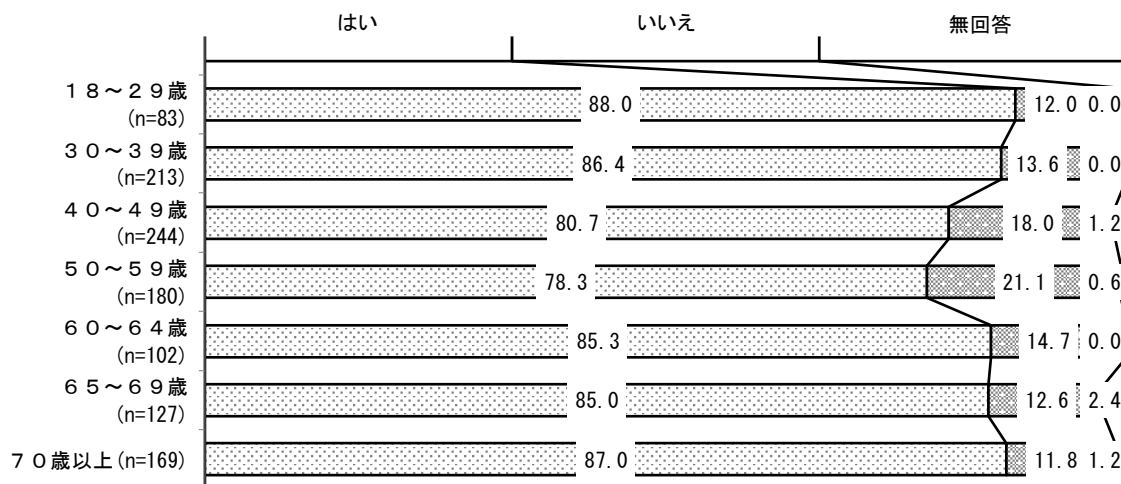
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



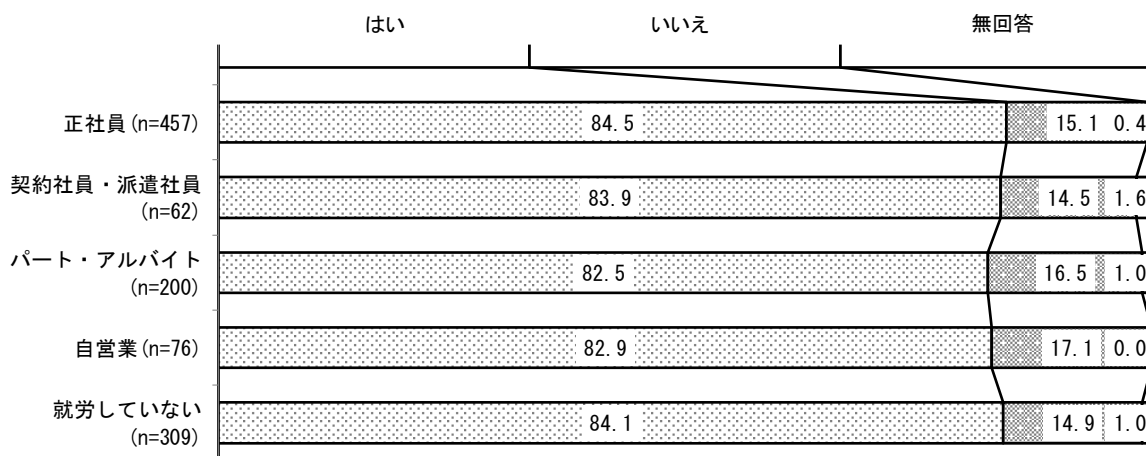
【年齢別】

●ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての年代で8割前後となっている。



【職業別】

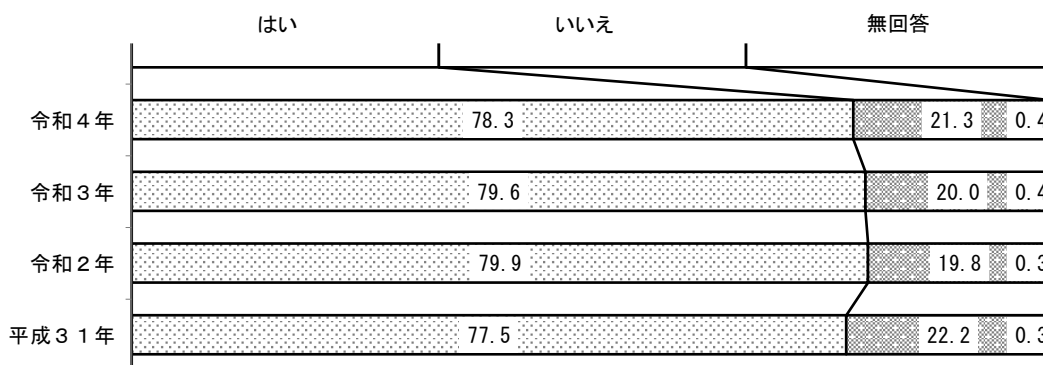
●ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての職業で8割以上となっている。



(3) 規則正しい食生活 (問22)

食事は1日3回(朝・昼・晩)規則正しく食べていますか。

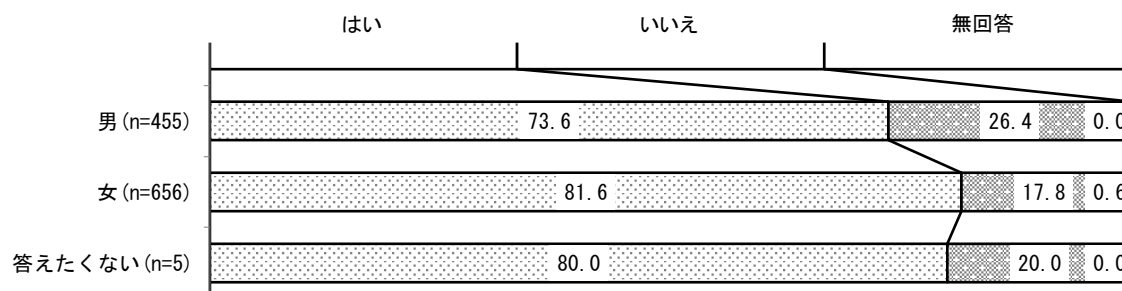
規則正しく食事をとっている人の割合は78.3%、規則正しく食事をとっていない人の割合は21.3%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	878	78.3	1085	79.6	1062	79.9	865	77.5
2 いいえ	239	21.3	273	20.0	263	19.8	248	22.2
3 無回答	4	0.4	5	0.4	4	0.3	3	0.3
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

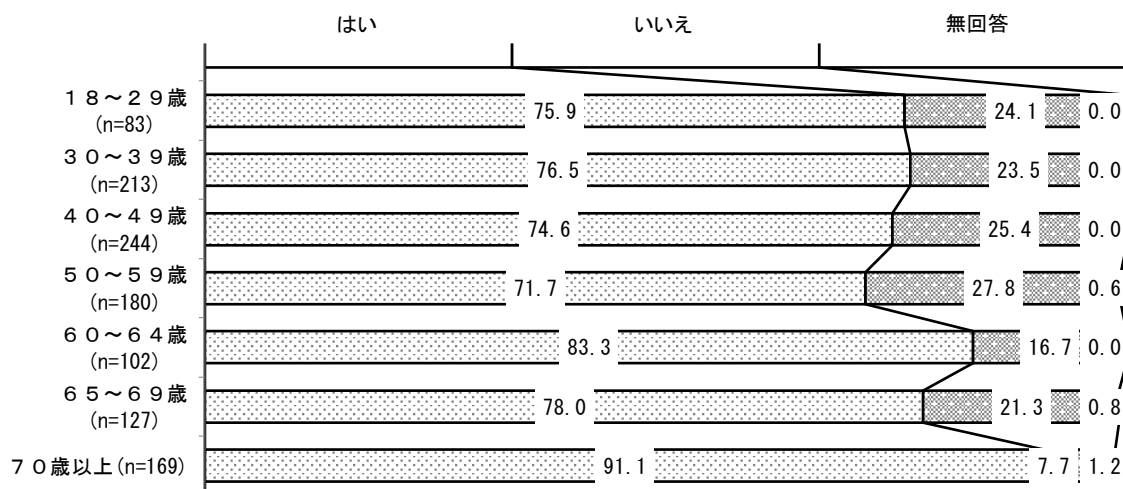
【性別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、男性73.6%、女性81.6%となっており、女性が男性を上回っている。男性では4人に1人が規則正しく食事をとっていない。



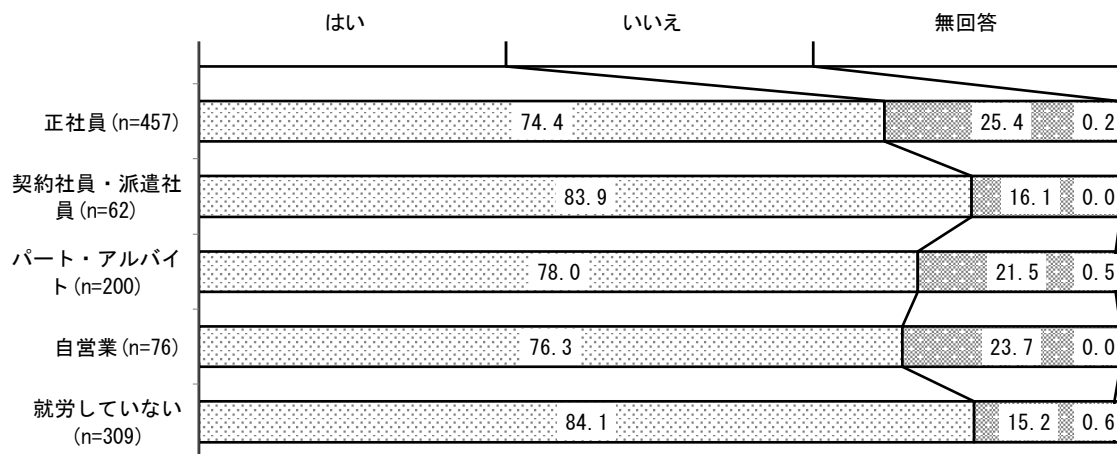
【年齢別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、すべての年代で7割以上となっている。特に70歳以上の高齢者では9割以上と高くなっている。



【職業別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、正社員では他の職業に比べてやや低く、約4分の1が規則正しく食事をとっていない。

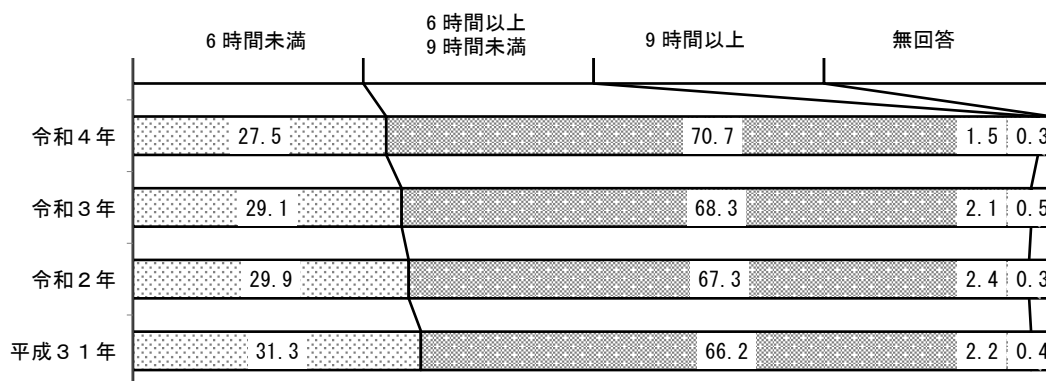


(4) 睡眠時間(問23)

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

1日の睡眠時間は、6時間以上9時間未満の人の割合が70.7%と最も高くなっている。

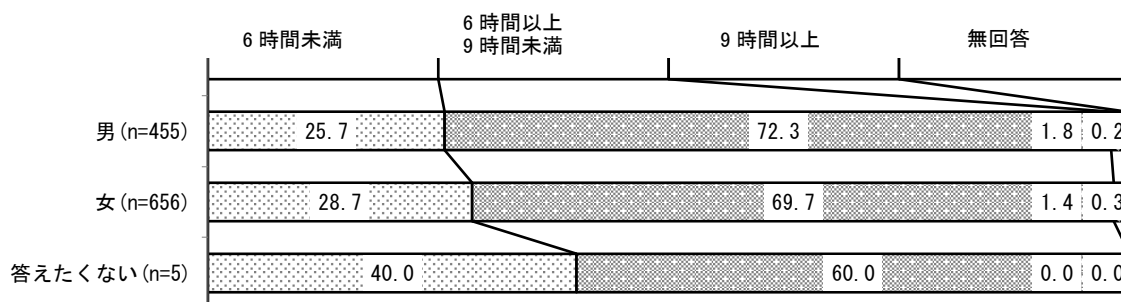
昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、睡眠時間が6時間以上9時間未満の人の割合は、平成31年以降微増している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	308	27.5	397	29.1	398	29.9	349	31.3
2 6時間以上9時間未満	793	70.7	931	68.3	895	67.3	739	66.2
3 9時間以上	17	1.5	28	2.1	32	2.4	24	2.2
4 無回答	3	0.3	7	0.5	4	0.3	4	0.4
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

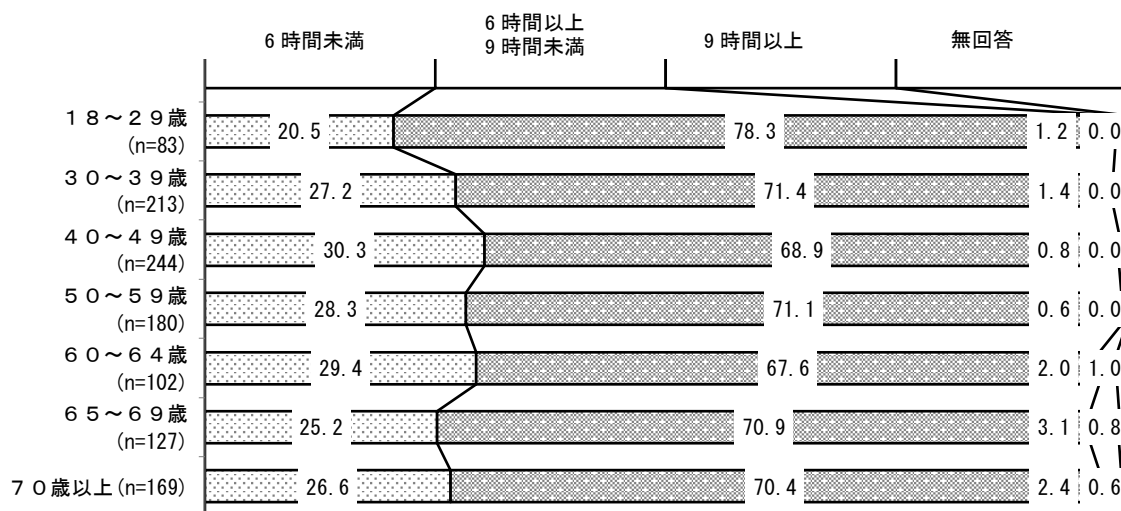
【性別】

● 1日の睡眠時間は、男女で大きな違いはみられていない。



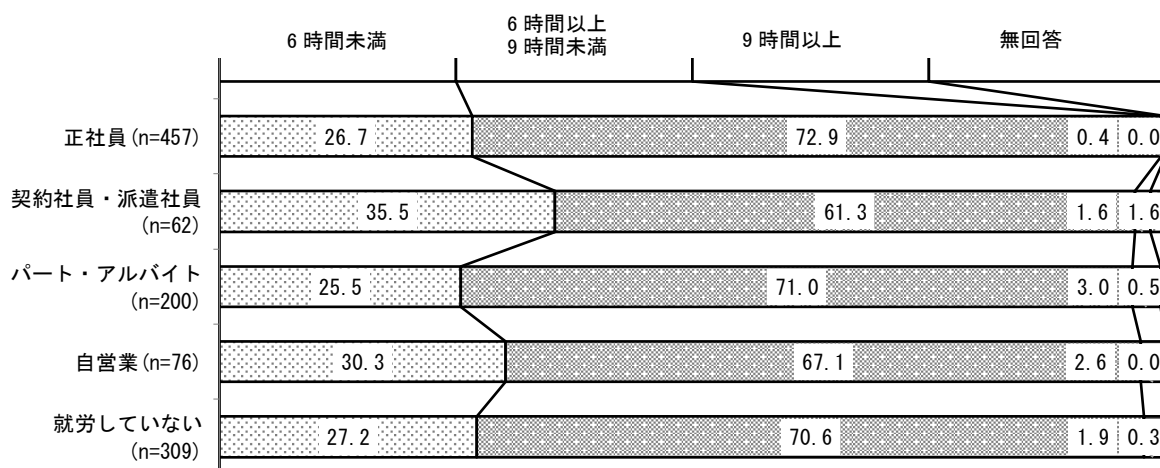
【年齢別】

- 生産年齢人口の中でも40代～60代では睡眠時間が短くなっており、6時間未満の人の割合は約3割となっている。



【職業別】

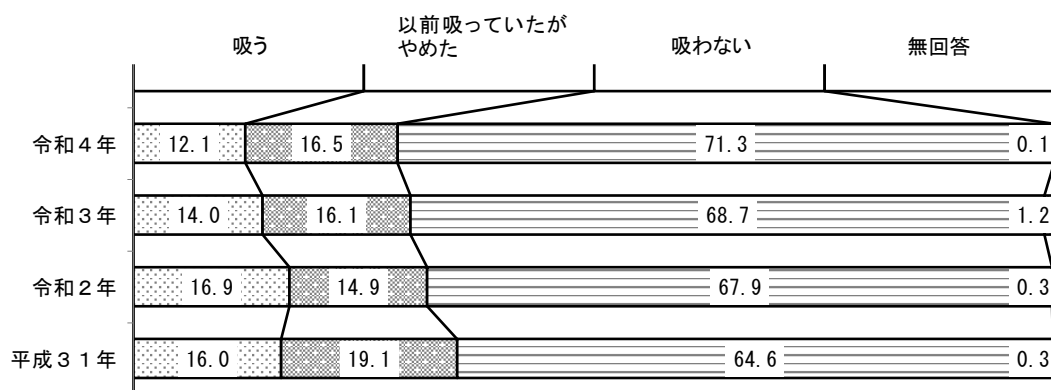
- 睡眠時間6時間未満の人の割合が、契約社員・派遣社員では35.5%と最も高く、他の職業に比べて睡眠時間が短くなっている。



(5) 喫煙 (問 2 4)

タバコを吸いますか。(電子タバコを含む)

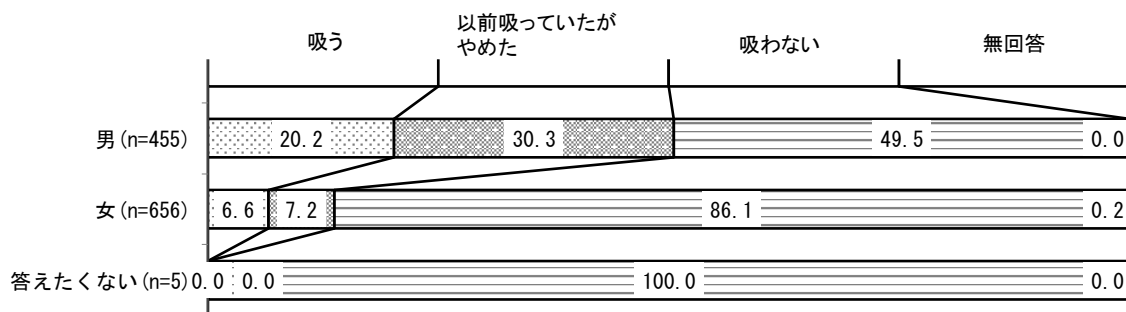
タバコを吸わない人が71.3%と最も多く、以前吸っていたがやめた人の16.5%と合わせると非喫煙者が8割以上を占めており、喫煙者は12.1%となっている。昨年度と比較して、喫煙者の割合は1.9ポイント減少している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 吸う	136	12.1	191	14.0	225	16.9	179	16.0
2 以前吸っていたがやめた	185	16.5	219	16.1	198	14.9	213	19.1
3 吸わない	799	71.3	937	68.7	902	67.9	721	64.6
4 無回答	1	0.1	16	1.2	4	0.3	3	0.3
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

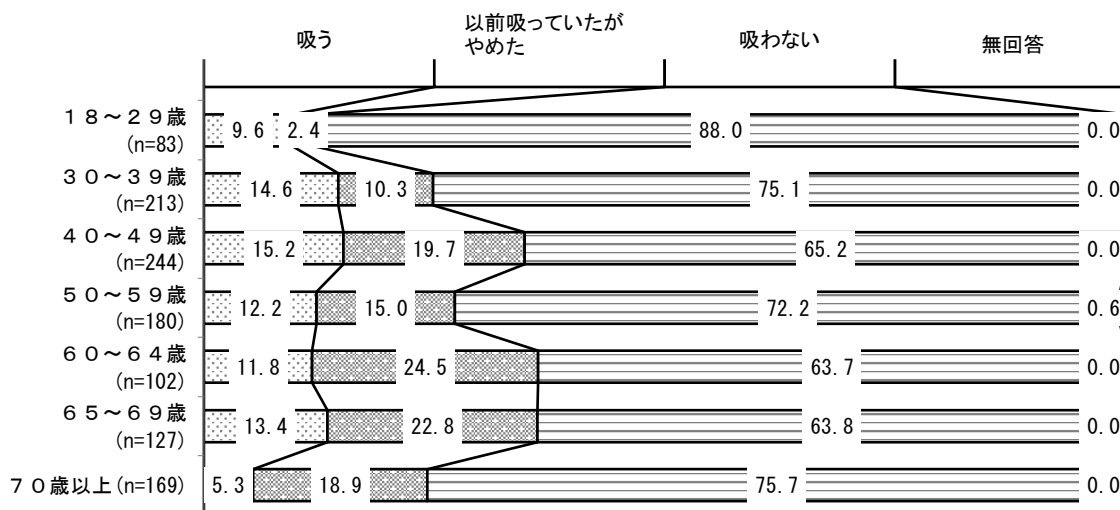
【性別】

- 喫煙者の割合は、男性が20.2%、女性が6.6%と男性が女性を上回っている。
- 男性では約3割が、以前吸っていたがやめたとしている。



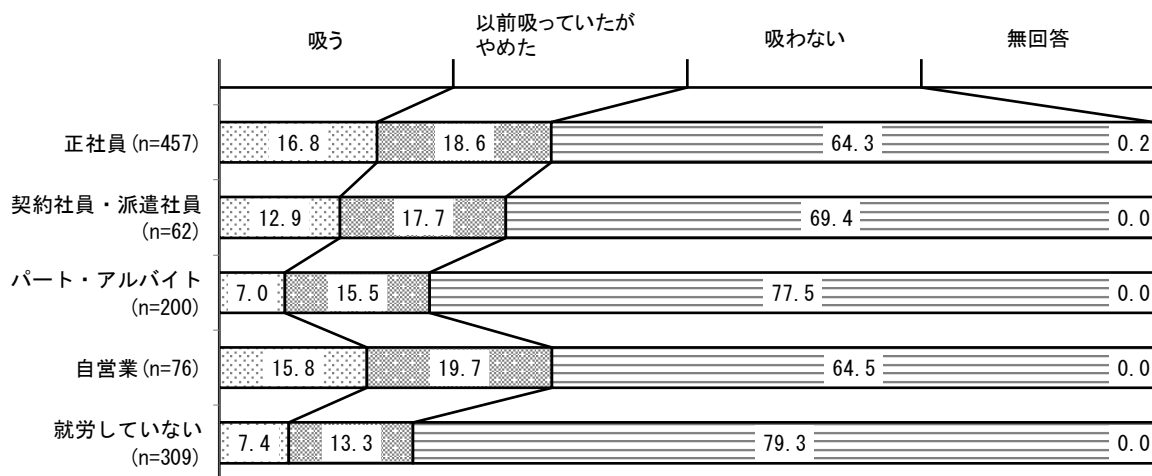
【年齢別】

- 喫煙者の割合は、すべての年代で1割前後となっている。
- 65代では2割以上が以前吸っていたがやめたとしている。



【職業別】

- 喫煙者の割合は、正社員、自営業では約2割となっており、他の職業と比較して高くなっている。

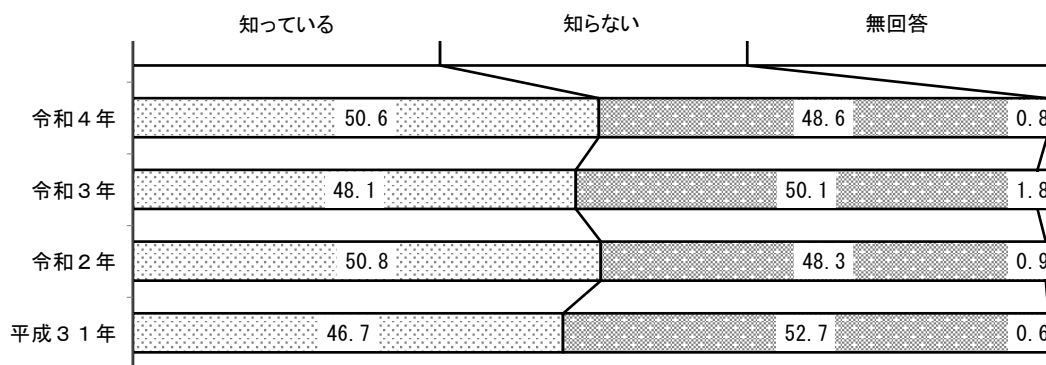


3. 健康知識について

(1) 飲酒量(問25)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか

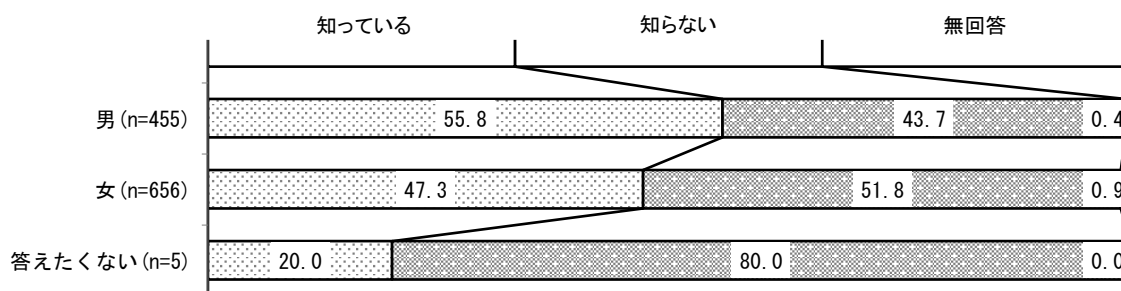
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は50.6%となっており、ほぼ半数を占めている。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	567	50.6	655	48.1	675	50.8	521	46.7
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	545	48.6	683	50.1	642	48.3	588	52.7
3 無回答	9	0.8	25	1.8	12	0.9	7	0.6
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

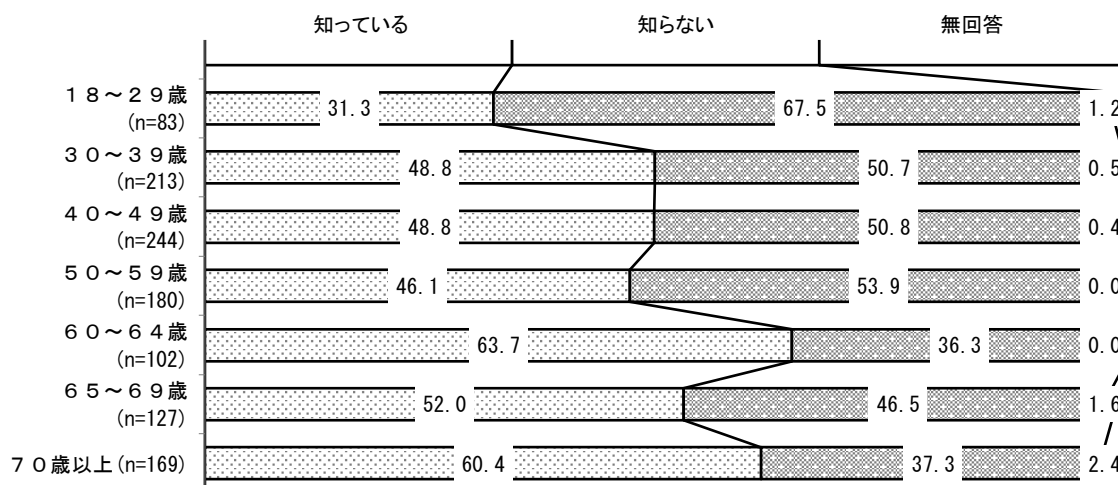
【性別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知っている人の割合は、男性 55.8%、女性 47.3%と男性が女性を上回っている。



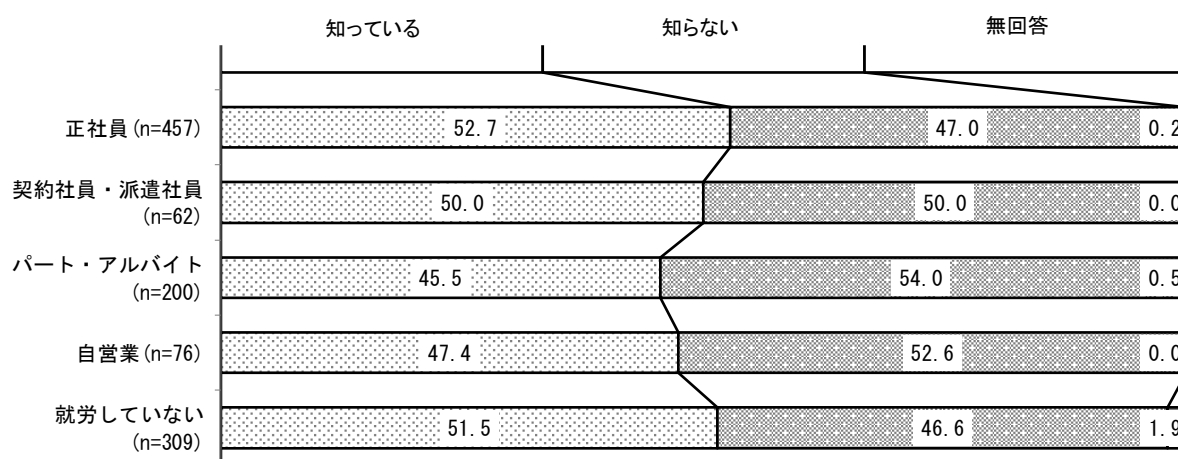
【年齢別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知らない人の割合は20代以下で約7割となっている。



【職業別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量に知っている人の割合は、正社員が52.7%と最も高くなっている。



4. 生涯学習等について

(1) 生きがいを持った生活（問27）

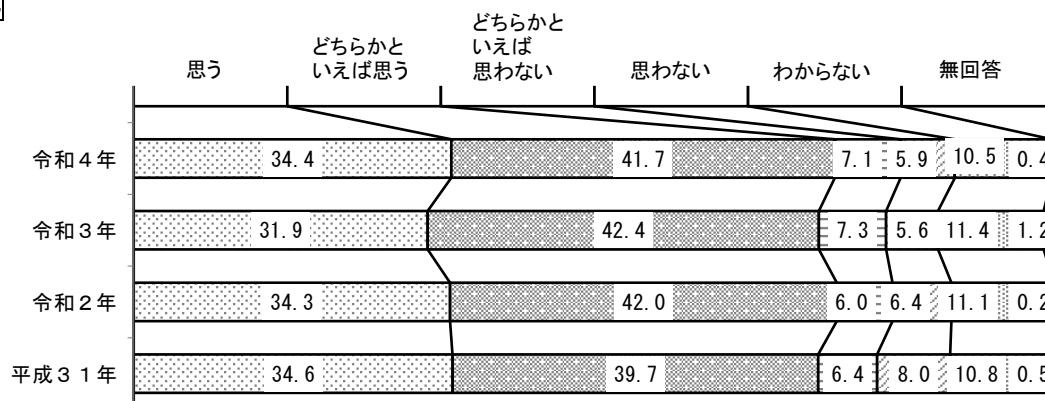
あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

生きがいを持って生活していると思う人（「思う」＋「どちらかといえば思う」）の割合は76.1%と7割以上を占めている。思わない人（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）は13.0%、「わからない」は10.5%となっている。

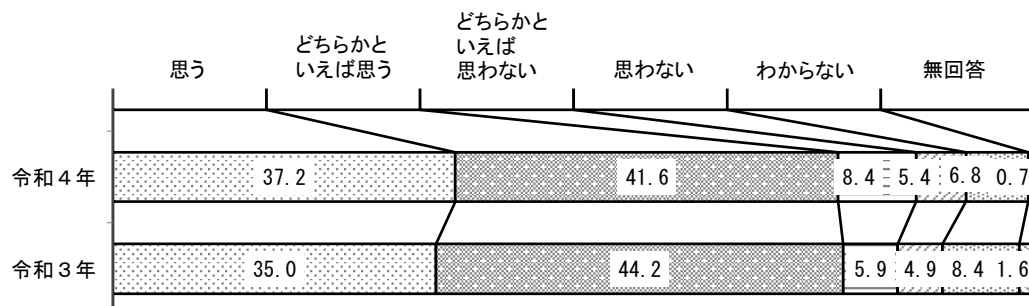
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

なお、65歳以上のみで集計した場合も、全世代の集計結果と大きな違いはみられていない。

全世代

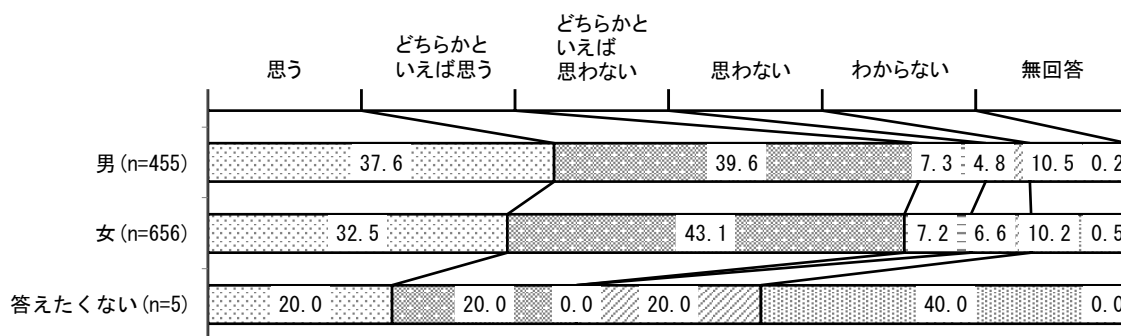


65歳以上



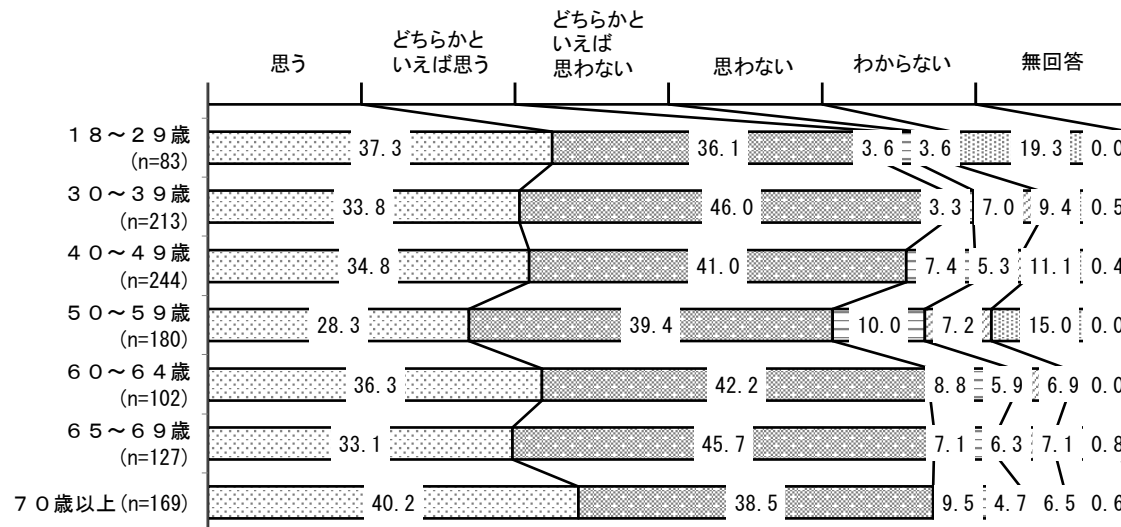
【性別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、いずれの年代でも6~7割前後となっている。

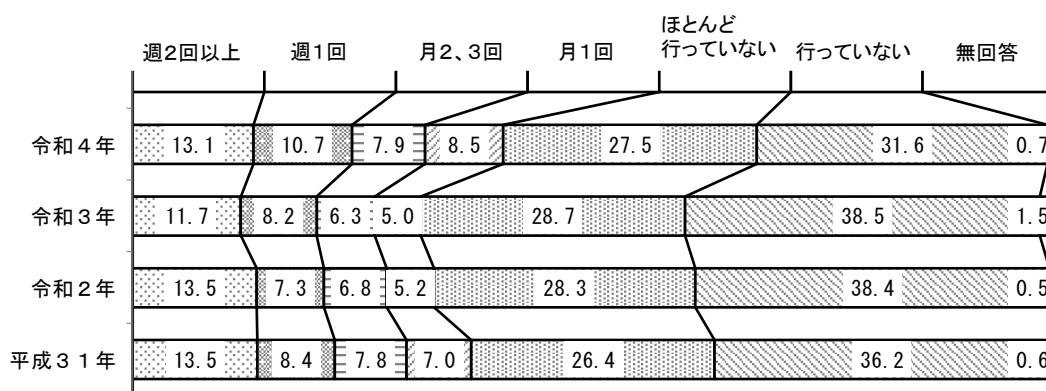


(2) 生涯学習について

①生涯学習の実施（問28）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

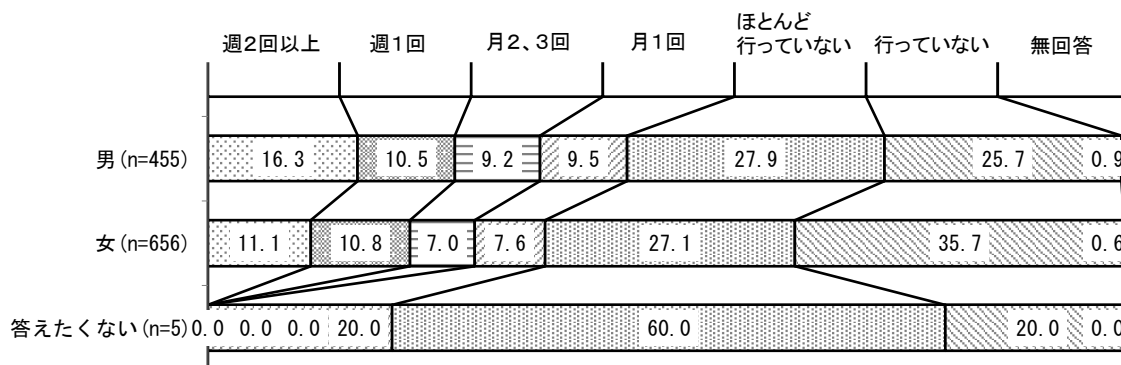
生涯学習を行っている人（月1回以上）の割合は40.2%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は59.1%となっている。
 なお、行っている頻度では、「週2回以上」が13.1%で最も高くなっている。
 昨年度と比較すると、行っている人の割合は9ポイント増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	147	13.1	160	11.7	179	13.5	151	13.5
2 週1回行っている	120	10.7	112	8.2	97	7.3	94	8.4
3 月2、3回行っている	89	7.9	86	6.3	90	6.8	87	7.8
4 月1回行っている	95	8.5	68	5.0	69	5.2	78	7.0
5 ほとんど行っていない	308	27.5	391	28.7	376	28.3	295	26.4
6 行っていない	354	31.6	525	38.5	511	38.4	404	36.2
7 無回答	8	0.7	21	1.5	7	0.5	7	0.6
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

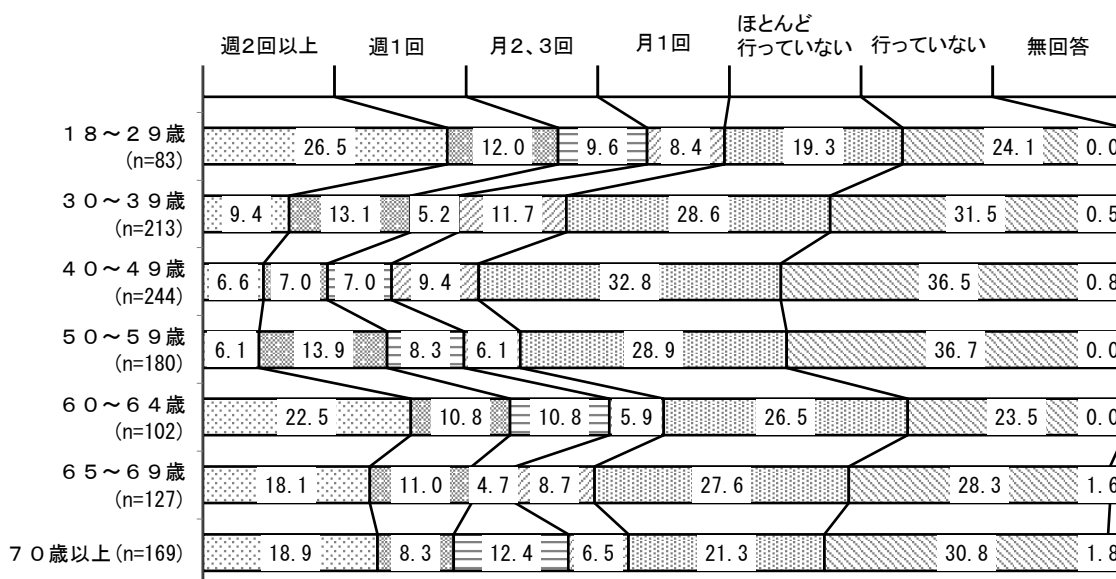
【性別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、男性 45.5%、女性 36.6%と男性が女性より上回っている。



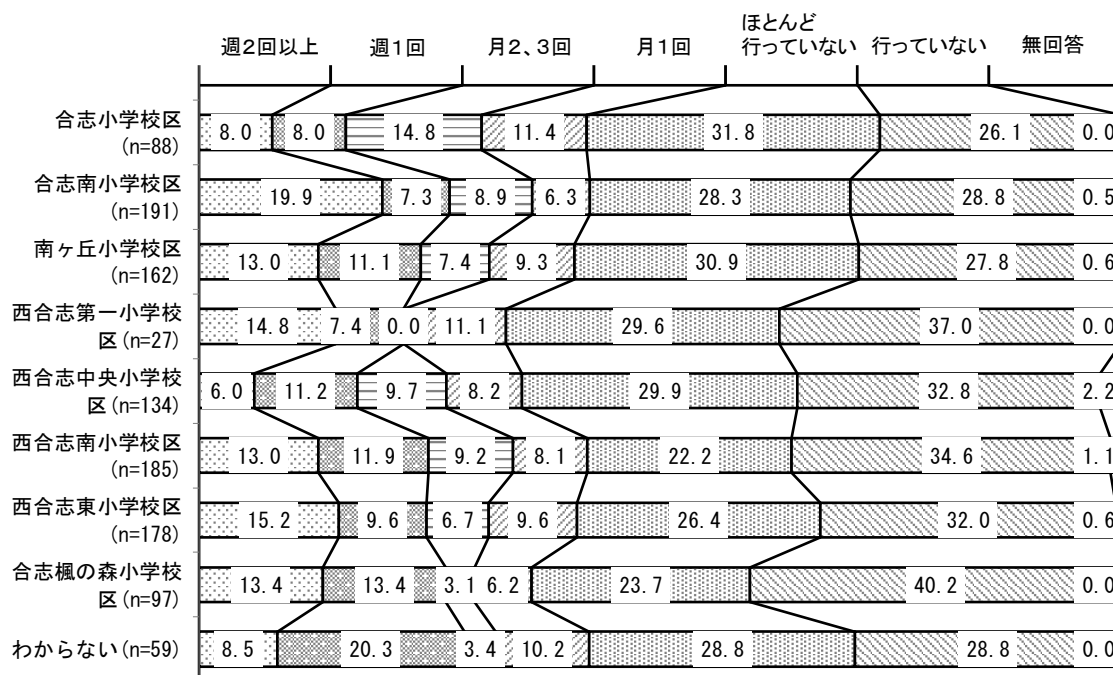
【年齢別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、40代で29.9%、50代で34.4%と他の年代に比べてやや低くなっている。また、20代以下で、生涯学習を行っている人の割合は半数以上となっているが、30代で急激に減少し、その後年代が上がるにしたがって増えている。



【校區別】

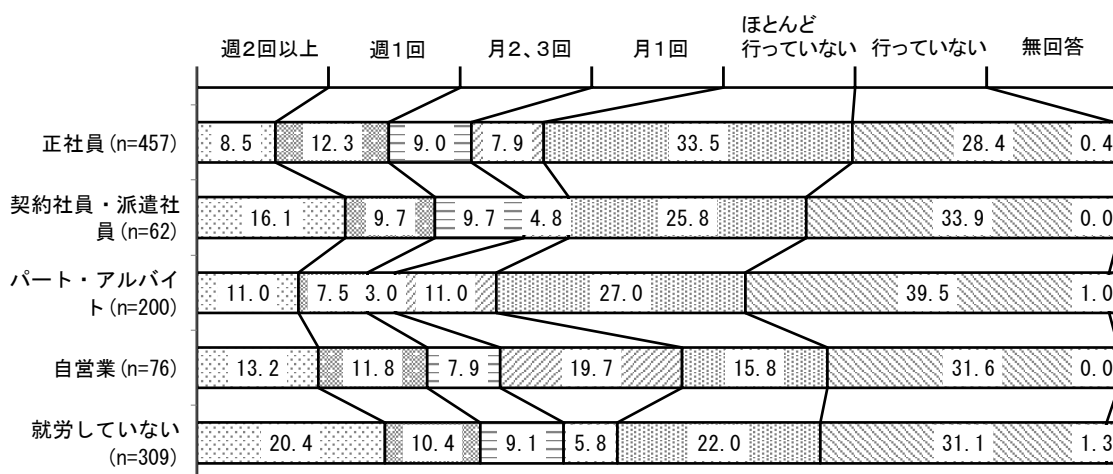
- 生涯学習を行っている人の割合は、西合志第一小で33.3%、西合志中央小35.1%であり、他校区より若干低い。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、契約社員・派遣社員と就労していない場合で4割を超えている。
- 正社員とパート・アルバイトでは約6割が行っていない。

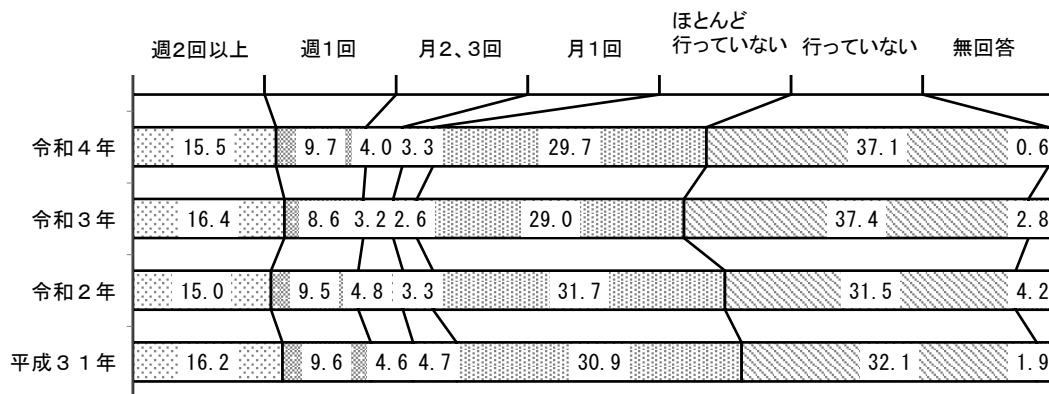


(3) スポーツについて

①スポーツの実施（問29）

あなたは、スポーツをどのくらい行っていますか。

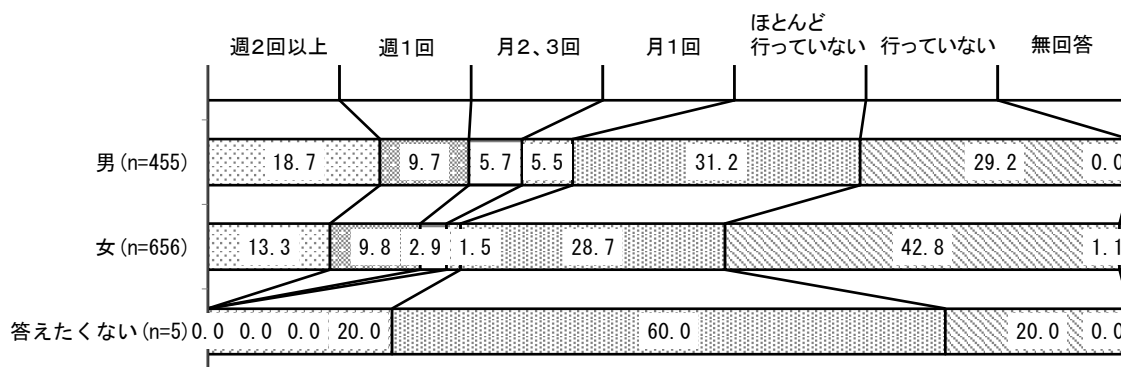
スポーツを行っている人（月1回以上）の割合は32.6%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は66.8%となっている。
 なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」が15.5%と最も高くなっている。
 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	174	15.5	224	16.4	199	15.0	181	16.2
2 週1回行っている	109	9.7	117	8.6	126	9.5	107	9.6
3 月2、3回行っている	45	4.0	44	3.2	64	4.8	51	4.6
4 月1回行っている	37	3.3	35	2.6	44	3.3	53	4.7
5 ほとんど行っていない	333	29.7	395	29.0	421	31.7	345	30.9
6 行っていない	416	37.1	510	37.4	419	31.5	358	32.1
7 無回答	7	0.6	38	2.8	56	4.2	21	1.9
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

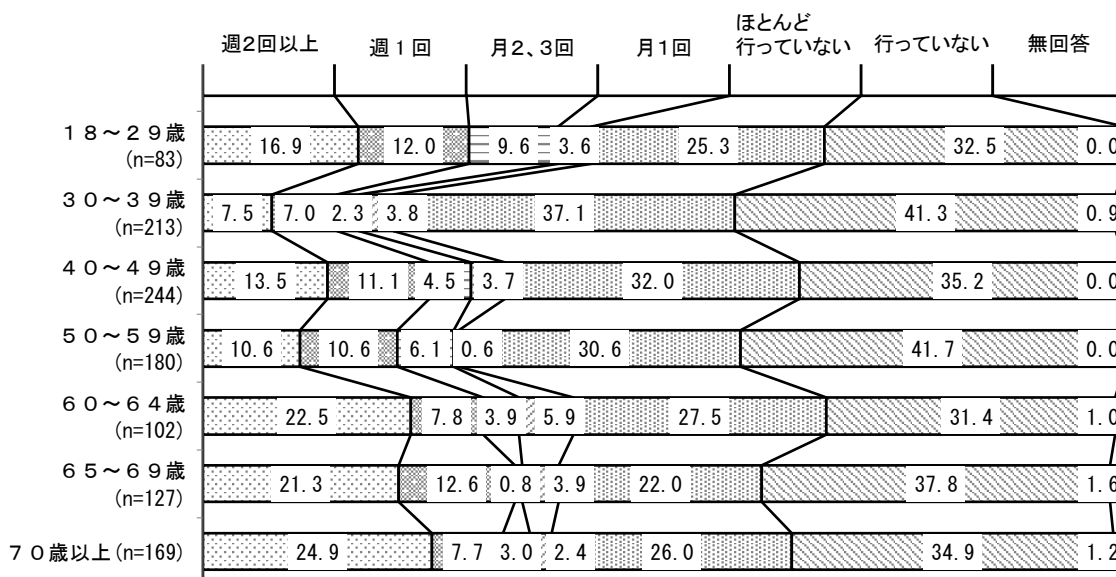
【性別】

- スポーツを行っている人の割合は、男性 39.6%、女性 27.4%と男性が上回っている。特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が 18.7%となっている。
- 昨年度と比較してスポーツを行っている人の割合は、男性でわずかに減少しているが、女性では約 4 ポイント増加している。



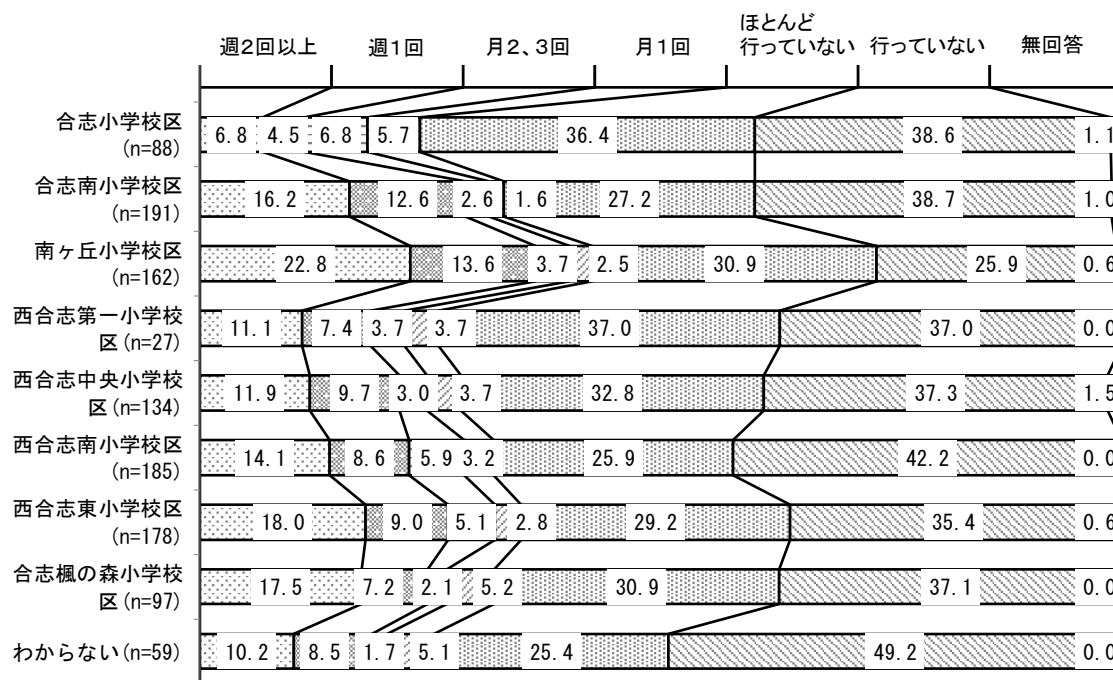
【年齢別】

- スポーツを行っている割合は、20代以下では 42.2%と高くなっているが、30代で 20.7%に減少、その後は年齢とともに増加となり、70歳以上では 37.9%となっている。
- 30代~50代では約 7 割がスポーツを行っていない状況となっている。



【校區別】

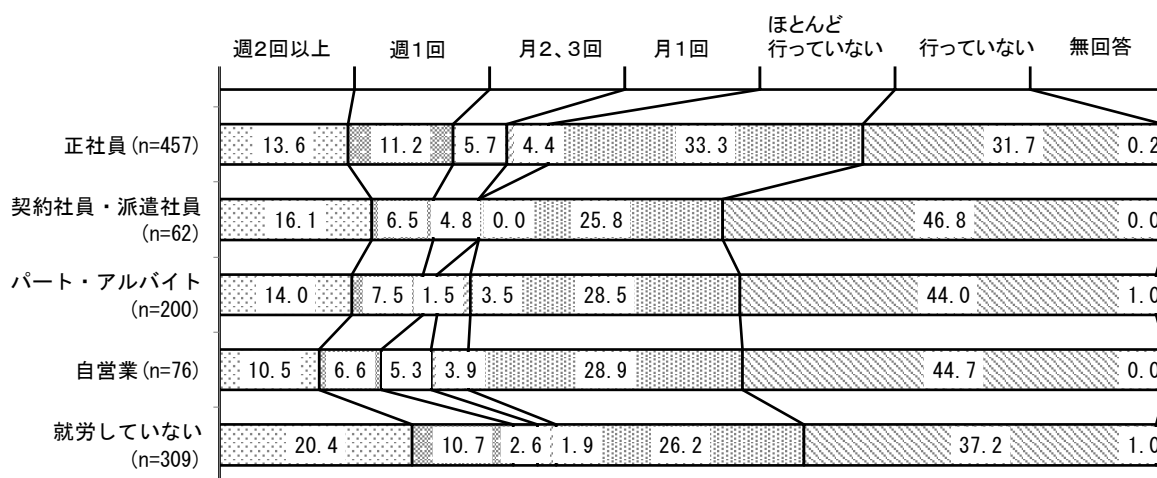
- スポーツを行っている割合は、南ヶ丘小が42.6%、西合志東小が34.8%と他の校区に比べて高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

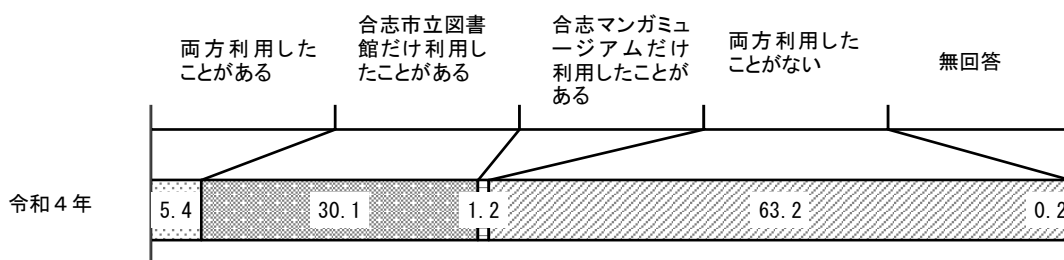
- スポーツを行っている割合は、パート・アルバイト、自営業では3割未満と他の職業に比べて低くなっている。



(4) 図書館の利用(問30)

あなたは、過去1年間で合志市立図書館と合志マンガミュージアムを利用したことがありますか？

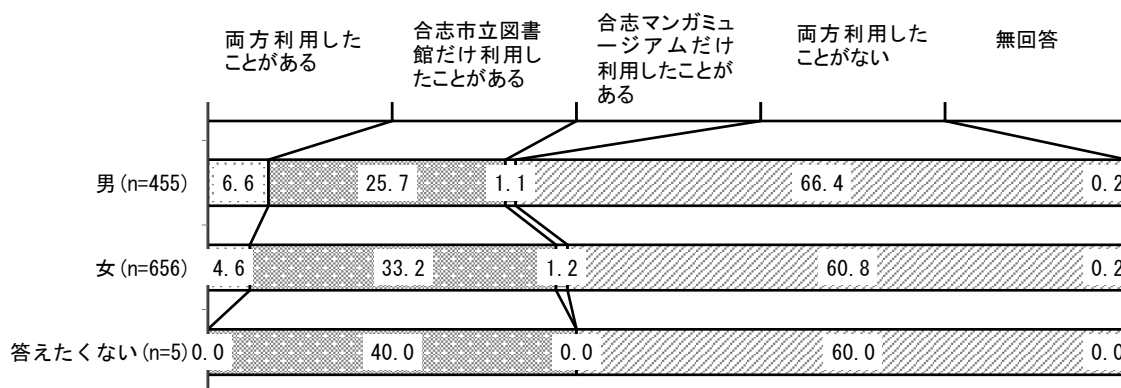
過去1年間に図書館とマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は36.7%となっている。両方利用したことがない人は63.2%となっている。



	令和4年度	
	人	%
1 両方利用したことがある	61	5.4
2 図書館だけ利用したことがある	337	30.1
3 マンガミュージアムだけ利用したことがある	13	1.2
4 両方利用したことがない	708	63.2
5 無回答	2	0.2
合計	1121	100.0

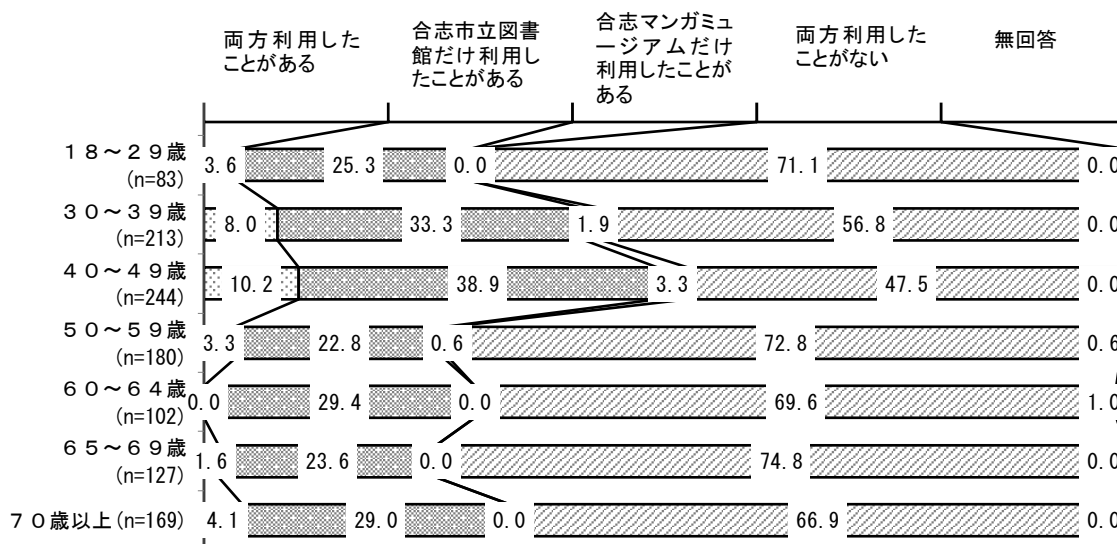
【性別】

●過去1年間に図書館とマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、男性が33.4%、女性が39.0%と女性が男性を上回っている。



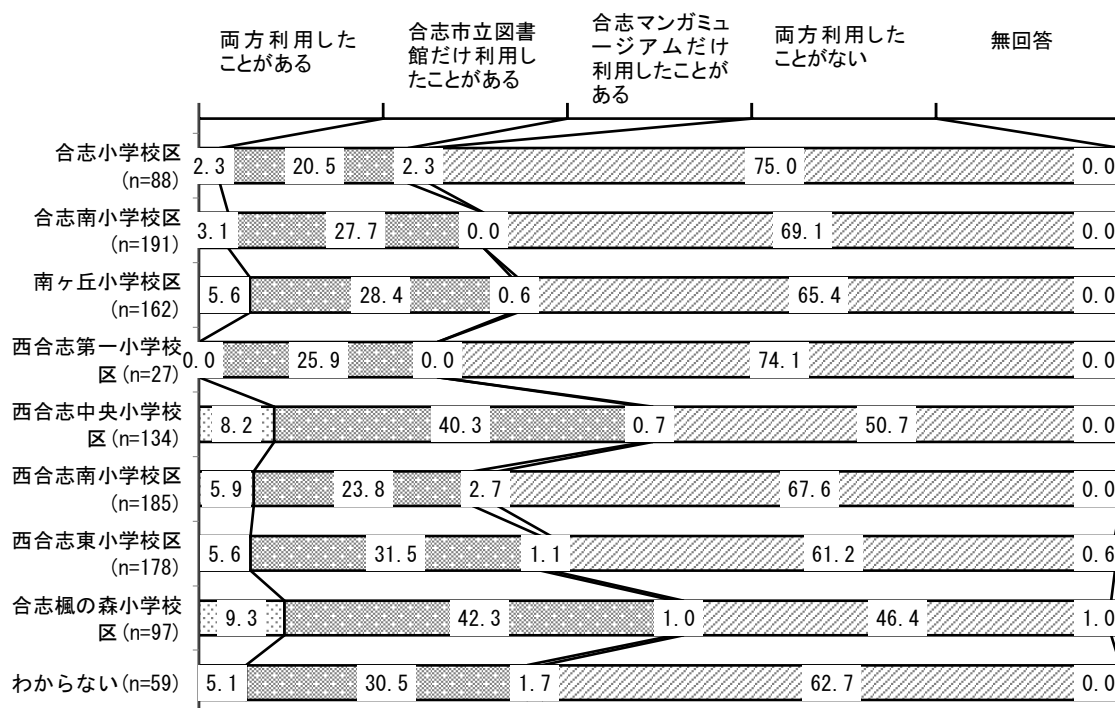
【年齢別】

- 過去1年間に図書館とマンガミュージアムを利用したことのある人の割合は、30代で43.2%、40代で52.5%となっており、他の年代と比べて高くなっている。



【校区别】

- 過去1年間に図書館とマンガミュージアムを利用したことのある人の割合は、西合志中央小、合志楓の森小で約5割と他の小学校区と比べ高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

◆生活環境について

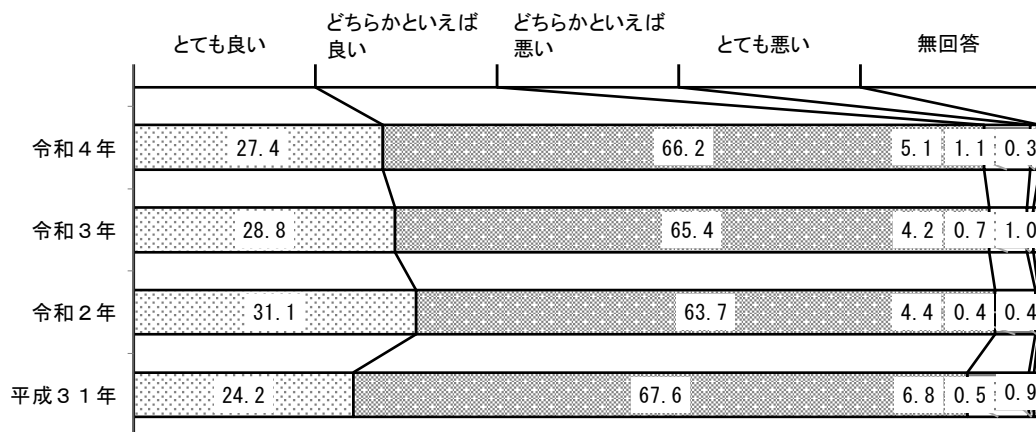
1. 住環境の評価

(1) 住環境評価（問46）

あなたの住んでいるところは、良い住環境だと思いますか？

住環境について、良い（「とても良い」＋「どちらかといえば良い」）とする人の割合は93.6%となっており、悪い（「とても悪い」＋「どちらかといえば悪い」）とする人の割合は6.2%となっている。

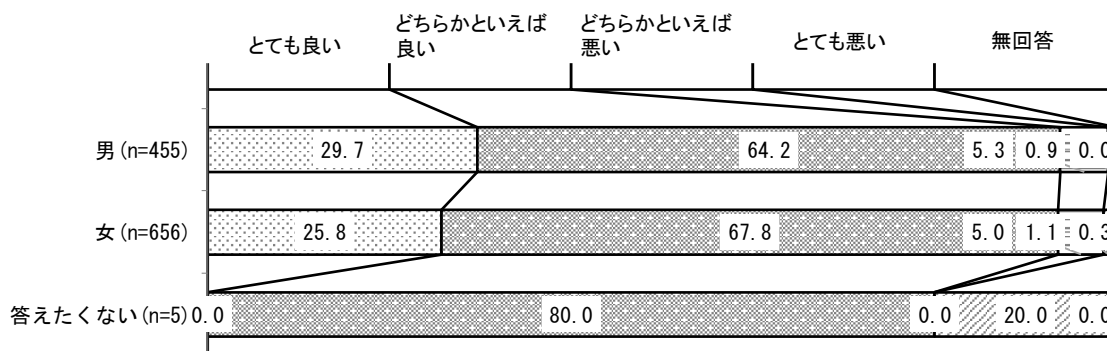
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても良いと思う	307	27.4	392	28.8	413	31.1	270	24.2
2 どちらかといえば良いと思う	742	66.2	891	65.4	847	63.7	754	67.6
3 どちらかといえば悪いと思う	57	5.1	57	4.2	59	4.4	76	6.8
4 とても悪いと思う	12	1.1	10	0.7	5	0.4	6	0.5
5 無回答	3	0.3	13	1.0	5	0.4	10	0.9
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

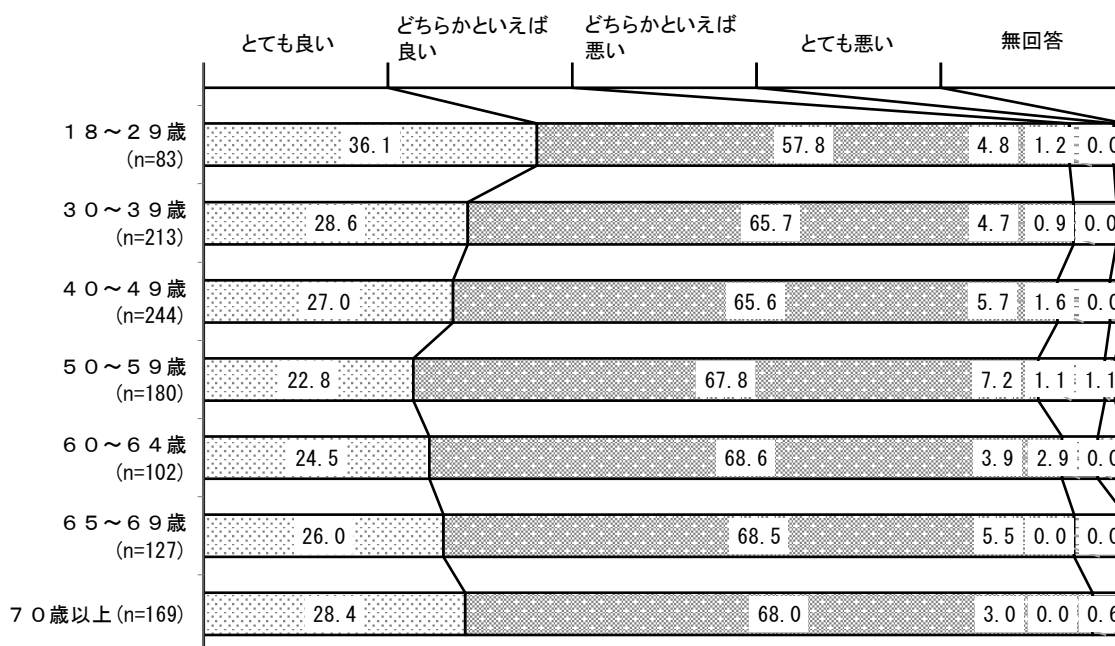
【性別】

- 住環境について、男女で大きな違いはみられていない。



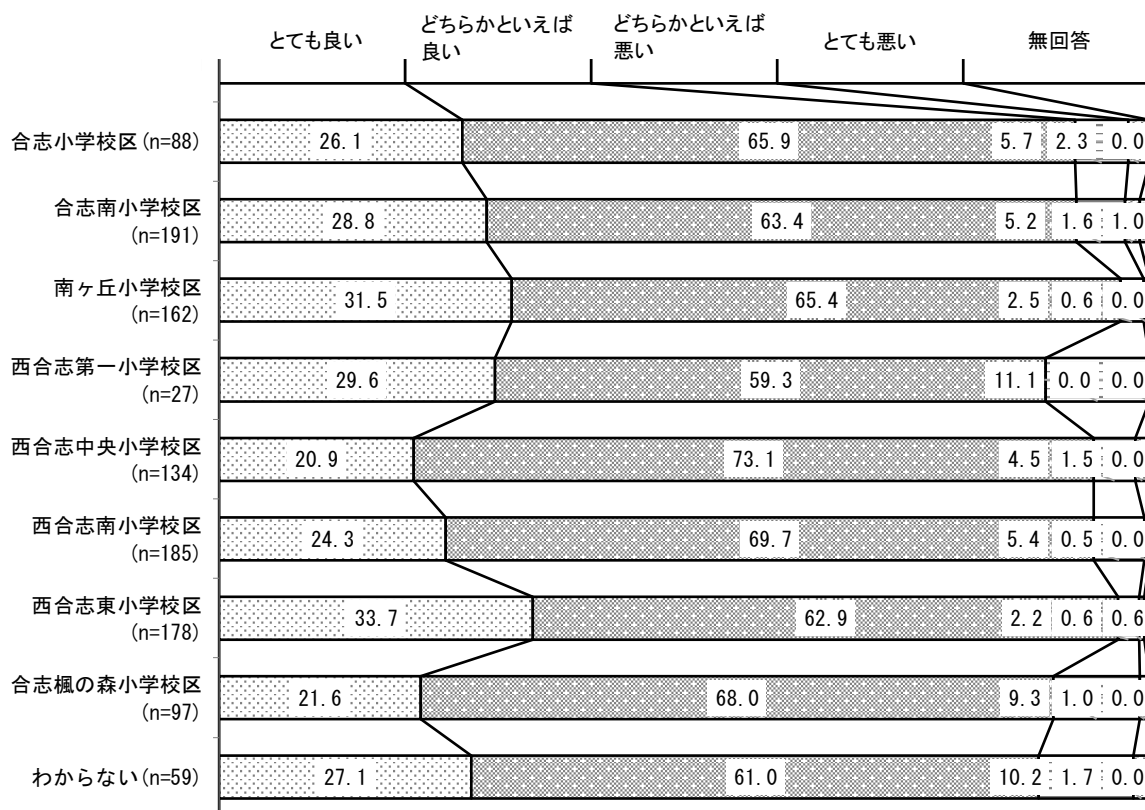
【年齢別】

- 住環境について、良いとする割合に年代による大きな違いはみられていないが、「とても良い」の割合は、50～60代前半では約2割と低くなっている。
- 昨年度と比較して、「とても良い」の割合は20代以下で6.3ポイント、30代で2.5ポイント、50代で2.1ポイント、70代以上で4.9ポイント減少している。



【校區別】

- 住環境について良いとする割合は、全ての校区で約 9 割となっており、南ヶ丘小、西合志東小では「とても良い」が3割以上を占めている。



(2) 住み慣れた地域 (問 26)

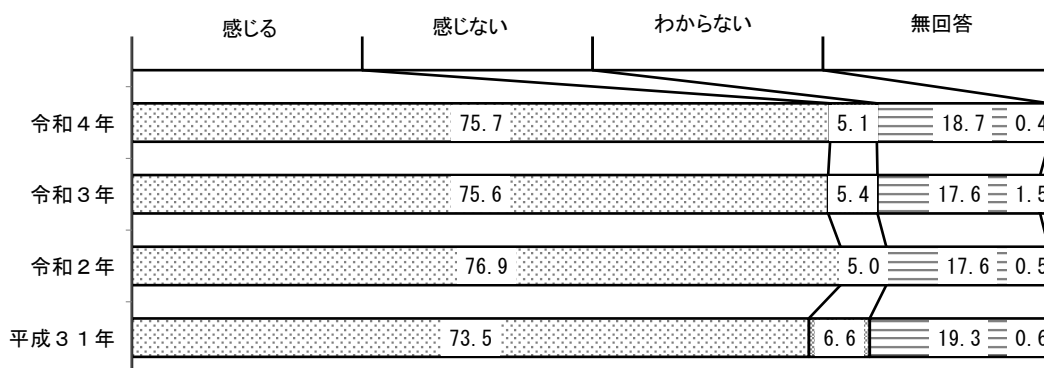
あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか？

住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は75.7%となっており、「感じない」は5.1%、「わからない」は18.7%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

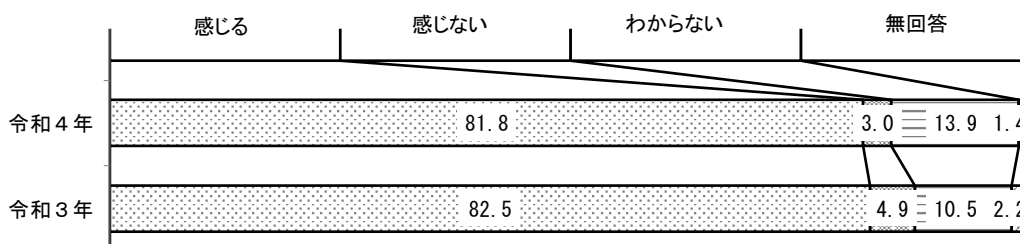
なお、65歳以上のみで集計した場合、全世代の集計結果よりも、「感じる」人の割合が6.1ポイント高くなっている。

全世代



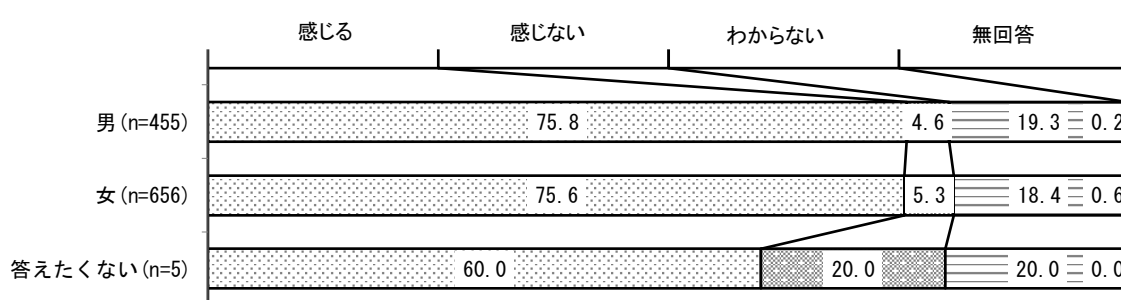
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 感じる	242	81.8	306	82.5	304	85.2	252	82.9
2 感じない	9	3.0	18	4.9	9	2.5	15	4.9
3 わからない	41	13.9	39	10.5	40	11.2	35	11.5
4 無回答	4	1.4	8	2.2	4	1.1	2	0.7
合計	296	100.0	371	100.0	357	100.0	304	100.0

65歳以上



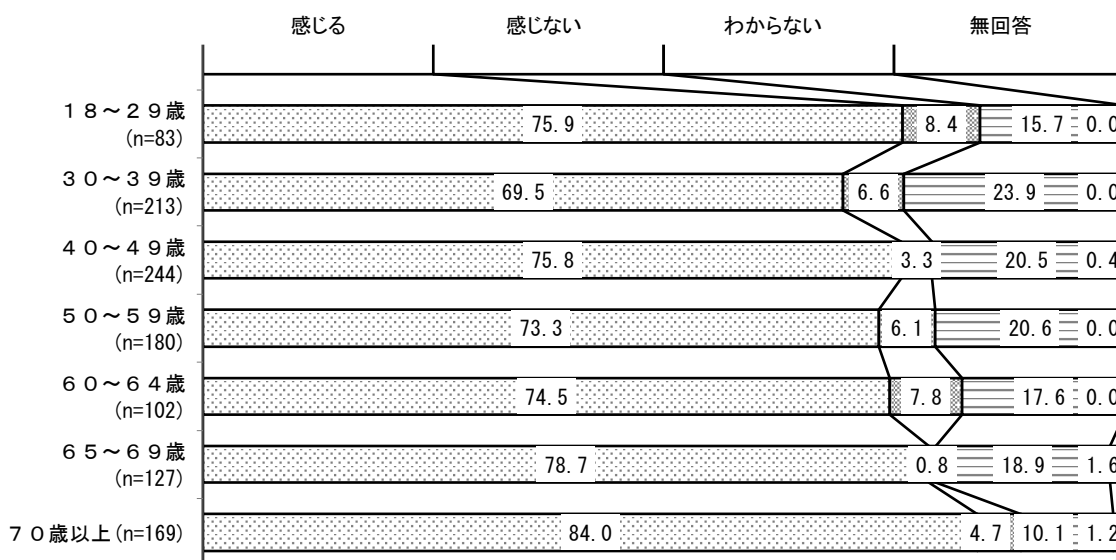
【性別】

●住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



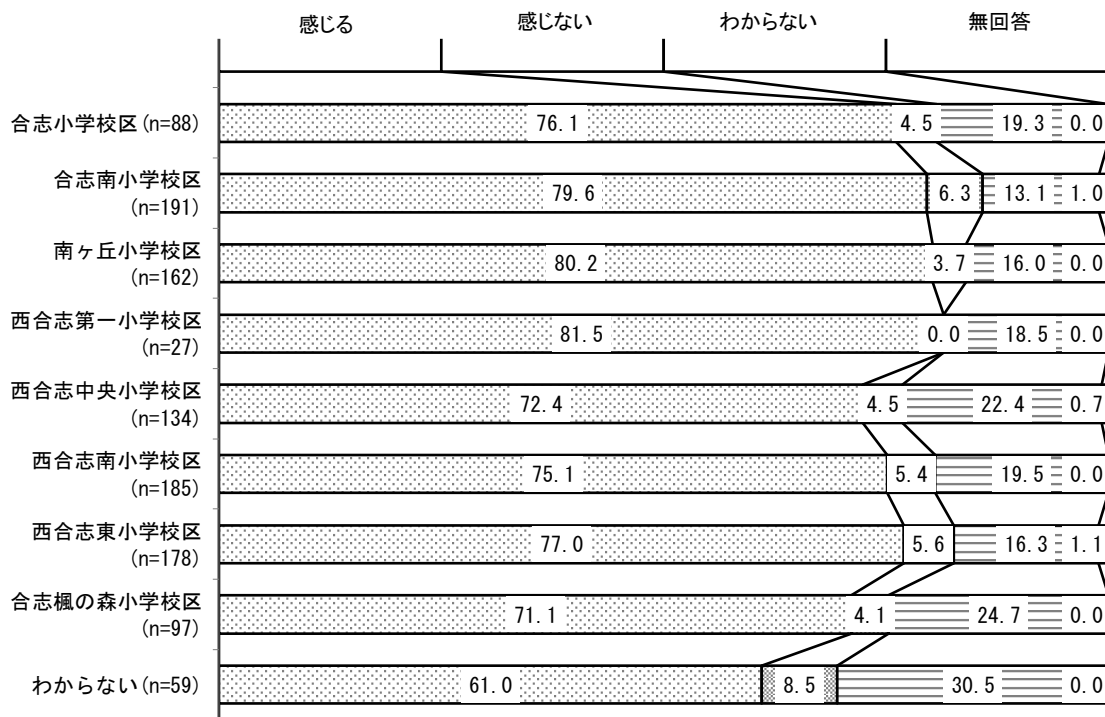
【年齢別】

●住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、ほとんどの年代で7~8割となっているが、30代では69.5%と他の年代と比較して低くなっている。



【校區別】

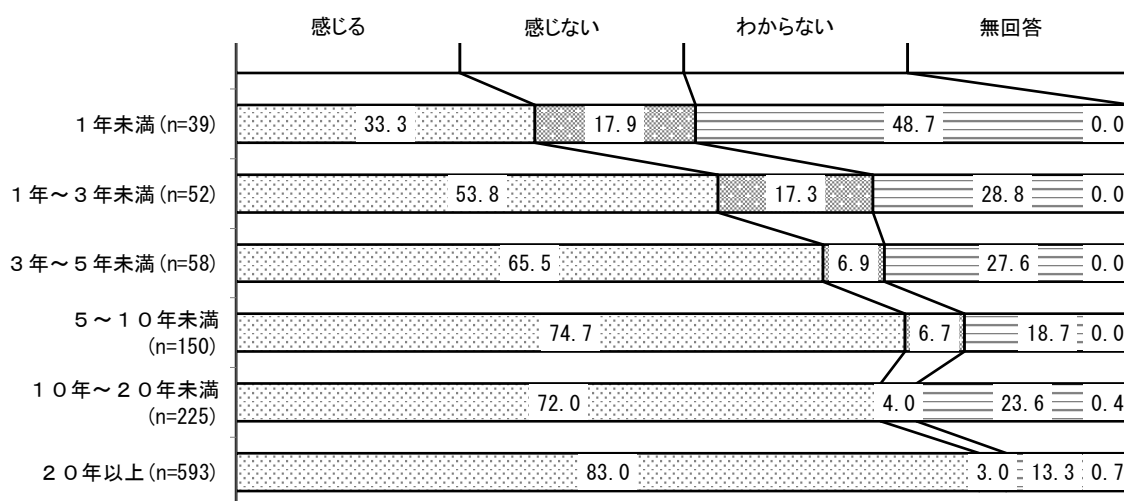
● 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、校區別で大きな違いはみられていない。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

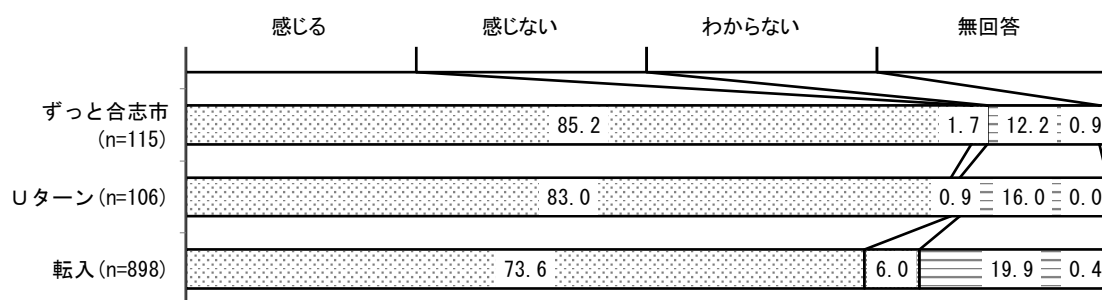
【居住年数別】

- 居住年数が長くなるにつれ、住み慣れた地域で生活できていると感じている人の割合は高くなっている。居住年数が1年以上になると、半数以上が住み慣れた地域と感じている。



【出身地別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、転出なく合志市に住んでいる人では85.2%、Uターンして住んでいる人は83.0%、転入で住んでいる人では73.6%となっている。

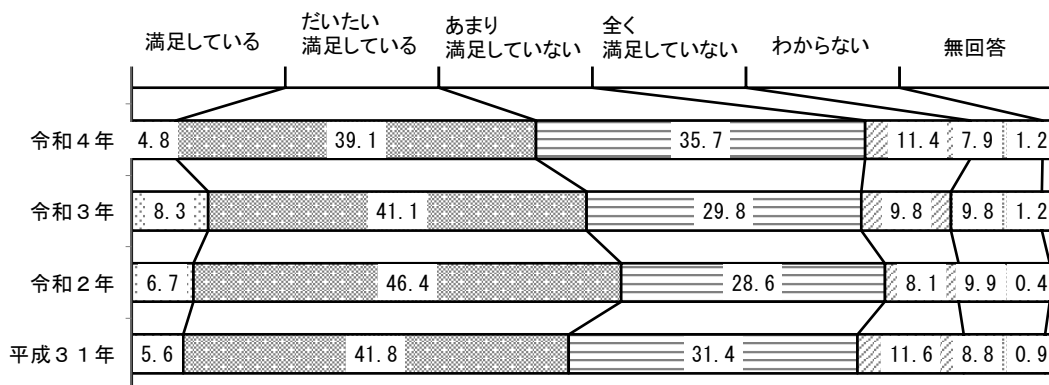


2. 交通について

(1) 道路移動の満足度 (問48)

あなたは、合志市内の道路の利用に満足していますか？

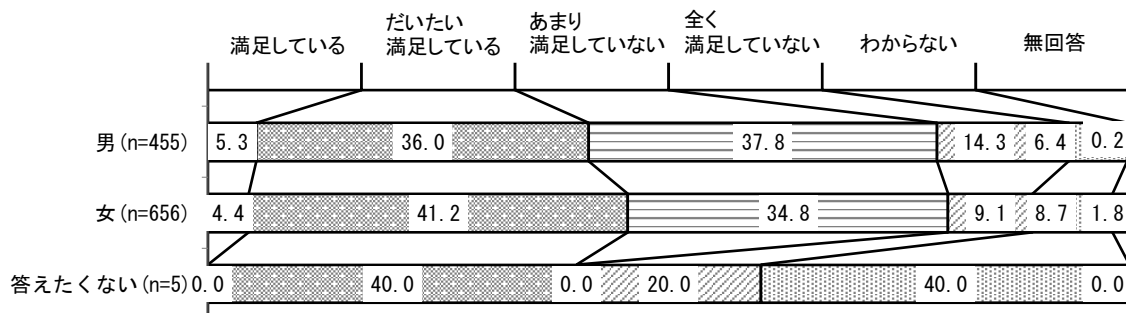
合志市内の道路の利用に満足していない(「全く満足していない」+「あまり満足していない」)人の割合は47.1%となり、「満足している」+「だいたい満足している」人の割合43.9%を上回っている。
 昨年度と比較して満足している人の割合が5.5ポイント減少している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 満足している	54	4.8	113	8.3	89	6.7	62	5.6
2 だいたい満足している	438	39.1	560	41.1	617	46.4	467	41.8
3 あまり満足していない	400	35.7	406	29.8	380	28.6	350	31.4
4 全く満足していない	128	11.4	133	9.8	107	8.1	129	11.6
5 わからない	88	7.9	134	9.8	131	9.9	98	8.8
6 無回答	13	1.2	17	1.2	5	0.4	10	0.9
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

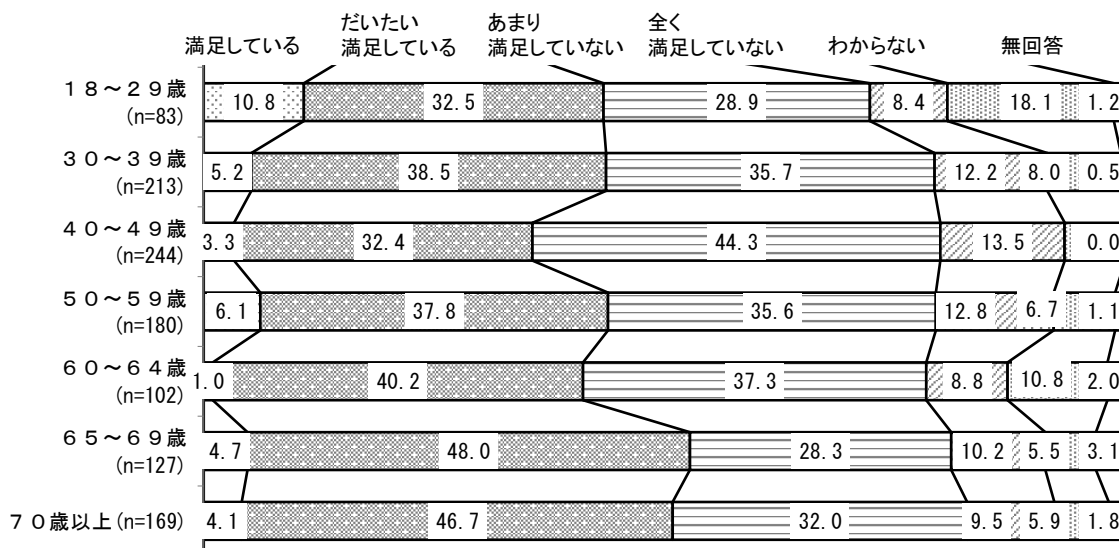
【性別】

- 合志市内の道路の利用に満足している人の割合は、男女による大きな違いはみられない。



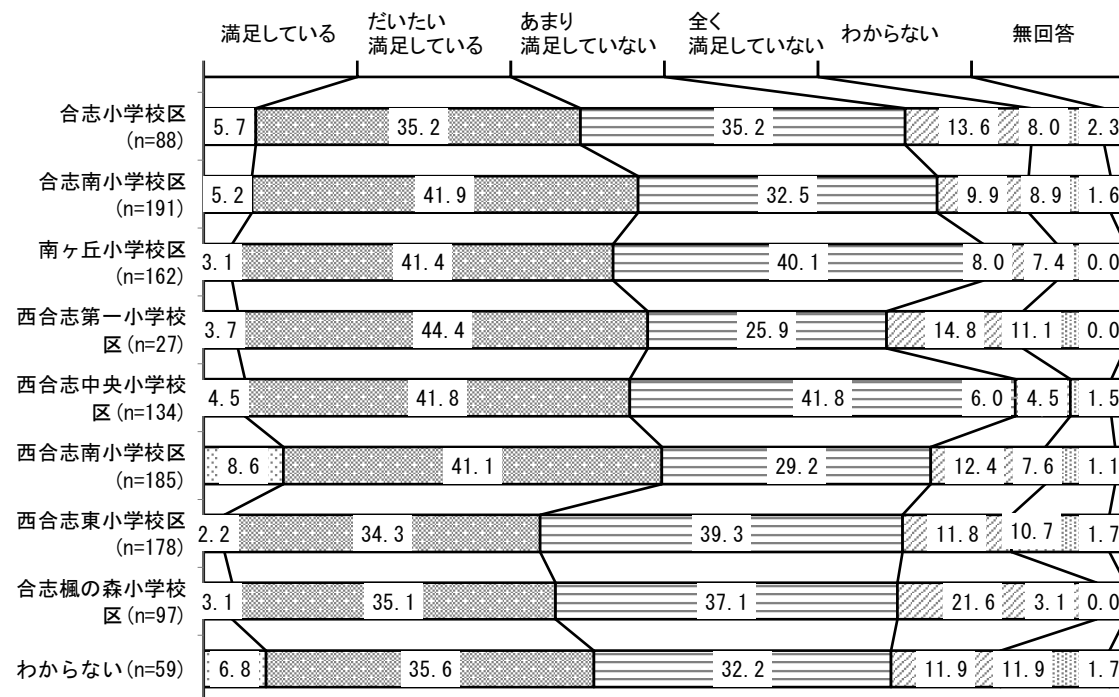
【年齢別】

●合志市内の道路の利用に満足している人の割合は、40代を除き、4割以上を占めている。



【校区别】

●合志市内の道路の利用に満足している人の割合は、西合志南小が49.7%と最も高くなっているが、全ての校区において半数以下となっている。



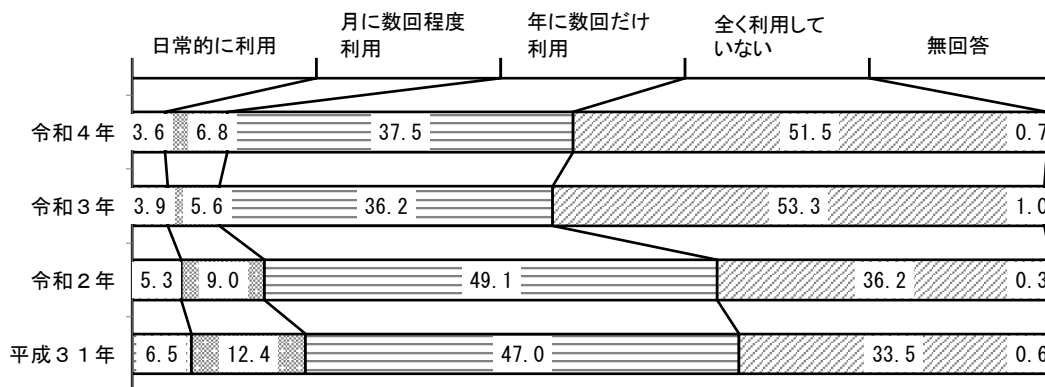
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 公共交通の利用について

①公共交通の利用状況(問49)

あなたは、どの程度公共交通機関(JR、バス、電車)を利用していますか？

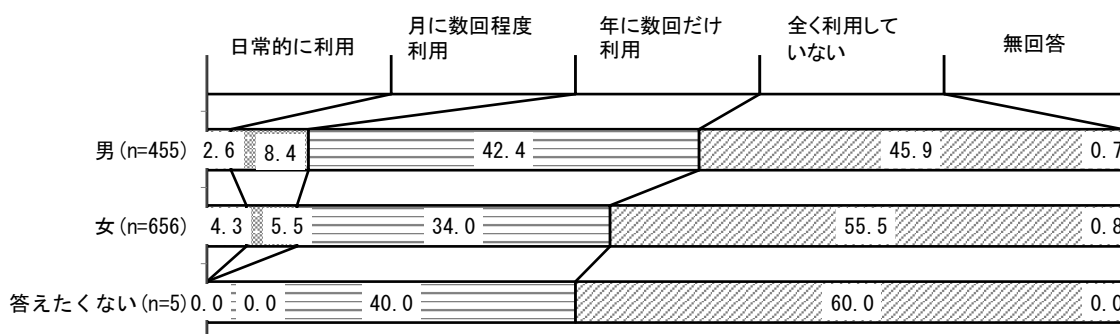
公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は3.6%、「月に数回程度利用している」が6.8%、「年に数回だけ利用している」が37.5%、「全く利用していない」が51.5%となっており、半数以上の人には公共交通機関を利用していない。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%	人	%
1 日常的に利用している	40	3.6	53	3.9	71	5.3
2 月に数回程度利用している	76	6.8	76	5.6	120	9.0
3 年に数回だけ利用している	420	37.5	493	36.2	653	49.1
4 全く利用していない	577	51.5	727	53.3	481	36.2
5 無回答	8	0.7	14	1.0	4	0.3
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0

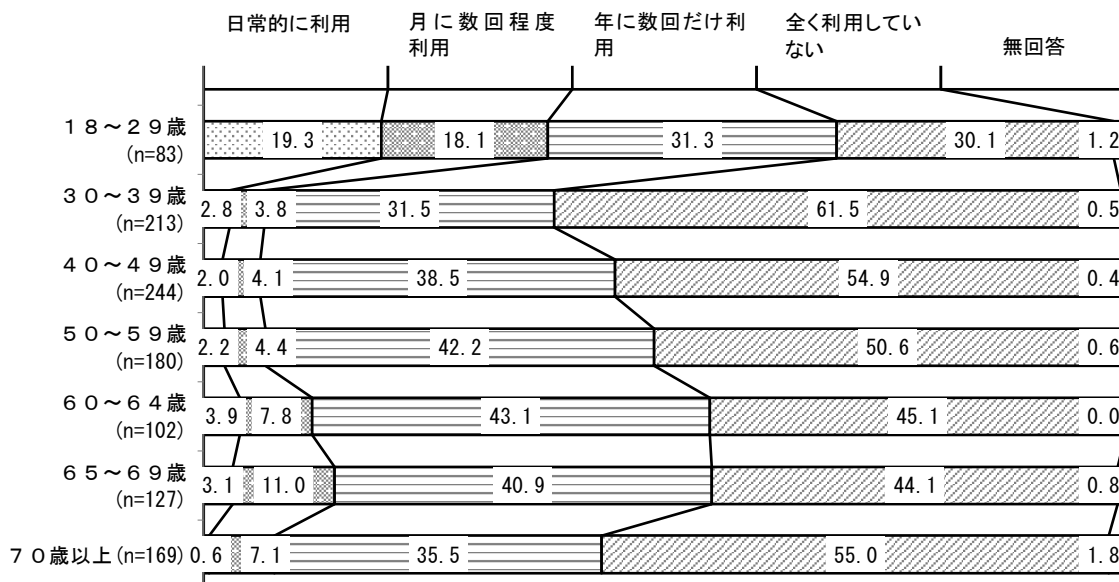
【性別】

●公共交通機関を利用している人の割合は、男性 45.9%、女性 55.5%となっており、女性が男性を上回っている。



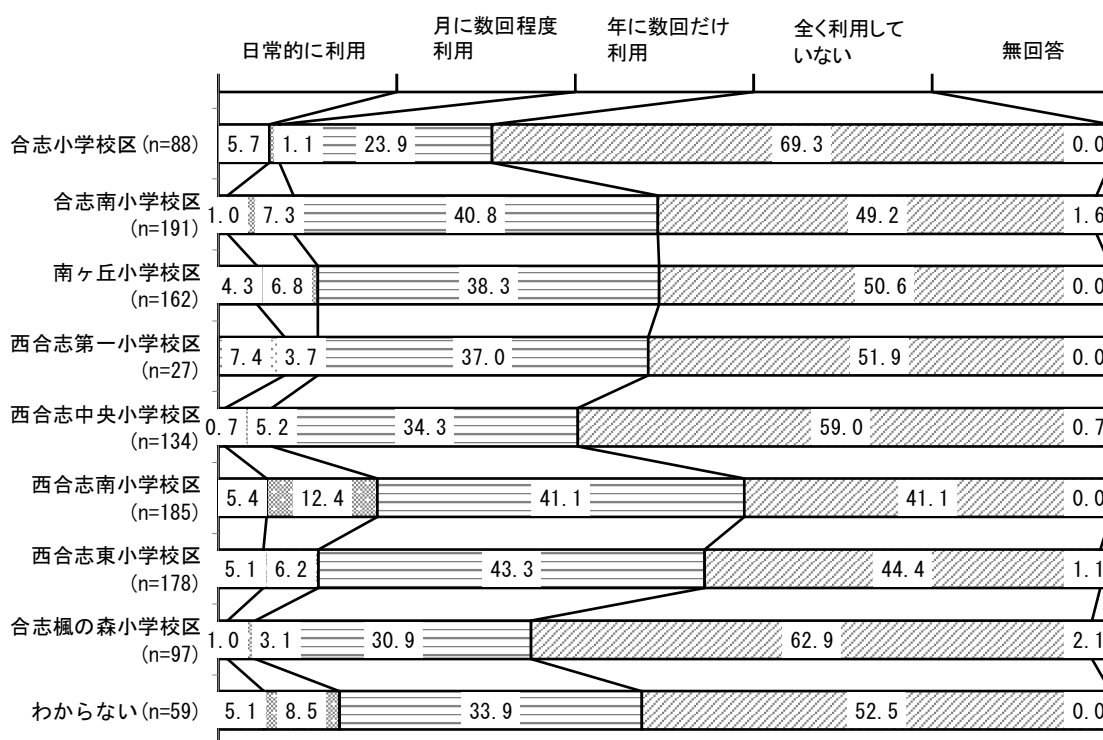
【年齢別】

- 20代以下では、公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は19.3%、「月に数回程度利用している」が18.1%と他の年代と比べて利用している人の頻度が高くなっている。



【校区別】

- 公共交通を利用している人の割合は、西合志南小、西合志東小で他の校区よりも高くなっている。
- 一方、合志小では約7割が全く利用していない。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

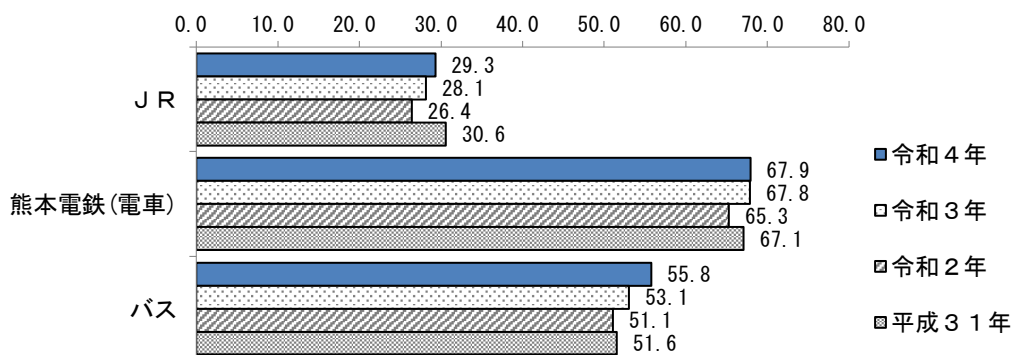
②利用機関（問50）

問49で1～3と答えた方にお尋ねします。

あなたは、どの公共交通機関を利用していますか？

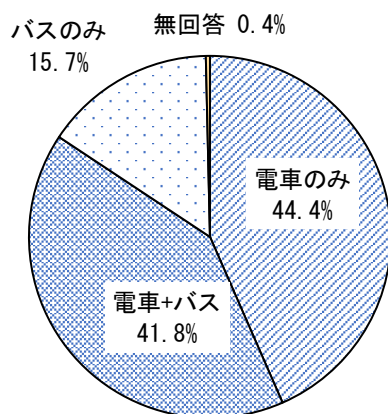
公共交通機関を利用している536人が利用している交通機関としては、「熊本電鉄（電車）」が67.9%、「バス」55.8%、「JR」29.3%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=536		n=622		n=844		n=735	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 JRを利用している	157	29.3	175	28.1	223	26.4	225	30.6
2 熊本電鉄(電車)を利用している	364	67.9	422	67.8	551	65.3	493	67.1
3 バスを利用している	299	55.8	330	53.1	431	51.1	379	51.6

（参考）利用公共交通機関の組み合わせ



参考までに536人の公共交通機関の利用組み合わせを見ると、JRや熊本電鉄の「電車のみ」を利用している人の割合は44.4%と最も多く、「電車とバス」を利用している人の割合は41.8%、「バスのみ」を利用している人の割合は15.7%となっている。昨年度と比較して大きな違いはみられない。

【性別】

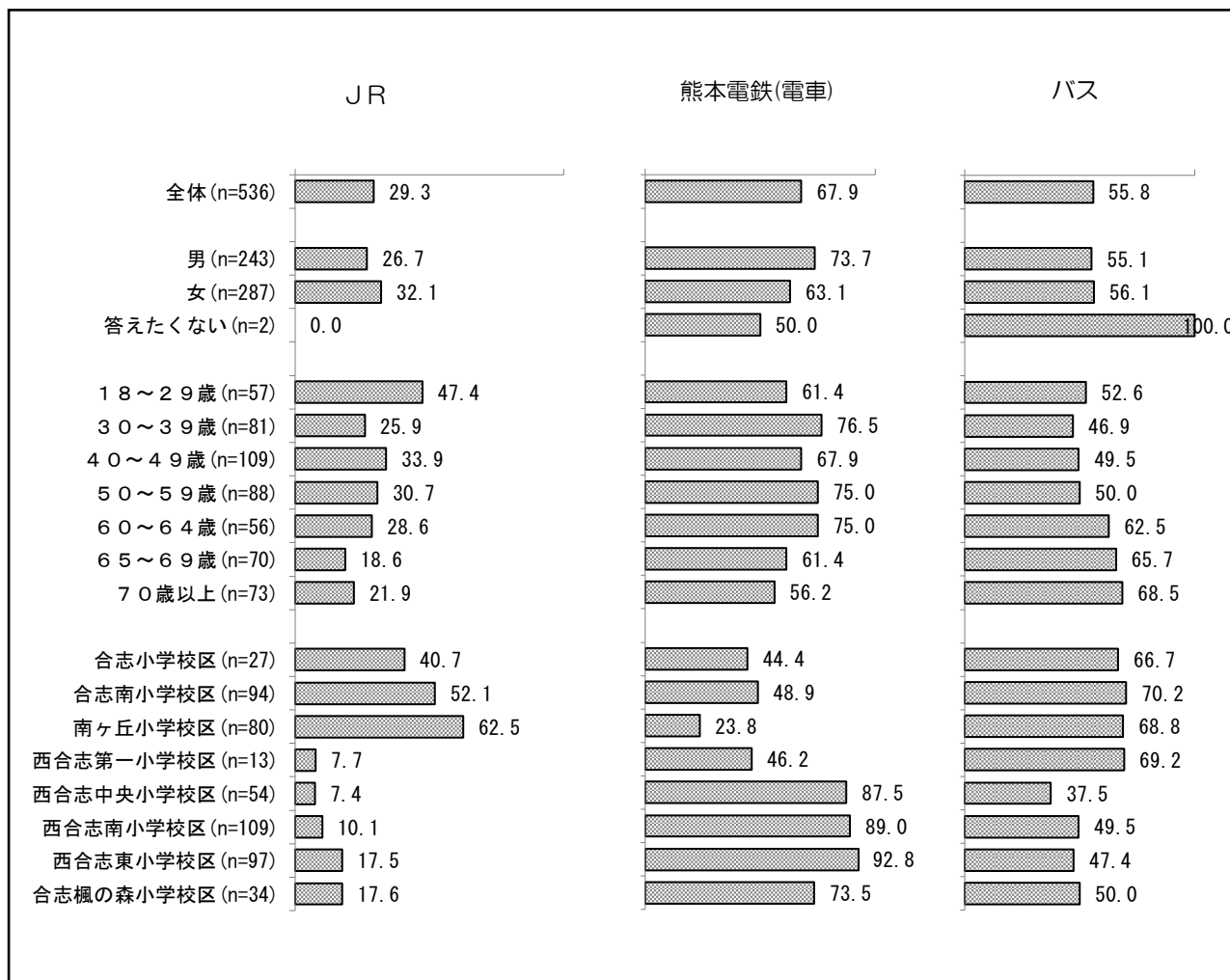
- 男女で大きな違いはみられていない。

【年齢別】

- 年齢別にみると、65歳以上の高齢者はバスの利用は多いものの、JRの利用は少ない。
- 64歳以下では、熊本電鉄の利用が6割以上と高く、また20代以下のJRの利用は他の年代よりも高くなっている。

【校区别】

- 校区别では、「JR」は南ヶ丘小では半数以上が利用している。「熊本電鉄」は西合志中央小、西合志南小、西合志東小、合志楓の森小で7割以上が利用している。「バス」は合志小、合志南小、南ヶ丘小、西合志第一小で6割以上が利用しているが。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

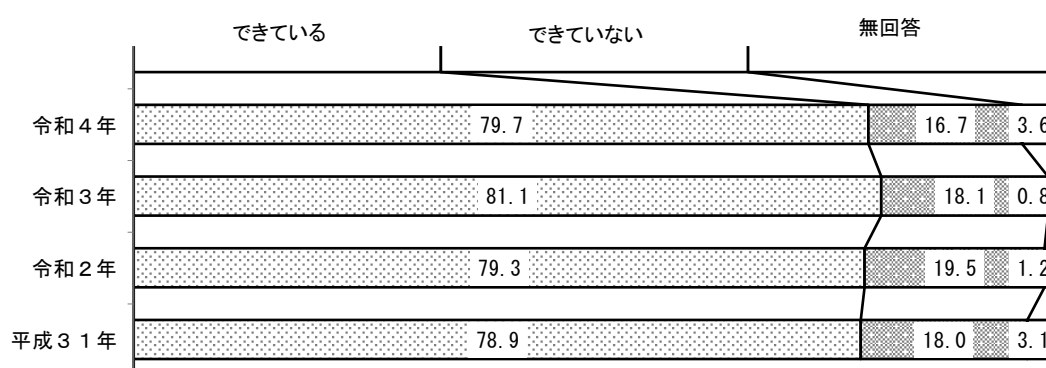
③電車での円滑移動（問51）

問50で「1.JRを利用している」「2.熊本電鉄（電車）を利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、電車を使って円滑に移動できていますか？

JRまたは熊本電鉄を利用している514人に電車での移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が79.7%と高く、「できていない」は16.7%となっている。

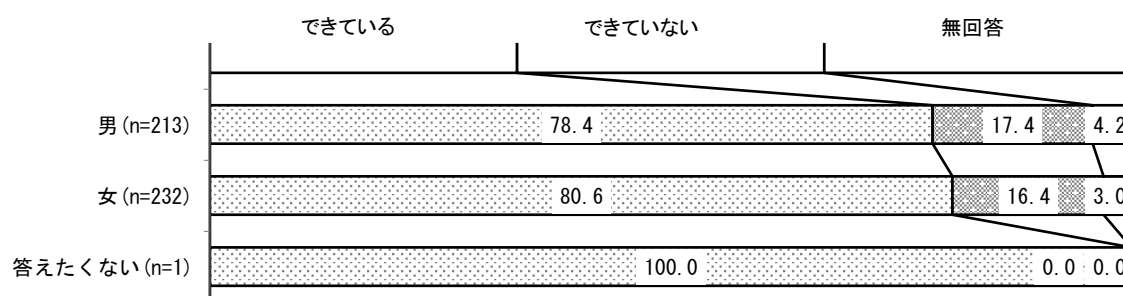
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できている	358	79.7	417	81.1	548	79.3	490	78.9
2 できていない	75	16.7	93	18.1	135	19.5	112	18.0
3 無回答	16	3.6	4	0.8	8	1.2	19	3.1
合計	449	100.0	514	100.0	691	100.0	621	100.0

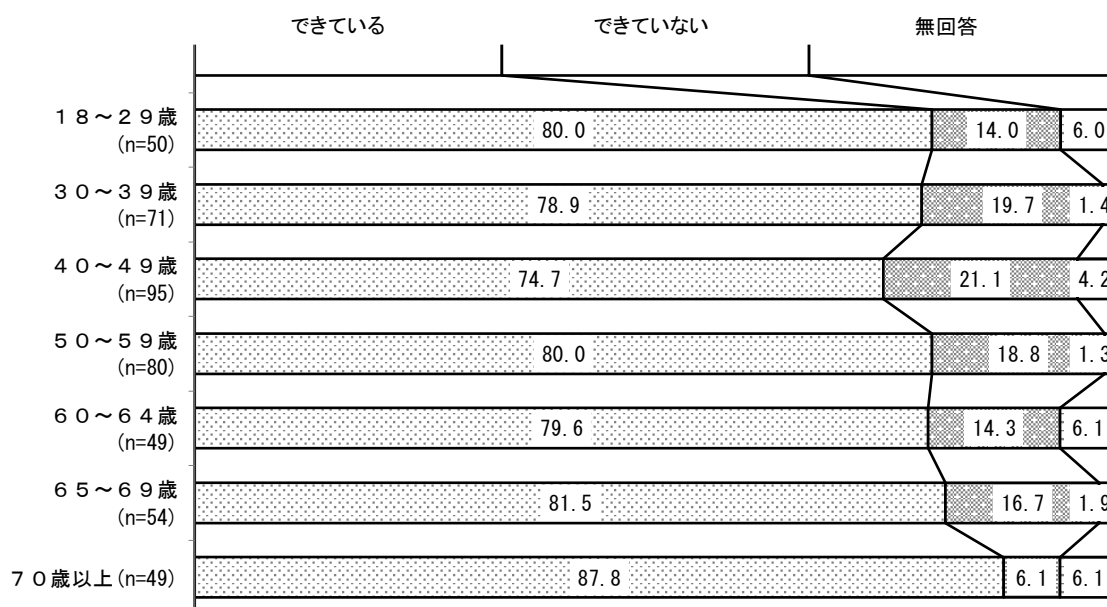
【性別】

- 電車でも円滑に移動できている割合は、男女で大きな違いはみられていない。



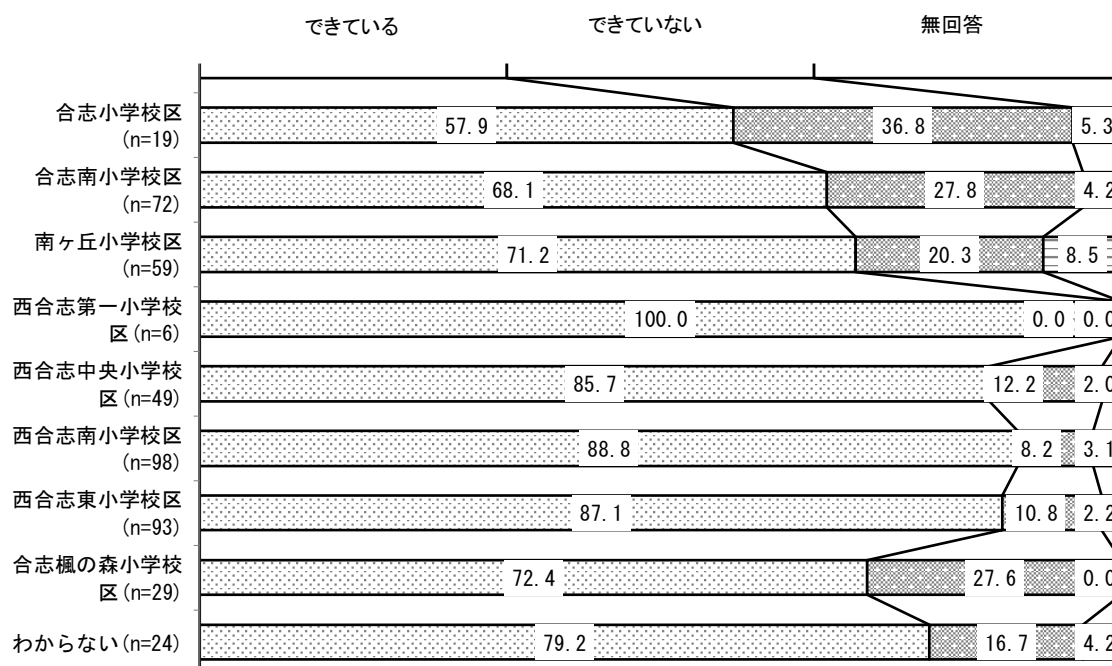
【年齢別】

- 電車で円滑に移動できている割合は、年代による大きな違いはみられていない。



【校区别】

- 電車で円滑に移動できている割合は、熊本電鉄の利用が多かった西合志中央小、西合志南小、西合志東小では8割以上が円滑に移動できており、他の校区よりも高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

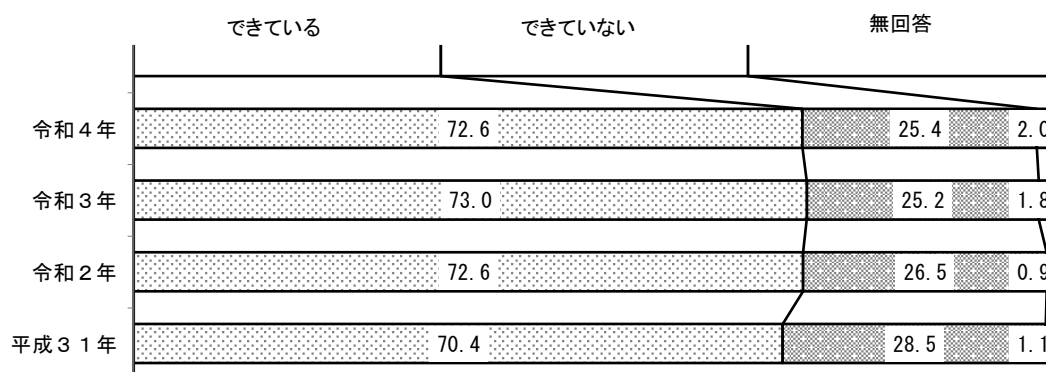
④バスでの円滑移動(問52)

問50で「3.バスを利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、バスを使って円滑に移動できていますか？

バスを利用している299人について、バスでの移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が72.6%と、「できていない」が25.4%となっている。

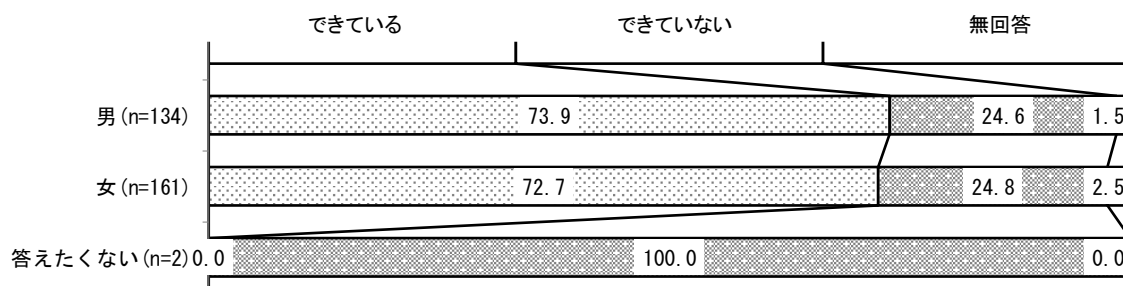
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できている	217	72.6	241	73.0	313	72.6	267	70.4
2 できていない	76	25.4	83	25.2	114	26.5	108	28.5
3 無回答	6	2.0	6	1.8	4	0.9	4	1.1
合計	299	100.0	330	100.0	431	100.0	379	100.0

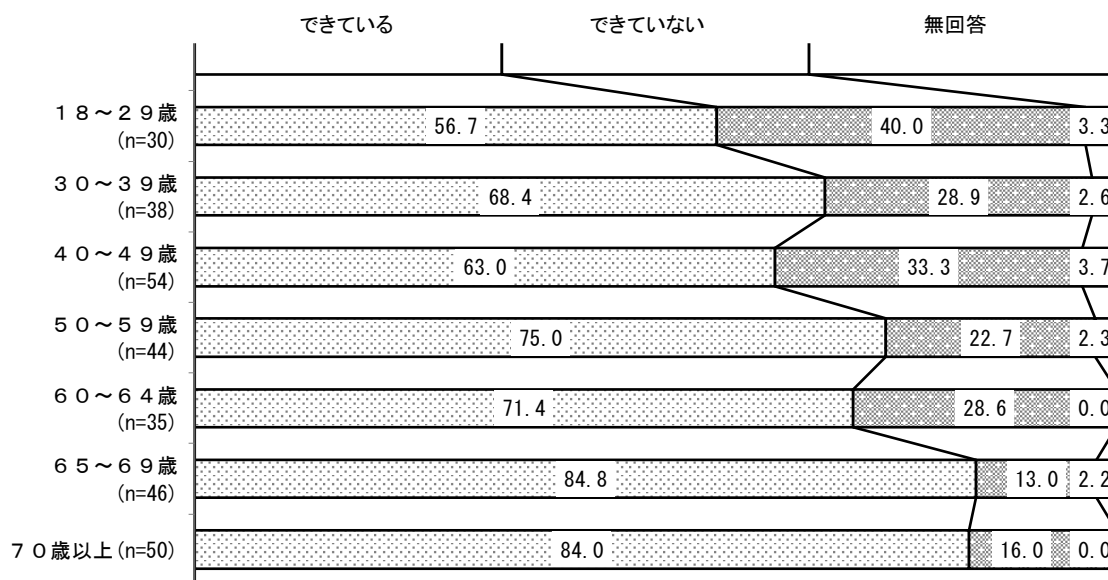
【性別】

- 円滑に移動できているとする人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



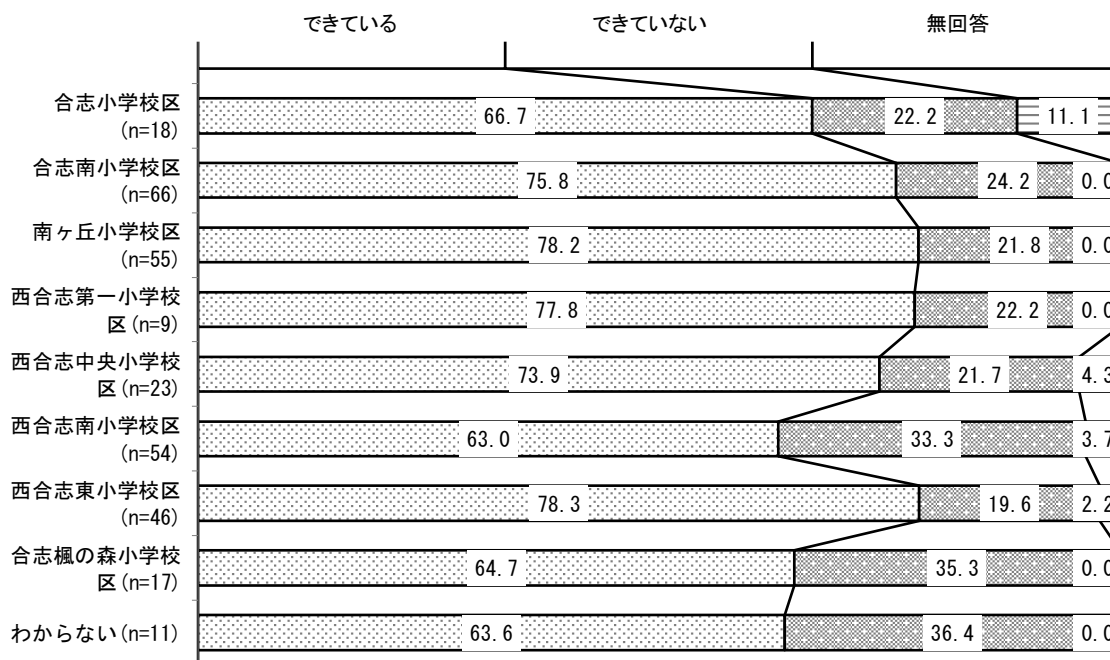
【年齢別】

- 円滑に移動できているとする人の割合は 65 歳以上では8割以上と高くなっている。また、円滑に移動できていないとする人の割合は、20 代以下では4割、40 代では3割を超えている。



【校區別】

- 円滑に移動できているとする人の割合は、いずれの校区でも6割以上となっている。

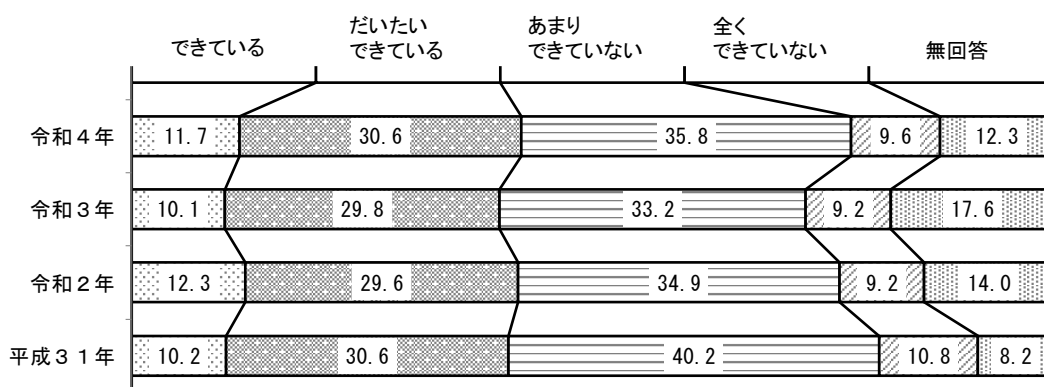


※合志小、西合志第一小及び合志楓の森小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

⑤公共交通の乗り継ぎの評価（問53）

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか？

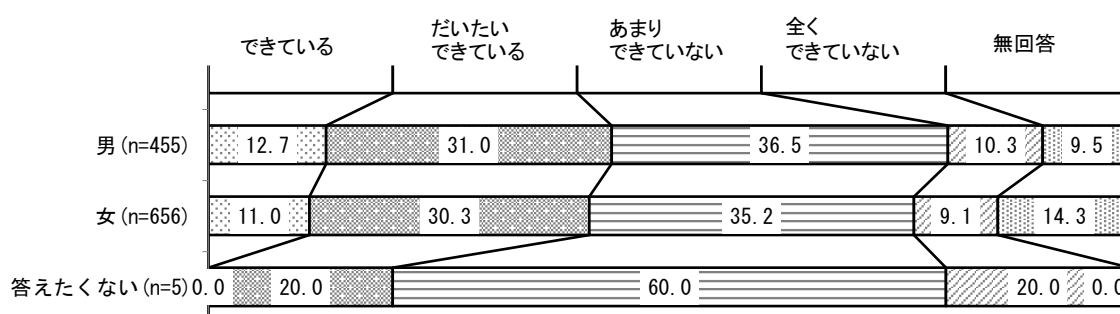
公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできている（「できている」+「だいたいできている」）人の割合は42.3%、「あまりできていない」は35.8%、「全くできていない」は9.6%となっている。
 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できていると思う	131	11.7	138	10.1	164	12.3	114	10.2
2 だいたいできていると思う	343	30.6	406	29.8	393	29.6	342	30.6
3 あまりできていないと思う	401	35.8	453	33.2	464	34.9	449	40.2
4 全くできていないと思う	108	9.6	126	9.2	122	9.2	120	10.8
5 無回答	138	12.3	240	17.6	186	14.0	91	8.2
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

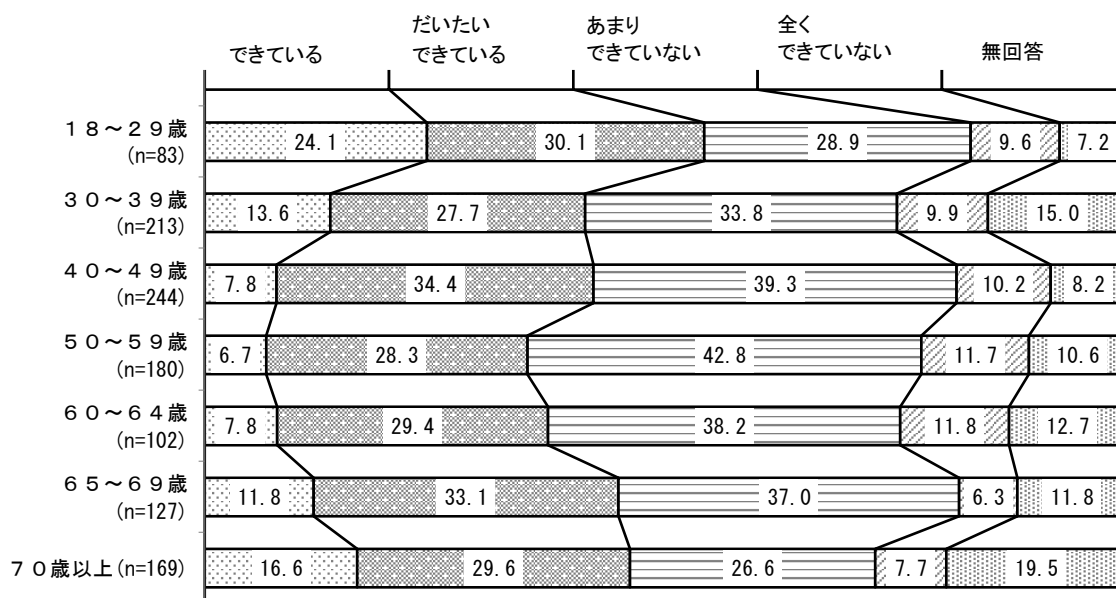
【性別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、男女で大きな違いはみられていない。



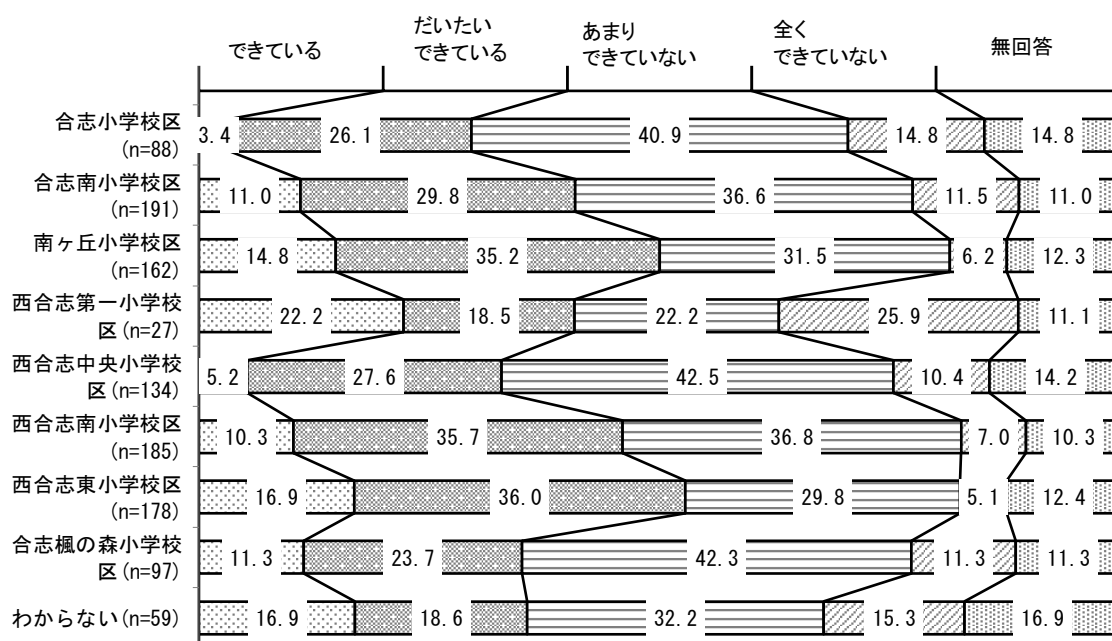
【年齢別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、20代以下及び70歳以上では約半数と多くっており、前回調査と比較すると、70歳以上では6.4ポイント増加している。



【校区別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、南ヶ丘小では約半数となっているが、合志小、合志南小、西合志第一小、西合志中央小、合志楓の森小では半数前後が円滑にできていないとしている。



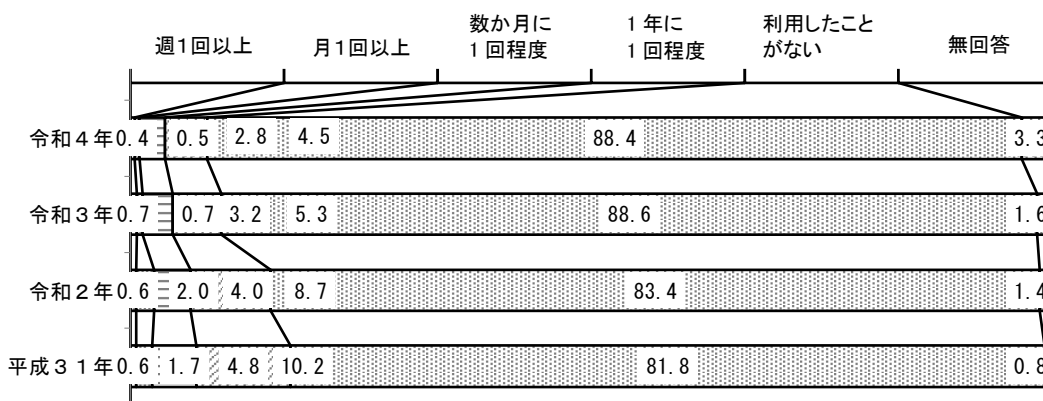
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(3) 合志市が委託しているバスについて

①利用経験（問54）

あなたは、過去1年間で合志市が委託しているレターバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがありますか？

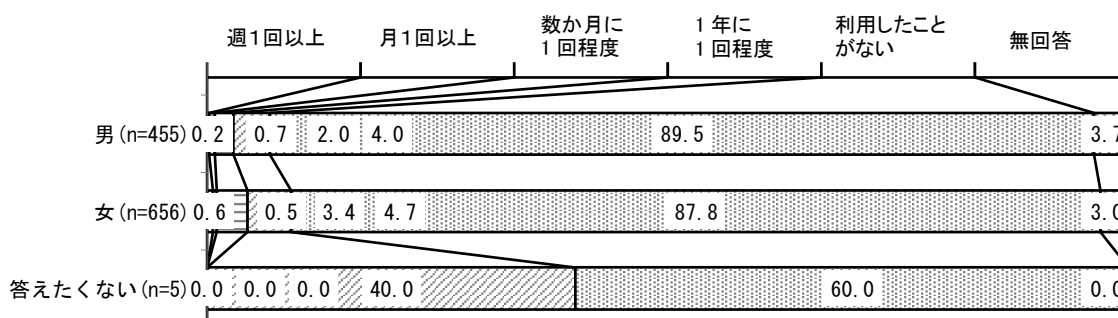
レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は8.2%となっており、8割以上の方は「利用したことがない」となっている。
令和2年度以降、利用したことがある人の割合が減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用する	5	0.4	9	0.7	8	0.6	7	0.6
2 月に1回以上利用する	6	0.5	9	0.7	26	2.0	19	1.7
3 数か月に1回程度利用する	31	2.8	44	3.2	53	4.0	54	4.8
4 1年に1回程度利用する	51	4.5	72	5.3	115	8.7	114	10.2
5 利用したことがない	991	88.4	1207	88.6	1109	83.4	913	81.8
6 無回答	37	3.3	22	1.6	18	1.4	9	0.8
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

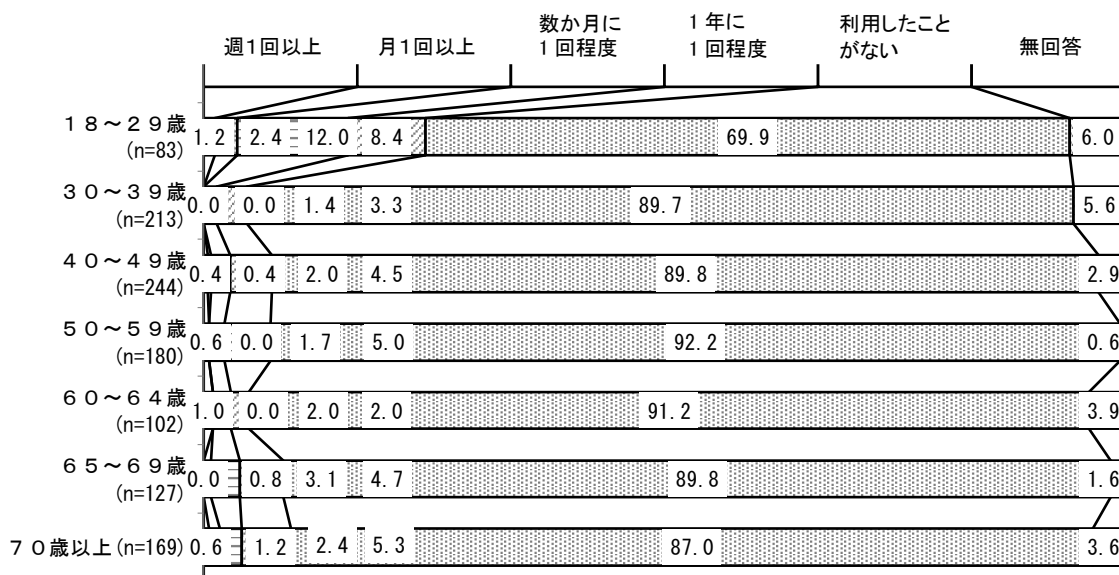
【性別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



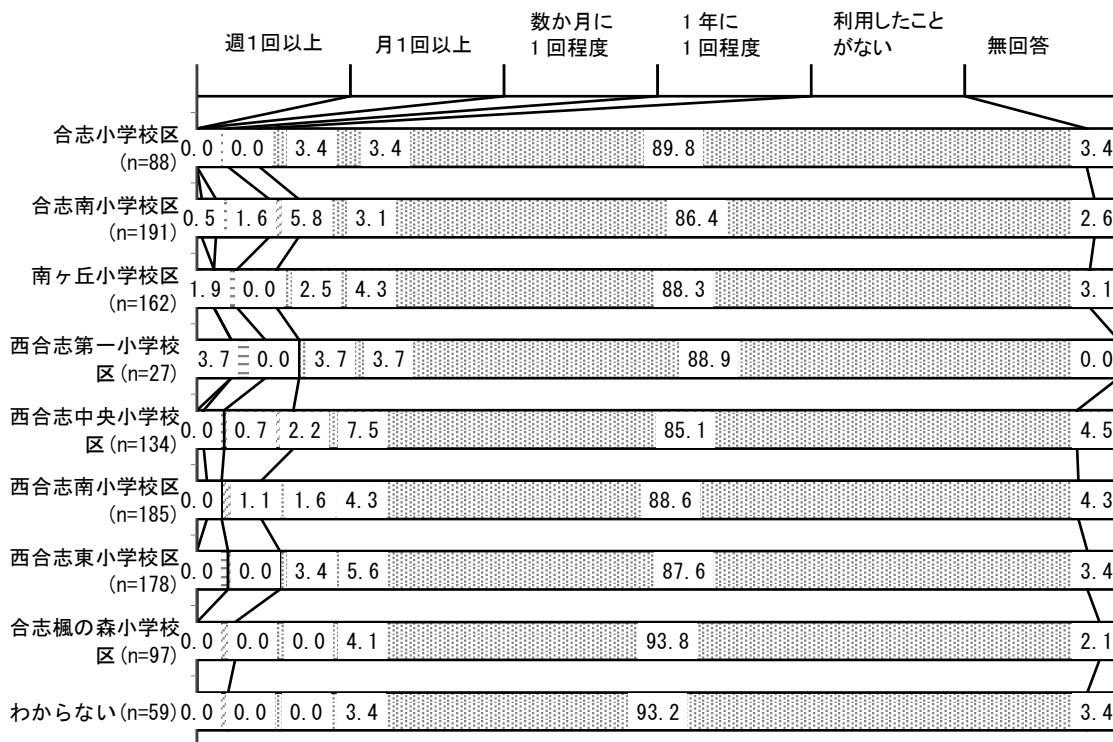
【年齢別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、20代以下では24.0%となっており、その他の年代では1割前後と低くなっている。



【校区別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、校区別で大きな違いはみられていない。

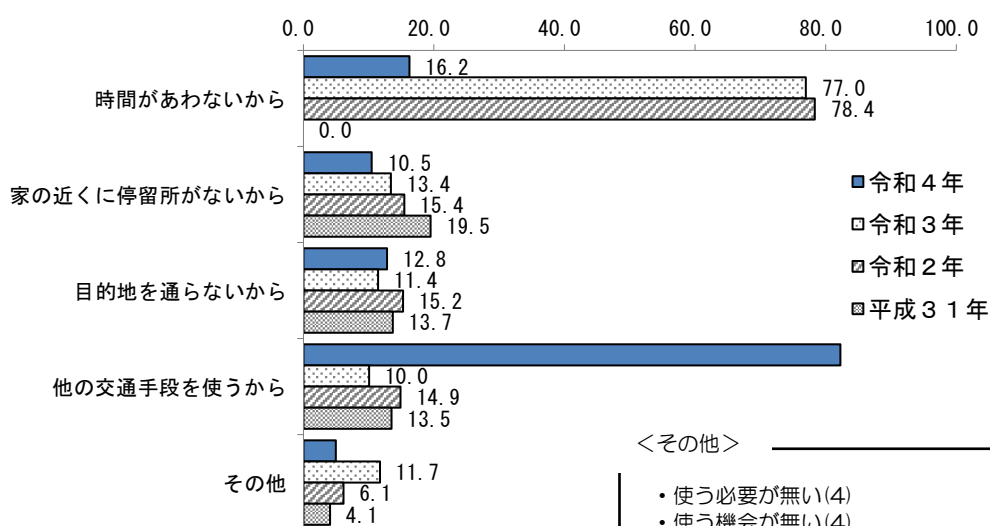


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

②利用しない理由（問55）

問54で「5.利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。
それはなぜですか？

レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがない991人について、利用しない理由を尋ねたところ、「他の交通手段を使うから」が82.2%と最も多く、次いで「時間が合わないから」が16.2%、「目的地を通らないから」が12.8%、「家の近くに停留所がないから」が10.5%となっている。



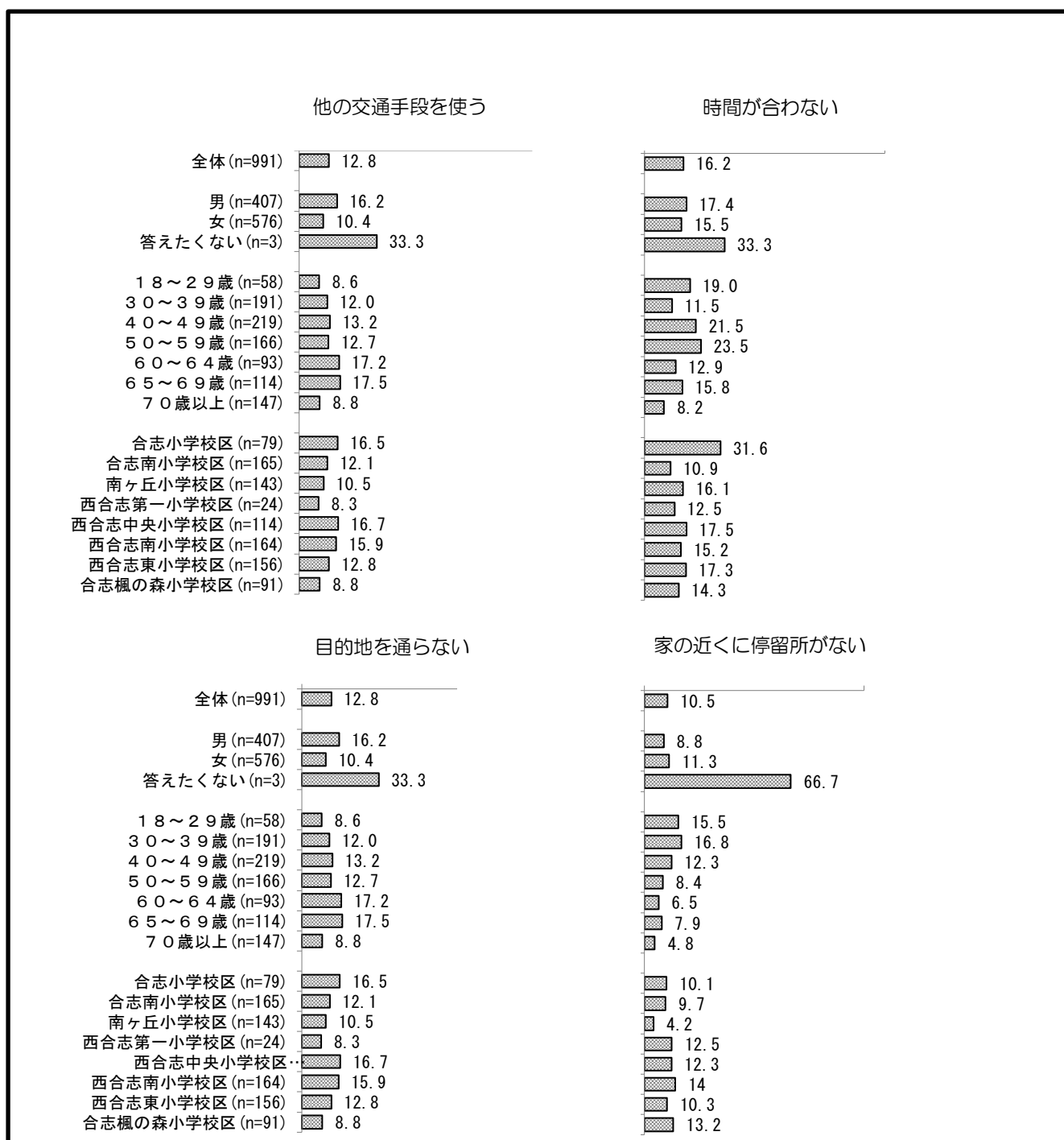
<その他>

- ・使う必要が無い(4)
- ・使う機会が無い(4)
- ・目的地に直行せず時間がかかる(4)
- ・存在を知らなかった(3)
- ・路線がどこを通るか分からない(1)
- ・利用方法が分からない(1)
- ・本数が少なく、不便(3)
- ・コロナ渦により利用を避けている(2)

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=991		n=1207		n=1109		n=913	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 時間が合わないから	161	16.2	162	13.4	171	15.4	178	19.5
2 家の近くに停留所がないから	104	10.5	121	10.0	165	14.9	123	13.5
3 目的地を通らないから	127	12.8	138	11.4	169	15.2	125	13.7
4 他の交通手段を使うから	815	82.2	929	77.0	869	78.4		
5 その他	49	4.9	141	11.7	68	6.1	37	4.1

【性別、年齢別、校区别】

- 男女別で大きな違いはみられていない。
- 年齢別でも大きな違いはみられていない。
- 校区别では、合志小で「時間が合わないから」をあげる割合が3割以上となっている。



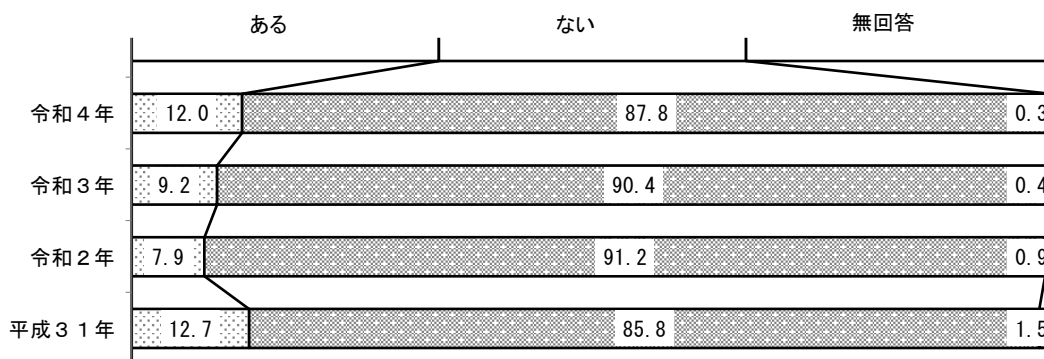
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

3. 人権侵害について

(1) 人権が侵害された経験 (問3 1)

あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか？

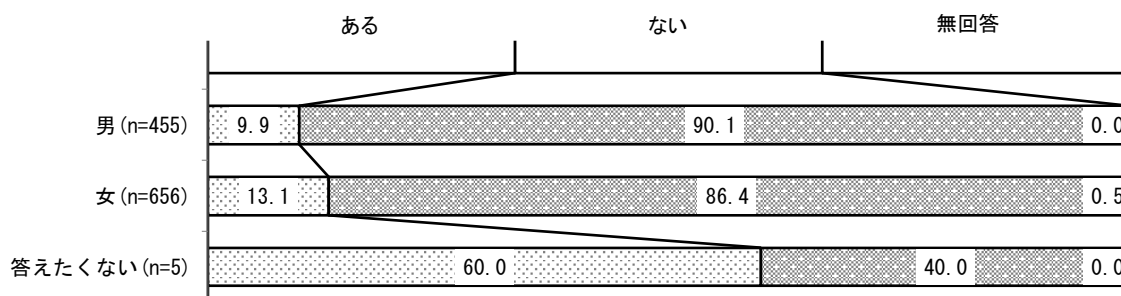
過去1年間で自分の人権が侵害されたことが「ある」人の割合は12.0%となり、前回より2.8ポイント増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	134	12.0	126	9.2	105	7.9	142	12.7
2 ない	984	87.8	1232	90.4	1212	91.2	957	85.8
3 無回答	3	0.3	5	0.4	12	0.9	17	1.5
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

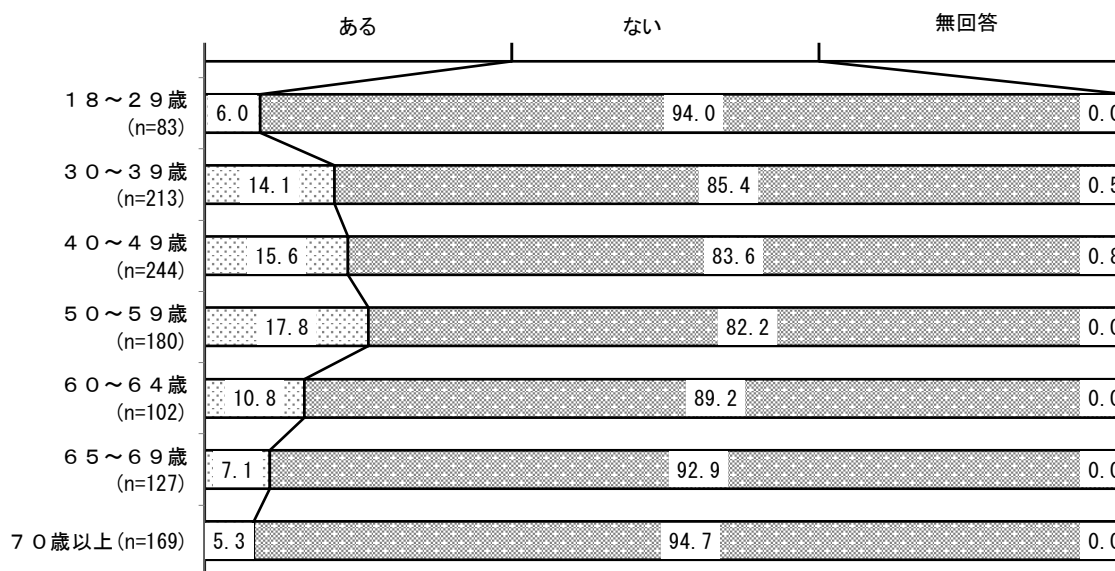
【性別】

- 人権が侵害されたことが「ある」人の割合は、男性が9.9%、女性が13.1%と女性が男性よりも3.2ポイント高くなっている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



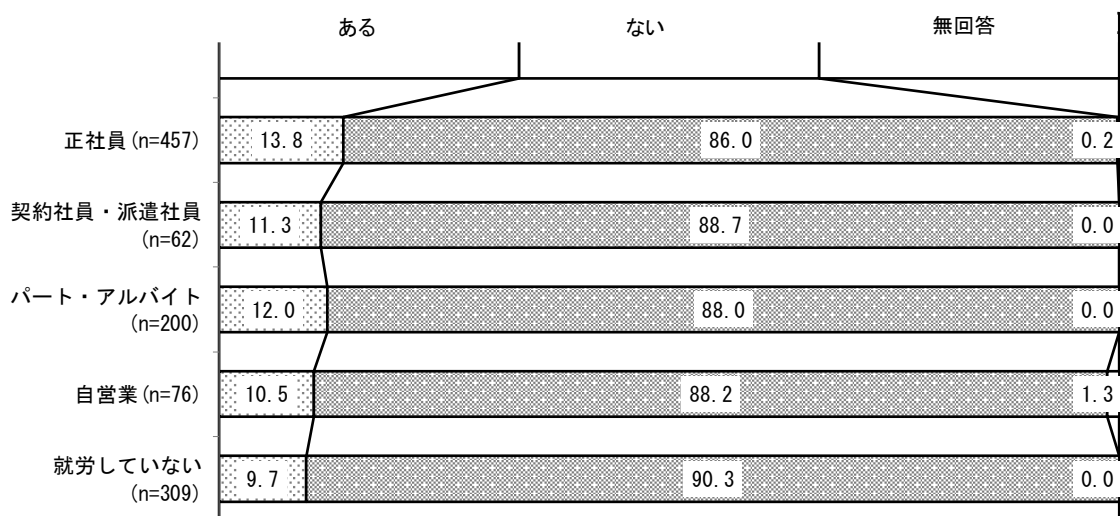
【年齢別】

- 人権を侵害されたことがある人の割合は、30～60代前半において1割を超えており、増加傾向にある。



【職業別】

- 人権を侵害されたことがある人の割合は、職業別で大きな違いはみられない。

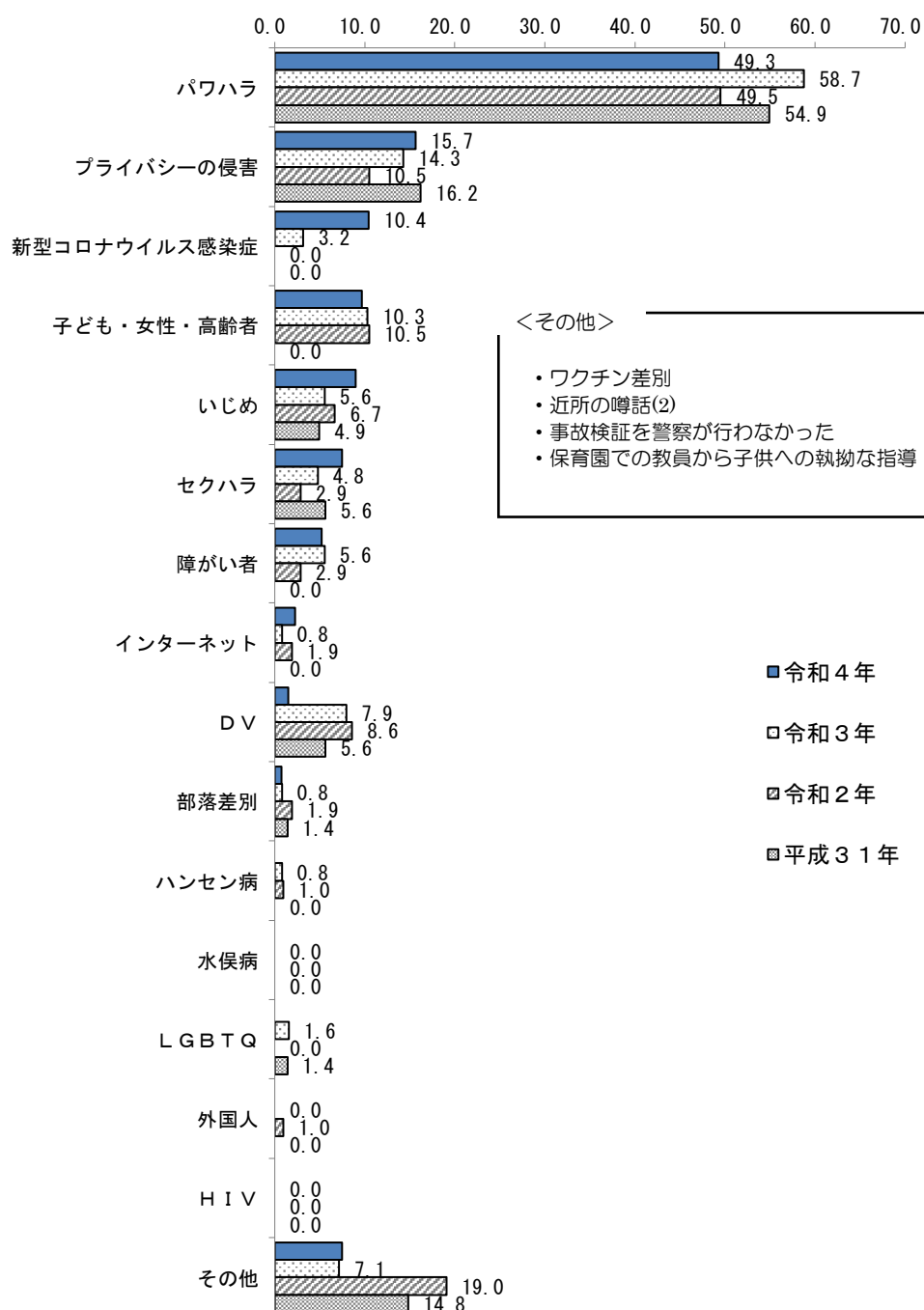


(2) 侵害された内容(問32)

問31で「1.ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか?差支えなければお聞かせください。

この1年間に人権が侵害されたことがある134人に、侵害された具体的な内容を尋ねたところ、「パワハラ」が49.3%と最も多く、次いで「プライバシーの侵害」が15.7%、「新型コロナウイルス感染症」10.4%の順となっている。



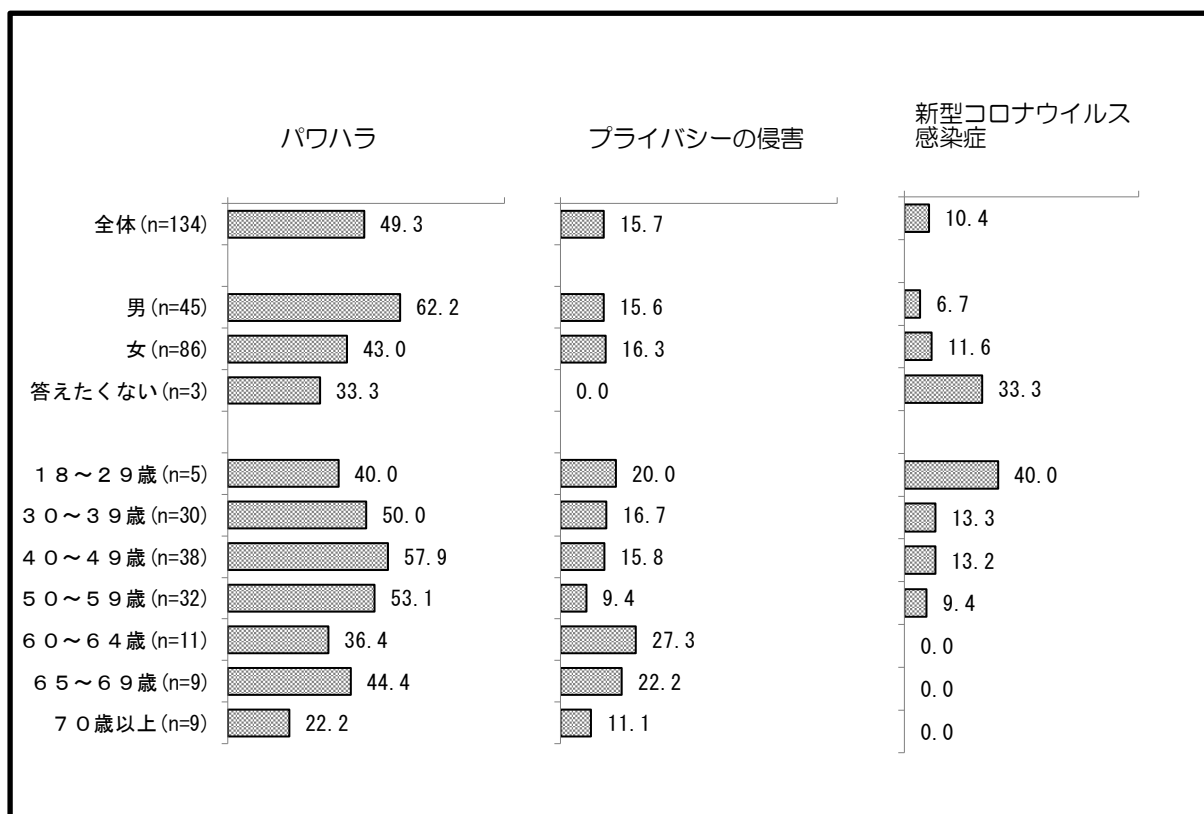
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=134		n=126		n=105		n=142	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 部落差別	1	0.7	1	0.8	2	1.9	2	1.4
2 ハンセン病	0	0.0	1	0.8	1	1.0	0	0.0
3 水俣病	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
4 LGBTQ(レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング・クィア)	0	0.0	2	1.6	0	0.0	2	1.4
5 子ども・女性・高齢者	13	9.7	13	10.3	11	10.5		
6 障がい者	7	5.2	7	5.6	3	2.9		
7 インターネット	3	2.2	1	0.8	2	1.9		
8 外国人	0	0.0	0	0.0	1	1.0		
9 HIV	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
10 DV(ドメスティックバイオレンス)	2	1.5	10	7.9	9	8.6	8	5.6
11 セクハラ(セクシャルハラスメント)	10	7.5	6	4.8	3	2.9	8	5.6
12 パワハラ(パワーハラスメント)	66	49.3	74	58.7	52	49.5	78	54.9
13 いじめ	12	9.0	7	5.6	7	6.7	7	4.9
14 プライバシーの侵害	21	15.7	18	14.3	11	10.5	23	16.2
15 新型コロナウイルス感染症	14	10.4	4	3.2				
16 その他	10	7.5	9	7.1	20	19.0	21	14.8

【性別】

- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は男性で62.2%、女性で43.0%と男性での割合が高くなっている。

【年齢別】

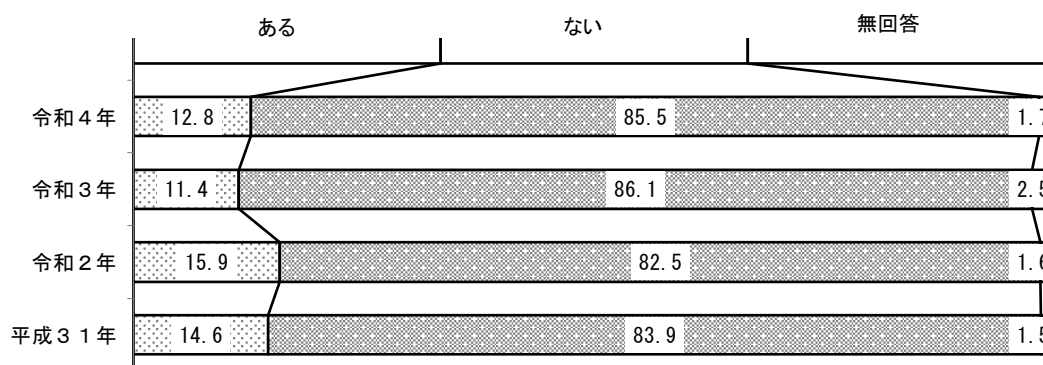
- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は30代~50代で半数以上となっている。



(3) 人権問題研修会への参加 (問33)

過去1年間で人権問題(部落差別、ハンセン病問題、水俣病、LGBTQ、子ども・女性・高齢者、障がい者、インターネット、外国人、HIV、DV、セクハラ、パワハラ、いじめ、プライバシーの侵害、新型コロナウイルス感染症等)の研修会、学習会等へ参加したことがありますか?

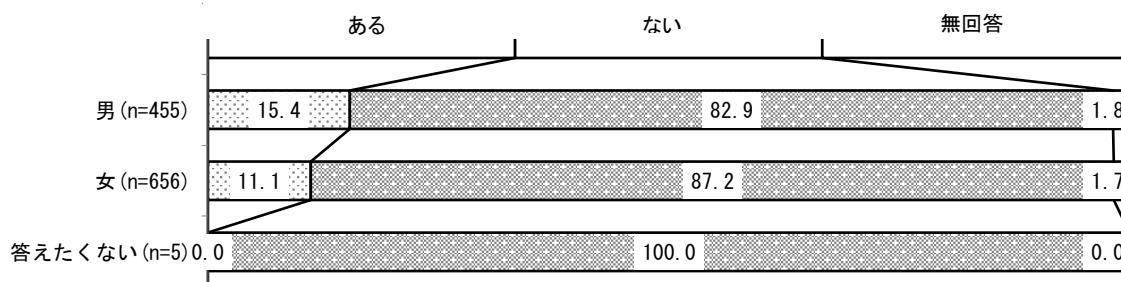
過去1年間に人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は12.8%となっており、昨年度と比較して1.4ポイント増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	143	12.8	156	11.4	211	15.9	163	14.6
2 ない	959	85.5	1173	86.1	1097	82.5	936	83.9
3 無回答	19	1.7	34	2.5	21	1.6	17	1.5
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

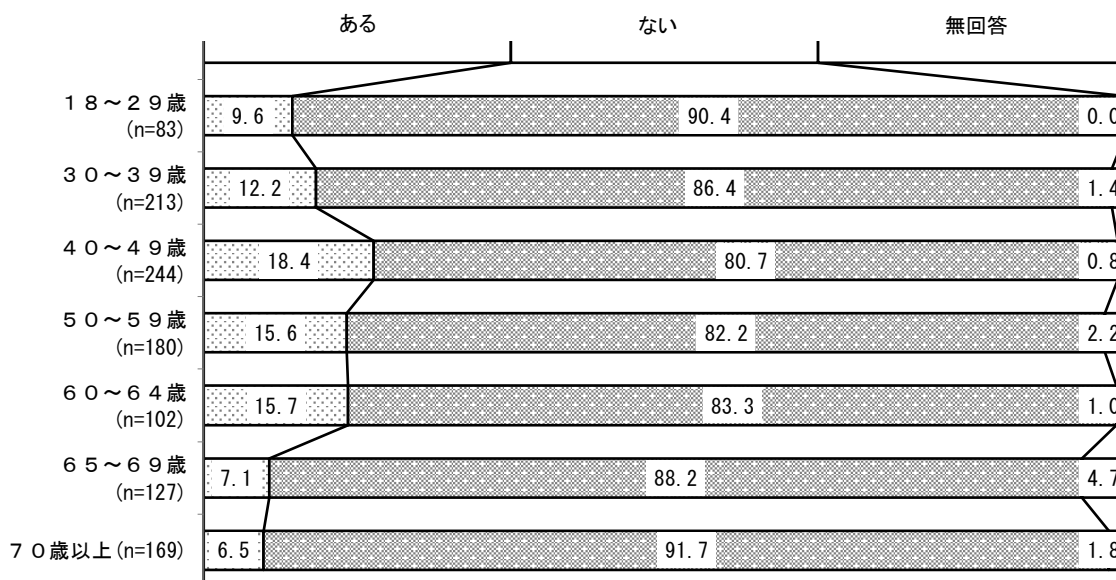
【性別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、男性が15.4%、女性が11.1%となっており、男性が女性を上回っている。



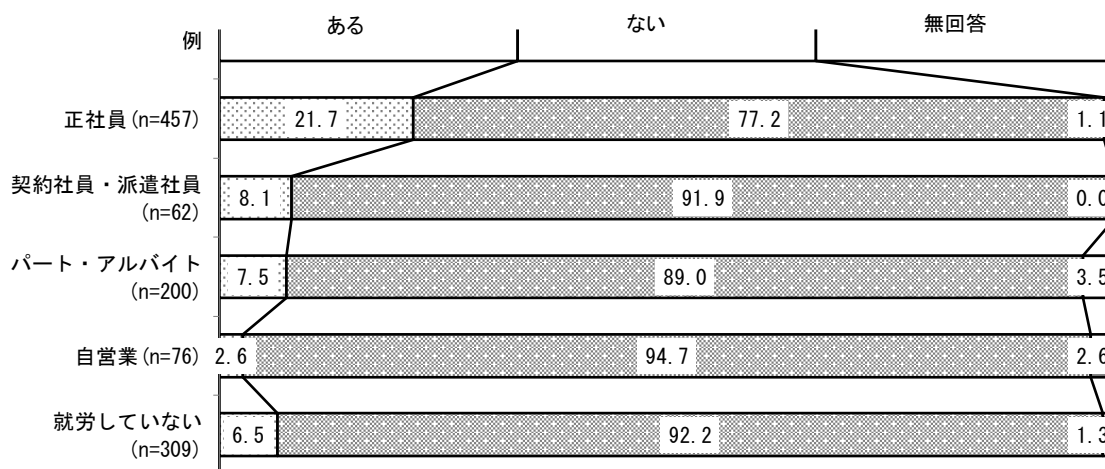
【年齢別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、30代～60代前半までは1割以上となっている。



【職業別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、正社員では2割を超えており、他の職業よりも高くなっている。

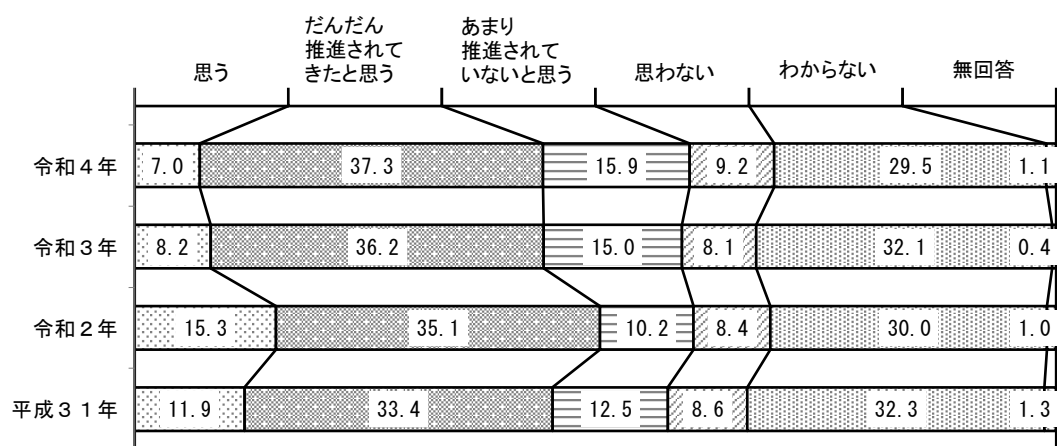


4. 男女共同参画社会の推進について

(1) 男女共同参画社会の推進（問34）

あなたは、男女共同参画社会が推進されてきたと思いますか。

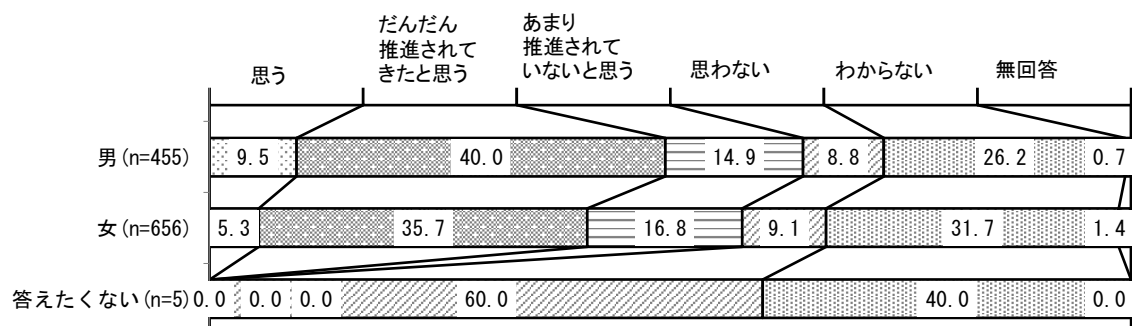
男女共同参画社会が推進されてきたと思う（「思う」+「だんだん推進されてきたと思う」）割合は44.3%と半数を下回り、思わない「あまり推進されていないと思う」+「思わない」は25.1%、「わからない」は29.5%となっている。
昨年度と大きな違いはみられない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	79	7.0	112	8.2	204	15.3	133	11.9
2 だんだん推進されてきたと思う	418	37.3	493	36.2	467	35.1	373	33.4
3 あまり推進されていないと思う	178	15.9	204	15.0	135	10.2	140	12.5
4 思わない	103	9.2	110	8.1	111	8.4	96	8.6
5 わからない	331	29.5	438	32.1	399	30.0	360	32.3
6 無回答	12	1.1	6	0.4	13	1.0	14	1.3
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

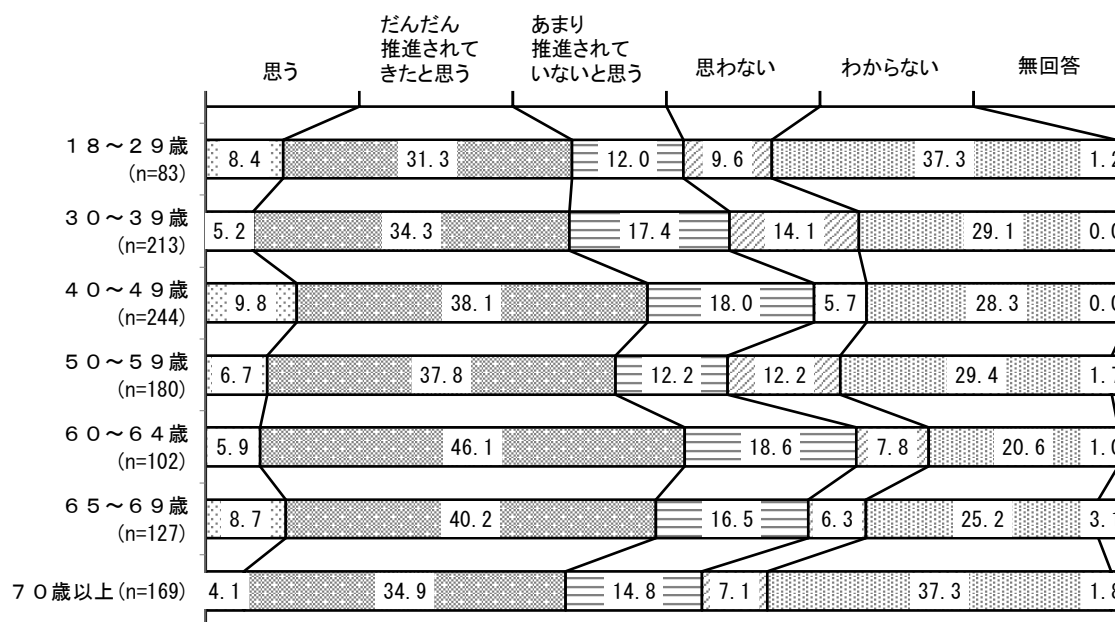
【性別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、男性 49.5%、女性 41.0%となっており、男性が女性を8.5ポイント上回っている。



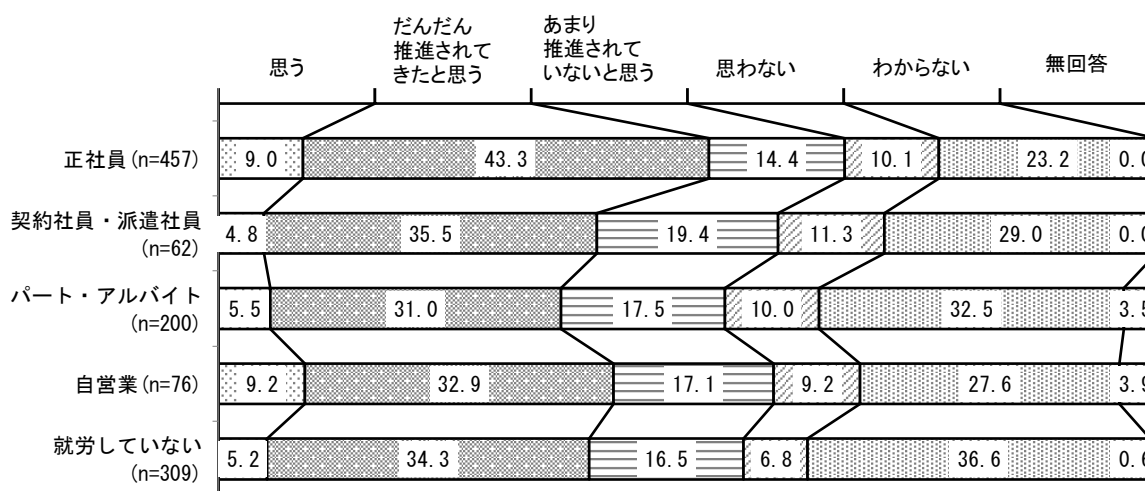
【年齢別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、30代、70歳以上では4割以下となっている。
- 一方で、20代以下及び70歳以上ではわからないが約4割と他の年代に比べ高くなっている。



【職業別】

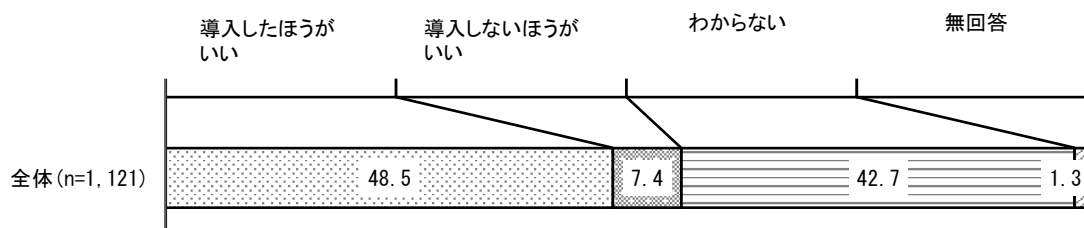
- 正社員では、男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は半数前後となっているが、その他の職業では約4割程度となっている。



(2) パートナーシップ制度について (問35)

本市でパートナーシップ制度を導入することについて、どう思いますか。

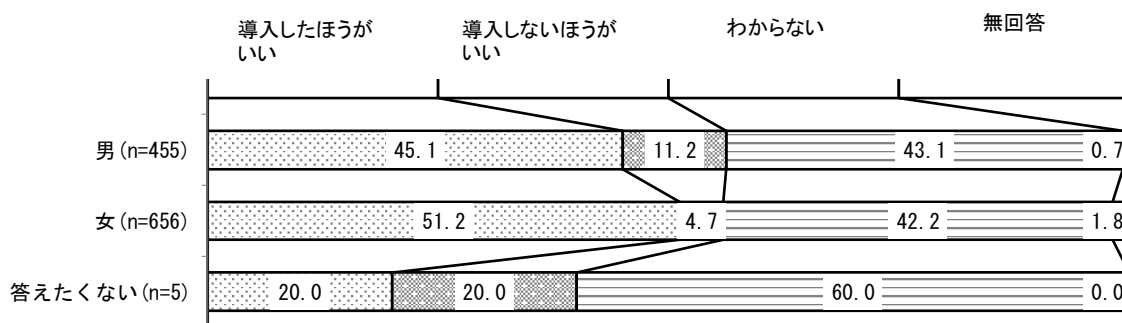
パートナーシップを導入した方がいいと思う割合は48.5%と半数を下回り、思わないのは7.4%、わからないのは42.7%となっている。



	令和4年度	
	人	%
1 導入したほうがいい	544	48.5
2 導入しないほうがいい	83	7.4
3 わからない	479	42.7
4 無回答	15	1.3
合計	1121	100.0

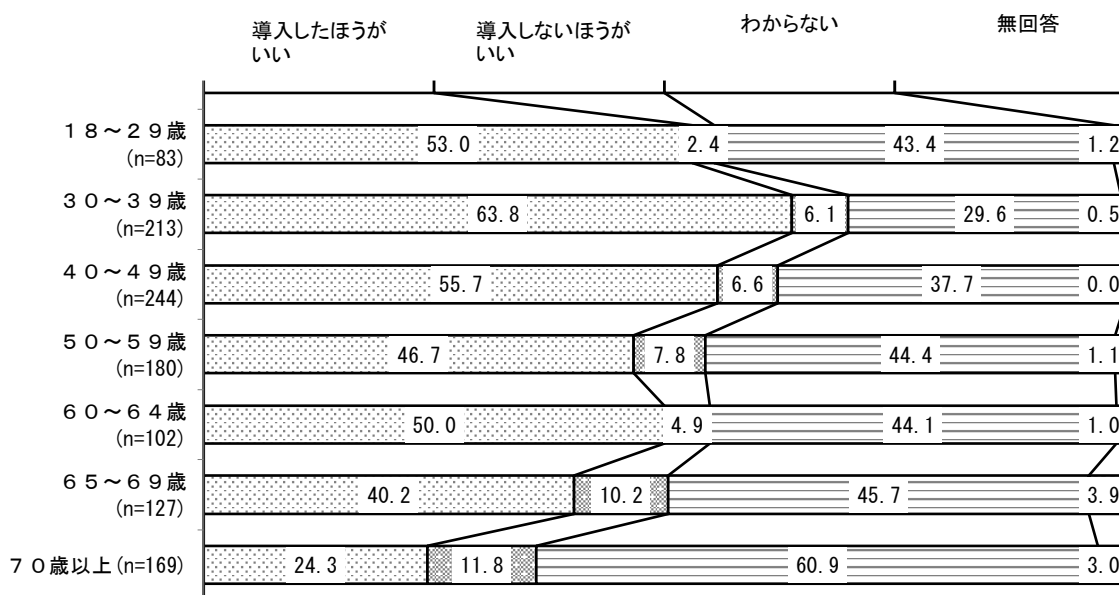
【性別】

- パートナーシップを導入した方がいいという割合は、男性45.1%、女性51.2%となっており、女性の方が6.1ポイント上回っている。



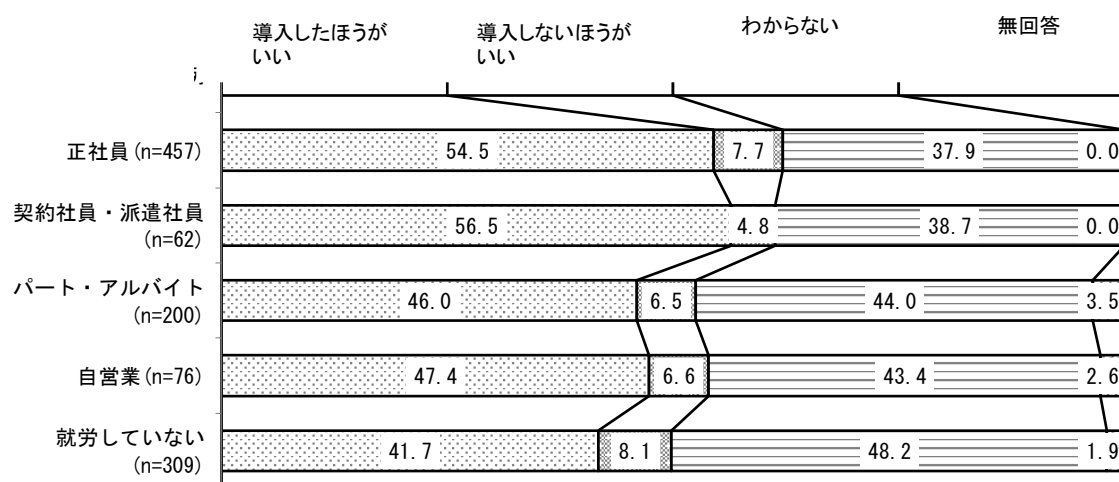
【年齢別】

- パートナーシップを導入した方がいいという割合は、20代以下から60代前半では、約半数以上となっている。



【職業別】

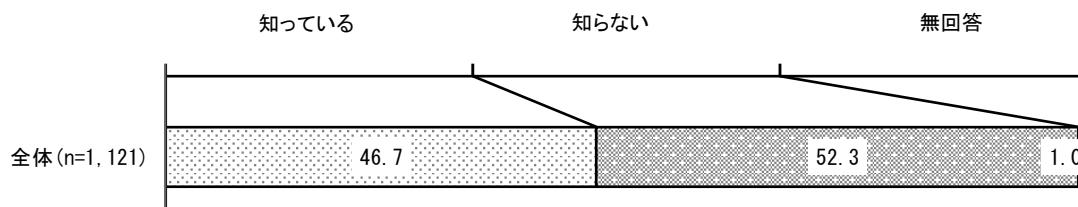
- 正社員、契約社員・派遣社員ではパートナーシップを導入した方がいいという割合が半数以上となっている。



(4) 相談専門部署の認知度 (問36)

あなたは、女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っていますか。
(例えば、DV/離婚相談や子育ての困難さ、児童虐待など)

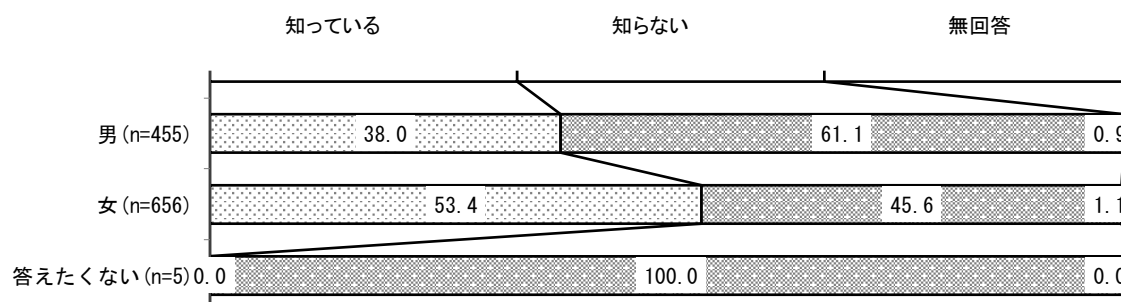
女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかについては、知っているが46.7%、知らないが52.3%となっている。



	令和4年度	
	人	%
1 知っている	524	46.7
2 知らない	586	52.3
3 無回答	11	1.0
合計	1121	100.0

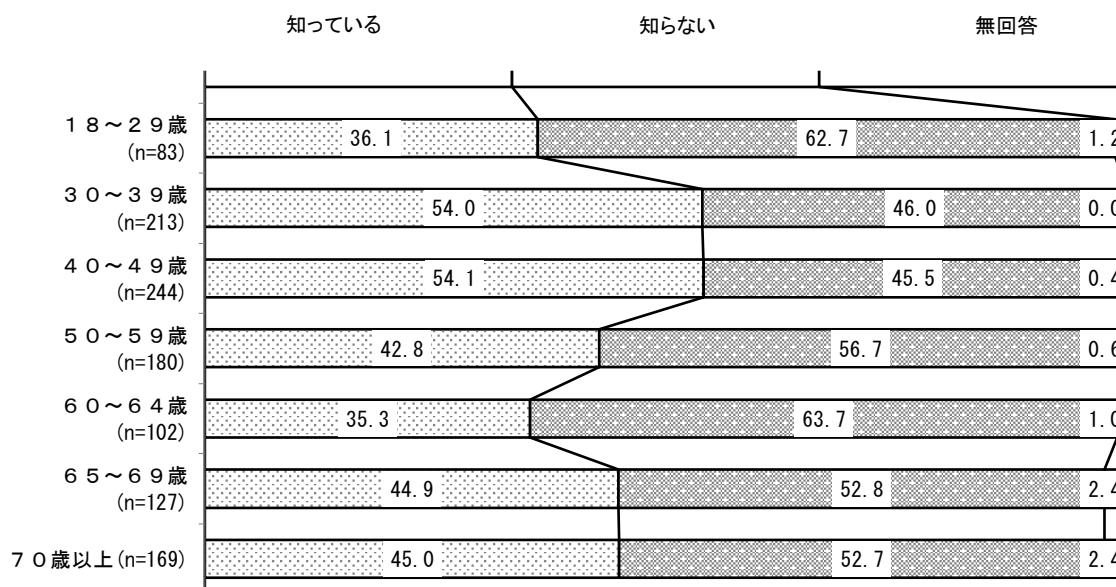
【性別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている人の割合は、男性が38.0%、女性が53.4%となっており、認知度に違いがみられる。



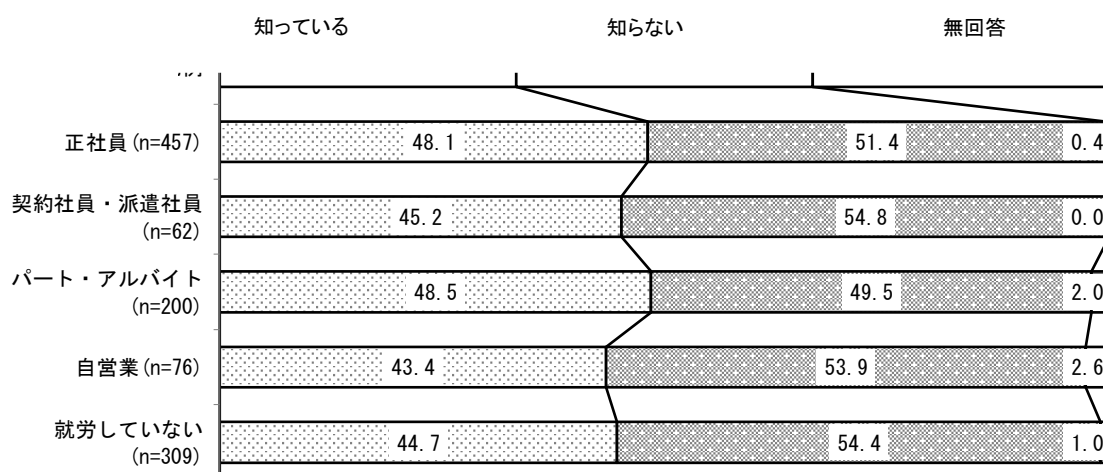
【年齢別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかの割合は、30代～40代では半数以上となっている。



【職業別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかの割合は、職業別での大きな違いはみられていない。

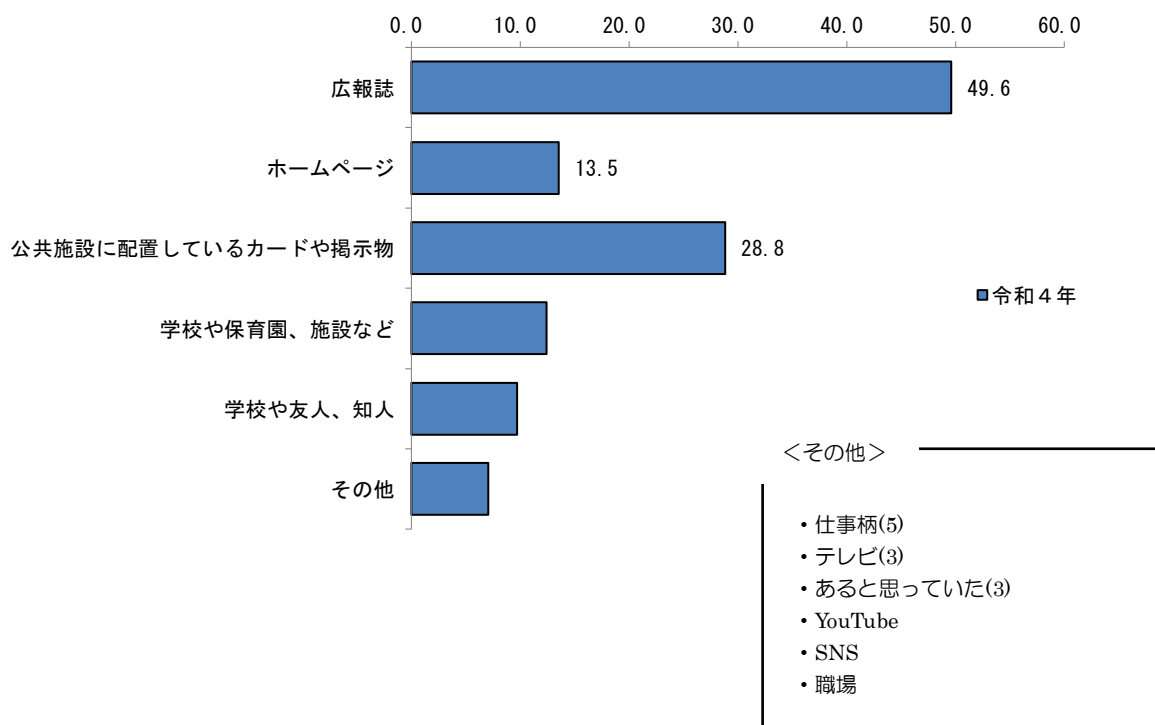


(4) パートナーシップ制度について (問37)

問36で「1.知っている」と答えた方にお尋ねします。

相談窓口を知った方法は何か。

相談専門部署が市役所内にあることを知った方法については、広報誌が49.6%と最も多く、次いで公共施設に配置しているカードや掲示物が28.8%、ホームページが13.5%となっている。



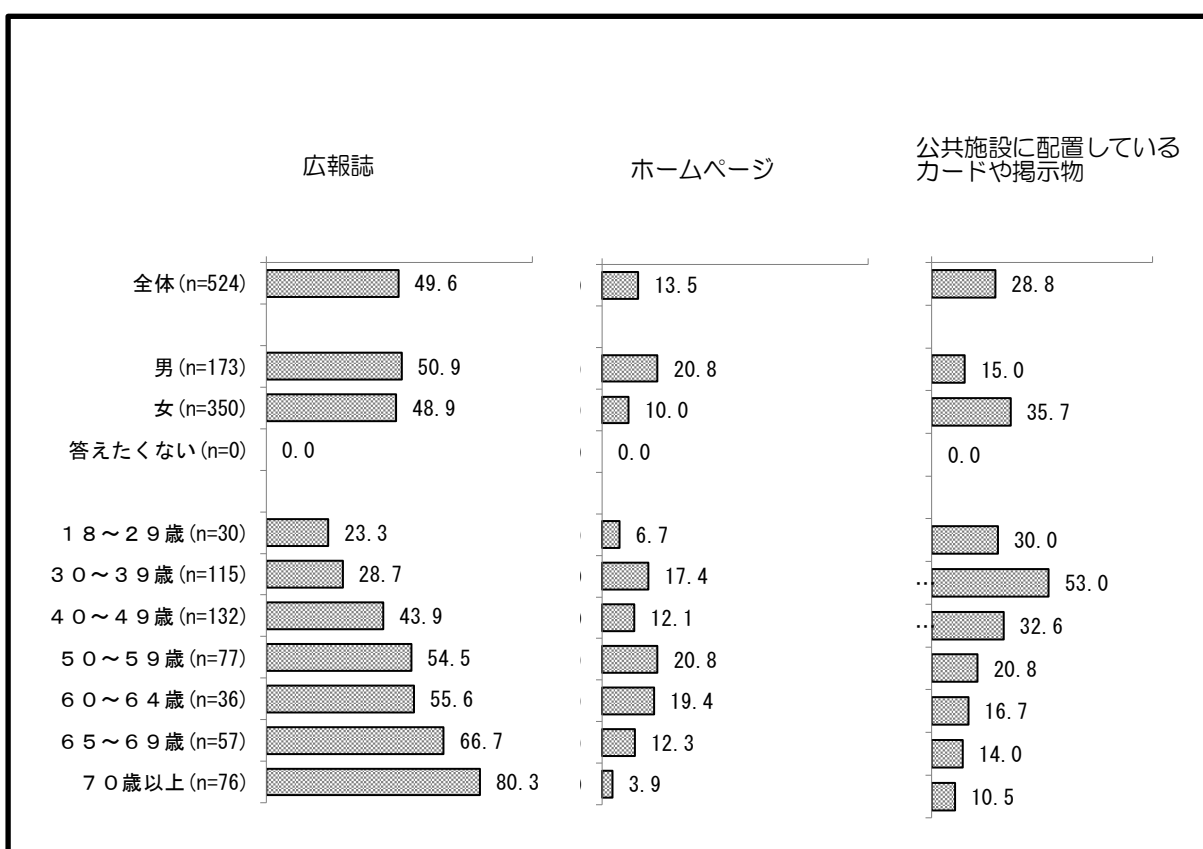
	令和4年度	
	n=524	
	人	%
1 広報誌	260	49.6
2 ホームページ	71	13.5
3 公共施設に配置しているカードや掲示物を見た	151	28.8
4 学校や保育園、施設などから聞いた	65	12.4
5 学校や友人、知人から聞いた	51	9.7
6 その他	37	7.1
7 無回答	0	0.0

【性別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、「公共施設に配置しているカードや掲示物」は男性で 15.0%、女性で 35.7%となっており、女性の方が男性を 20.7ポイント上回っている。

【年齢別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、30代以下では「公共施設に配置しているカードや掲示物」、40代以上では「広報誌」がそれぞれ最も多くなっている。

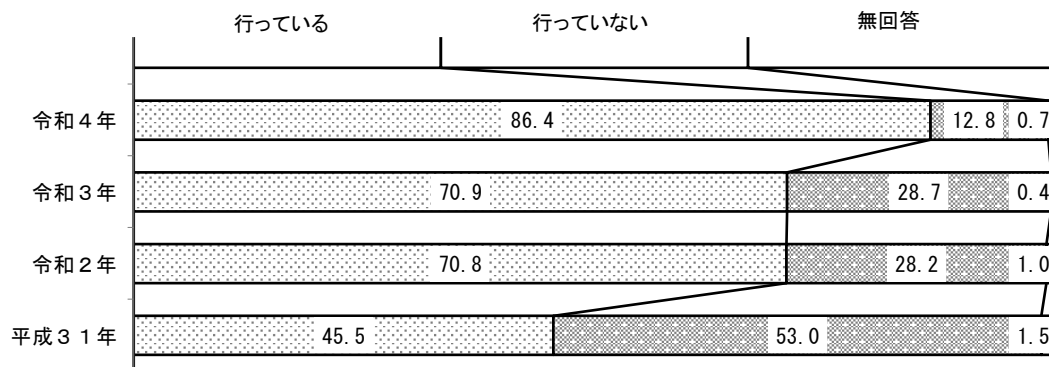


◆危機管理について

1. 健康危機への備え（問40）

あなたは、新型インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症に関して、日頃から情報収集を行っていますか。

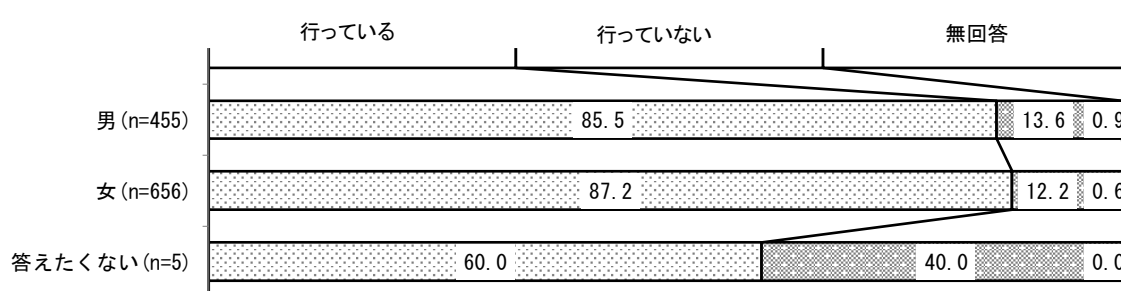
新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの健康危機に備え、日頃から情報収集を行っている人の割合は86.4%、行っていない人は12.8%となっている。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	969	86.4	966	70.9	941	70.8	508	45.5
2 行っていない	144	12.8	391	28.7	375	28.2	591	53.0
3 無回答	8	0.7	6	0.4	13	1.0	17	1.5
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

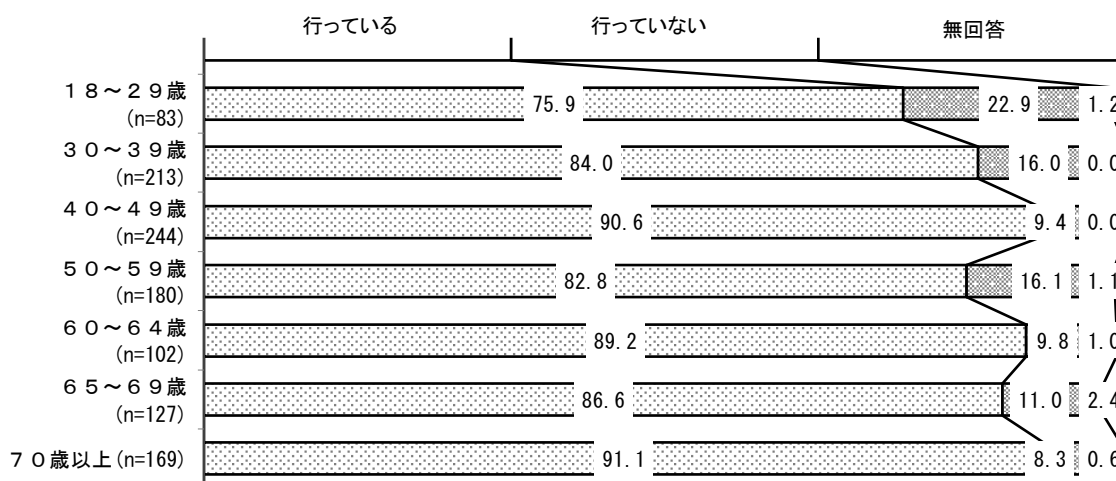
【性別】

- 日頃から情報収集を行っている人の割合は、男性が85.5%、女性が87.2%と女性が男性をわずかに上回っている。



【年齢別】

- 日頃から情報収集を行っている人の割合は、年代が上がるにつれ高くなっており、30代以上では8割以上となっている。
- 昨年度と比較して、すべての年代においても昨年度より情報収集は行っている割合が、10ポイント以上増加している。



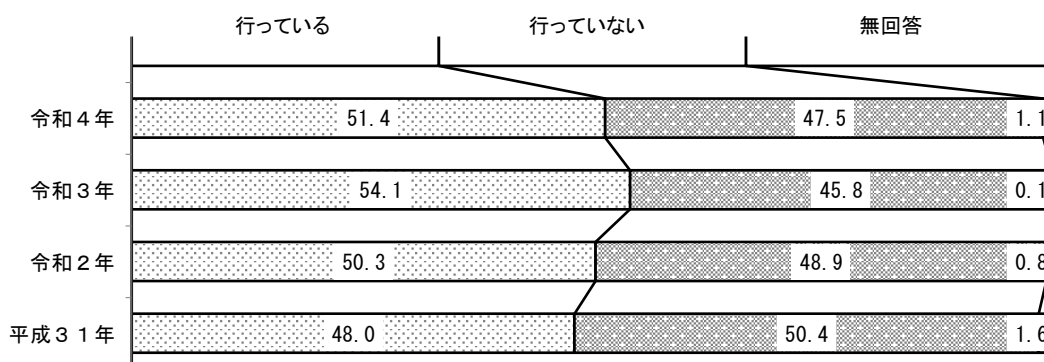
2. 防災の取組み

(1) 家庭内防災（問4 1）

あなたは、家庭内で防災に対する取組み（非常持ち出し袋の準備、家族での話し合い等）を行っていますか？

家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合は51.4%、行っていない人の割合は47.5%となっている。

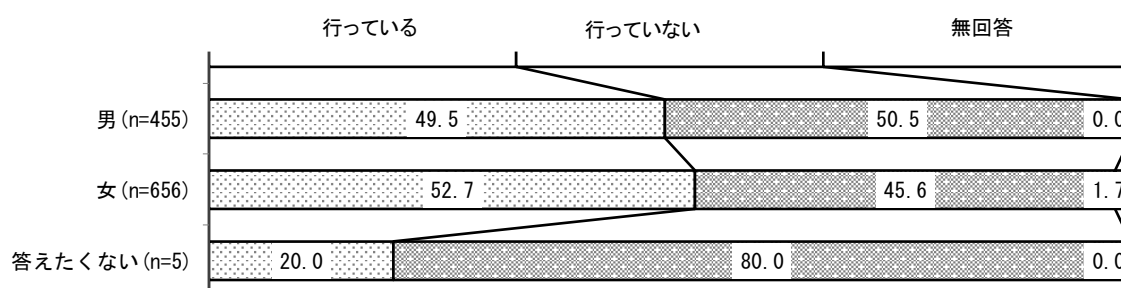
平成31年度以降、行っている人の割合は年々増加傾向にあったが、今年度はやや減少している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	576	51.4	737	54.1	669	50.3	536	48.0
2 行っていない	533	47.5	624	45.8	650	48.9	562	50.4
3 無回答	12	1.1	2	0.1	10	0.8	18	1.6
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

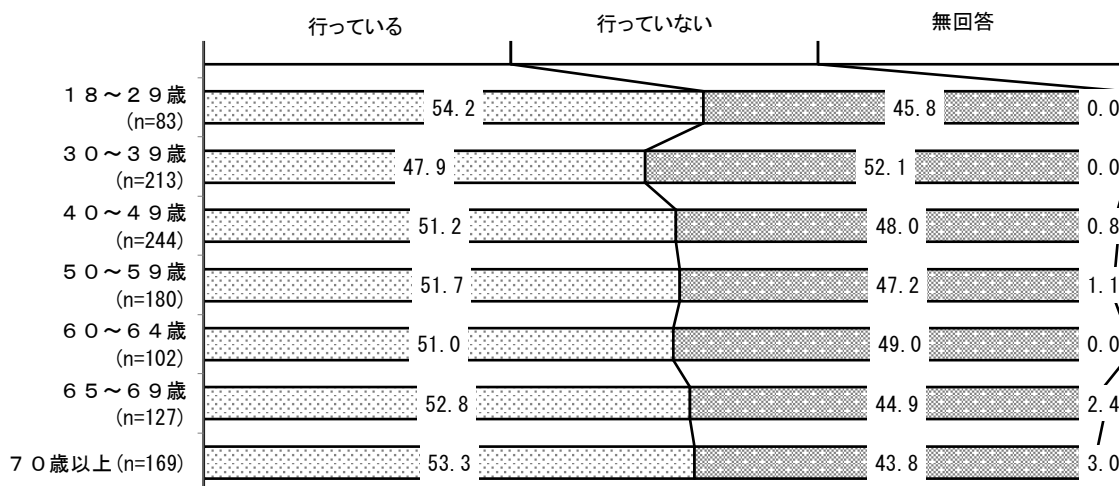
【性別】

- 家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合は、男性が49.5%、女性が52.7%と男性が女性をわずかに上回っている。



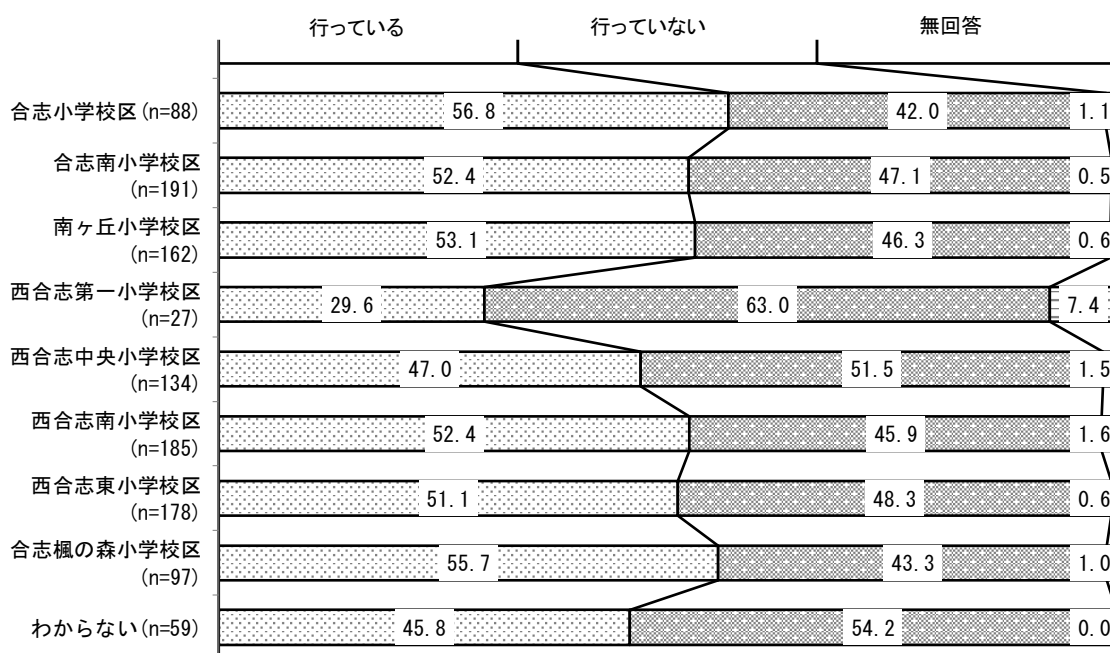
【年齢別】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、すべての年代で半数前後となっている。



【校區別】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、西合志第一小学校を除き、いずれの小学校区で半数前後となっている。



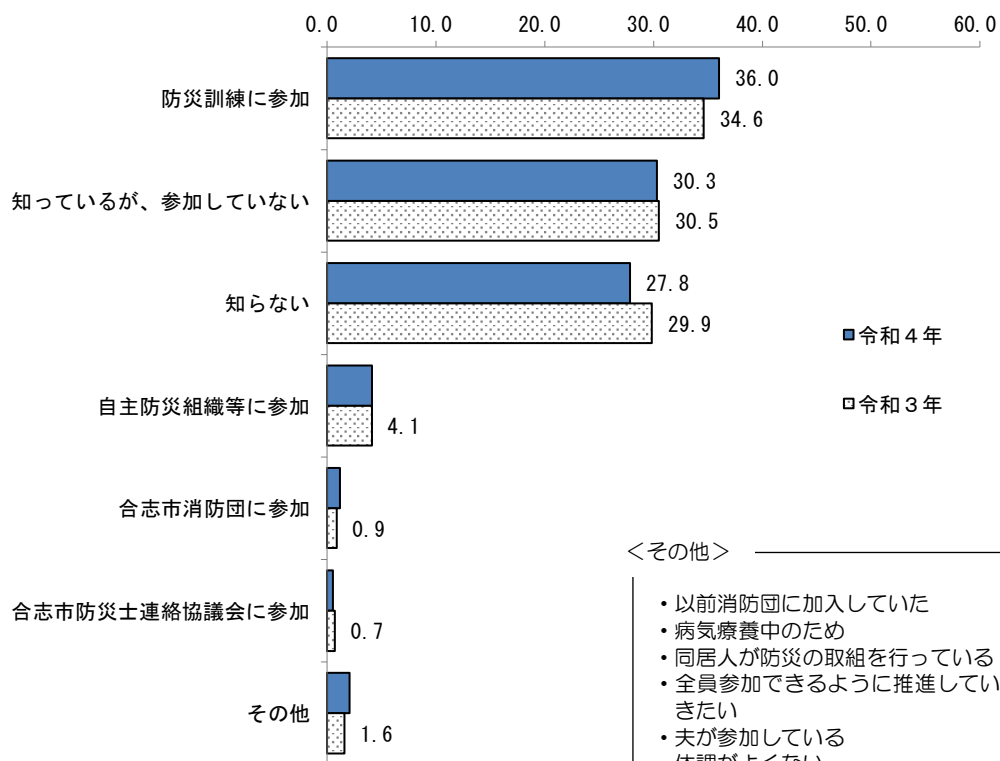
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 地域防災（問42）

あなたは、地域・職場内で防災に対する取組み（防災訓練の参加、自主防災組織・消防団への参加等）を行っていますか？

地域・職場内での防災に対する取組みについては、「地域・職場の防災訓練に参加」している人の割合が36.0%と最も高く、次いで「防災組織について知っているが、参加していない」が30.3%、「防災組織を知らない」が27.8%となっている。

防災に取り組んでいる人（「地域・職場の防災訓練に参加」+「地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している」+「合志市消防団に参加している」+「合志市防災士連絡協議会に参加している」）の割合は41.8%となっており、昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



【性別】

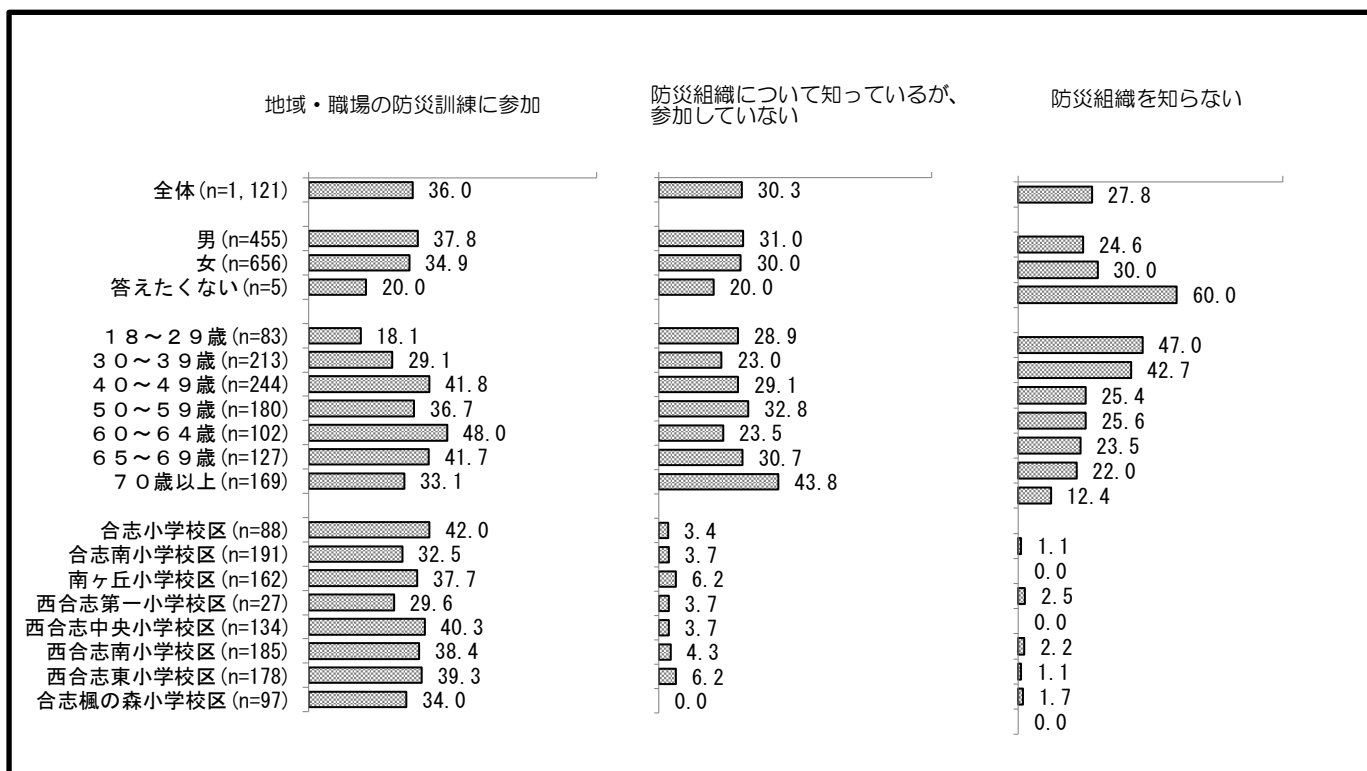
- 地域・職場内で防災に対する取り組みを「行っている」割合は、男性 37.8%、女性 34.9%と男女で大きな違いは見られていない。

【年齢別】

- 地域・職場で防災に取り組んでいる割合は、60～64 歳では約半数となっている。

【校区别】

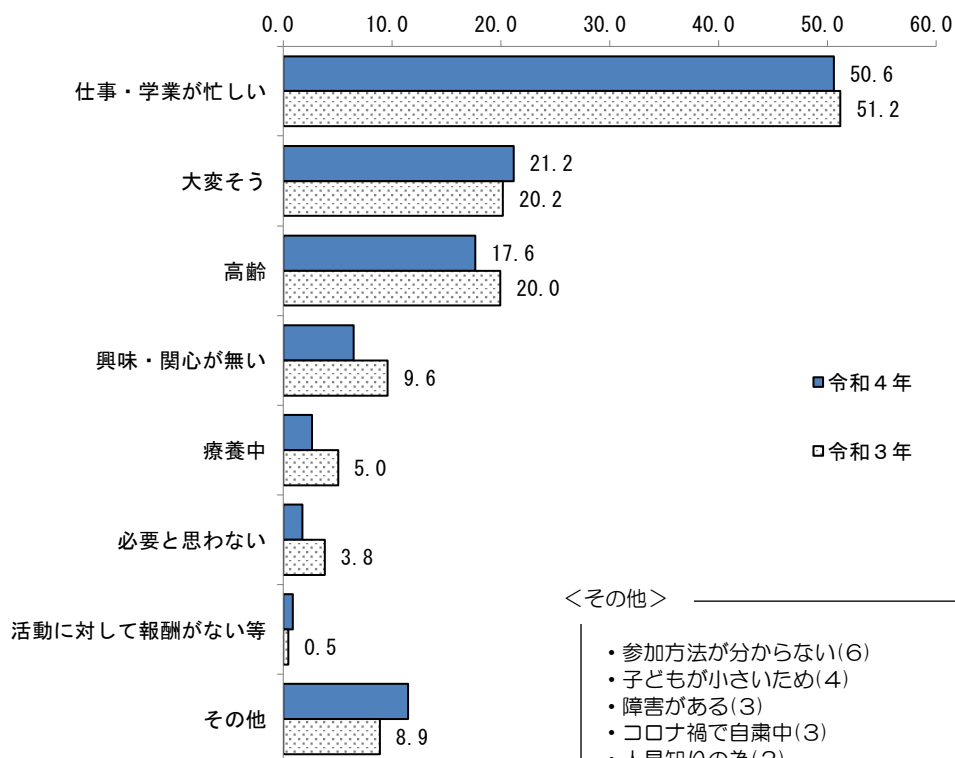
- 地域・職場内で防災に対する取り組みを「行っている」割合は、合志小、合志南小、南ヶ丘小、西合志中央小、西合志東小が半数以上となり、他の校区よりも高くなっている。



(3) 防災への取り組みに参加しない理由（問43）

問42で「5. 防災組織について知っているが、参加していない」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか。

防災組織について知っているが、参加していない340人について、参加していない理由を尋ねたところ、「仕事・学業が忙しい」の割合が50.6%と最も高く、次いで「大変そう」が21.2%、高齢が17.6%となっており、昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



<その他>

- ・参加方法が分からない(6)
- ・子どもが小さいため(4)
- ・障害がある(3)
- ・コロナ禍で自粛中(3)
- ・人見知りの為(2)
- ・防災訓練がないから(2)
- ・主人が参加している(2)
- ・消防団退団済
- ・前入っていたが、飲み会ばかりだった
- ・報酬は消防団の遊行や飲食代になっている
- ・募集がなかったから
- ・日程が合わない
- ・住んでいる住宅に消防団などが無い
- ・整形外科に通院中の為
- ・昔(20~30年前)は行っていた

【性別】

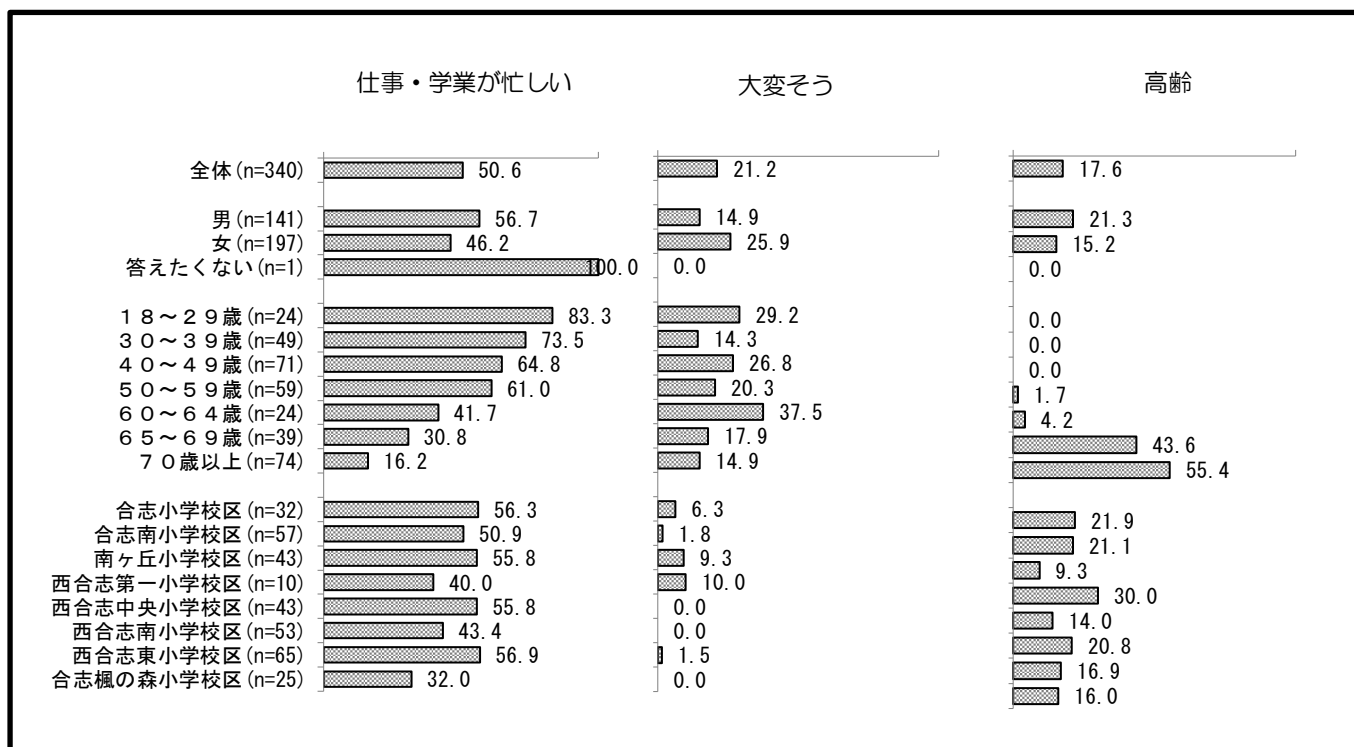
- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は男性で 21.3%、女性で 15.2%と男性が女性より 10 ポイント以上高くなっている。

【年齢別】

- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は年代が上がるにつれ高くなっている。また、「仕事・学業が忙しい」あげている人の割合は、年代が下がるにつれ高くなっている。

【校区别】

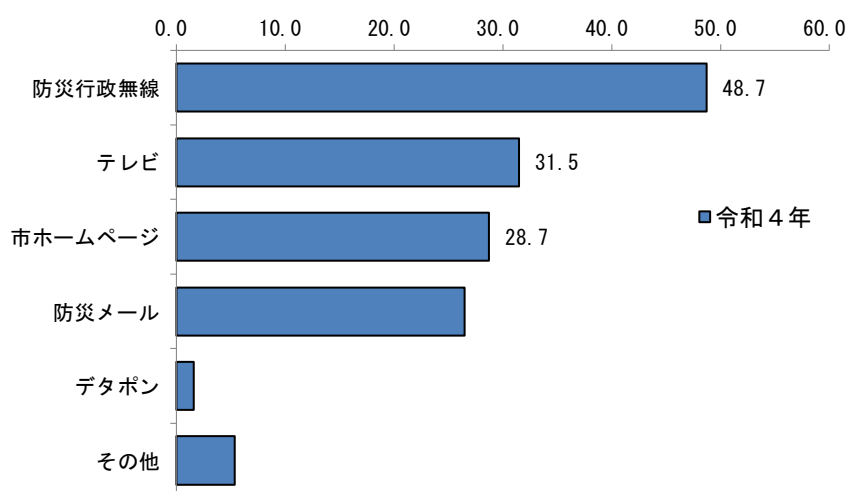
- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は合志小、合志南小、西合志第一小、西合志南小で 2 割以上と高くなっている。



(4) 防災情報の収集方法 (問 4 4)

あなたは市の防災情報をどのようにして収集していますか。

市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、防災行政無線が48.7%と最も高く、テレビ31.5%、市のホームページ28.7%となっている。



<その他>

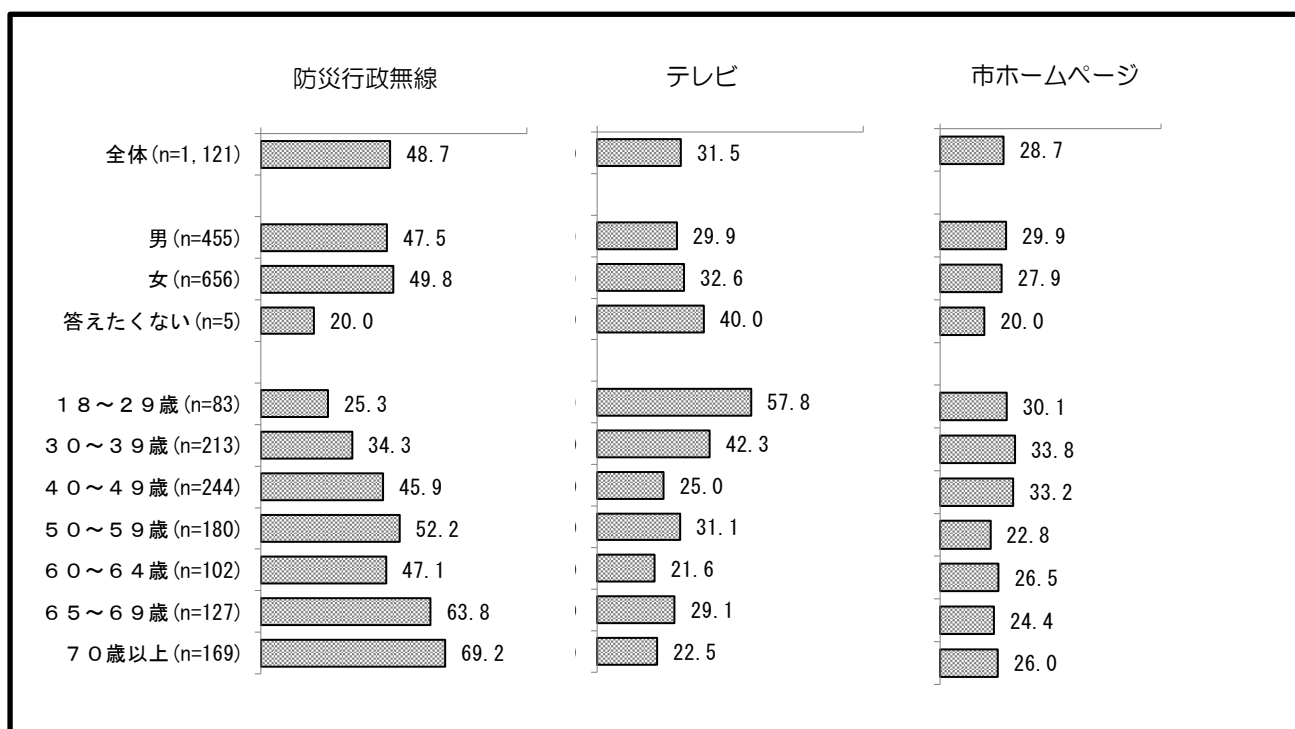
- 広報誌
- 収集していない
- インターネット
- 回覧板
- ライン
- 町内放送
- 防災マップは見たことがある
- 近所の人から
- スマホ警報
- 合志市の防災チラシ
- 人から
- 妻が防災メールに登録している
- 情報収集の手段をしらない
- アプリ合志市
- 自治会
- 新聞
- 知人、友人から
- ツイッター等 SNS

【性別】

- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、男女で大きな違いは見られていない。

【年齢別】

- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、防災行政無線の割合は、年代が上がるにつれ高くなっている。



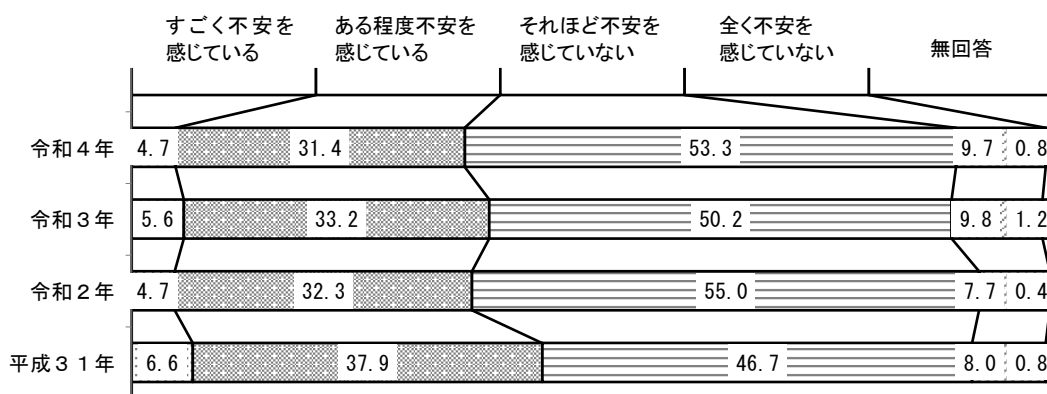
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

3. 犯罪被害に合う不安（問45）

あなたやあなたの家族が、合志市内において犯罪被害（詐欺、窃盗、痴漢等）などに不安を感じていますか。

合志市内で犯罪被害にあう不安を感じている（「すごく不安を感じている」+「ある程度不安を感じている」）人の割合は36.1%となっており、不安を感じていない（「全く不安を感じていない」+「それほど不安を感じていない」）が63.0%となっている。

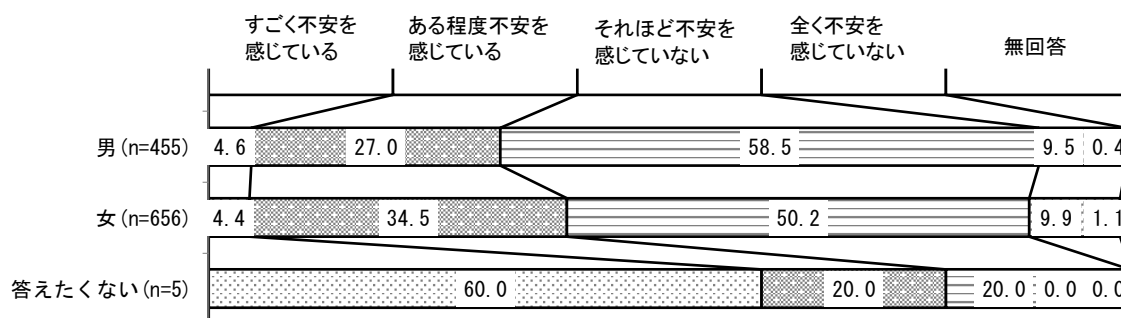
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 すごく不安を感じている	53	4.7	77	5.6	62	4.7	74	6.6
2 ある程度不安を感じている	352	31.4	452	33.2	429	32.3	423	37.9
3 それほど不安を感じていない	598	53.3	684	50.2	731	55.0	521	46.7
4 全く不安を感じていない	109	9.7	134	9.8	102	7.7	89	8.0
5 無回答	9	0.8	16	1.2	5	0.4	9	0.8
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

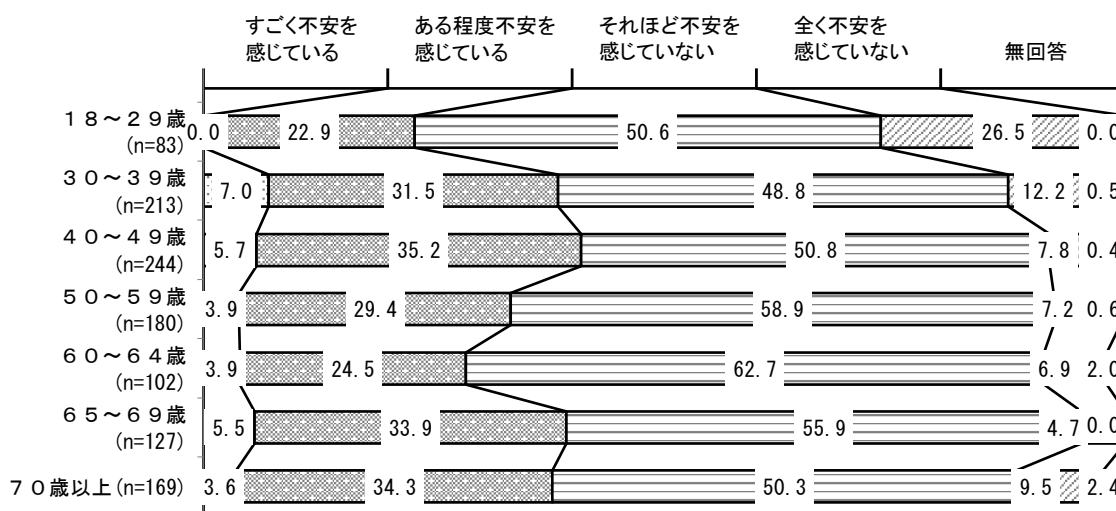
【性別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、男性が 31.6%、女性が 38.9%と女性が男性を 7.3 ポイント上回っている。



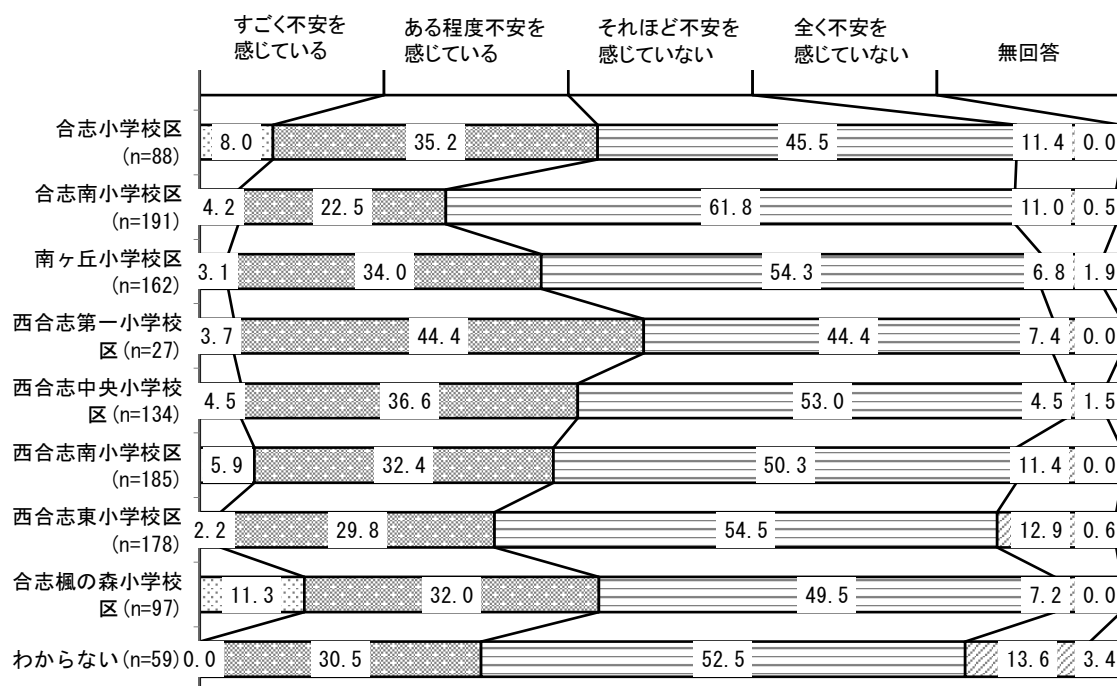
【年齢別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、30、40代では約 4 割となっており、他の年代と比較して高くなっている。20 代以下では犯罪被害にあう不安を感じていない人が 7 割を超えている。



【校區別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、合志南小と西合志東小がともに約3割と
なっているが、他の校区では約4割となっている。

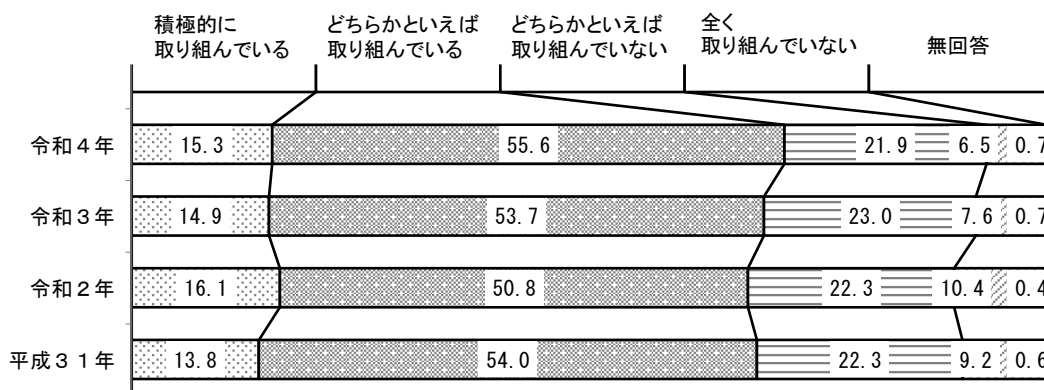


4. 地球温暖化防止への取組み（問47）

あなたの世帯では、何らかの地球温暖化防止対策（太陽光発電、太陽熱温水器、低燃費車両、LED化等の省エネ家電、節電等）に取り組んでいますか。

地球温暖化防止対策に取り組んでいる（「積極的に取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」）人の割合は70.9%となっており、取り組んでいない（「全く取り組んでいない」+「どちらかといえば取り組んでいない」）人の割合は28.4%となっている。

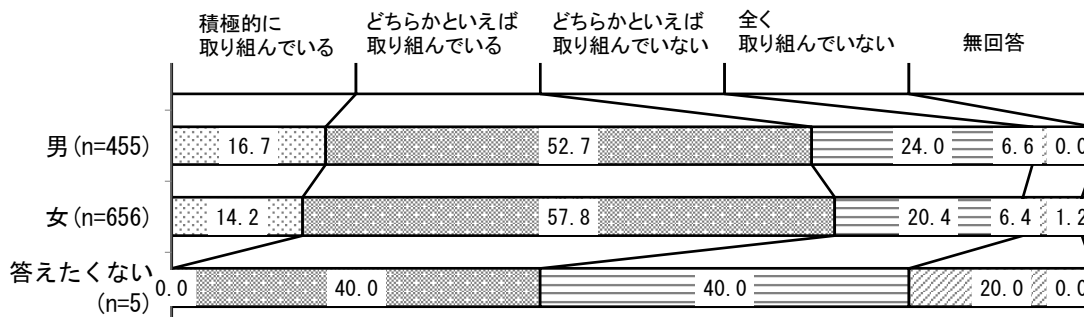
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 積極的に取り組んでいる	171	15.3	203	14.9	214	16.1	154	13.8
2 どちらかといえば取り組んでいる	623	55.6	732	53.7	675	50.8	603	54.0
3 どちらかといえば取り組んでいない	246	21.9	314	23.0	297	22.3	249	22.3
4 全く取り組んでいない	73	6.5	104	7.6	138	10.4	103	9.2
5 無回答	8	0.7	10	0.7	5	0.4	7	0.6
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

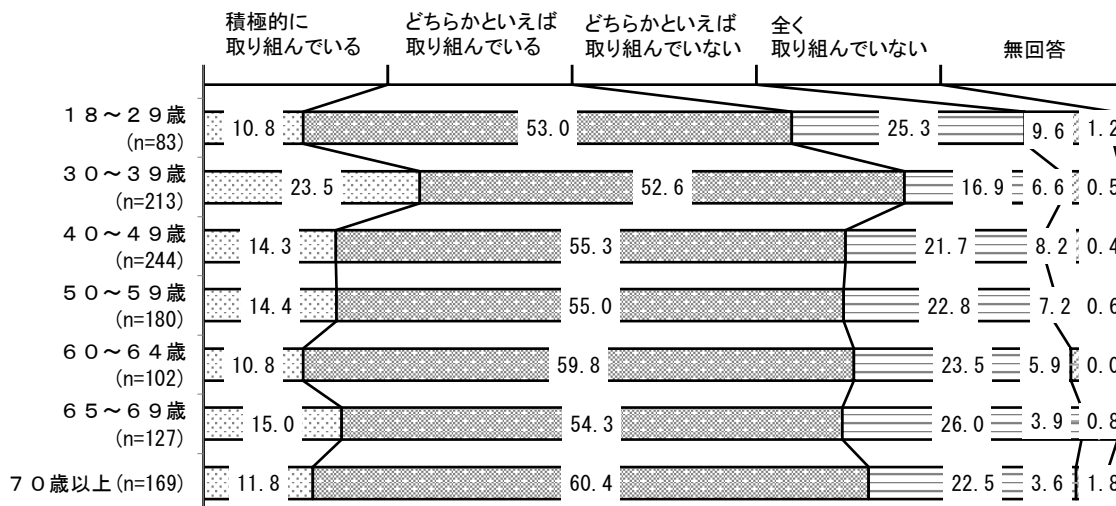
【性別】

●地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

●地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、年代に関係なく半数を超えており、特に30代では7割を超えている。



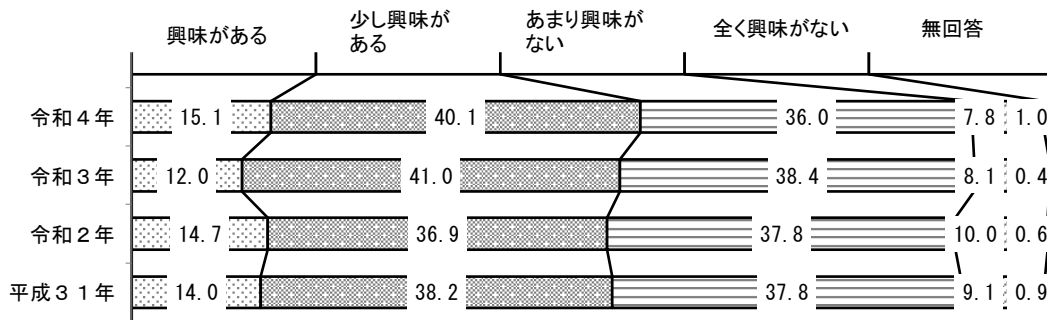
◆郷土意識について

1. 合志市の歴史・伝統文化への関心（問38）

あなたは、合志の歴史・伝統文化に興味がありますか。

合志の歴史・伝統文化に興味がある人（「興味がある」＋「少し興味がある」）の割合は55.2%、興味がない人（「まったく興味がない」＋「あまり興味がない」）の割合は43.8%となっている。

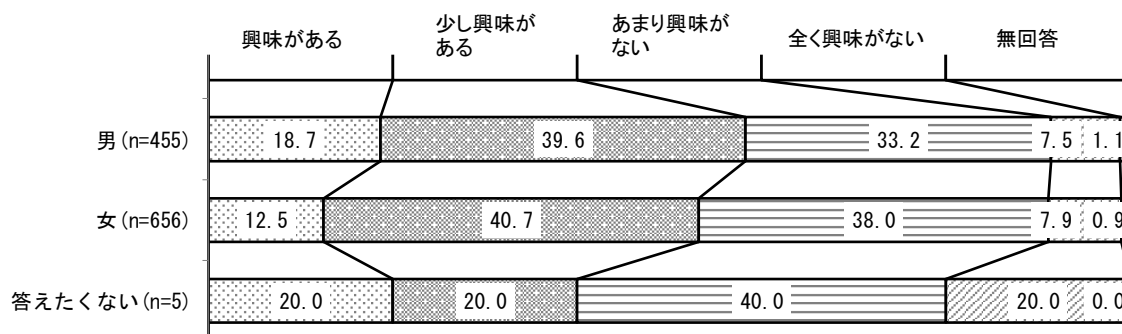
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%
1 興味がある	169	15.1	163	12.0
2 少し興味がある	450	40.1	559	41.0
3 あまり興味がない	404	36.0	524	38.4
4 まったく興味がない	87	7.8	111	8.1
5 無回答	11	1.0	6	0.4
合計	1121	100.0	1363	100.0

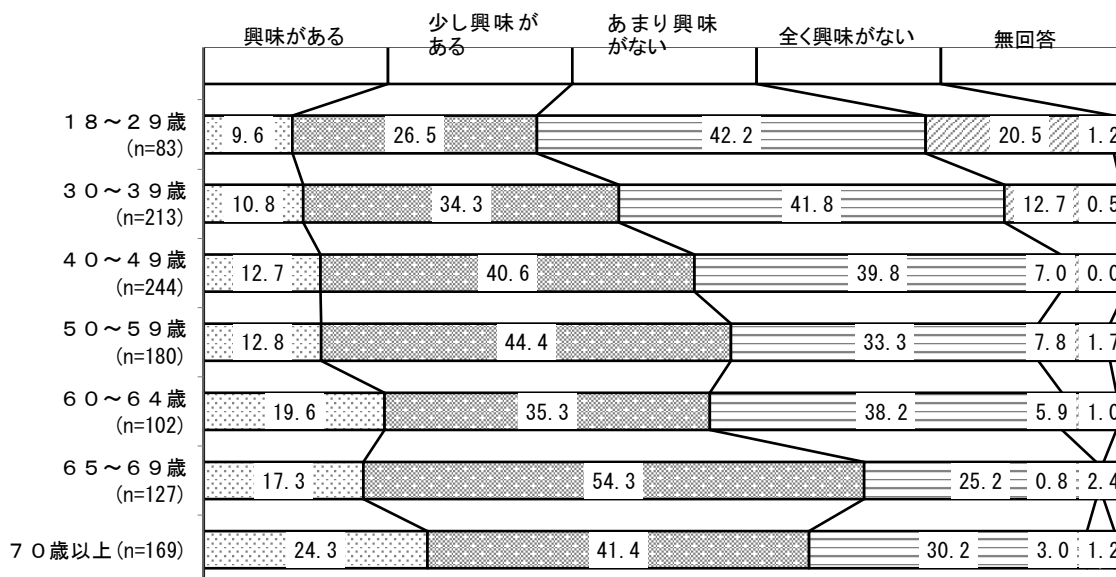
【性別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、男性が58.3%、女性が53.2%と男性が女性を5.1ポイント上回っている。



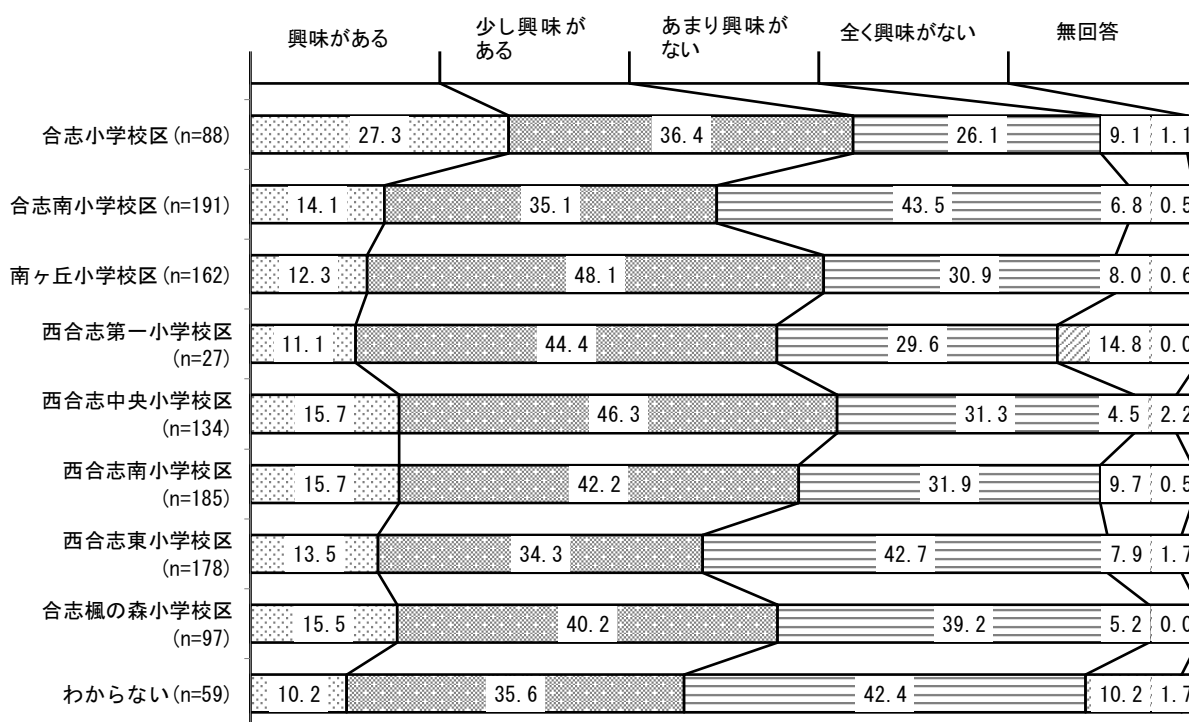
【年齢別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、40代以上では約半数を超えている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



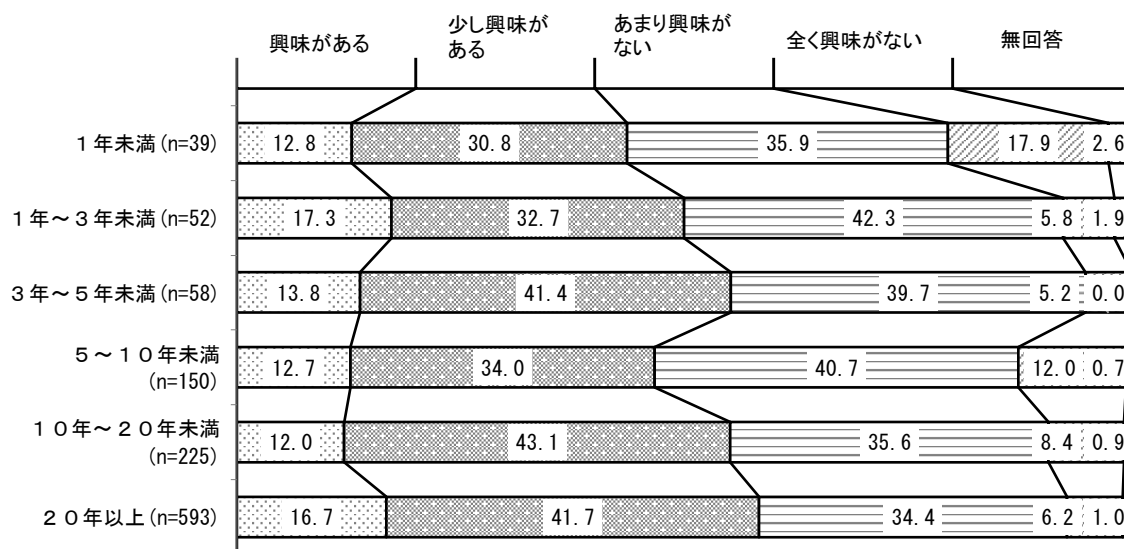
【校區別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、すべての校区で半数を超えており、最も高い合志小では63.7%となっている。



【居住年数別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、居住年数 1～3 年未満、3～5 年未満及び 10 年以上において、半数以上となっている。

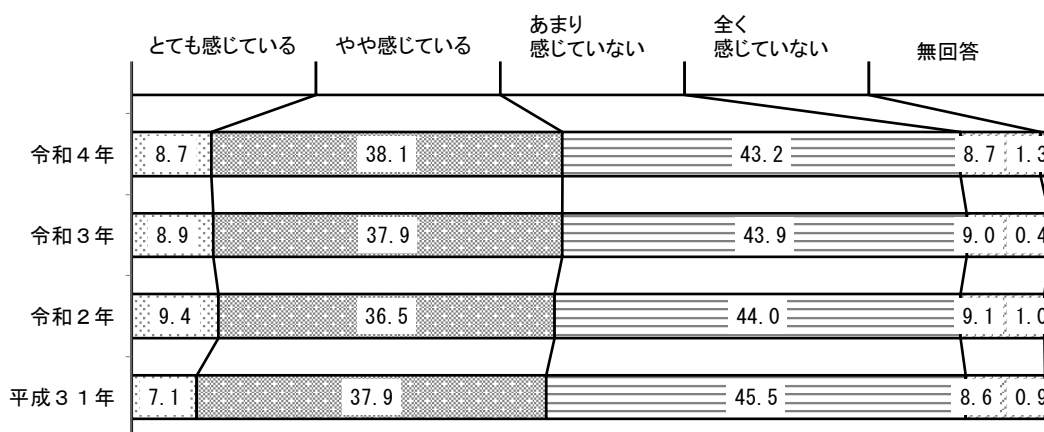


2. 郷土としての合志市への意識（問39）

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じていますか

歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている（「とても感じている」+「やや感じている」）人の割合は46.8%、感じていない人（「あまり感じていない」+「全く感じていない」）人の割合は51.9%となっている。

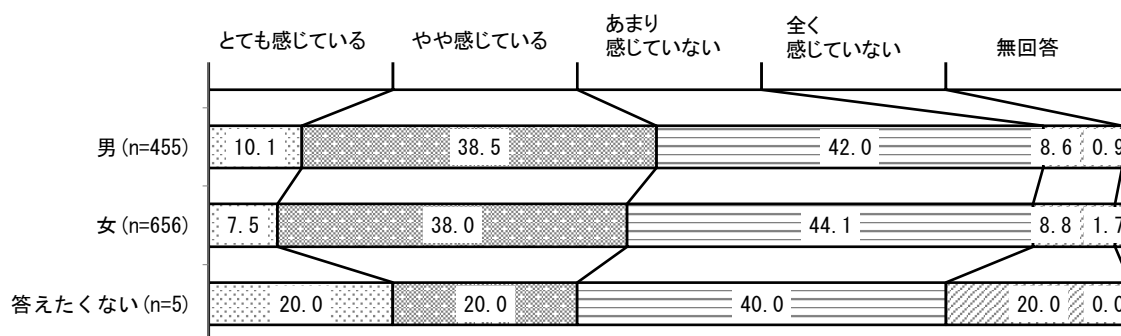
昨年度と比較して大きな違いは見られていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても感じている	97	8.7	121	8.9	125	9.4	79	7.1
2 やや感じている	427	38.1	516	37.9	485	36.5	423	37.9
3 あまり感じていない	484	43.2	598	43.9	585	44.0	508	45.5
4 全く感じていない	98	8.7	122	9.0	121	9.1	96	8.6
5 無回答	15	1.3	6	0.4	13	1.0	10	0.9
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

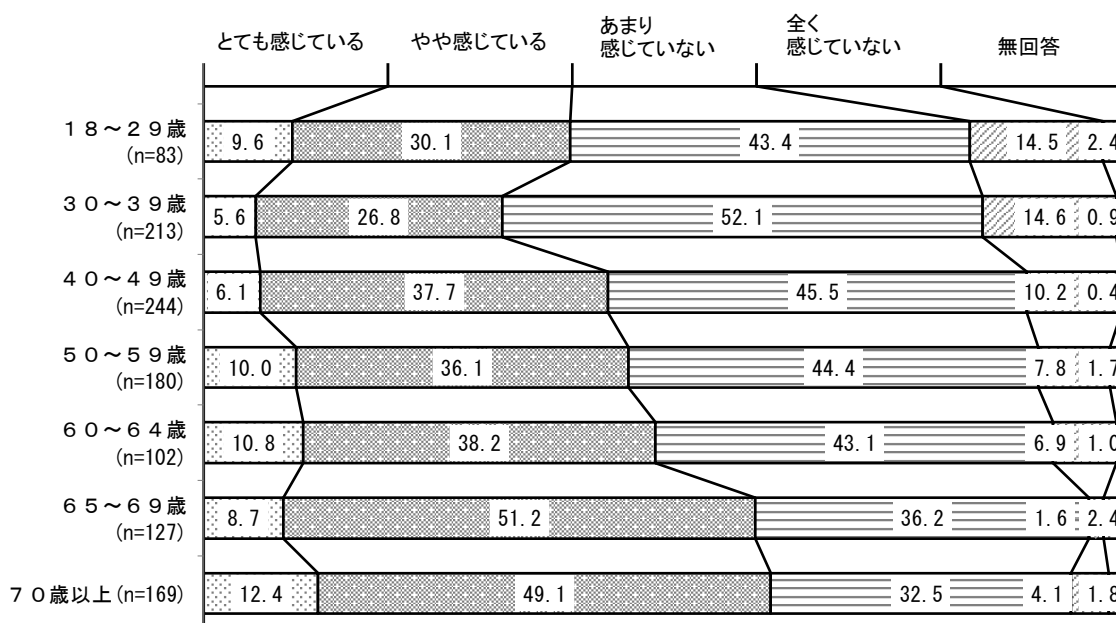
【性別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、男性が48.6%、女性が45.5%と男性が女性を3.1ポイント上回っている。



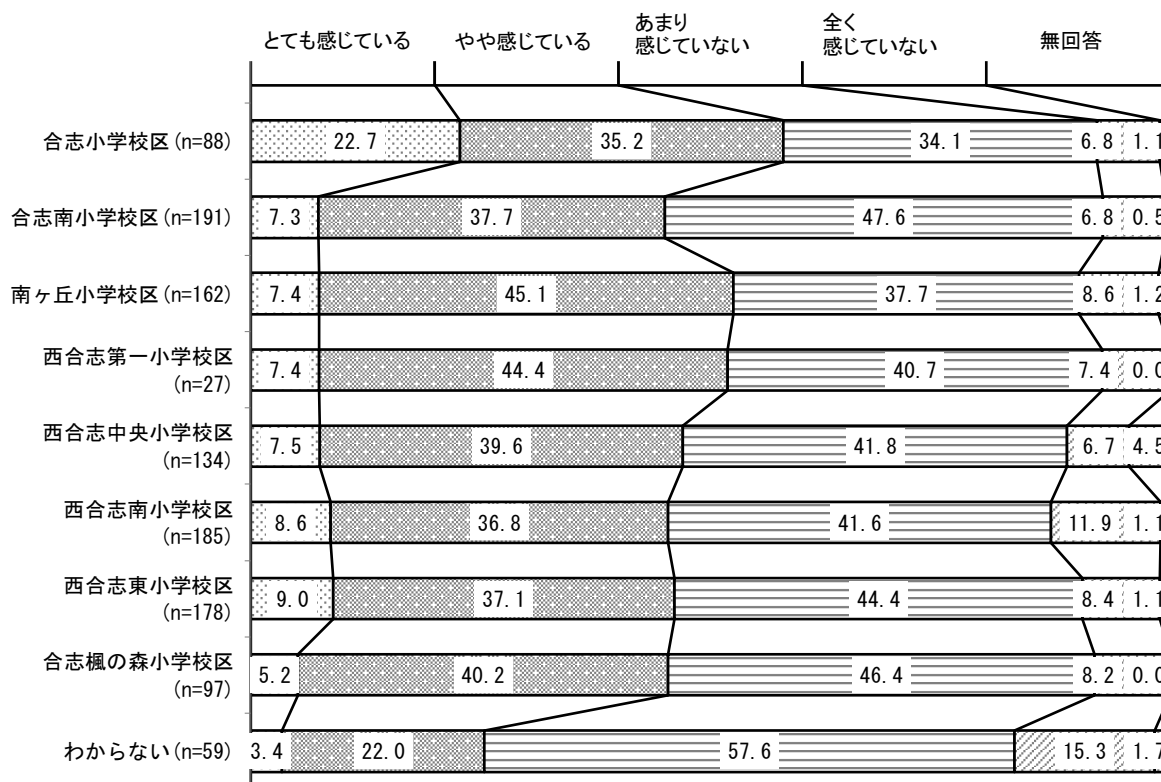
【年齢別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、30代以降、年齢があがるほど高くなっており、30代では約3割だが、70歳以上では6割を超えている



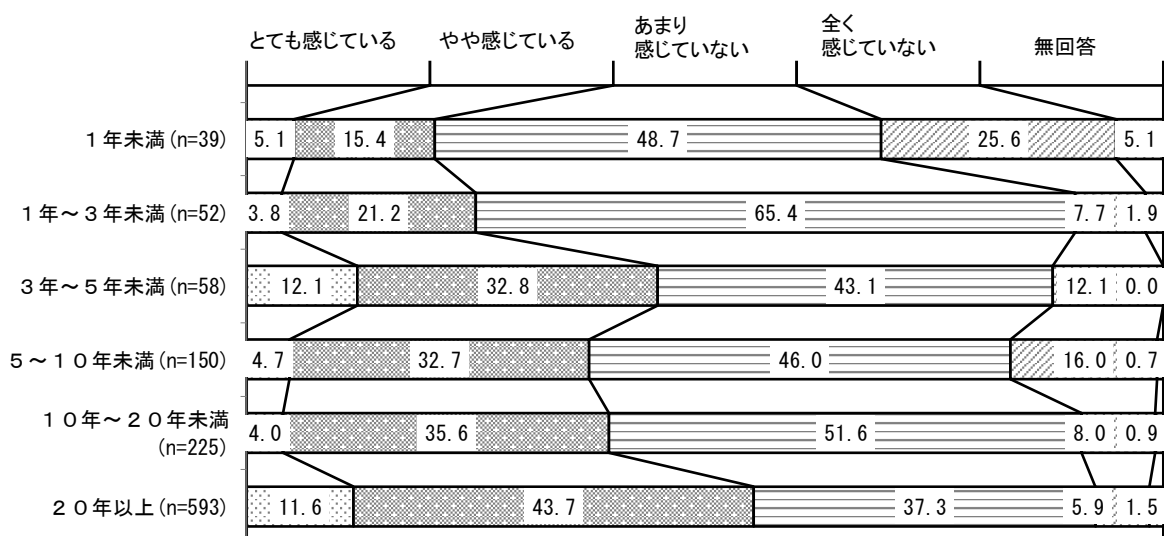
【校區別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、合志小で58.0%と最も高く、南ヶ丘小、西合志第一小においても半数を超えている。



【居住年数別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、1～3年未満では3割以下だが、3～5年未満では4割を超え、20年以上では半数を超えている。



◆市政について

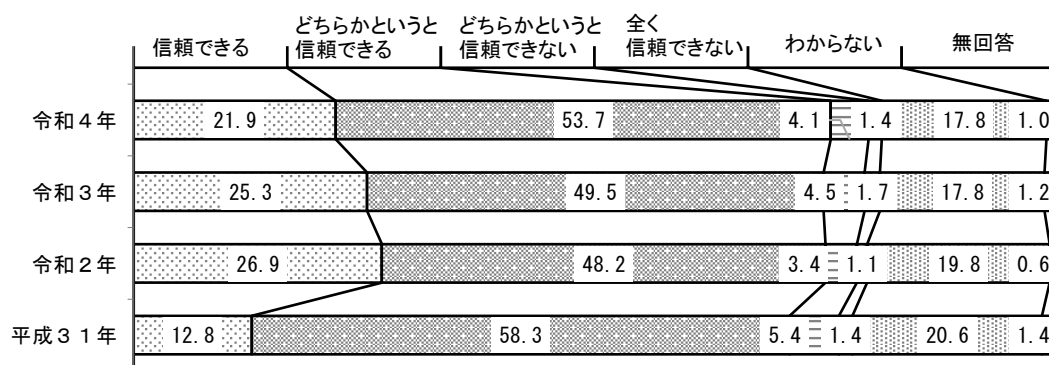
1. 市役所について

(1) 市役所への信頼（問56）

あなたにとって市役所は信頼できる存在ですか？

市役所が信頼できる（「信頼できる」+「どちらかという信頼できる」）人の割合は75.6%と全体の4分の3を占めており、信頼できない（「全く信頼できない」+「どちらかという信頼できない」）は5.5%となっている。

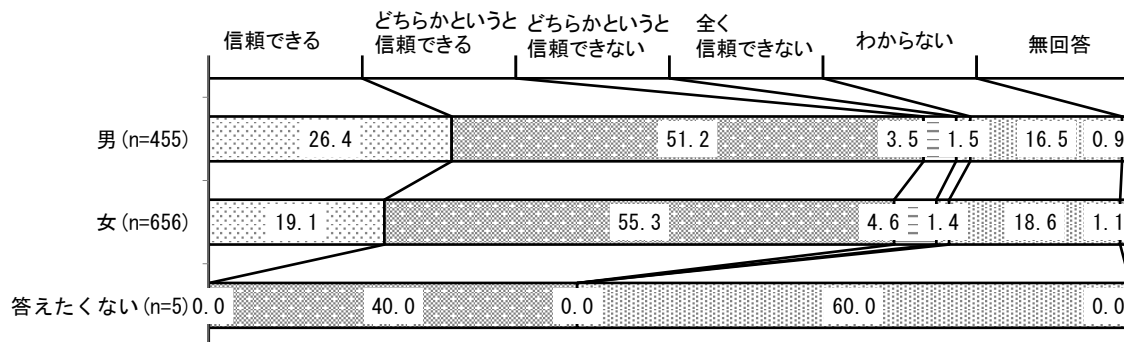
昨年度と比較して、大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 信頼できる	246	21.9	345	25.3	358	26.9	143	12.8
2 どちらかという信頼できる	602	53.7	675	49.5	640	48.2	651	58.3
3 どちらかという信頼できない	46	4.1	61	4.5	45	3.4	60	5.4
4 全く信頼できない	16	1.4	23	1.7	15	1.1	16	1.4
5 わからない	200	17.8	243	17.8	263	19.8	230	20.6
6 無回答	11	1.0	16	1.2	8	0.6	16	1.4
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

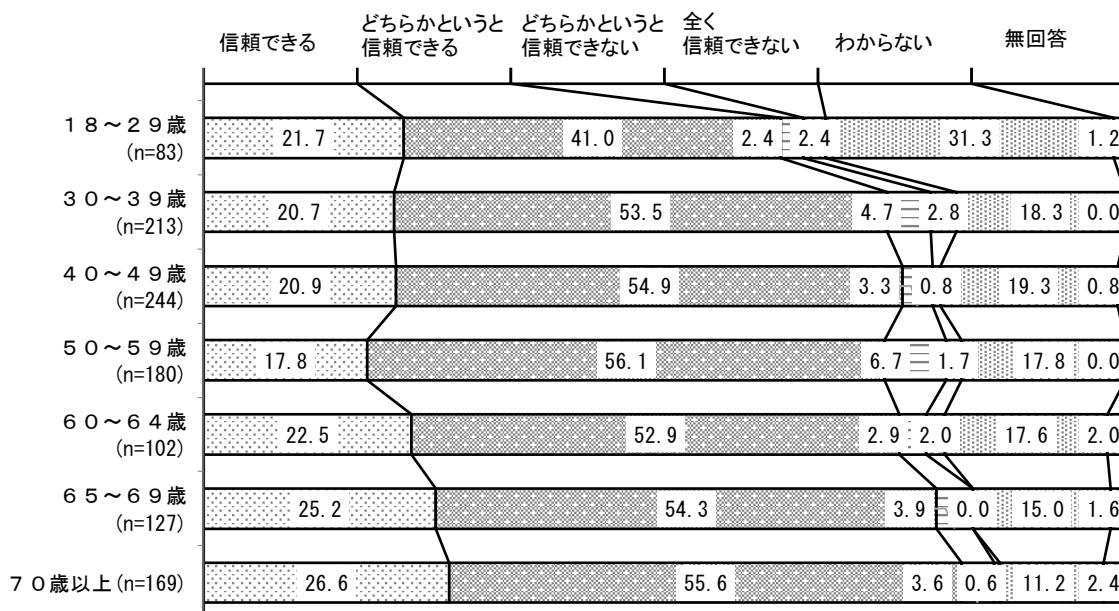
【性別】

●市役所が信頼できる人の割合は、男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

●市役所が信頼できる人の割合は、最も低い20代以下では62.7%となっている。年代が上がるにつて高くなる傾向がみられ、30代以上では約7割以上となり、70歳以上では8割以上となっている。

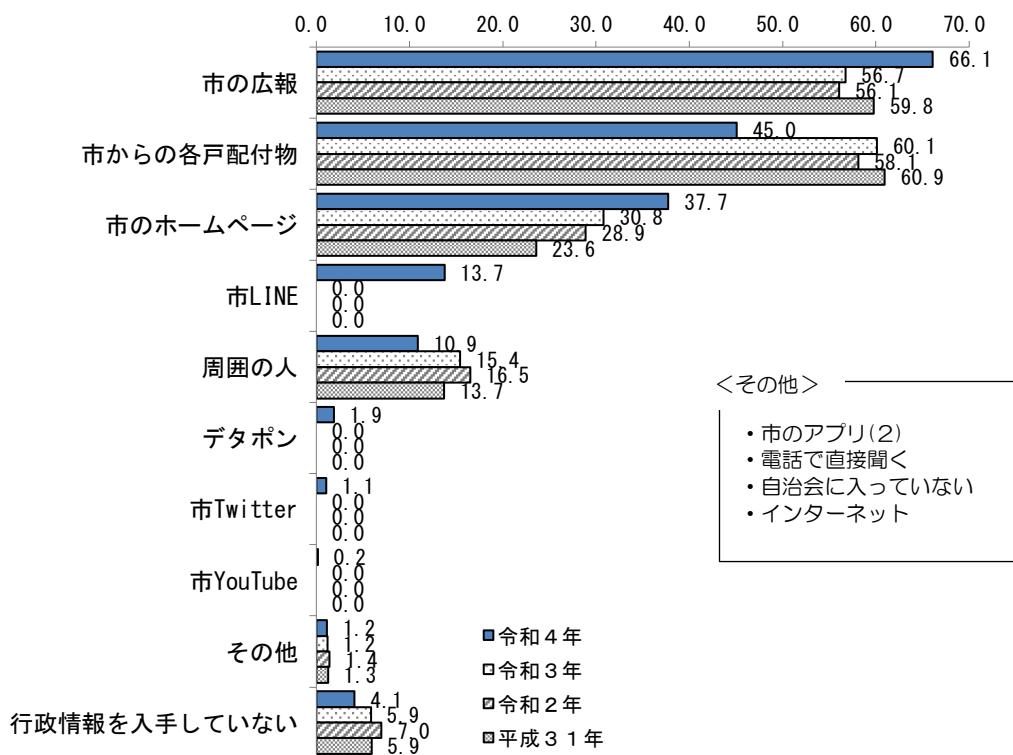


(2) 行政情報の入手（問57）

あなたは、どのように行政情報を入手していますか？

行政情報の入手方法については、「市の広報」が66.1%、次いで「市からの各戸配付、回覧などの配布物」が45.0%、「市のホームページ」が37.7%となっている。また、今年度から追加された「市LINE」の割合は13.7%となっている。「行政情報を入手していない」人の割合は4.1%となっており、昨年度より1.8ポイント減少している。

昨年度と比較して上位の項目に違いはみられない。



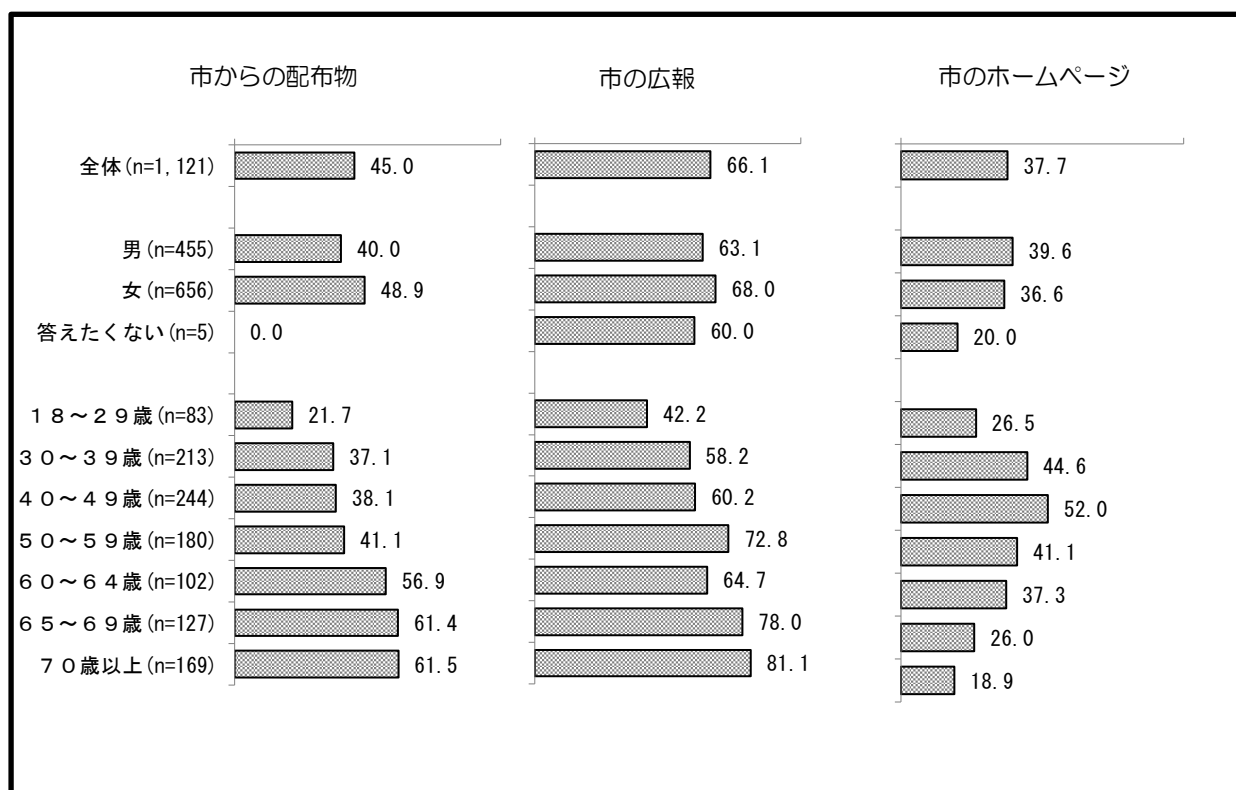
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市の広報	741	66.1	773	56.7	745	56.1	667	59.8
2 市のホームページ	423	37.7	420	30.8	384	28.9	263	23.6
3 市Twitter	12	1.1						
4 市YouTube	2	0.2						
5 市LINE	154	13.7						
6 データポン	21	1.9						
7 周囲の人からの伝聞	122	10.9	210	15.4	219	16.5	153	13.7
8 行政情報を入手していない	46	4.1	80	5.9	93	7.0	66	5.9
9 市からの各戸配布、回覧などの配付物	505	45.0	819	60.1	772	58.1	680	60.9
10 その他	13	1.2	16	1.2	19	1.4	14	1.3

【性別】

- 男女で入手方法に大きな違いはみられていないが、「市からの配布物」では女性が男性より8.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

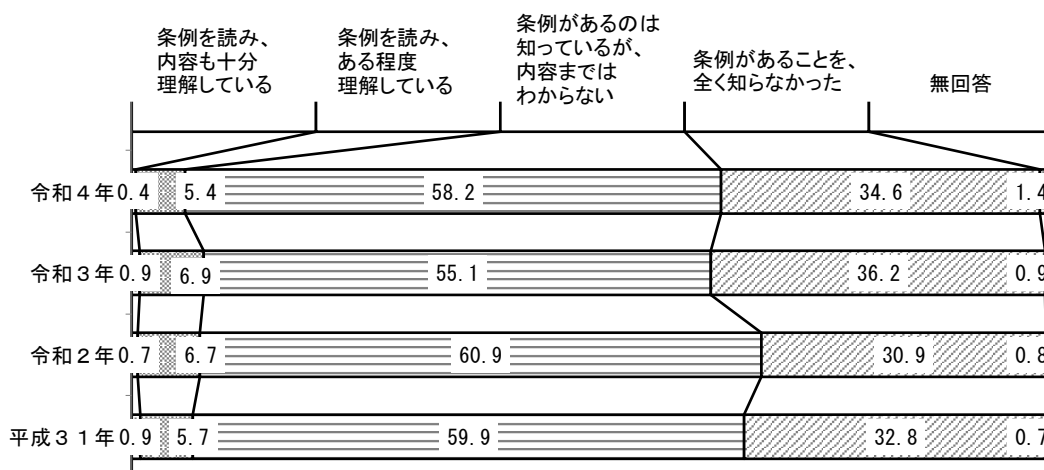
- 行政情報の入手方法については、「市からの配布物」は年齢が高くなるほど利用している人が多くなっている。30～50代では4割前後が「市のホームページ」で情報を入手している。
- 昨年度と比較すると「市の広報」ではすべての年代において増加している。



(3) 合志市自治基本条例の認知(問58)

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか？

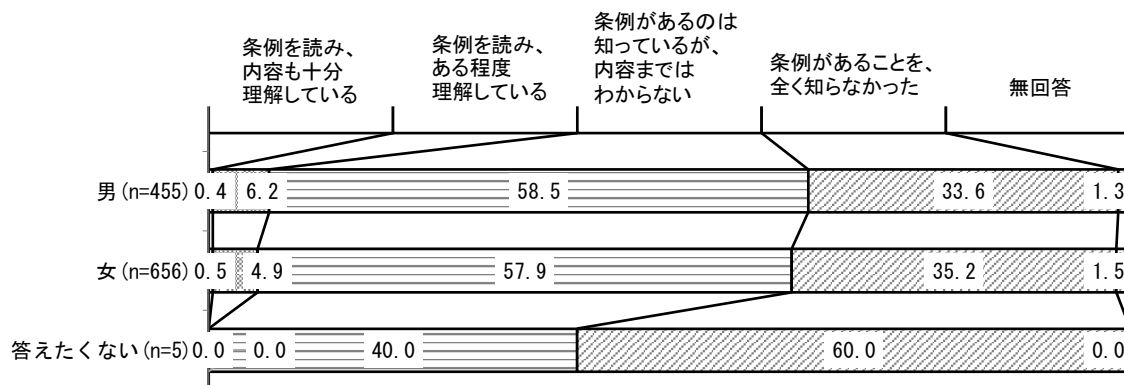
合志市の自治基本条例を知っている（「条例を読み、内容も十分理解している」+「条例を読み、ある程度理解している」+「条例があるのは知っているが、内容まではわからない」）人の割合は約6割となっているものの、内容まで理解している人（「内容も十分理解している」+「ある程度理解している」）は1割に満たず、条例の存在は知っているが内容までは理解していない割合が半数を超えている。また、「条例があることを全く知らなかった」は34.6%となっている。昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	5	0.4	12	0.9	9	0.7	10	0.9
2 条例を読み、ある程度理解している	60	5.4	94	6.9	89	6.7	64	5.7
3 条例があるのは知っているが、内容までは分からない	652	58.2	751	55.1	810	60.9	668	59.9
4 条例があることを、全く知らなかった	388	34.6	494	36.2	410	30.9	366	32.8
5 無回答	16	1.4	12	0.9	11	0.8	8	0.7
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

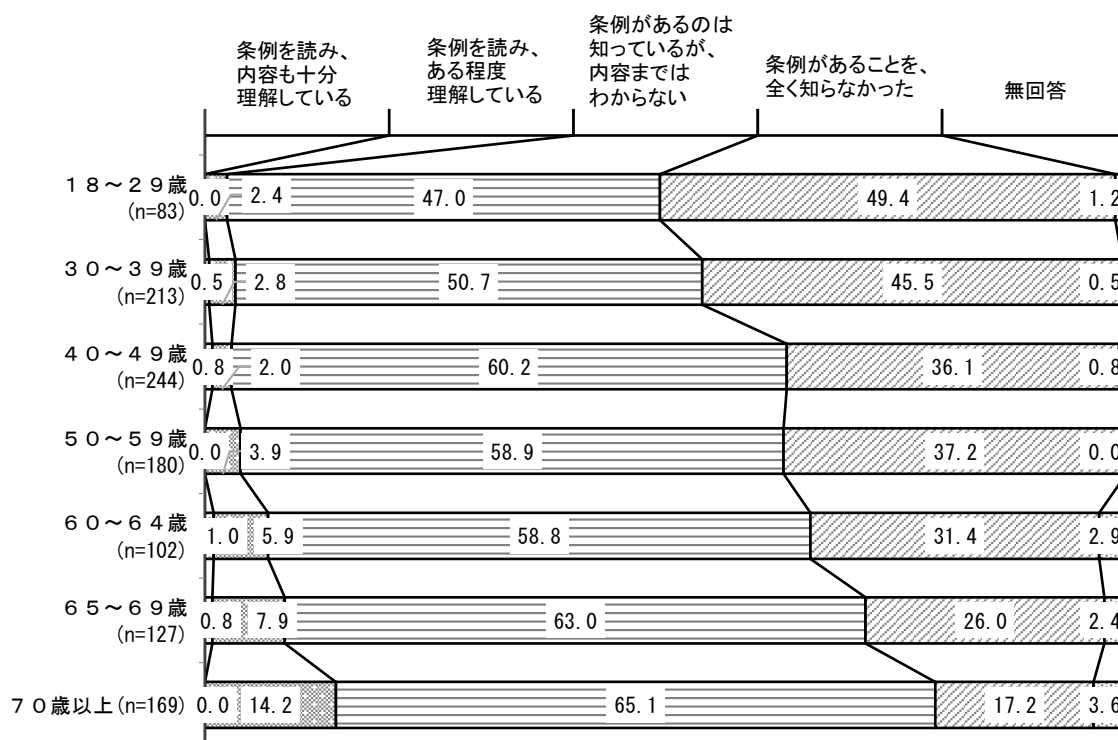
【性別】

- 条例を知っている人の割合は、男女による大きな違いはみられていない。



【年齢別】

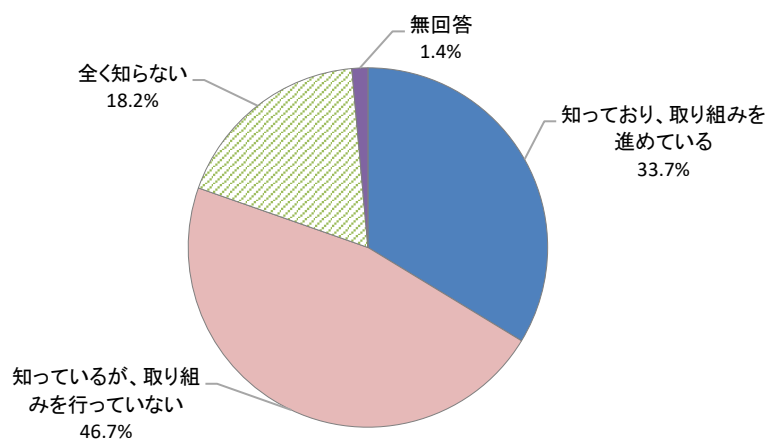
- 20代以下では条例を知らない割合が49.4%となっている。
- 年代が上がるにつれ、条例を知っている人の割合も高くなっており30代以上で約半数、40代以上では約6割となっている。一方、内容をある程度理解している割合は最も高い70歳以上においても14.2%となっている。



(4) SDGsの認知(問59)

あなたは、SDGs(エスディーゼーズ)を知っていますか

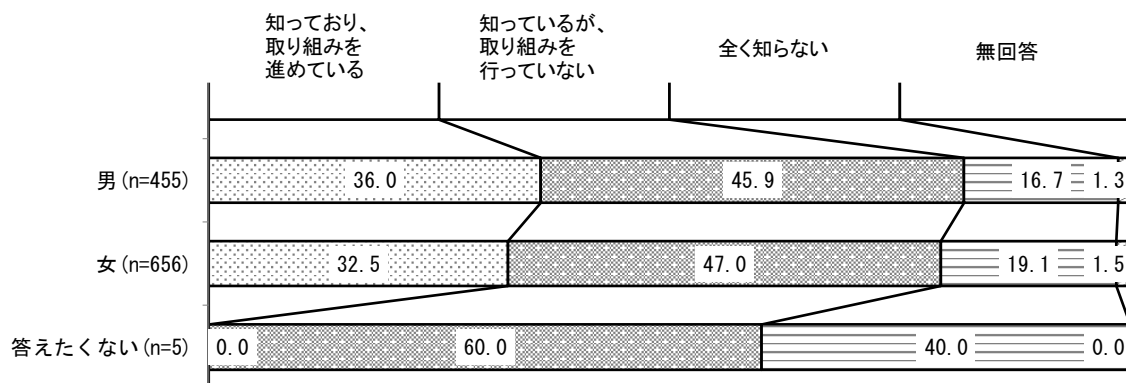
SDGsを知っている人(「知っており、取り組みを進めている」+「知っているが、取り組みを行っていない」)の割合は80.4%、「全く知らない」は18.2%となっている。昨年度と比較すると32ポイント上昇し、認知度が急激に高くなっており、実際に取り組んでいる人の割合も20.1ポイント増加している。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っており、取り組みを進めている	380	33.9	186	13.6	67	5.0
2 知っているが、取り組みを行っていない	521	46.5	475	34.8	192	14.4
3 全く知らない	204	18.2	680	49.9	1048	78.9
4 無回答	16	1.4	22	1.6	22	1.7
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0

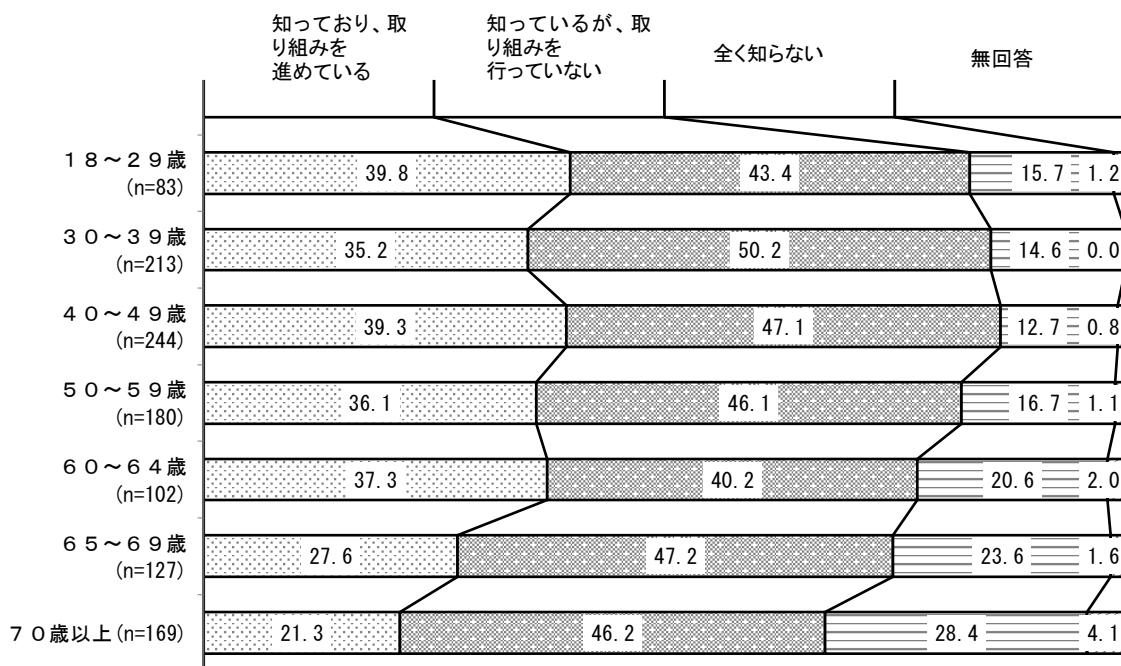
【性別】

●SDGsを知っている人の割合は、男女で大きな違いはみられない。



【年齢別】

●SDGsを知っている人の割合は、すべての年代で6割以上となっている。



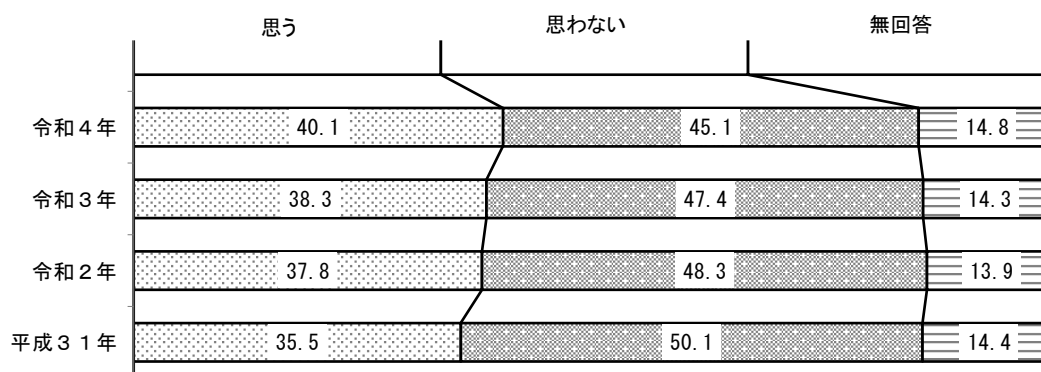
2. 市議会の活動について

(1) 市議会の運営（問60）

あなたは、市議会が市民の意見を反映した運営になっていると思いますか？

市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思う」人の割合 40.1%、「思わない」が 45.1%となっている。

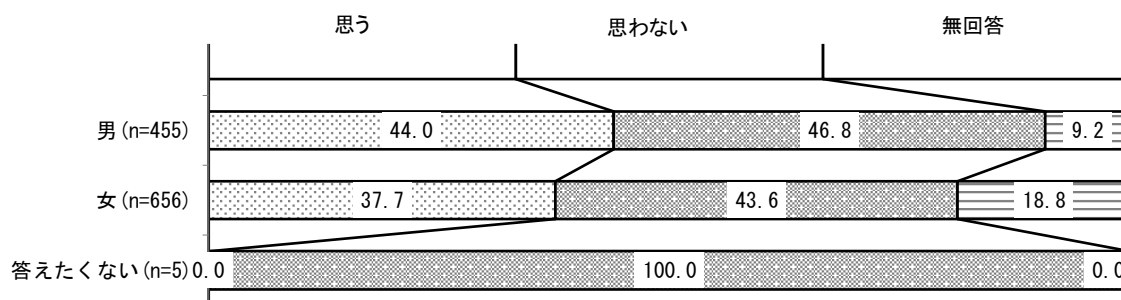
これまでと比較すると、徐々に「思う」の割合が増加していることが分かる。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	449	40.1	522	38.3	502	37.8	396	35.5
2 思わない	506	45.1	646	47.4	642	48.3	559	50.1
3 無回答	166	14.8	195	14.3	185	13.9	161	14.4
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

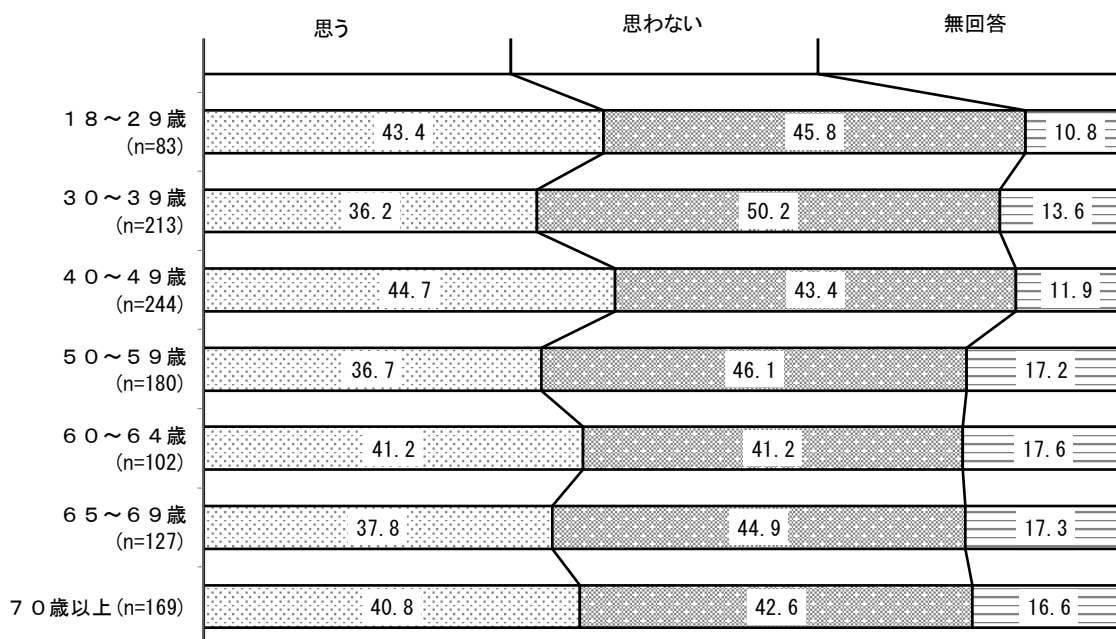
【性別】

- 市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、男性が46.8%、女性が43.6%と女性では男性より3.2ポイント低くなっている。



【年齢別】

- 市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、30代で半数を超えており、他の年代と比較して高くなっている。

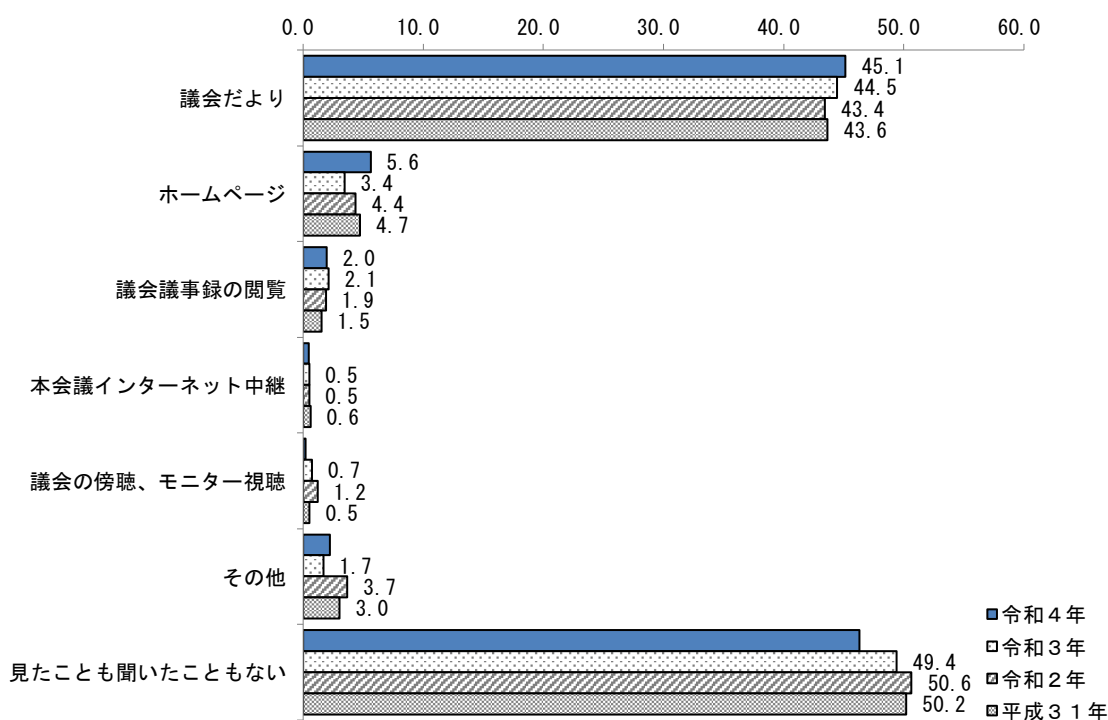


(2) 市議会情報への接触 (問61)

あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか？

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」人の割合は46.3%と約半数を占めている。市議会の情報を入手している人の情報入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が45.1%と最も多く、次いで「ホームページ」の5.6%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



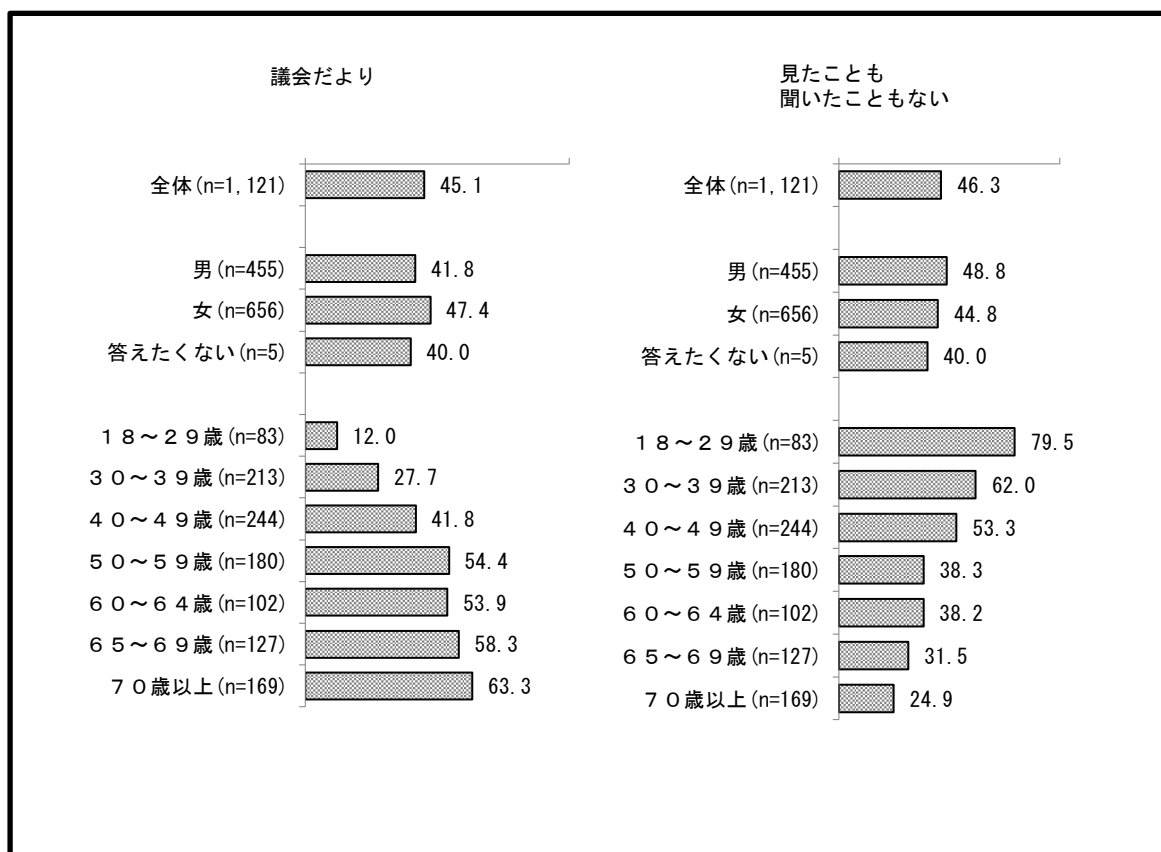
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ホームページで公開されている議会情報を見た	63	5.6	47	3.4	58	4.4	53	4.7
2 本会議インターネット中継を見た	5	0.4	7	0.5	7	0.5	7	0.6
3 議会だよりを読んだ	506	45.1	606	44.5	577	43.4	487	43.6
4 議会の傍聴、モニター視聴を行った	2	0.2	10	0.7	16	1.2	6	0.5
5 議会議事録を閲覧した	22	2.0	29	2.1	25	1.9	17	1.5
6 その他(議員や会派が行っている説明会などへの参加等)	25	2.2	23	1.7	49	3.7	34	3.0
7 見たことも聞いたこともない	519	46.3	673	49.4	673	50.6	560	50.2

【性別】

- 男性では「見たことも聞いたこともない」が48.8%を占めている。対して女性では「議会だより」が47.4%を占めている。

【年齢別】

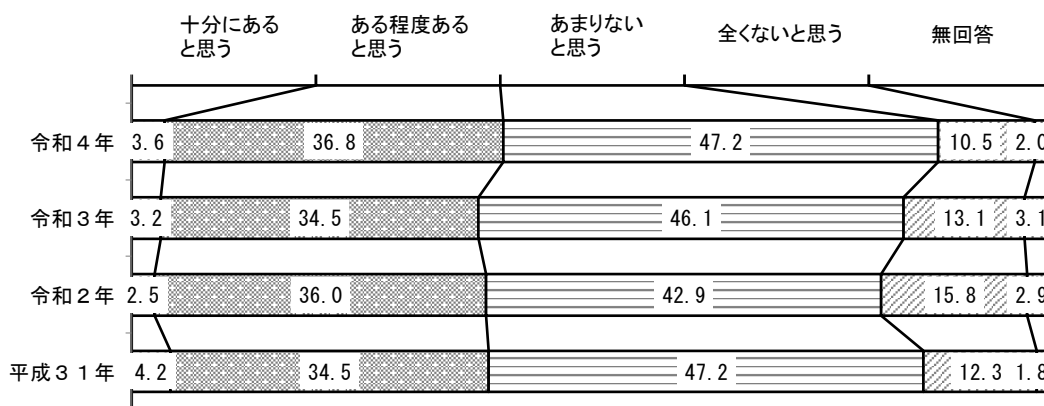
- 年代別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」割合は年代が上がるにつれ減少しており、20代以下では79.5%となっているが、50代以上では半数以下となっている。
- 「議会だよりを読んだ」人の割合は、年齢とともに高くなり、20代以下では12.0%だが、50代以上では半数を超えている。



(3) 市議会情報を得る機会 (問62)

あなたは、市議会情報を得る機会が十分にあると思いますか？

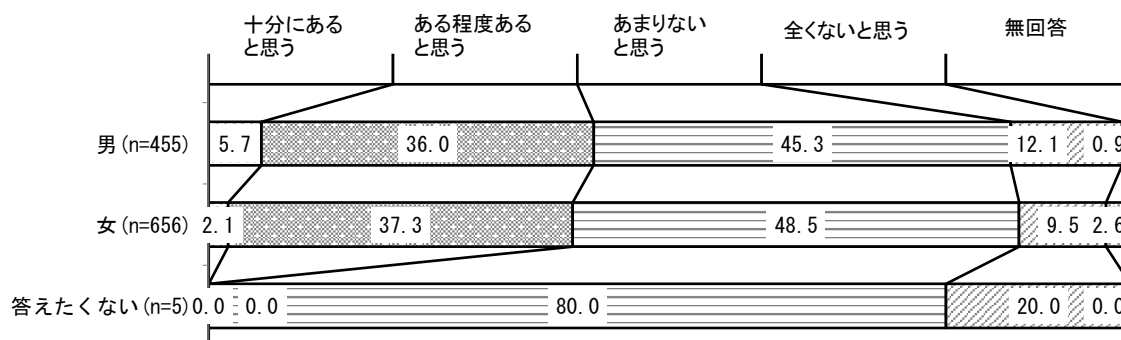
市議会情報を得る機会がある(「十分にある」+「ある程度ある」)人の割合は40.4%、得る機会がない(「全くない」+「あまりない」)人の割合は57.7%となっている。
 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 十分にあると思う	40	3.6	43	3.2	33	2.5	47	4.2
2 ある程度あると思う	412	36.8	470	34.5	478	36.0	385	34.5
3 あまりないと思う	529	47.2	629	46.1	570	42.9	527	47.2
4 全くないと思う	118	10.5	179	13.1	210	15.8	137	12.3
5 無回答	22	2.0	42	3.1	38	2.9	20	1.8
合計	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

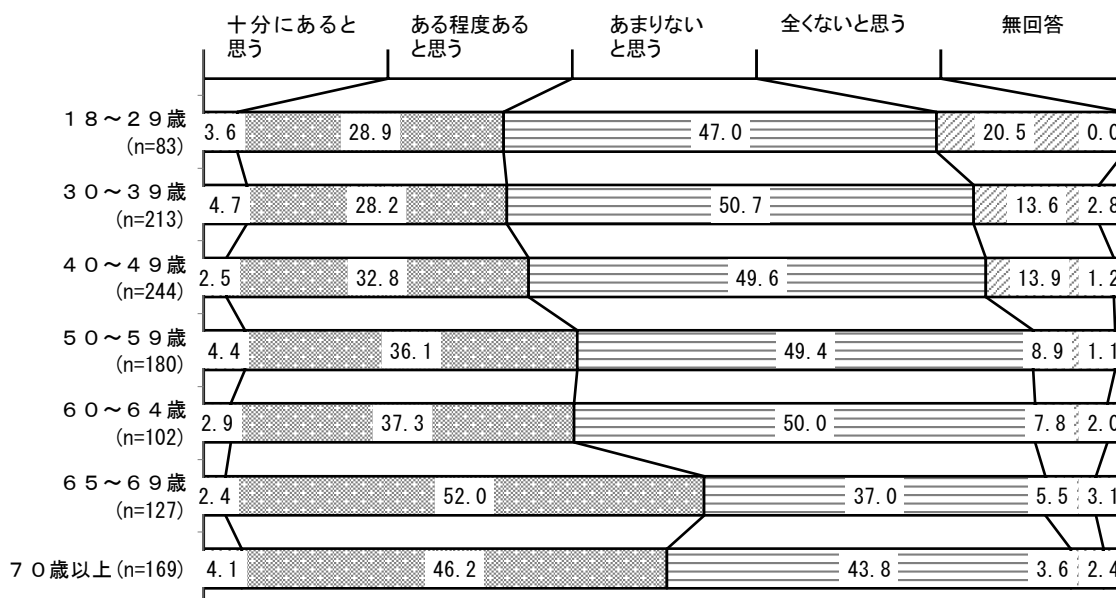
【性別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合は、男女により大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合は、20代以下から50代までは年代が上がるにつれ高くなっており、65～69歳では半数以上となっている。
- 市議会情報を得る機会がない人の割合は、20代以下から60代で約半数となっている。



◆土地利用について

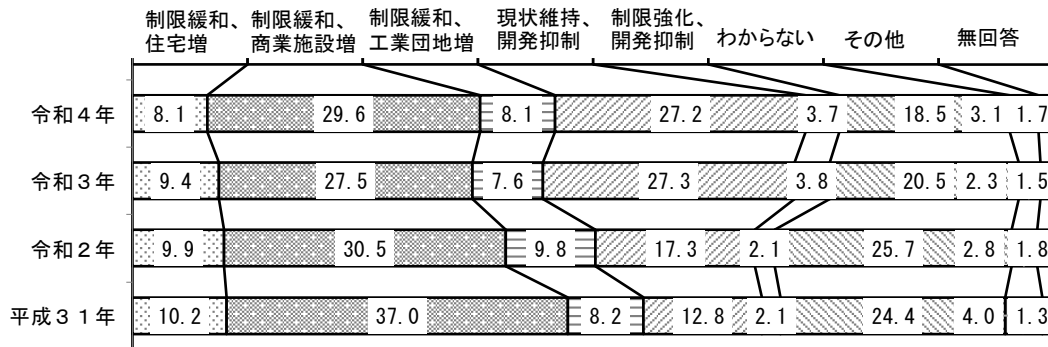
1. 土地利用について（問63）

合志市の南側の住宅からなる市街地を除き、北側に広がる農地や山林を含む古くからの既存集落地域では、原則的に土地利用が制限されています。今後の本市の発展に必要な対策はどのようなものと思われますか。

今後の市の発展のための土地利用対策については、「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が29.6%と最も多く、次いで「現状と同様の制限により、開発を抑制する」が27.2%となっている。

現状の制限を緩和すべきと考える人（「制限を緩和し、住宅を増やす」＋「制限を緩和し、商業施設を増やす」＋「制限を緩和し工業団地を増やす」）は45.8%となっており、現状の制限を維持すべきと考える人は27.2%、制限を強化すべきと考える人は3.7%となっている。

昨年度と比較して、制限を緩和すべきと考える人の割合は1.3ポイント増加、現状の制限を維持すべきと考える人の割合はほぼ横ばいである。



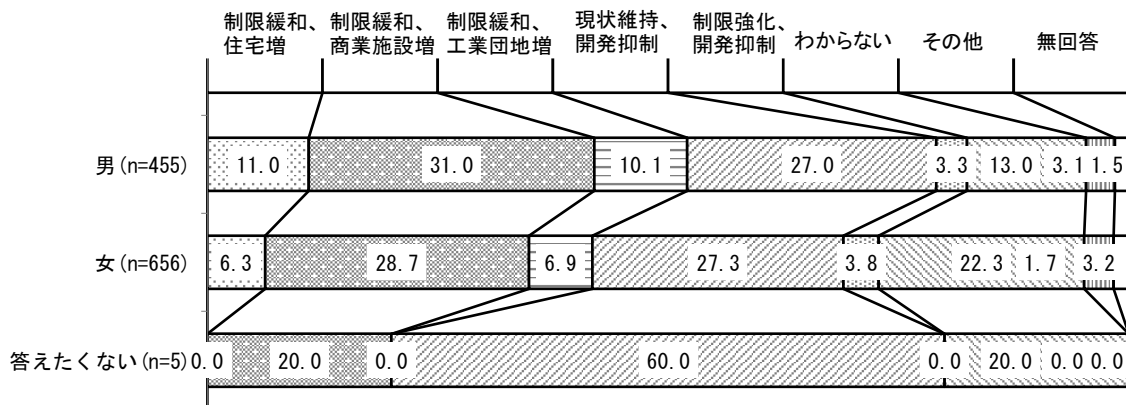
	令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%
1 制限緩和、開発誘導し住宅を増やす	91	8.1	128	9.4
2 制限緩和、開発誘導し商業施設を増やす	332	29.6	375	27.5
3 制限緩和、開発誘導し工業団地を増やす	91	8.1	104	7.6
4 現状の制限にて、開発抑制し農地や山林を守る	305	27.2	372	27.3
5 制限強化、開発抑制し農地や山林を守る	41	3.7	52	3.8
6 わからない	207	18.5	280	20.5
7 その他	35	3.1	32	2.3
8 無回答	19	1.7	20	1.5
合計	1121	100.0	1363	100.0

<その他>

- やや制限を緩和し、やや商業施設等を増やす
- 屋外ライブや大きなコンサートホールを作って欲しい
- 交通機関を整備して便利にして欲しい
- 高速道沿いの部分緩和で工業・商業施設の誘致
- 自然は残した方がいいが、空き家などは解体するべき
- 渋滞緩和を先にしていきたい
- 水資源、ごみ処理、道路の渋滞等に配慮しながら、徐々に住宅を増やす
- 制限を緩和し、お店や会社等小規模なものを増やす
- 制限を緩和し、積極的に誘導することは賛成だが、使用者の意見を汲むことが大事
- 制限緩和し、幹線道路を作る
- 制限緩和は必要だが農地なども作り開発を進める
- 全体的なバランスが大事、南側でも農地や山林は守って欲しい
- 土地開発は自然を壊してまで行う必要は無いが、空家の活用を行い人口を保つ必要がある
- 土地利用の緩和する地域と、制限強化の地域は慎重に考慮する必要がある
- 農林や山地を守りつつ、工業団地を増やす
- 飛田バイパス延伸で4車線化が前提で開発するべき
- 必要に応じ、緩和する
- 目玉となるような商業施設がないので大手を誘致して欲しいが、むやみに商業施設を増やして欲しい訳ではない

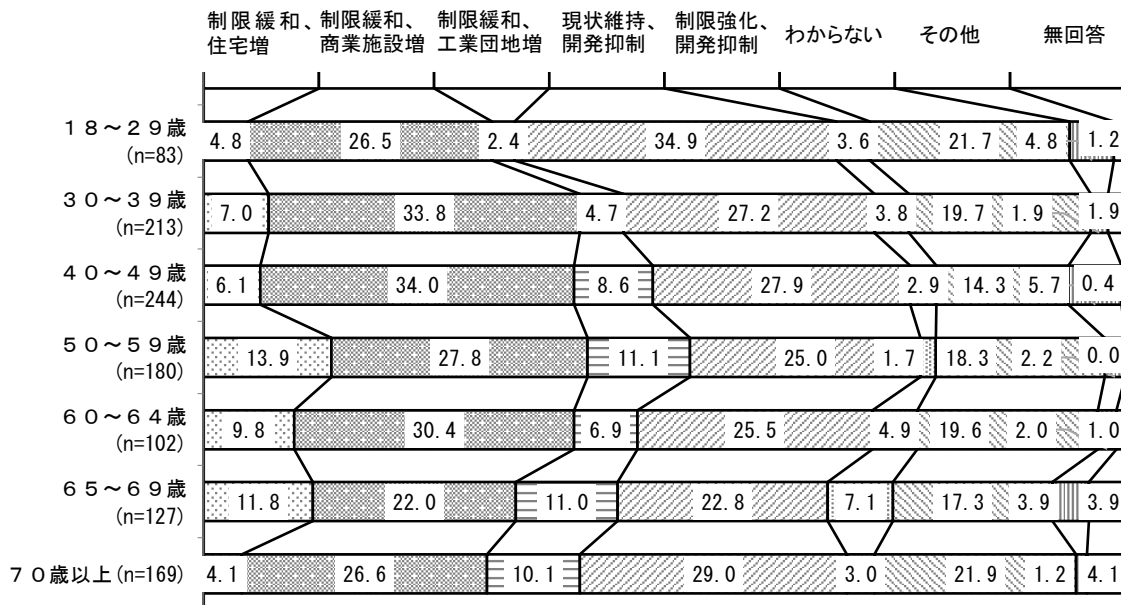
【性別】

- 男女ともに「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」、「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農地や山林を守る」がともに約3割となっている。
- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、男性 52.1%、女性 41.9%と男性が女性を上回っている。
- 「わからない」の割合において、女性が男性を約10ポイント上回っている。



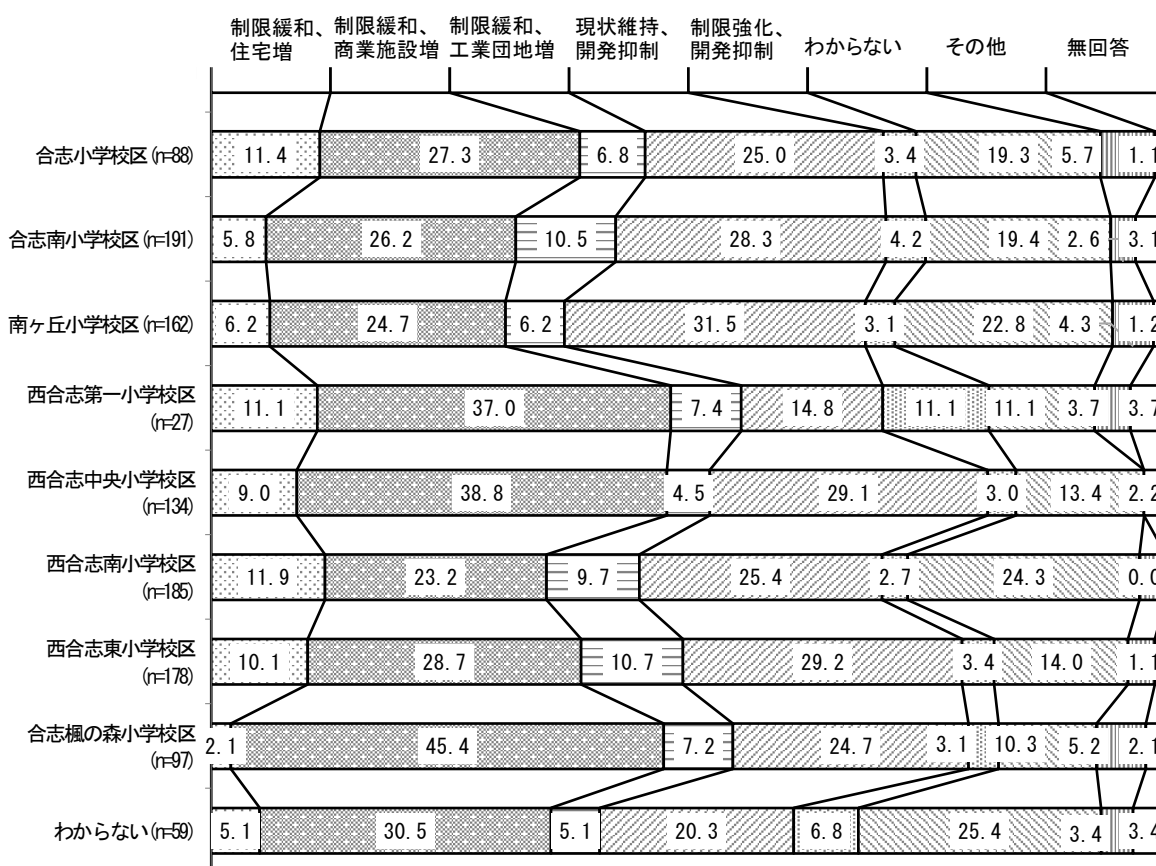
【年齢別】

- 60～64歳では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が約3割、70歳以上では「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農地や山林を守る」が約3割となっている。



【校区】

- 合志小、西合志第一小、西合志中央小、合志楓の森小学校では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が3~4割前後となっている。
- 合志南小、南ヶ丘小、西合志南小、西合志東小では「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農林や山地を守る」が3割前後となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要